

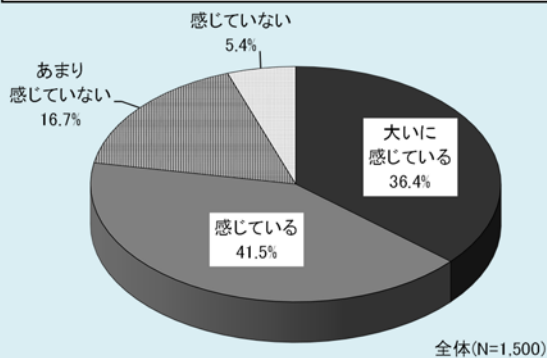
平成30年度市民及びスポーツ団体等に対するスポーツ実態調査結果概要

1. 平成30年度スポーツに対する意識と活動の実態に関する調査
 P.1～8
2. 平成30年度子ども・若者のスポーツライフ調査【小学生】
 P.9～26
3. 平成30年度子ども・若者のスポーツライフ調査【中学生】
 P.27～50
4. 平成30年度子ども・若者のスポーツライフ調査【高校生】
 P.51～75
5. 平成30年度スポーツ推進委員の活動と意識に関する調査
 P.77～87
6. 平成30年度スポーツ団体・レクリエーション団体の活動と意識に関する調査
 P.89～99
7. 平成30年度スポーツクラブの活動と意識に関する調査
 P.101～111

平成30年度 スポーツに対する意識と活動の 実態に関する調査 (概要版)

運動不足感

運動不足と感じている人 **77.9%**

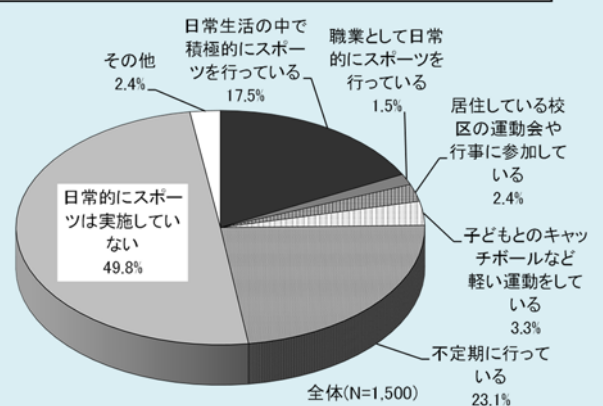


普段運動不足を感じているかについては、「感じている」と回答した人が41.5%と最も多く、次いで「大いに感じている」(36.4%)となっており、「大いに感じている」と「感じている」を合わせた『感じている』の割合は77.9%で大半が運動不足を感じています。

一方、「あまり感じていない」(16.7%)と「感じていない」(5.4%)を合わせた『感じていない』の割合は22.1%となっています。

運動・スポーツの実施の程度

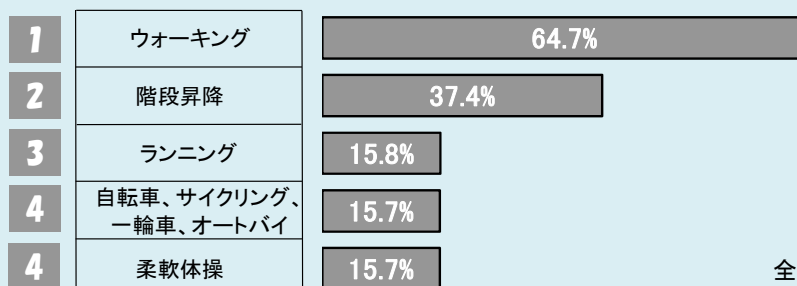
積極的にスポーツを行っている人 **17.5%**



日常生活の中でどの程度運動・スポーツを行っているかについては、「日常的にスポーツは実施していない」と回答した人が49.8%と最も多く、次いで「不定期に行っている」(23.1%)、「日常生活の中で積極的にスポーツを行っている」(17.5%)となっています。

過去1年間に行った運動・スポーツ<上位5項目>

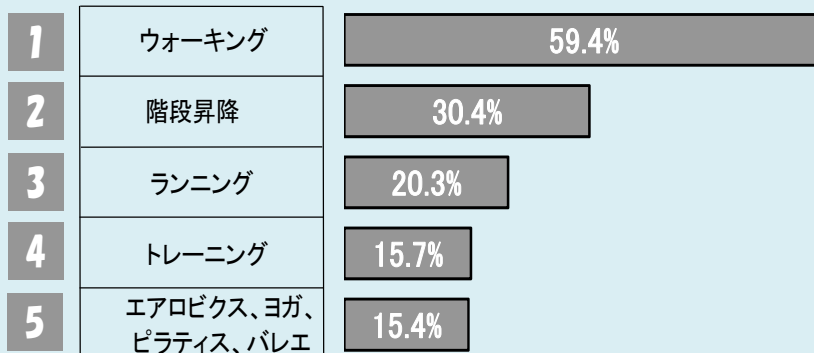
過去1年間に行った運動・スポーツ **1位 ウォーキング 64.7%**



過去1年間に行った運動やスポーツについては、「ウォーキング」と回答した人が64.7%と最も多く、次いで「階段昇降」(37.4%)、「ランニング」(15.8%)となっています。

今後行ってみたい(続けたい)運動・スポーツ<上位 5 項目>

今後行ってみたい(続けたい)運動・スポーツ **1位 ウォーキング 59.4%**

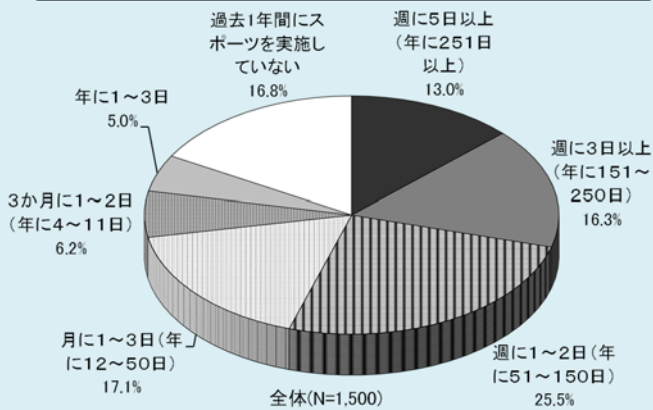


全体(N=1,500) 複数回答

今後行ってみたい(続けたい)運動・スポーツについては、「ウォーキング」と回答した人が59.4%と最も多く、次いで「階段昇降」(30.4%)、「ランニング」(20.3%)、「トレーニング」(15.7%)、「エアロビクス、ヨガ、ピラティス、バレエ」(15.4%)となっています。

過去1年間の運動・スポーツ実施日数

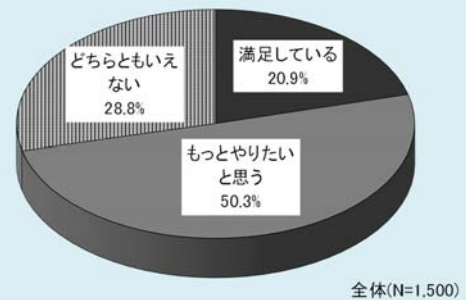
週に1日以上運動をする人 **54.8%**



過去1年間に運動やスポーツを行った日数については、「週に1~2日(年に51~150日)」と回答した人が25.5%と最も多く、次いで「月に1~3日(年に12~50日)」(17.1%)、「過去1年間にスポーツを実施していない」(16.8%)となっています。

運動・スポーツの実施頻度に対する満足度

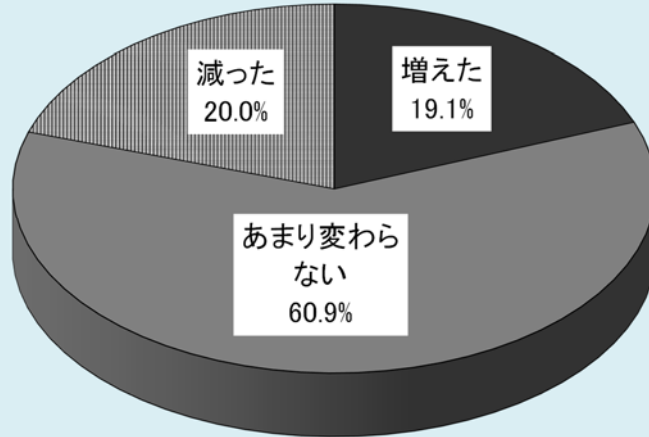
運動の頻度に満足していない人 **50.3%**



運動・スポーツの実施頻度に対する満足度については、「もっとやりたいと思う」と回答した人が50.3%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(28.8%)、「満足している」(20.9%)となっています。

1年前と比べた運動実施頻度の増減

運動の実施頻度が増えた人 **19.1%** 減った・変わらない人 **80.9%**



全体(N=1,248)

1年前と比べた運動・スポーツの実施頻度については、「あまり変わらない」と回答した人が60.9%と最も多く、次いで「減った」(20.0%)、「増えた」(19.1%)となっています。

増えた理由<上位5項目>

増えた理由 **1位**
仕事や学業が忙しくなくなったから
22.7%

1	仕事や学業が忙しくなくなったから	22.7%
2	健康になったから	21.8%
3	運動・スポーツが好きになったから	17.6%
4	仲間ができたから	16%
5	場所や施設ができたから	16%

全体(n=238) 複数回答

運動・スポーツの実施頻度が増えた理由については、「仕事や学業が忙しくなくなったから」と回答した人が22.7%と最も多く、次いで「健康になったから」(21.8%)、「運動・スポーツが好きになったから」(17.6%)となっています。

減った・あまり変わらない理由<上位5項目>

減った・変わらない理由 **1位**
仕事や学業が忙しいから
40.8%

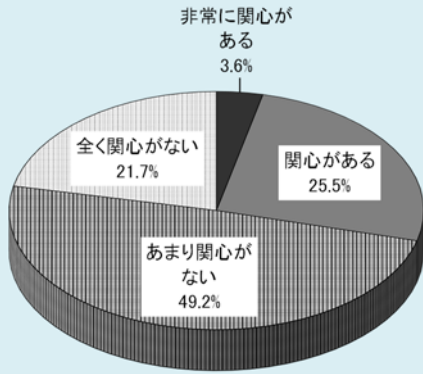
1	仕事や学業が忙しいから	40.8%
2	面倒くさいから	23.6%
3	気力や体力が衰えたから	22.3%
4	家事(育児や介護などを含む)が忙しいから	19.4%
5	お金に余裕がないから	15.3%

全体(n=1,010) 複数回答

運動・スポーツの実施頻度が減った又はあまり変わらない理由については、「仕事や学業が忙しいから」と回答した人が40.8%と最も多く、次いで「面倒くさいから」(23.6%)、「気力や体力が衰えたから」(22.3%)となっています。

障がい者スポーツへの関心度

障がい者スポーツに関心のある人 **29.1%**

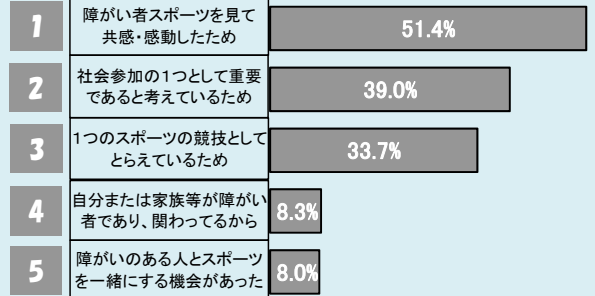


障がい者スポーツにどの程度関心があるかについては、「非常に関心がある」(3.6%)と「関心がある」(25.5%)を合わせた『関心がある』の割合は29.1%となっています。

一方、「あまり関心がない」と「全く関心がない」を合わせた『関心がない』の割合は70.9%で、大半が関心を持っていません。

関心がある理由<上位5項目>

関心がある理由 **1位**
障がい者スポーツを見て共感・感動したから **51.4%**

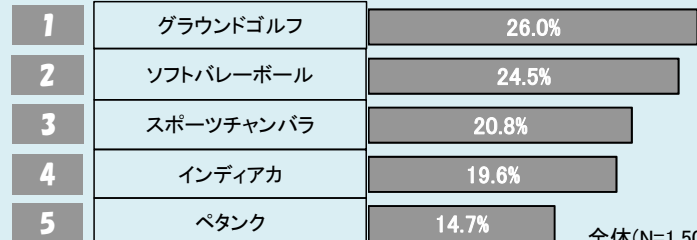


障がい者スポーツに関心がある理由については、「障がい者スポーツを見て共感・感動したため」と回答した人が51.4%と最も多く、次いで「社会参加の1つとして重要であると考えているため」(39.0%)、「1つのスポーツの競技としてとらえているため」(33.7%)となっています。

ニュースポーツの認知度<上位5種目>

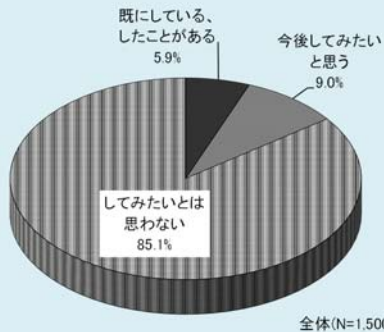
ニュースポーツの認知度

1位
グラウンドゴルフ
26.0%



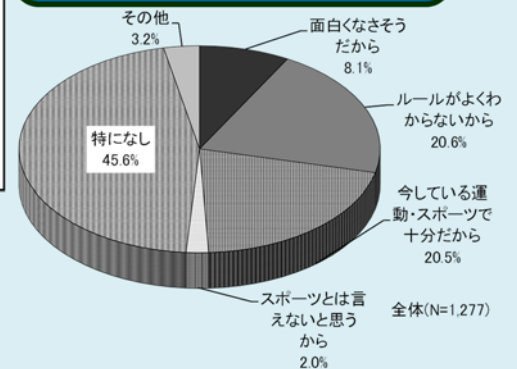
ニュースポーツを知っている、又は聞いたことがある種目について、「グラウンドゴルフ」と回答した人が26.0%と最も多く、次いで「ソフトバレーボール」(24.5%)、「スポーツチャンバラ」(20.8%)となっています。

ニュースポーツの実施意向



ニュースポーツをしたことがある・今後してみたい人 **14.9%**

してみたいと思わない理由

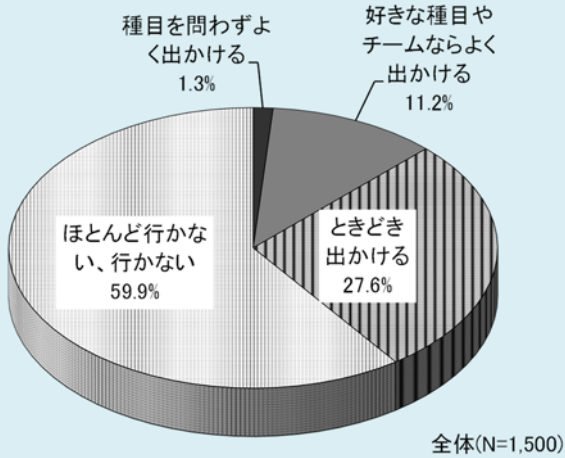


ニュースポーツをしてみたいと思うかについて、「してみたいとは思わない」と回答した人が85.1%と最も多く、次いで「今後してみたいと思う」(9.0%)、「既にしていて、したことがある」(5.9%)となっています。

ニュースポーツをしてみたいと思わない理由については、「特になし」と回答した人が45.6%と最も多く、次いで「ルールがよくわからないから」(20.6%)、「今している運動・スポーツで十分だから」(20.5%)となっています。

球場やスタジアムに出かける頻度

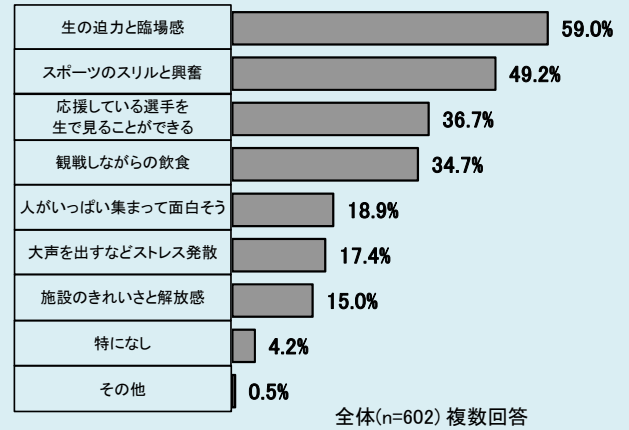
よくスタジアムに出かける人 **12.5%**



スポーツを観戦するためにどの程度、球場やスタジアムに出かけるかについて、「ほとんど行かない、行かない」と回答した人が 59.9% と最も多く、次いで「ときどき出かける」(27.6%)、「好きな種目やチームならよく出かける」(11.2%) となっています。

球場やスタジアムに行く魅力

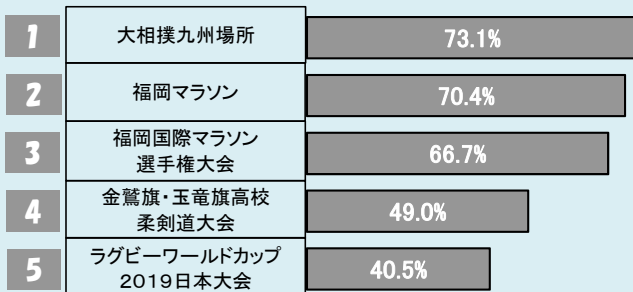
スタジアムに行く魅力 **1位**
生の迫力と臨場感 **59.0%**



球場やスタジアムに行く魅力は何か聞いたところ、「生の迫力と臨場感」と回答した人が 59.0% と最も多く、次いで「スポーツのスリルと興奮」(49.2%)、「応援している選手を生で見ることができる」(36.7%) となっています。

知っているスポーツイベント<上位 5 項目>

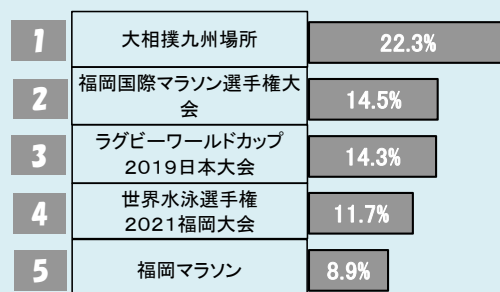
知っているイベント
1位 大相撲九州場所 73.1%



全体(N=1,500) 複数回答

見に行きたいスポーツイベント<上位 5 項目>

見に行きたいイベント
1位 大相撲九州場所 22.3%



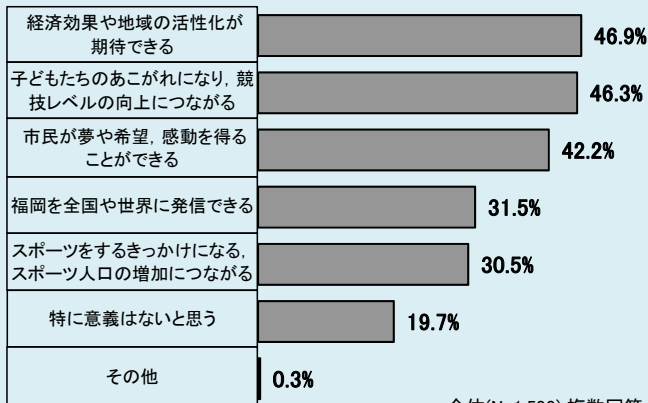
全体(N=1,500) 複数回答

福岡市で開催されている、知っているスポーツイベントについては、「大相撲九州場所」と回答した人が 73.1% と最も多く、次いで「福岡マラソン」(70.4%)、「福岡国際マラソン選手権大会」(66.7%) となっています。

また、見に行きたいスポーツイベントについては、「大相撲九州場所」と回答した人が 22.3% と最も多く、次いで「福岡国際マラソン選手権大会」(14.5%)、「ラグビーワールドカップ 2019 日本大会」(14.3%) となっています。

スポーツチームがある意義

スポーツチームの意義 1位
経済効果や地域の活性化
46.9%

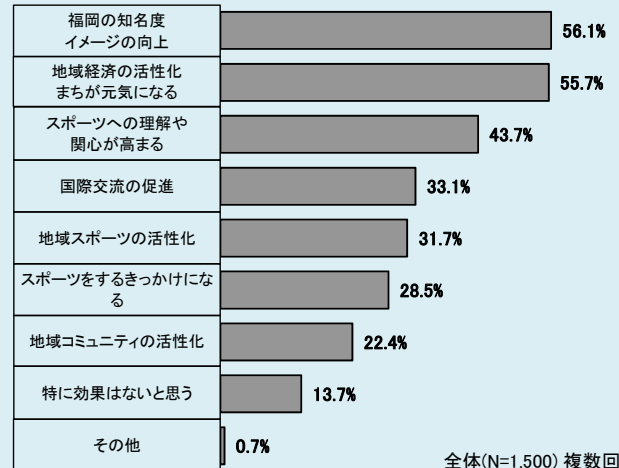


全体(N=1,500) 複数回答

スポーツチームがある意義については、「経済効果や地域の活性化が期待できる」と回答した人が46.9%と最も多く、次いで「子どもたちのあこがれになり、競技レベルの向上につながる」(46.3%)、「市民が夢や希望、感動を得ることができる」(42.2%)となっています。

大規模スポーツイベントの開催の効果

イベント開催の効果 1位
福岡の知名度・イメージの向上 56.1%

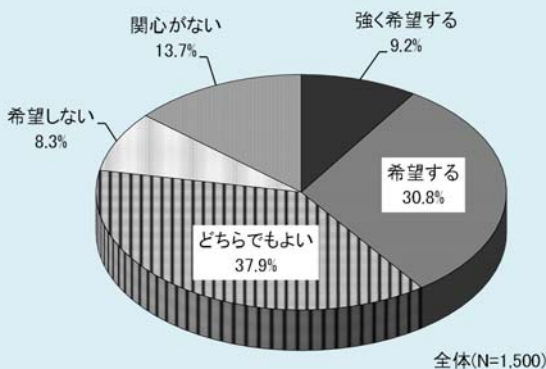


全体(N=1,500) 複数回答

大規模スポーツイベントの開催はどんな効果があると思うかについて、「福岡の知名度・イメージの向上」と回答した人が56.1%と最も多く、次いで「地域経済の活性化、まちが元気になる」(55.7%)、「スポーツへの理解や関心が高まる」(43.7%)となっています。

国際スポーツイベントを誘致・開催することについて

国際イベントの誘致・開催を希望する人
40.0%



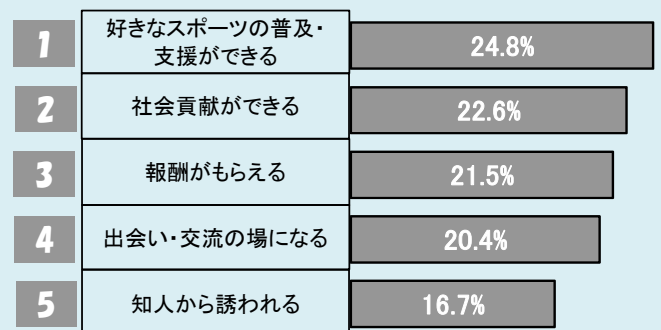
全体(N=1,500)

国際スポーツイベントを積極的に誘致・開催することを希望するかについて、「どちらでもよい」と回答した人が37.9%と最も多く、「希望する」(30.8%)と「強く希望する」(9.2%)を合わせた『希望する』の割合は40.0%となっています。

一方、「希望しない」は8.3%、「関心がない」は13.7%となっています。

スポーツに関するボランティアの動機づけ <上位5項目>

ボランティアの動機づけ 1位
好きなスポーツの普及・支援ができる 24.8%

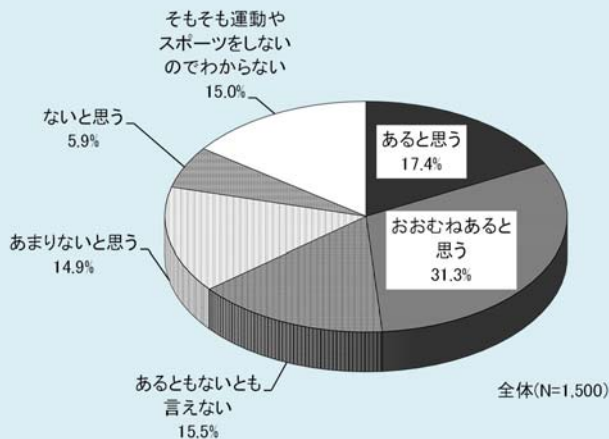


全体(N=1,500) 複数回答

どんなきっかけや動機付けがあれば、スポーツに関するボランティア活動を行ったり続けたりすると思うか聞いたところ、「好きなスポーツの普及・支援ができる」と回答した人が24.8%と最も多く、次いで「社会貢献ができる」(22.6%)、「報酬がもらえる」(21.5%)となっています。

運動・スポーツを実施する施設・場所の充足度

スポーツ施設が充足していると思う人 **48.7%**

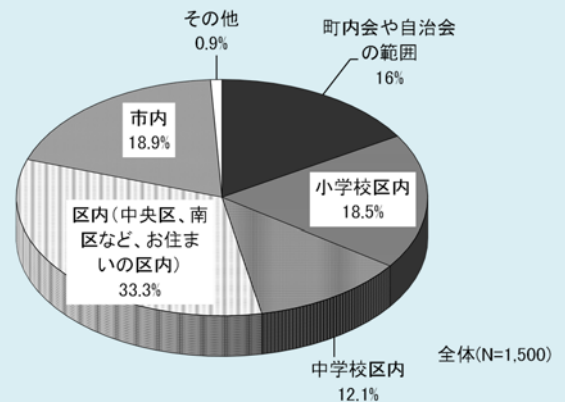


運動やスポーツを実施する際の施設や場所はあると思うかについては、「おおむねあると思う」と回答した人が31.3%と最も多く、「あると思う」(17.4%)と合わせた『あると思う』の割合は48.7%となっています。

一方、「ないと思う」(5.9%)と「あまりないと思う」(14.9%)を合わせた『ないと思う』の割合は20.8%となっています。その他、「あるともないとも言えない」(15.5%)、「そもそも運動やスポーツをしないのでわからない」(15.0%)となっています。

「身近なスポーツ施設や場所」の範囲

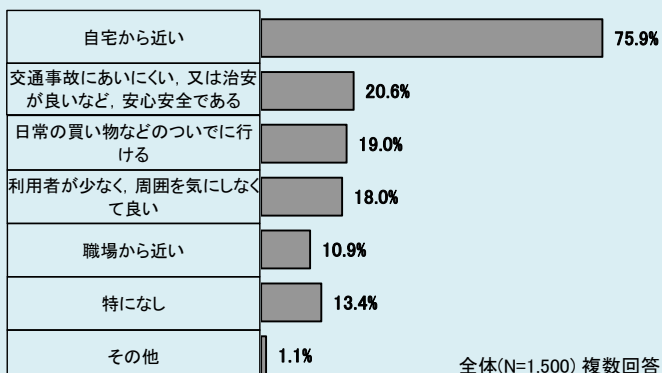
身近なスポーツ施設の範囲
1位 区内 33.3%



「身近なスポーツ施設や場所」とは、自宅からの程度の範囲かについては、「区内(中央区、南区など、お住まいの区内)」と回答した人が33.3%と最も多く、次いで「市内」(18.9%)、「小学校区内」(18.5%)、「町内会や自治会の範囲」(16.3%)、「中学校区内」(12.1%)となっています。

運動・スポーツを実施する場所として重視するもの

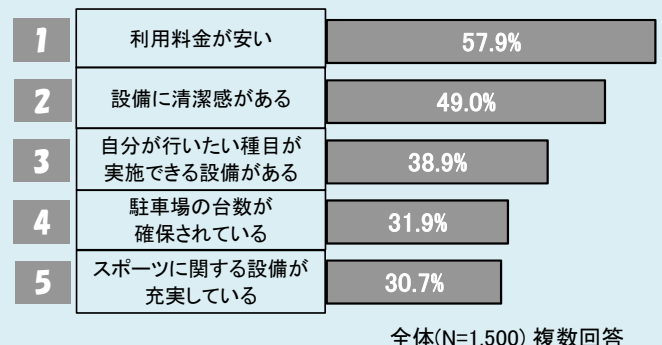
スポーツを実施する場所として重視するもの
1位 自宅から近い 75.9%



運動・スポーツを実施する場所として重視するものについては、「自宅から近い」と回答した人が75.9%と最も多く、次いで「交通事故にあいにくい、又は治安が良いなど、安心安全である」(20.6%)、「日常の買い物などのついでに行ける」(19.0%)となっています。

運動・スポーツ施設に希望すること <上位5項目>

スポーツ施設に対する希望
1位 利用料金が安い 57.9%

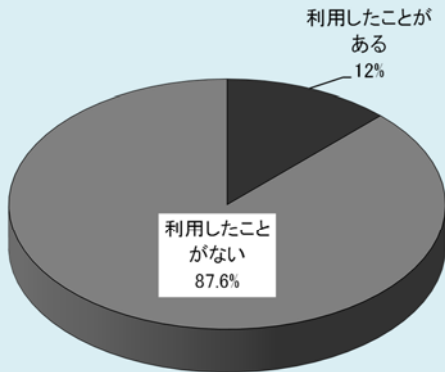


運動・スポーツ施設に対して希望することについては、「利用料金が安い」と回答した人が57.9%と最も多く、次いで「設備に清潔感がある」(49.0%)、「自分が行いたい種目を実施できる設備がある」(38.9%)となっています。

福岡市以外にある公共スポーツ施設の利用

市外の施設を利用したことがある人

12.0%



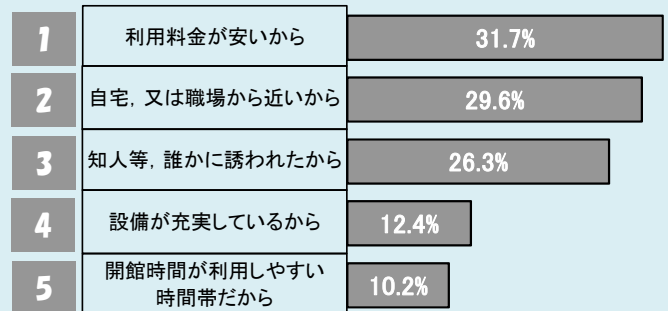
全体(N=1,500)

福岡市以外の市町村にある公共スポーツ施設を利用したことがあるかについては、「利用していない」と回答した人が 87.6%、「利用したことがある」と回答した人が 12.4%となっています。

福岡市以外の公共スポーツ施設を利用した理由 〈上位 5 項目〉

市外の施設を利用した理由

1位 利用料金が安いから 31.7%



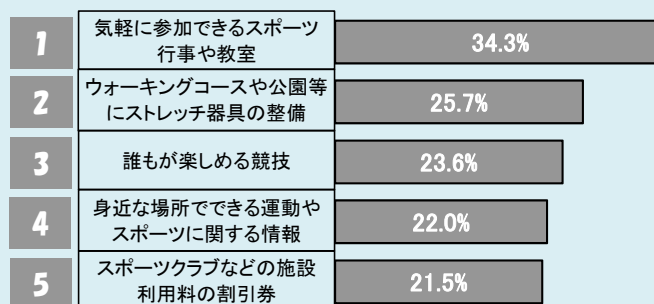
全体(n=186)複数回答

福岡市以外の市町村にある公共スポーツ施設を利用した理由については、「利用料金が安いから」と回答した人が 31.7%と最も多く、「自宅, 又は職場から近いから」(29.6%)、「知人等, 誰かに誘われたから」(26.3%)となっています。

今後スポーツを開始、継続するためにあるとよいと思うもの〈上位 5 項目〉

スポーツを始める(継続)するためにあるとよいもの

1位 気軽に参加できるスポーツ行事や教室 34.3%



全体(N=1,500)複数回答

今後スポーツを始めたり、継続したりするにあたって、あるとよいと思うものについては、「気軽に参加できるスポーツ行事や教室」と回答した人が 34.3%と最も多く、次いで「ウォーキングコースや公園等にストレッチ器具の整備」(25.7%)、「誰もが楽しめる競技」(23.6%)となっています。

〈調査の性格〉

調査対象者：福岡市内に居住する満 18 歳以上の男女

サンプル数：1,500 サンプル

調査方法：インターネット調査

調査期間：平成 30 年 9 月 21 日～11 月 1 日

〈調査結果利用上の注意〉

- (1) 回答の比率は小数点以下を四捨五入しているため、比率の合計が 100%にならないことがあります。
- (2) 複数選択が可能な設問では、比率の合計が 100%を超えることがあります。
- (3) 図表に示す N、n は、比率算出上の基数(サンプル数)です。
N=サンプル全数 n=該当数(回答しなくてよい人を除いた数)

平成 30 年度 子ども・若者のスポーツライフ調査 【小学生】 (概要版)

【調査概要】

1. 調査の目的

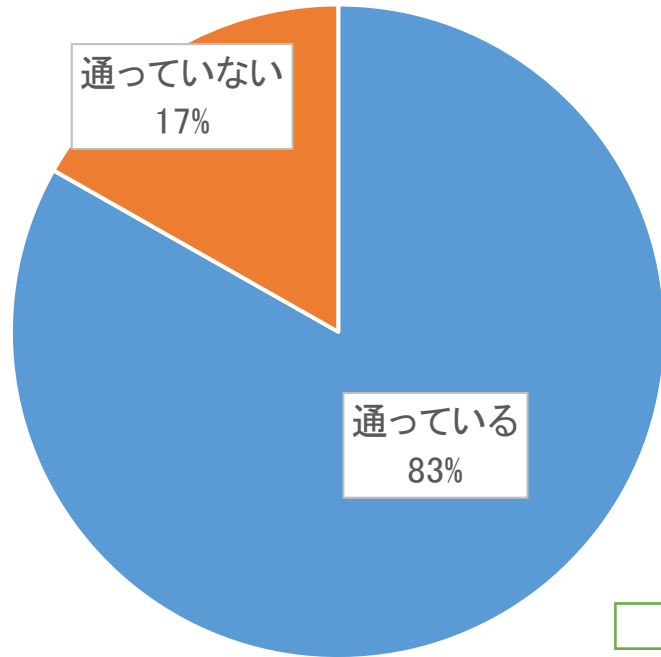
小学生の生活やスポーツ活動の実態を把握し、今後のスポーツ振興やスポーツ施策を検討する基礎資料とする。

2. 調査内容

- 対象者 市内小学校 7 校（各区 1 校）の 4～6 年生の任意の 1 学級の児童
- 調査方法 文書
- 調査期間 平成 30 年 10 月～11 月
- 回答数

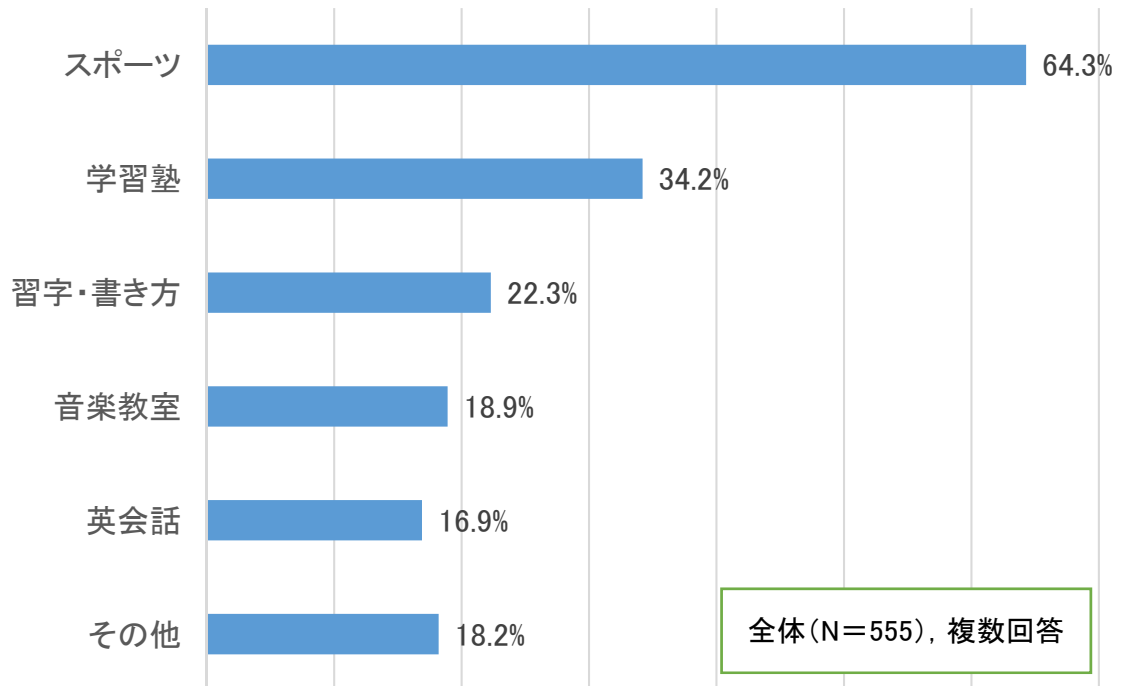
学年	性別			計
	男	女	未回答	
4 年生	107	101	1	209
5 年生	125	118	3	246
6 年生	108	107	0	215
	340	326	4	670

学習塾や習い事



全体(N=667)

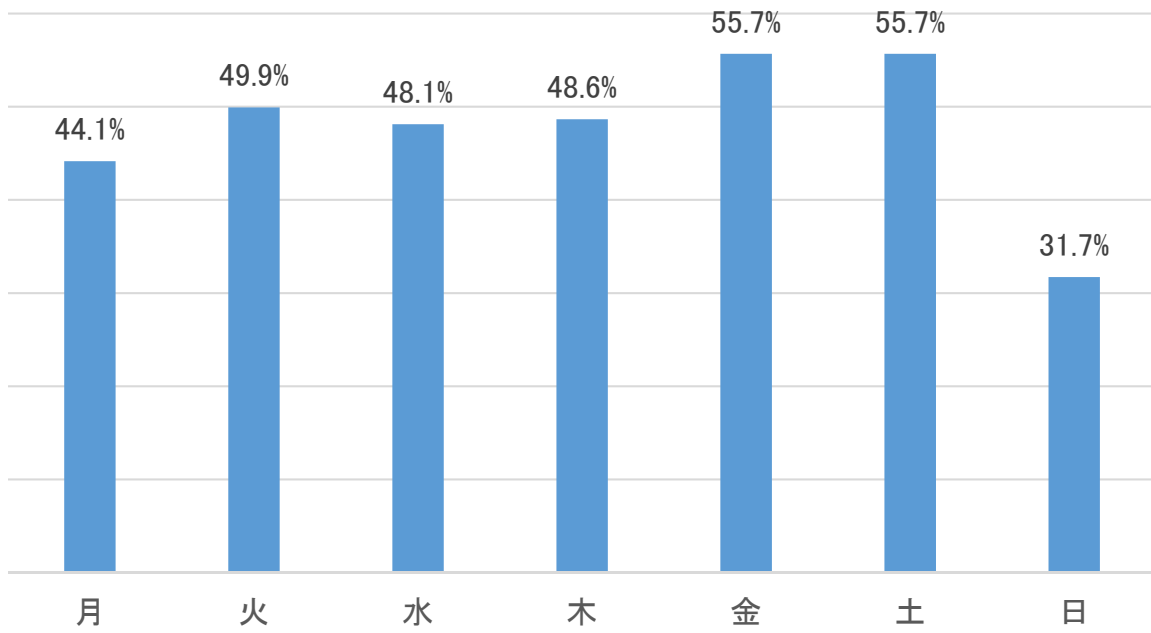
習い事／詳細



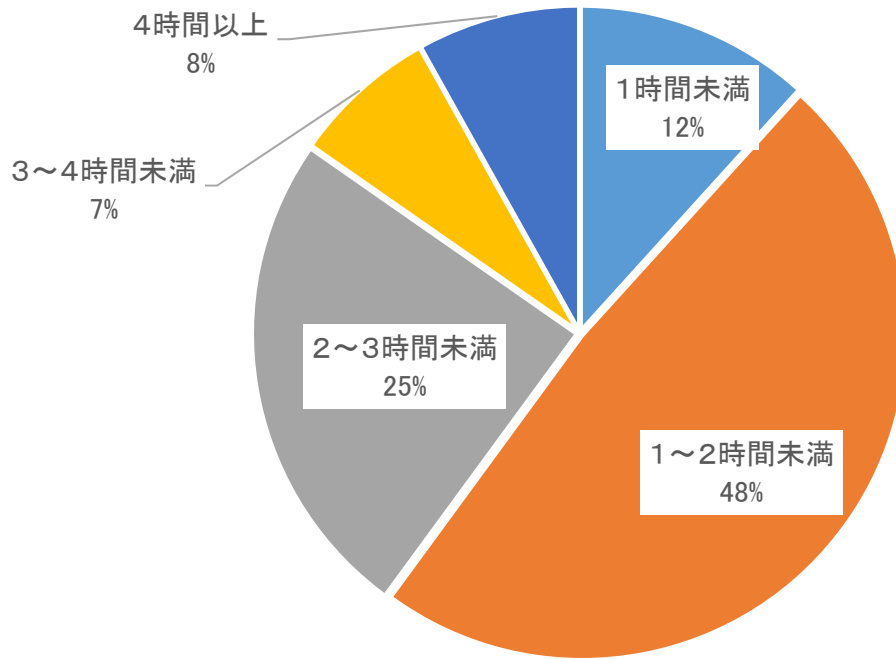
全体(N=555), 複数回答

習い事／曜日

全体(N=555),
複数回答

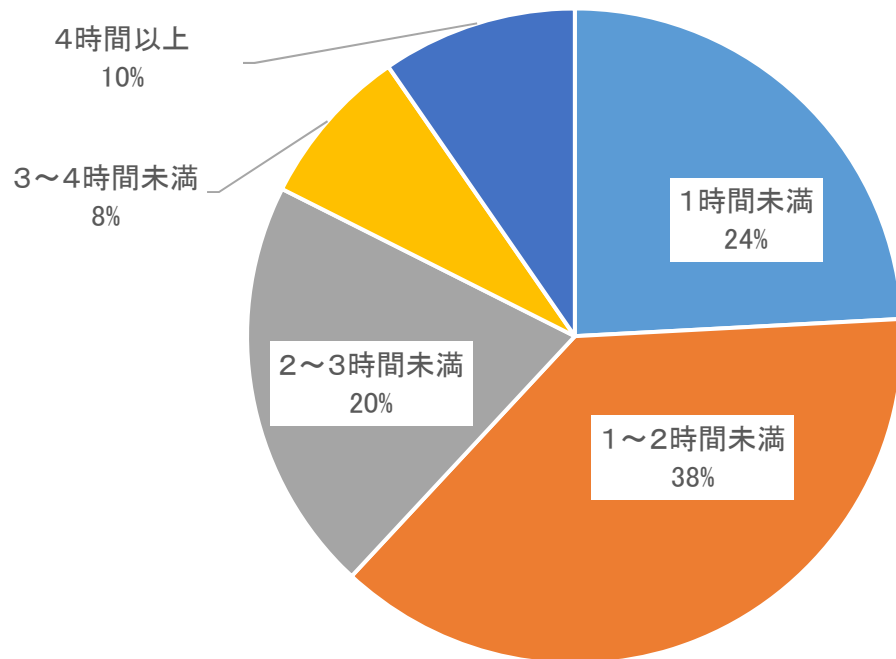


学校以外での学習時間（平日）



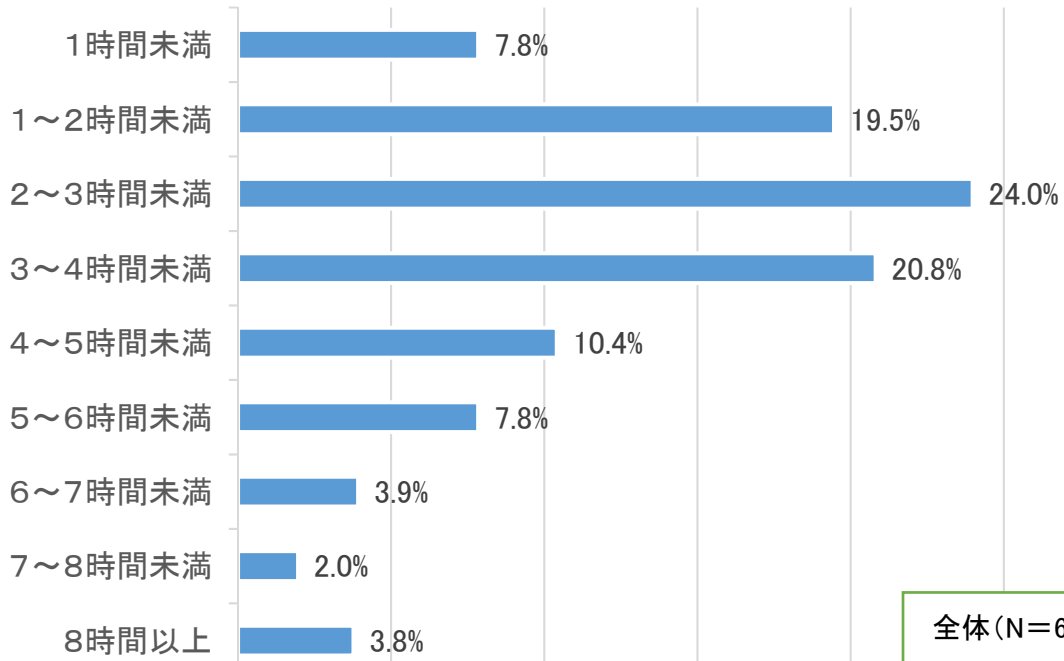
全体(N=666)

学校以外での学習時間（休日）

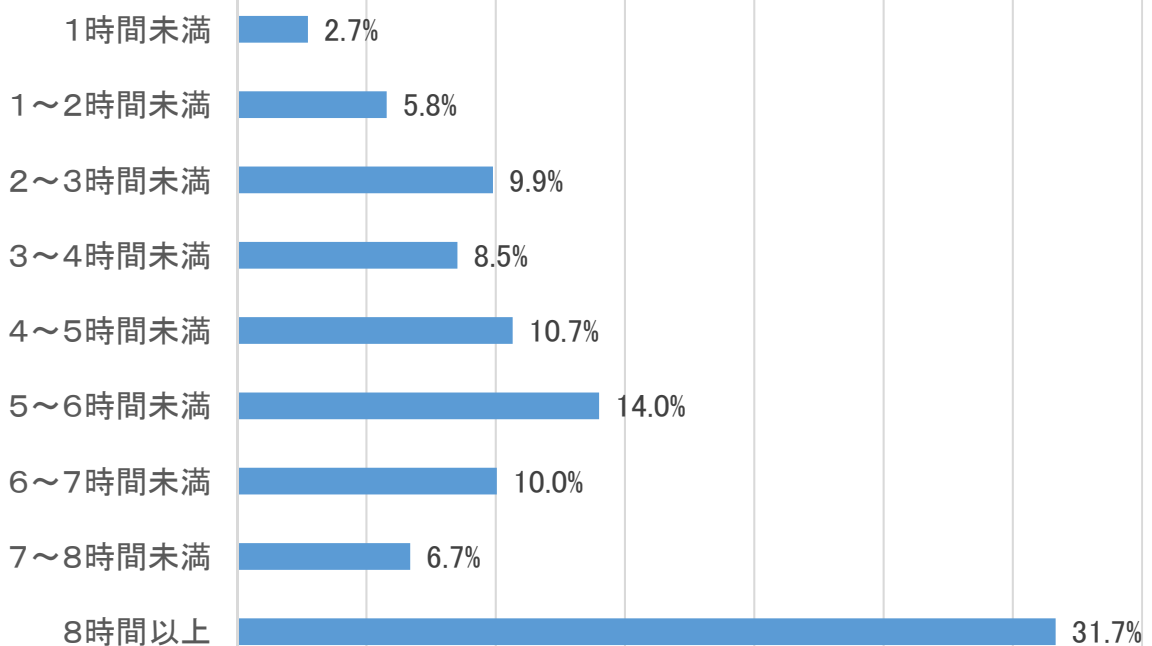


全体(N=654)

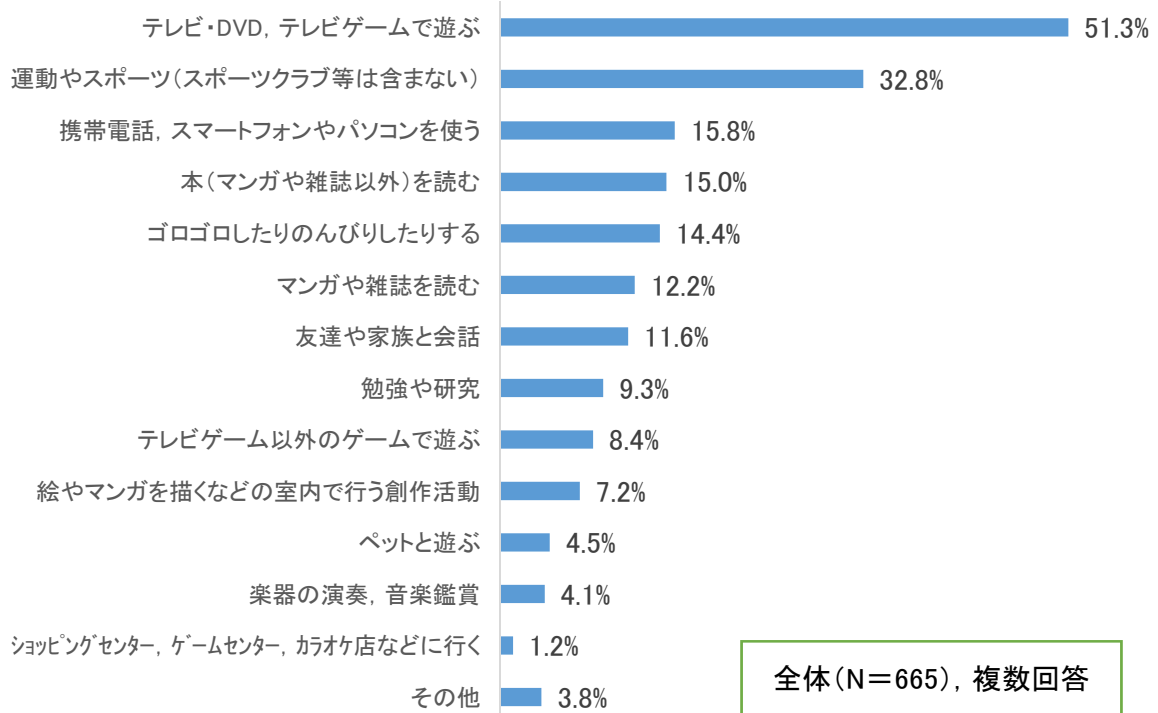
自由時間（平日）



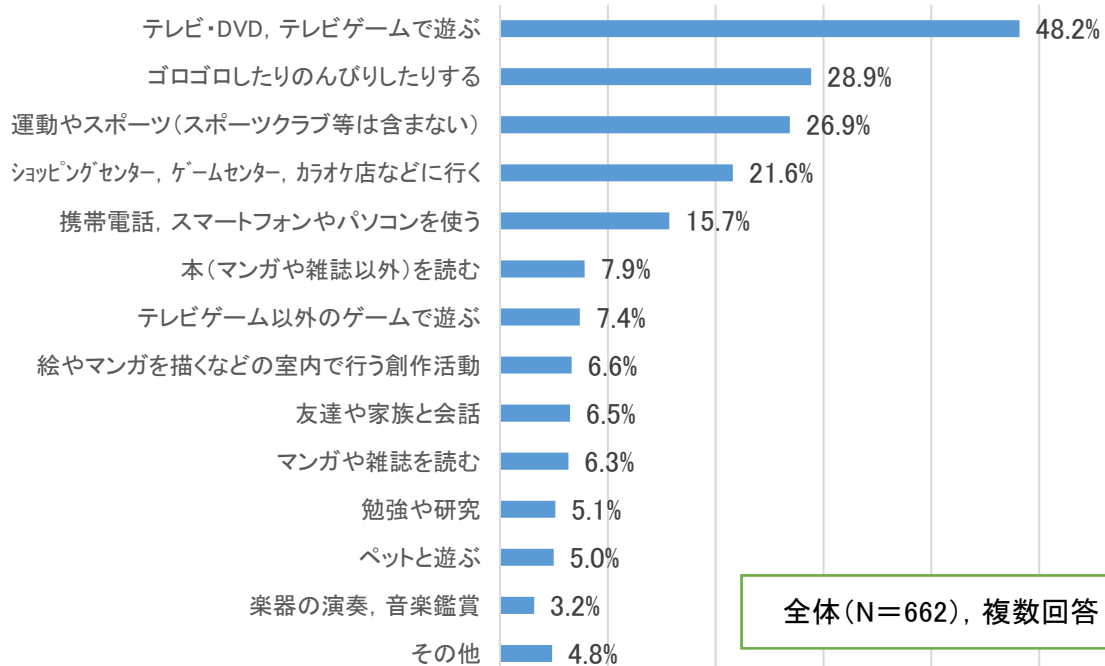
自由時間（休日）



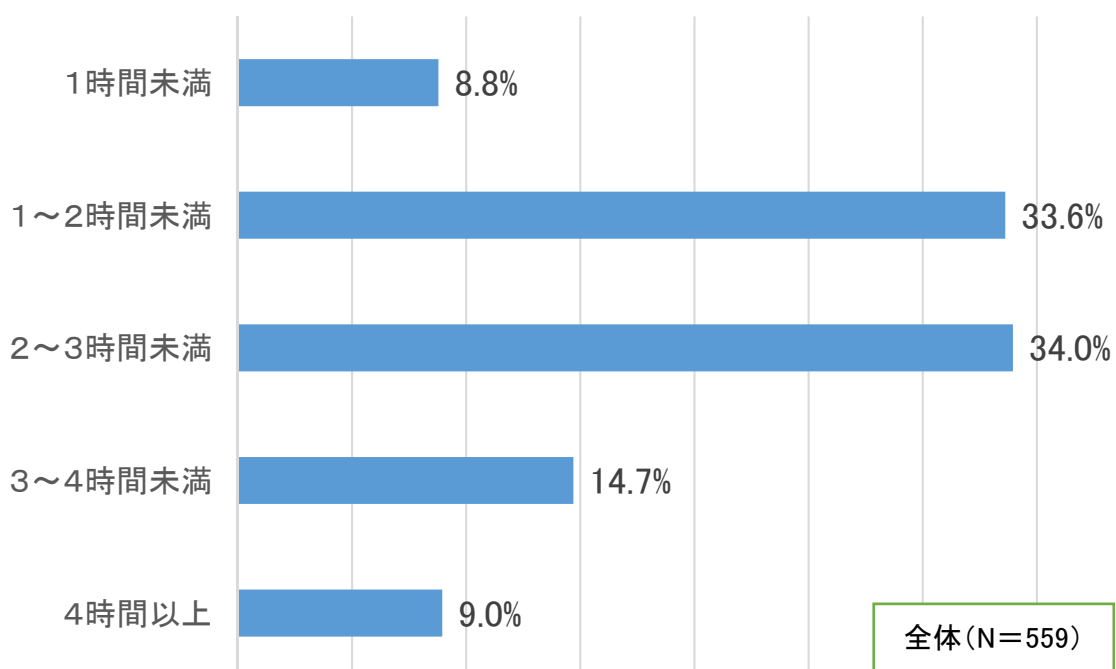
自由時間の過ごし方（平日）



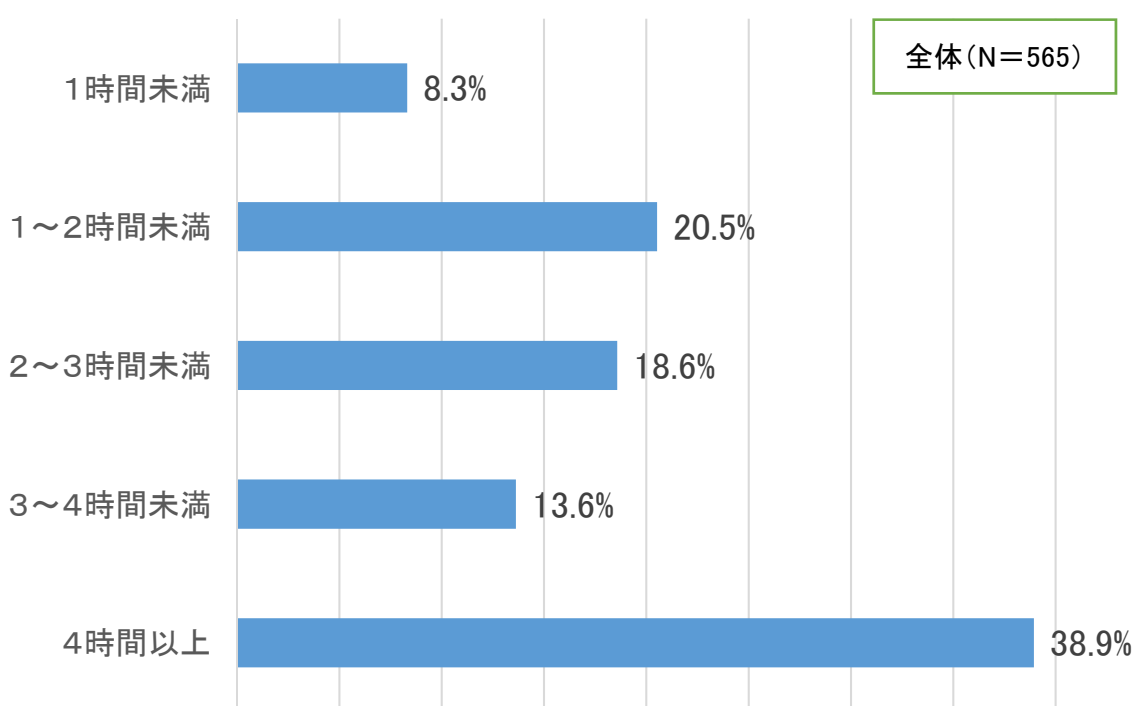
自由時間の過ごし方（休日）



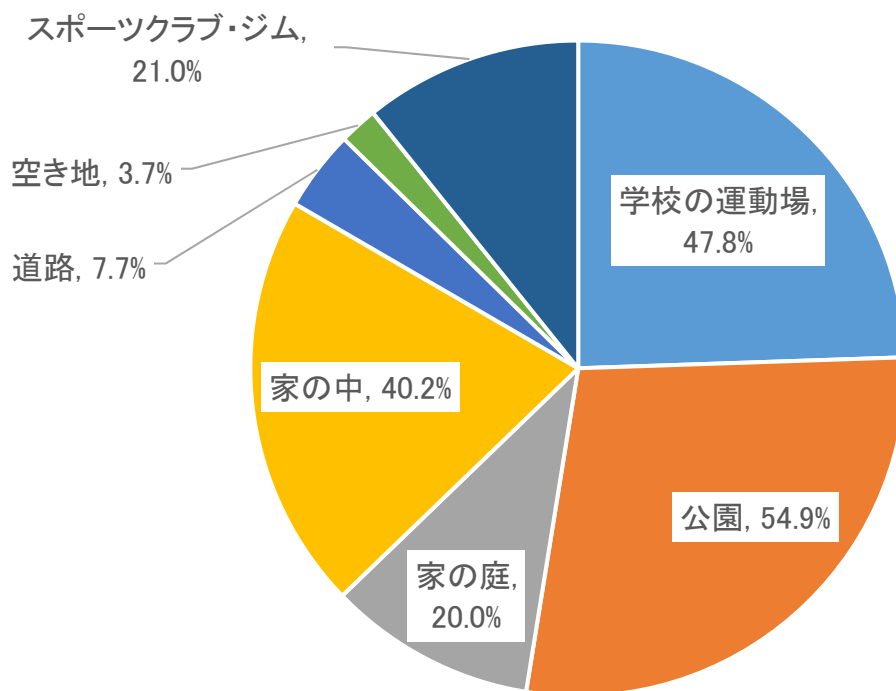
遊びや運動・スポーツをする時間（平日）



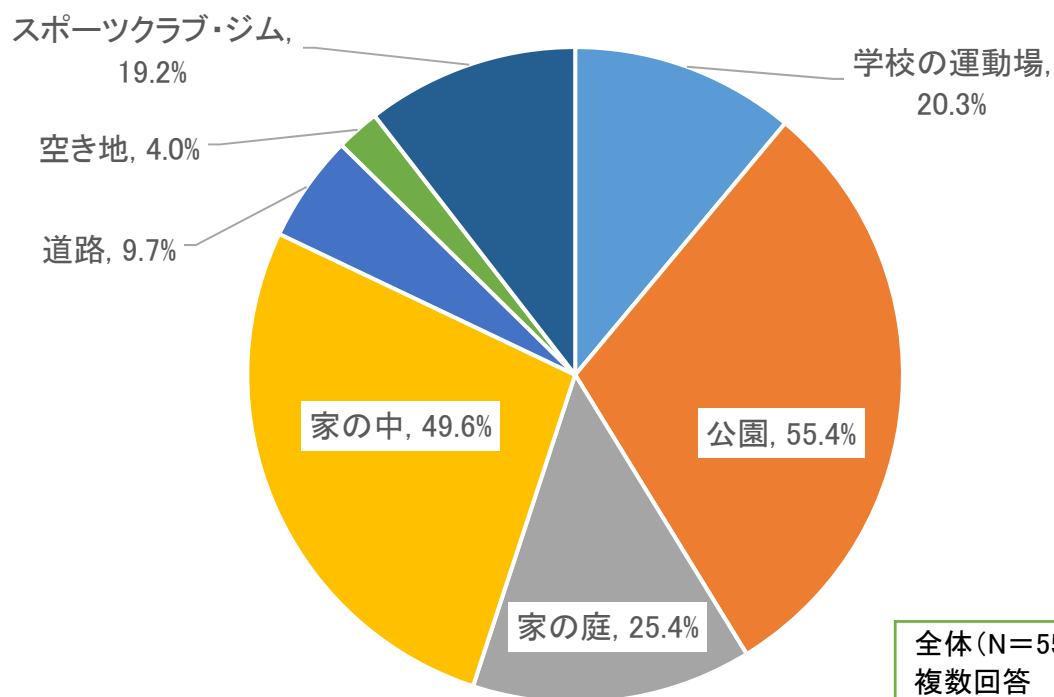
遊びや運動・スポーツをする時間（休日）



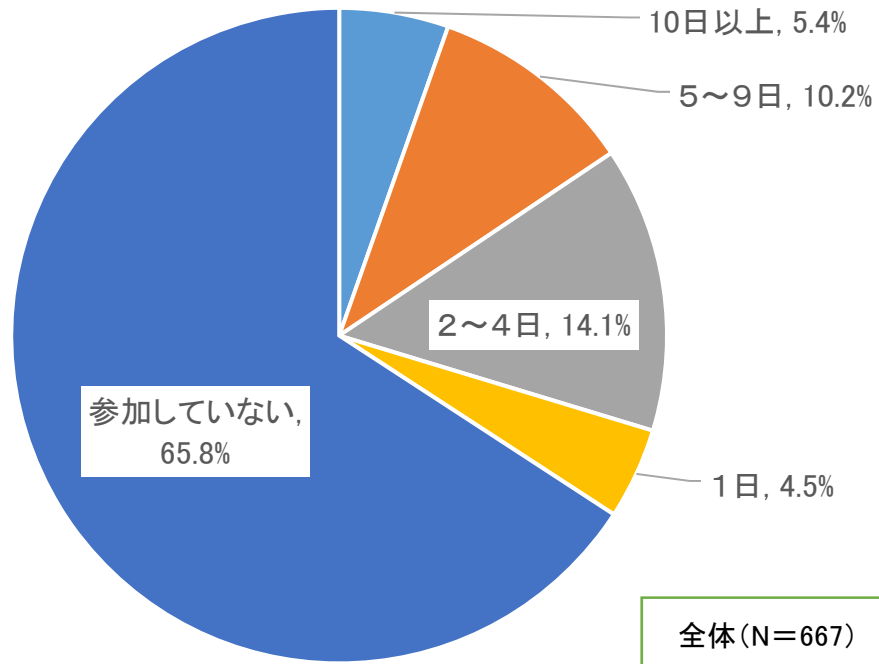
運動場所（平日）



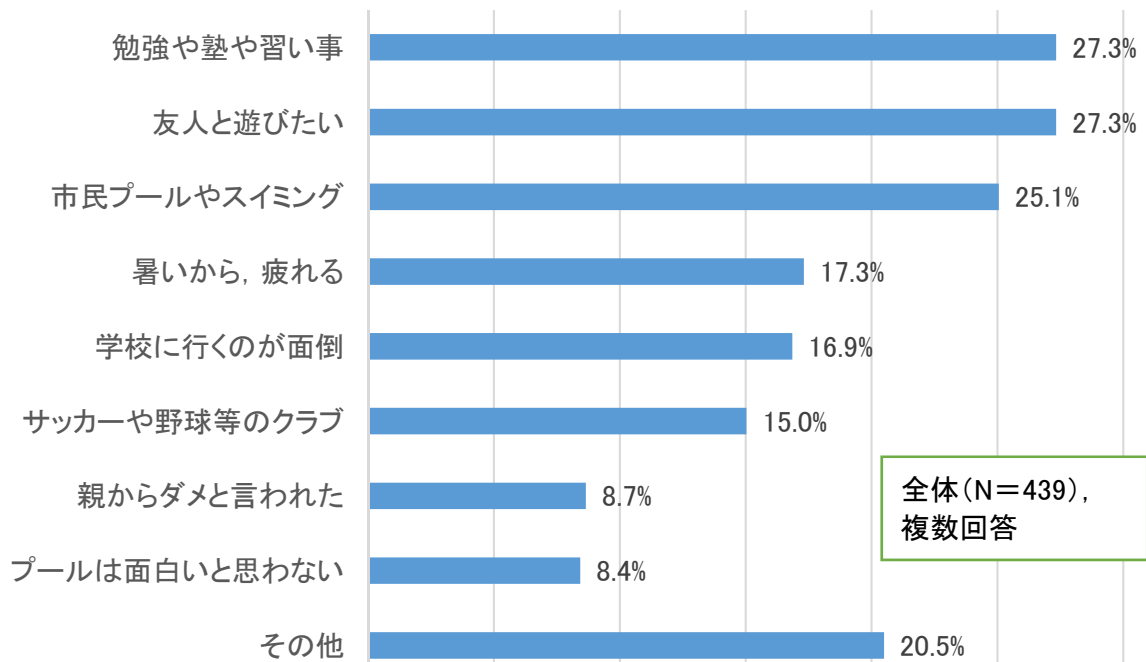
運動場所（休日）



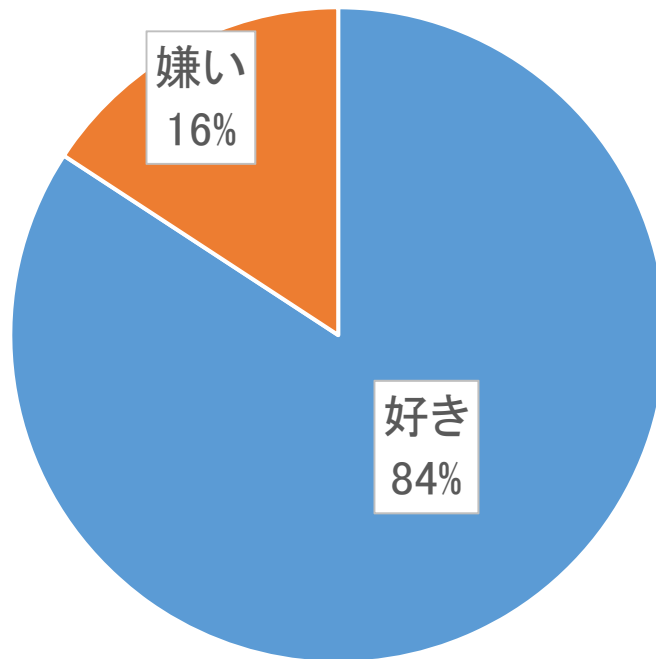
プール開放参加日数（H29）



プール開放不参加理由

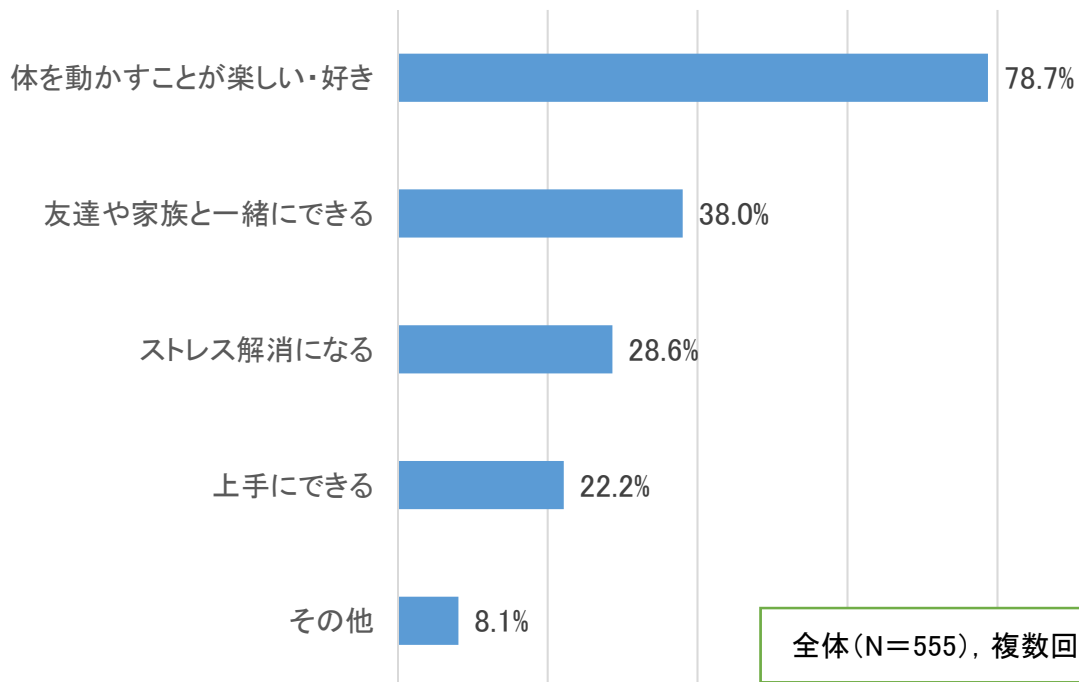


スポーツ・運動の好き、嫌い



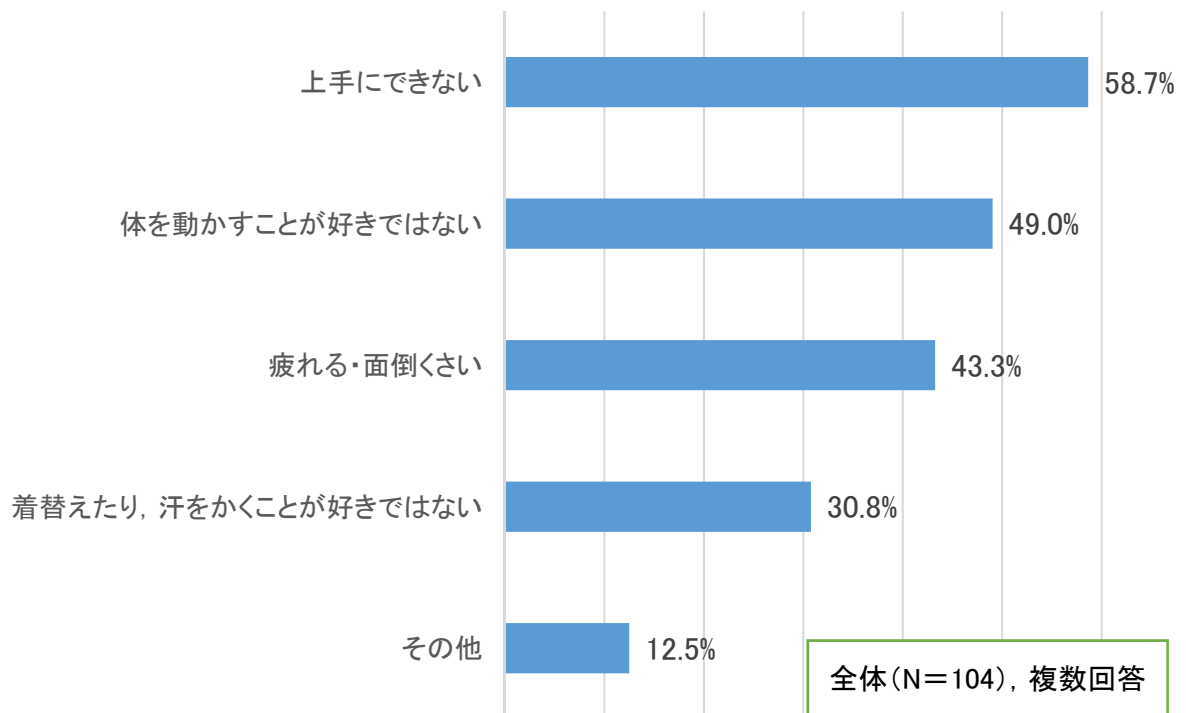
全体 (N=659)

スポーツ・運動が好きな理由

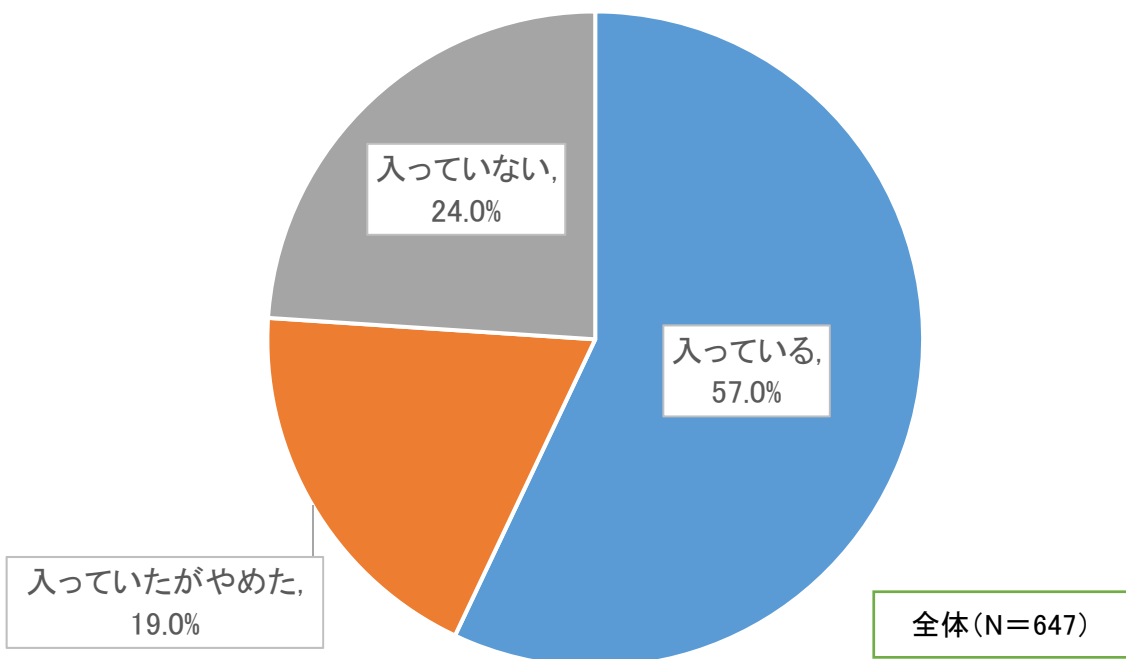


全体 (N=555), 複数回答

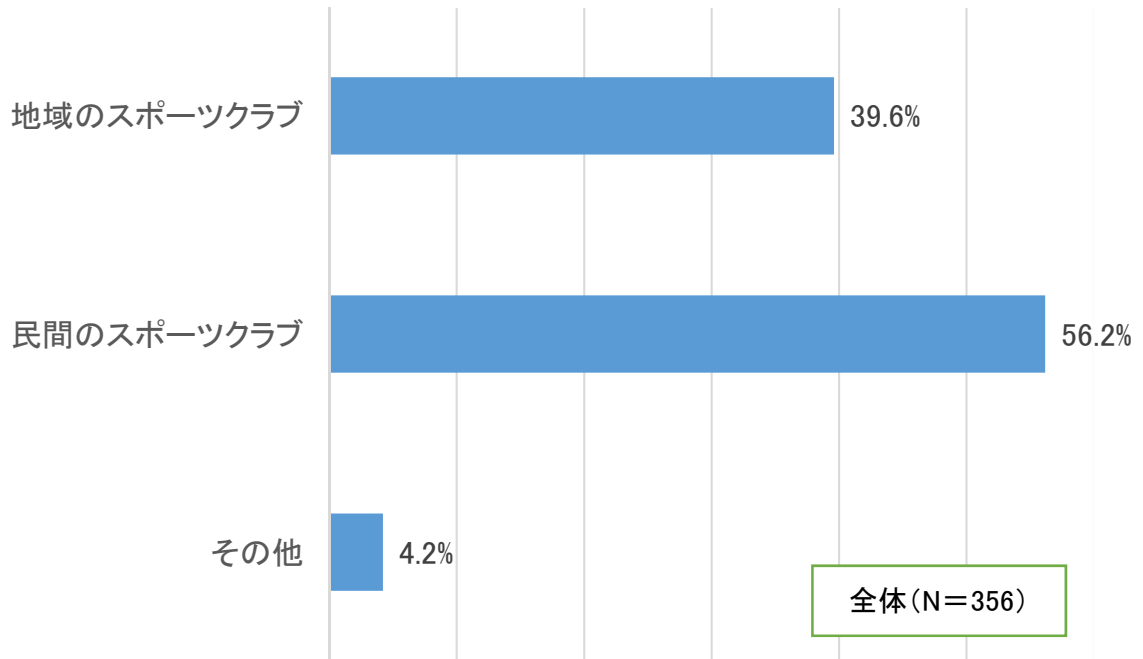
スポーツ・運動が嫌いな理由



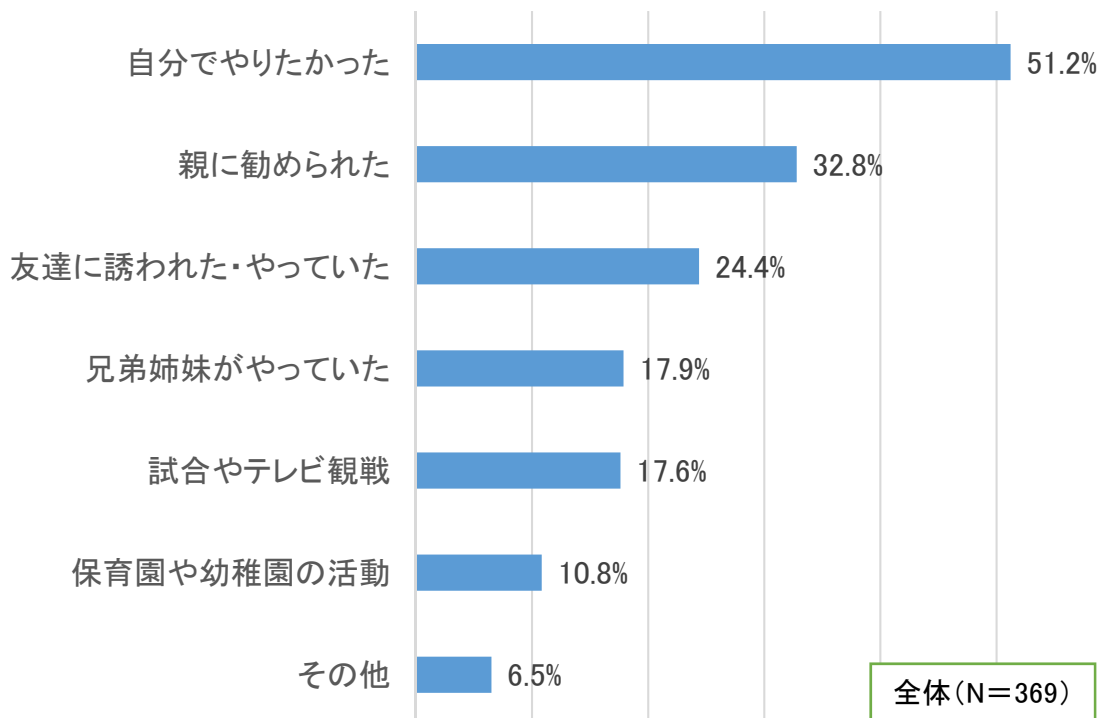
スポーツクラブの所属状況



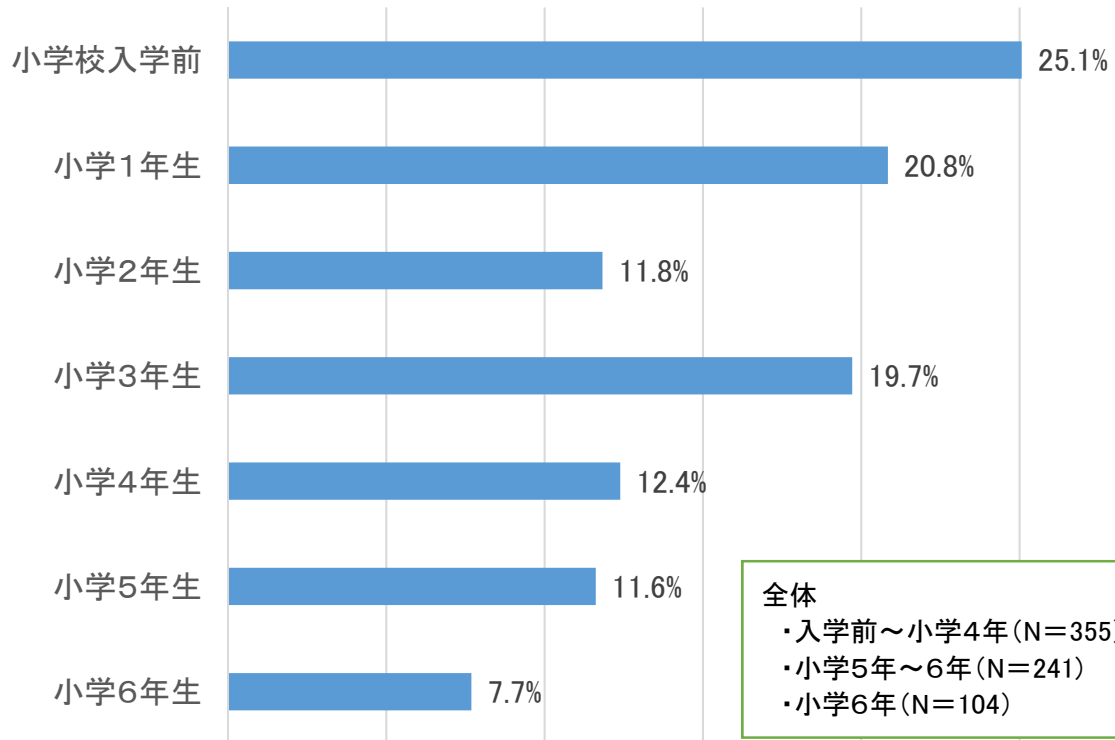
通っている場所



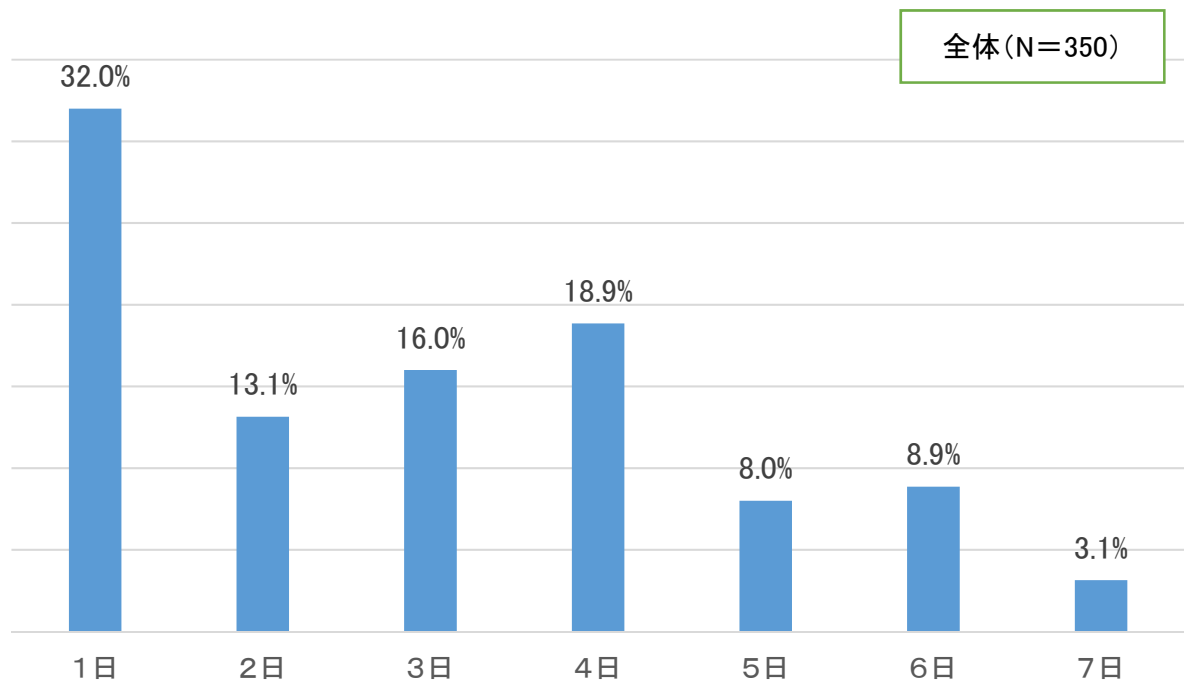
はじめたきっかけ



加入時期

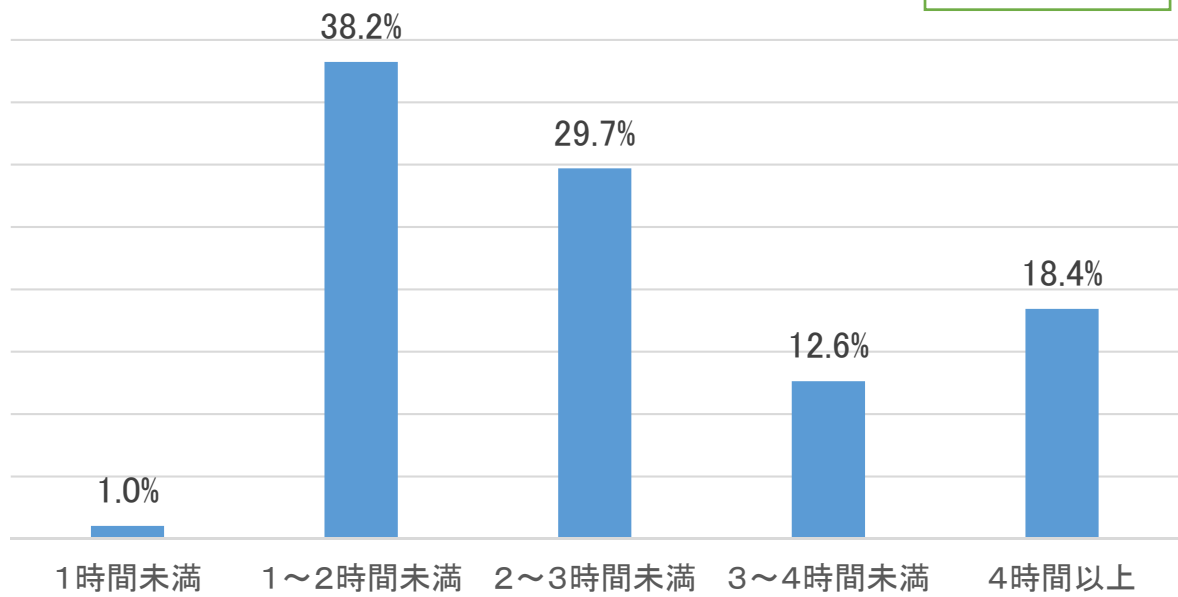


週あたりの練習日数



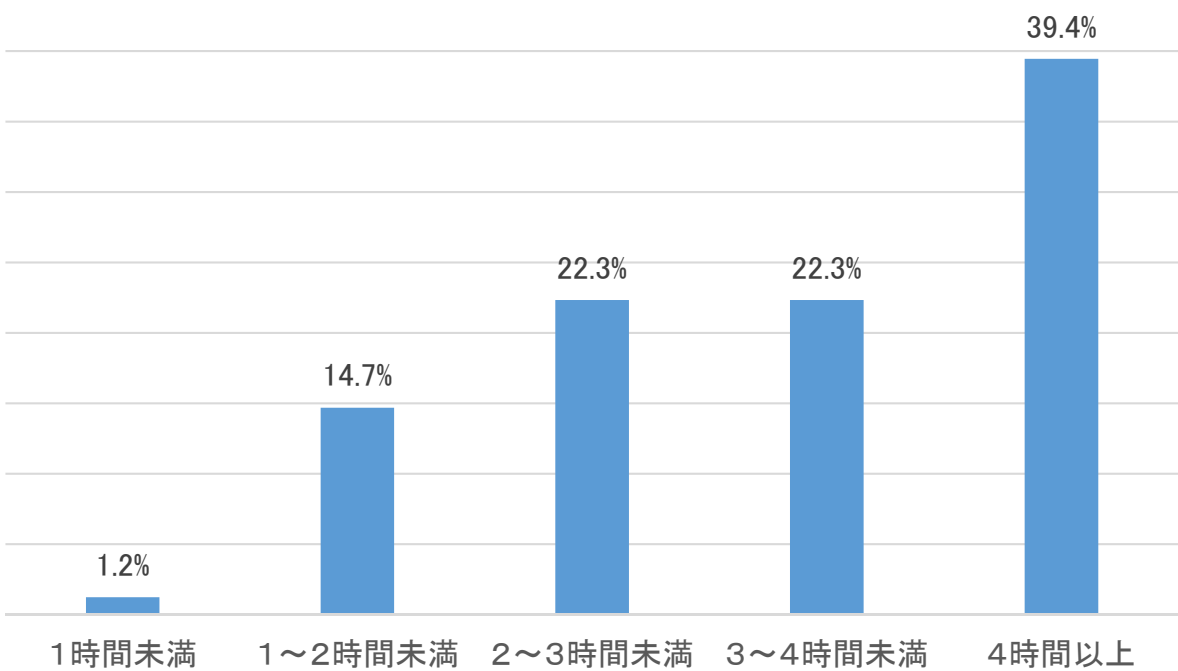
練習時間（平日）

全体(N=293)



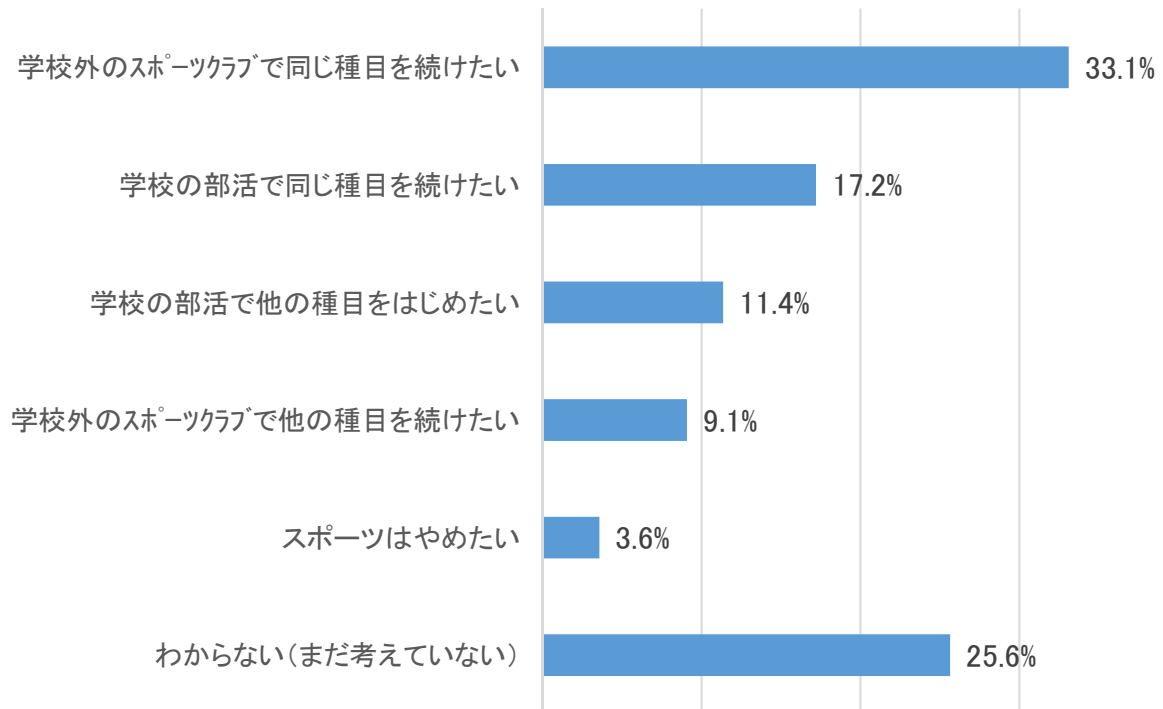
練習時間（土日）

全体(N=327)



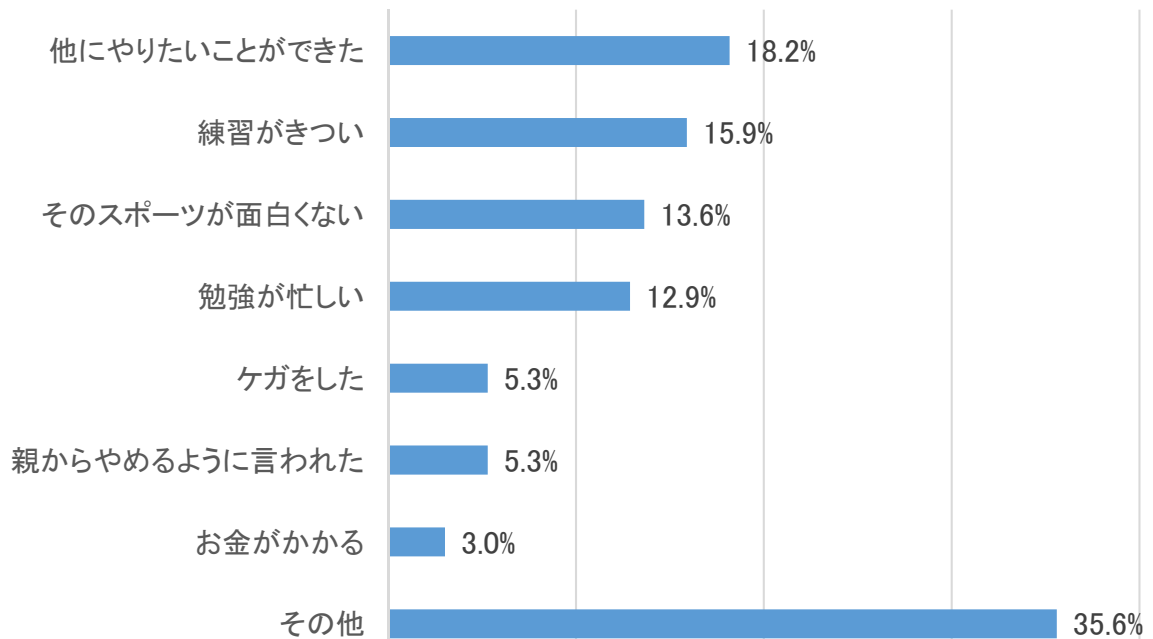
今後の継続意思

全体(N=308)

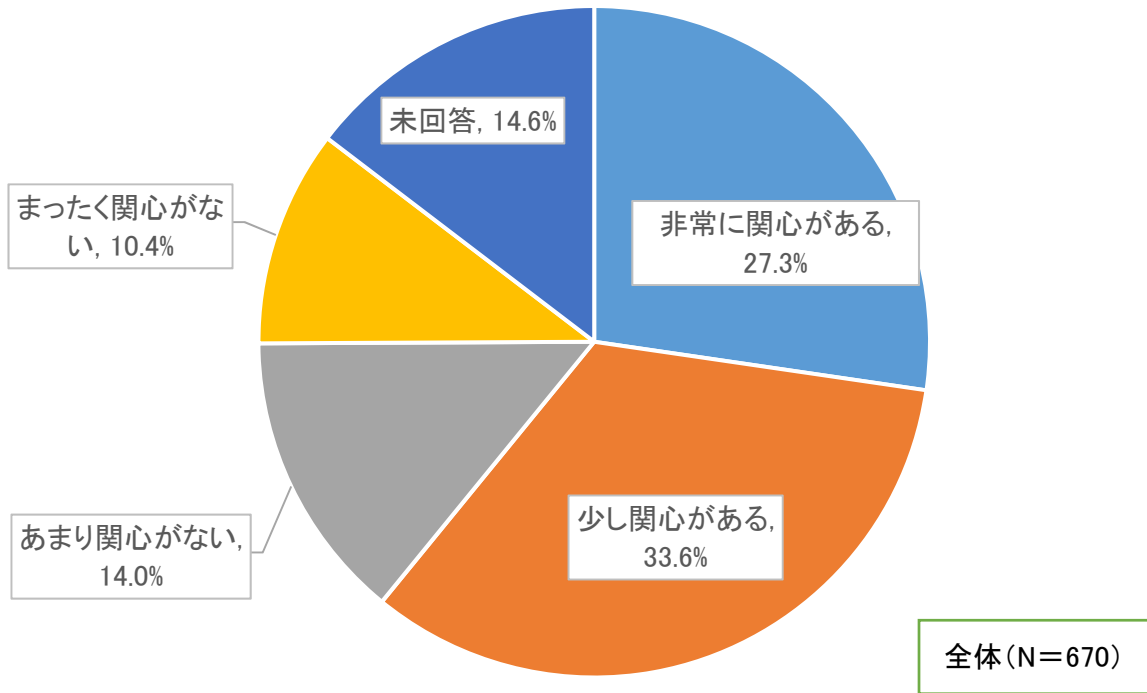


辞めた理由

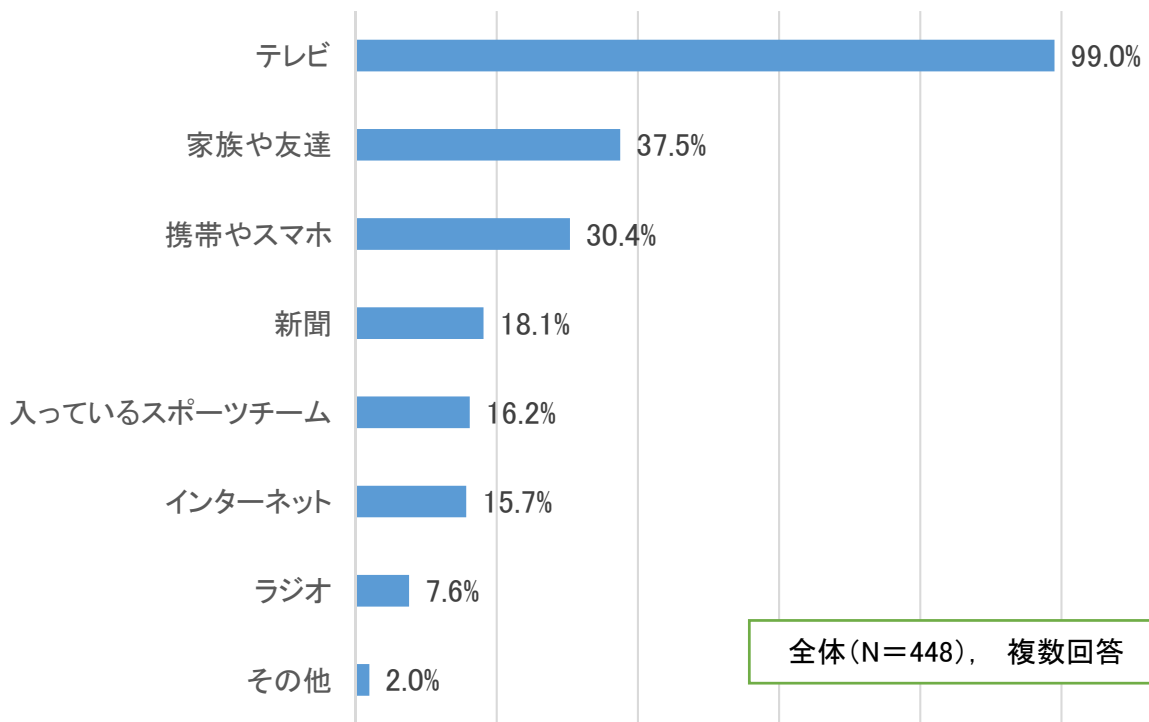
全体(N=132),
複数回答



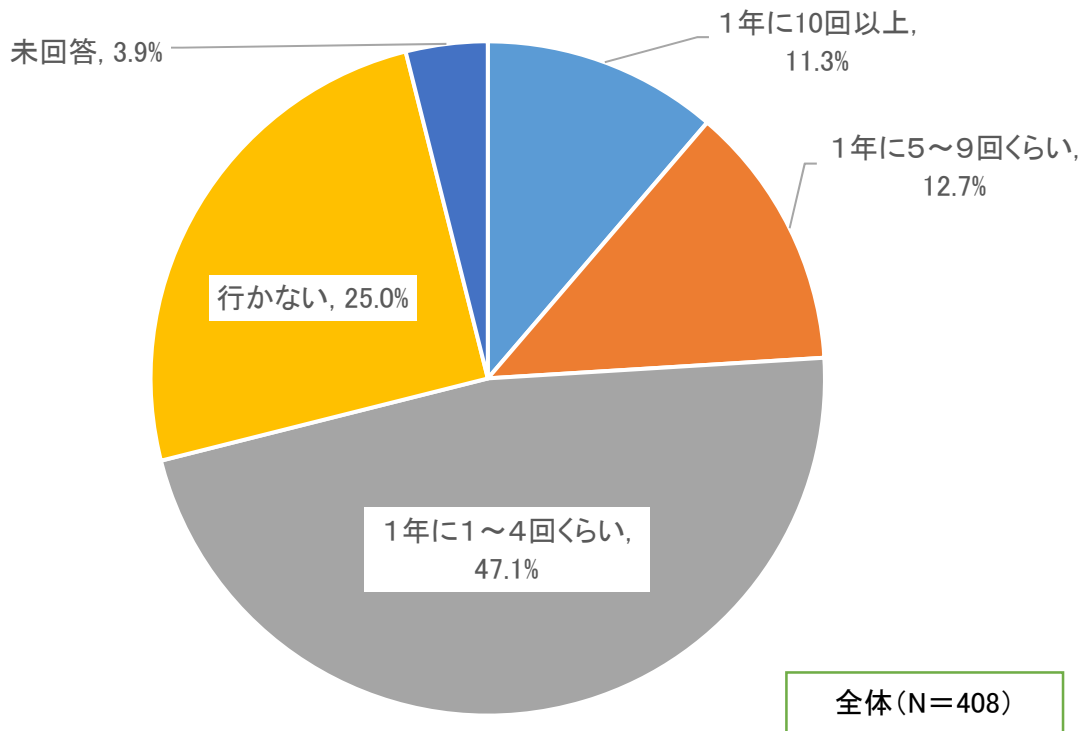
スポーツを見ることへの関心



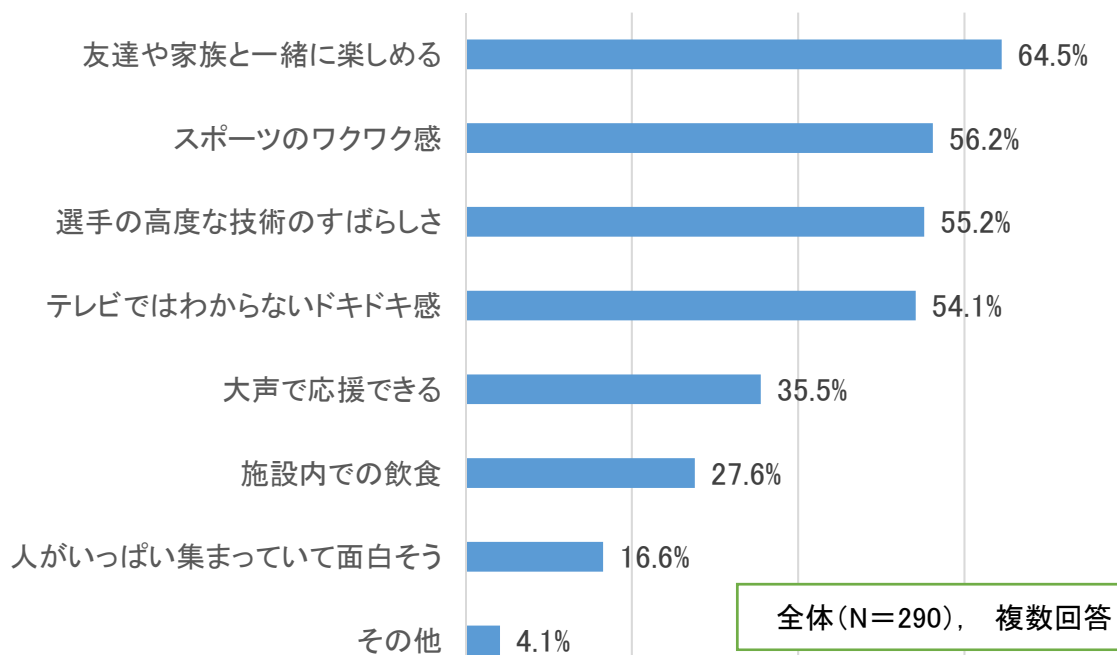
スポーツに関する情報収集方法



スタジアムや競技場での観戦頻度



スタジアムや競技場の魅力



スポーツチーム

		4年生		5年生		6年生	
		知っている	応援	知っている	応援	知っている	応援
福岡ソフトバンクホークス	(野球)	182	124	209	147	203	141
アビスパ福岡	(サッカー)	158	50	175	78	173	49
ライジングゼファーフクオカ	(バスケットボール)	44	18	55	22	49	18
福岡 J・アンクラス	(女子サッカー)	29	12	32	11	13	0
コカ・コーラウエストレッドスパークス	(ラグビー)	32	9	35	8	23	2
九州電力キューデンヴォルテクス	(ラグビー)	23	11	26	9	13	6
宗像サニックスブルース	(ラグビー)	13	4	19	6	14	1
フレッサ福岡	(ハンドボール)	17	3	23	2	11	1
ひとつもない		14	36	21	37	3	22

平成 30 年度

子ども・若者のスポーツライフ調査

【中学生】

（概要版）

【調査概要】

1. 調査の目的

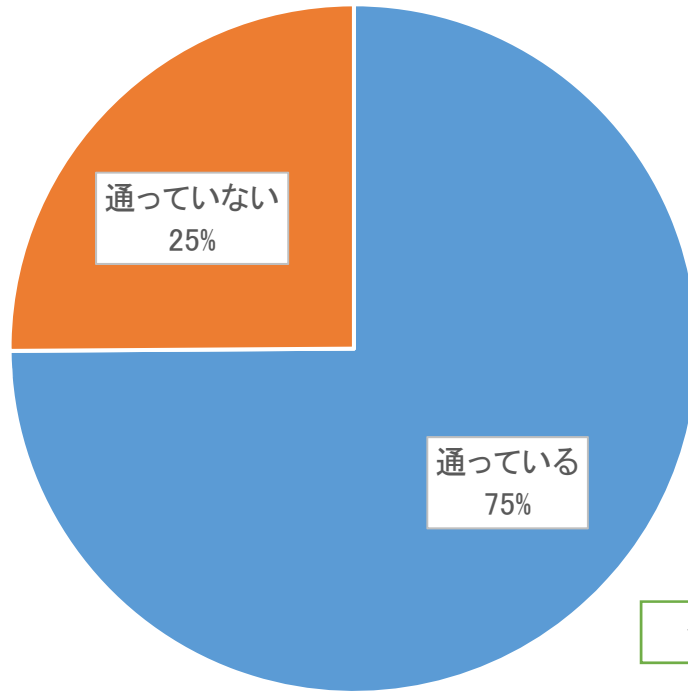
中学生の日常生活やスポーツとの関わり合いの実態を把握し、今後のスポーツ振興やスポーツ施策を検討する基礎資料とする。

2. 調査内容

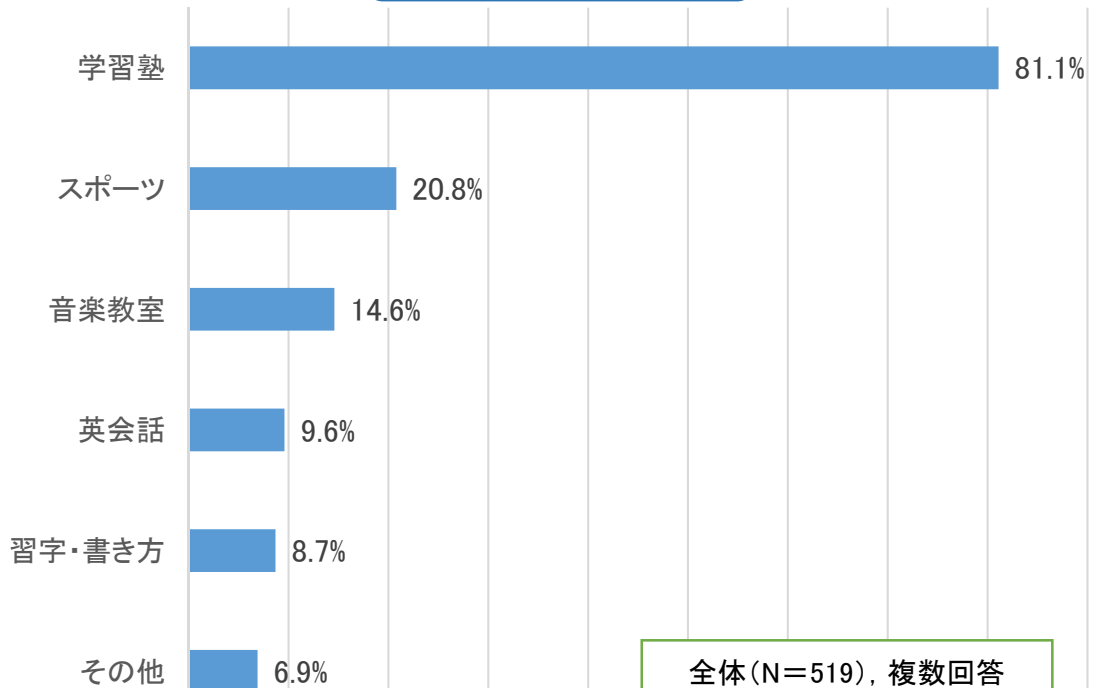
- 対象者 市内中学校 7 校（各区 1 校）の 1～3 年生の任意の 1 学級の生徒
- 調査方法 文書
- 調査期間 平成 30 年 10 月～11 月
- 回答数

学年	性別			計
	男	女	未回答等	
1 年生	113	112	12	237
2 年生	118	103	9	230
3 年生	105	114	14	233
	336	329	35	700

学習塾や習い事

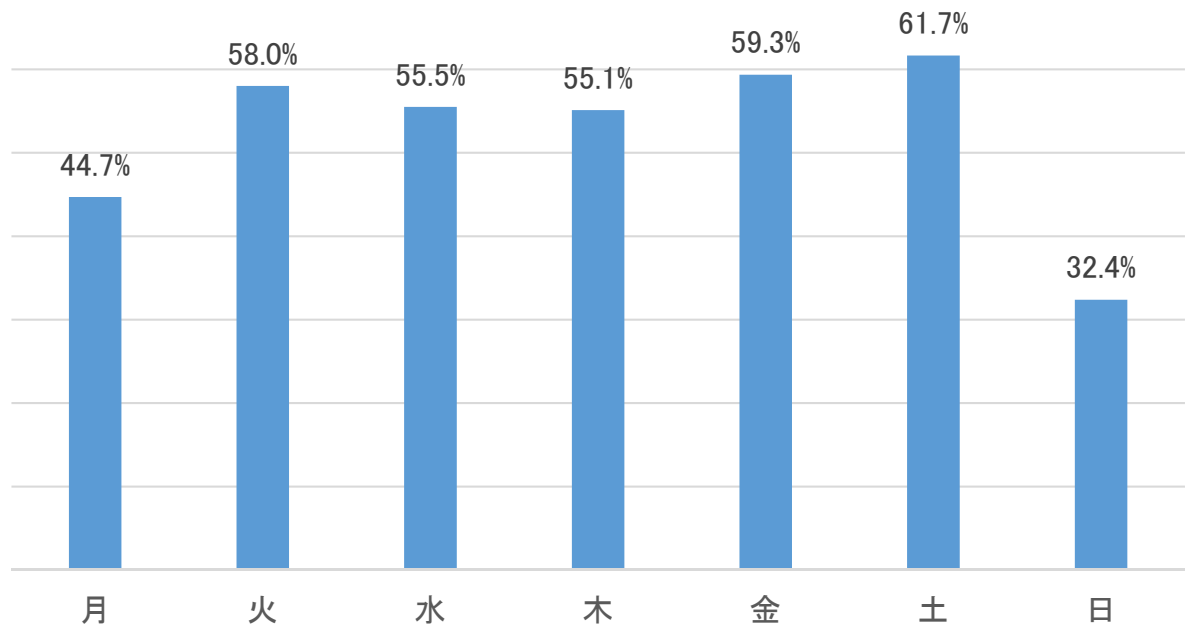


習い事／詳細

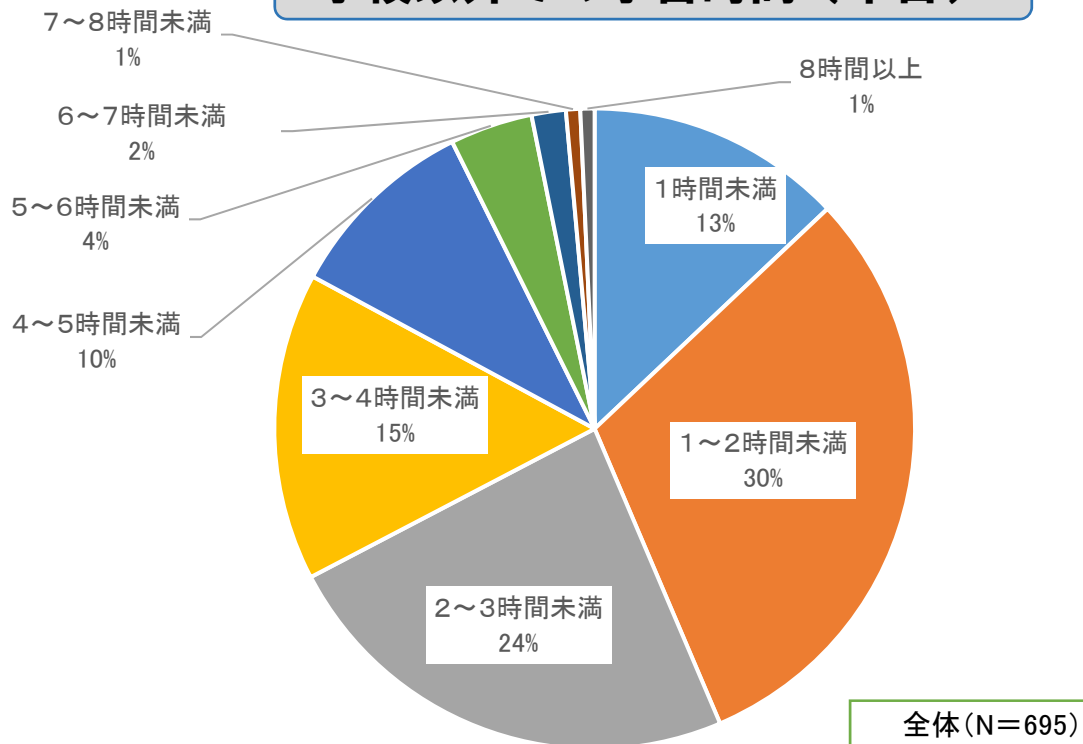


習い事／曜日

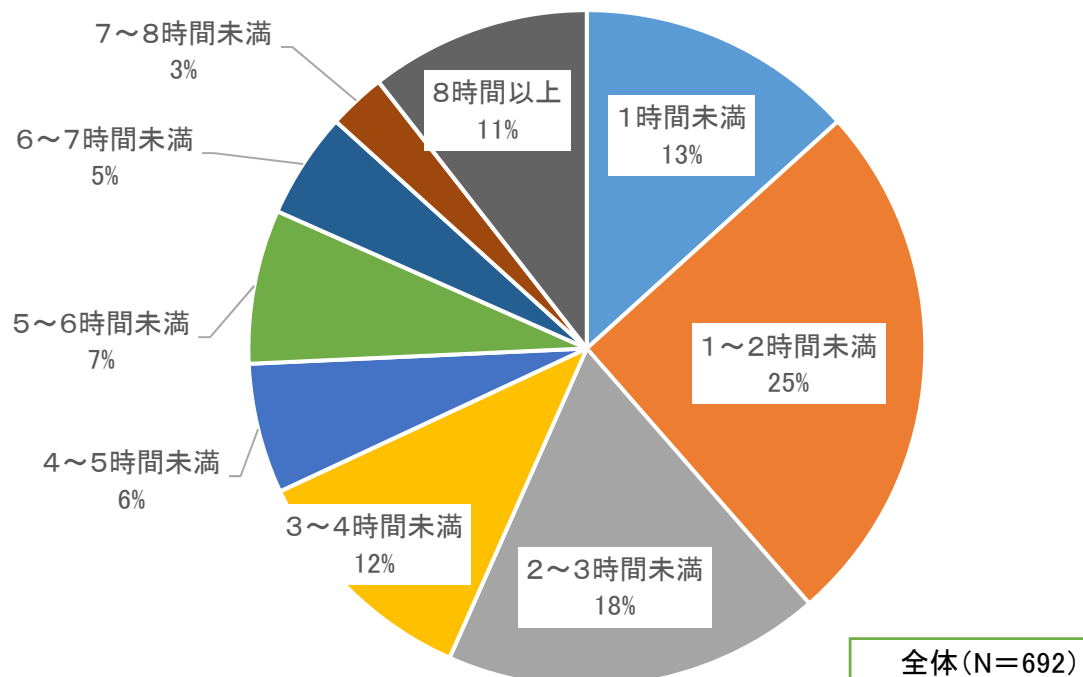
全体(N=519), 複数回答



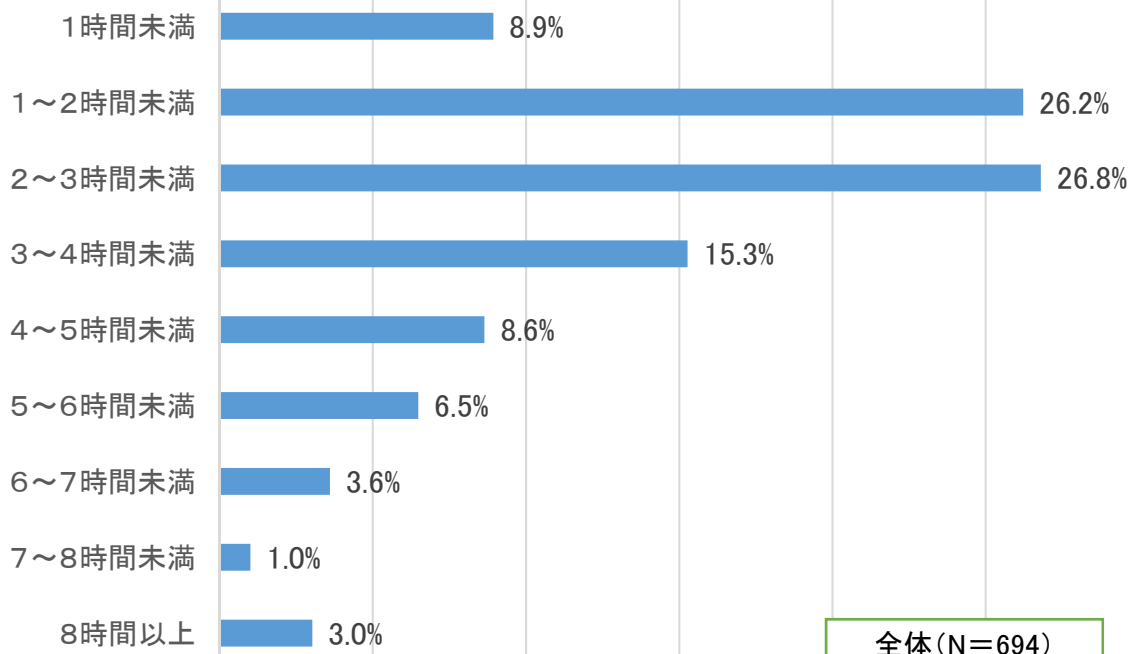
学校以外での学習時間（平日）



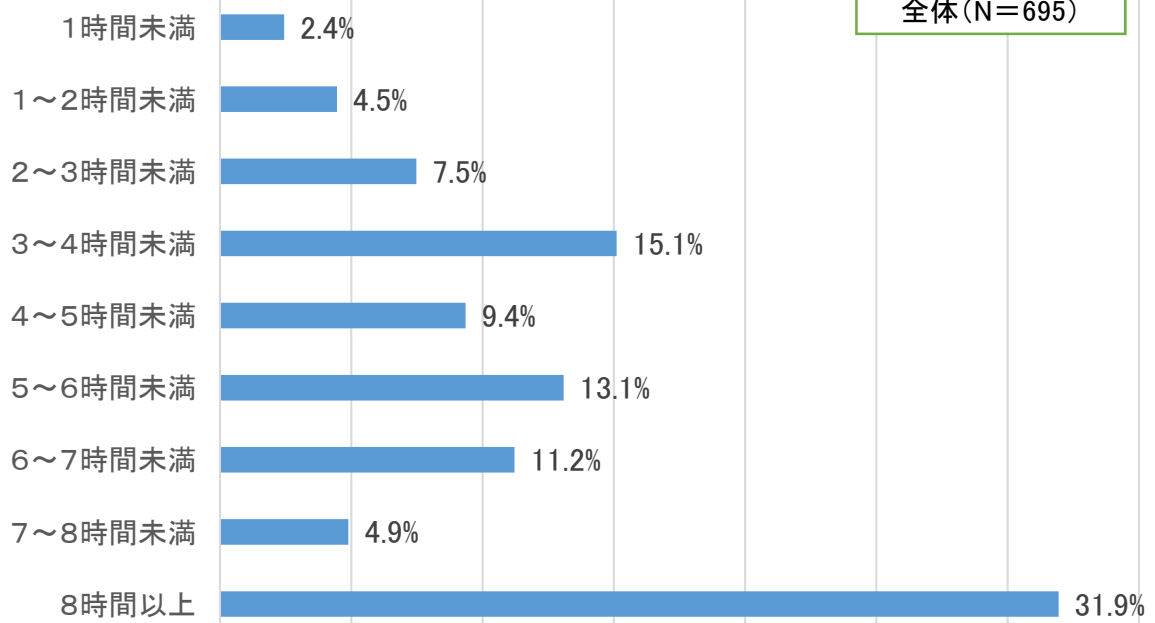
学校以外での学習時間（休日）



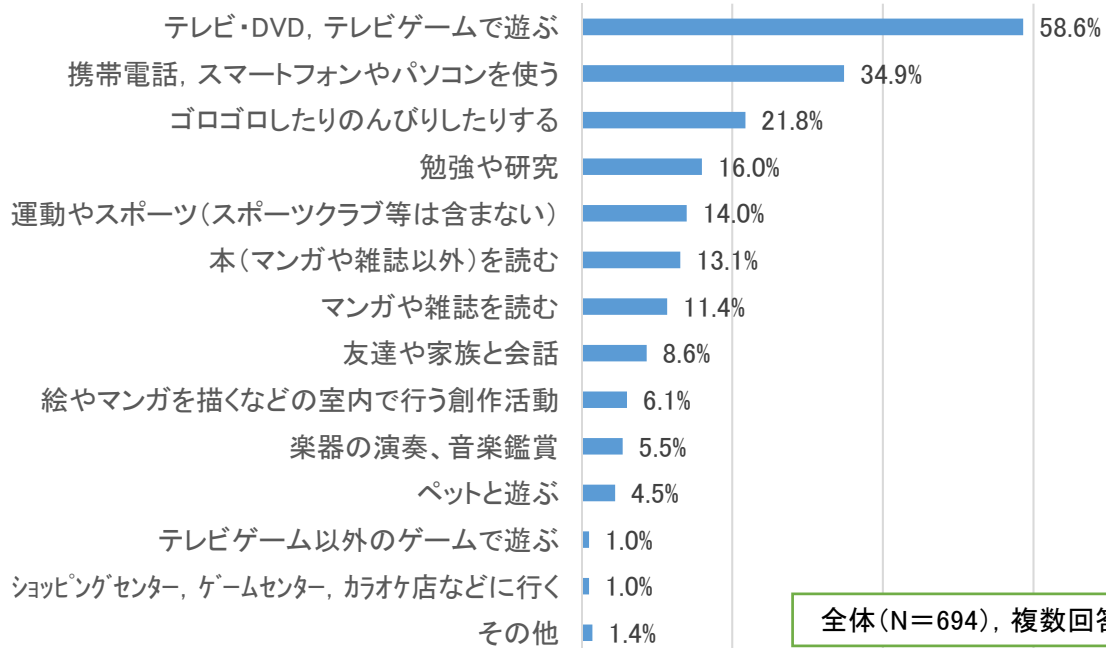
自由時間（平日）



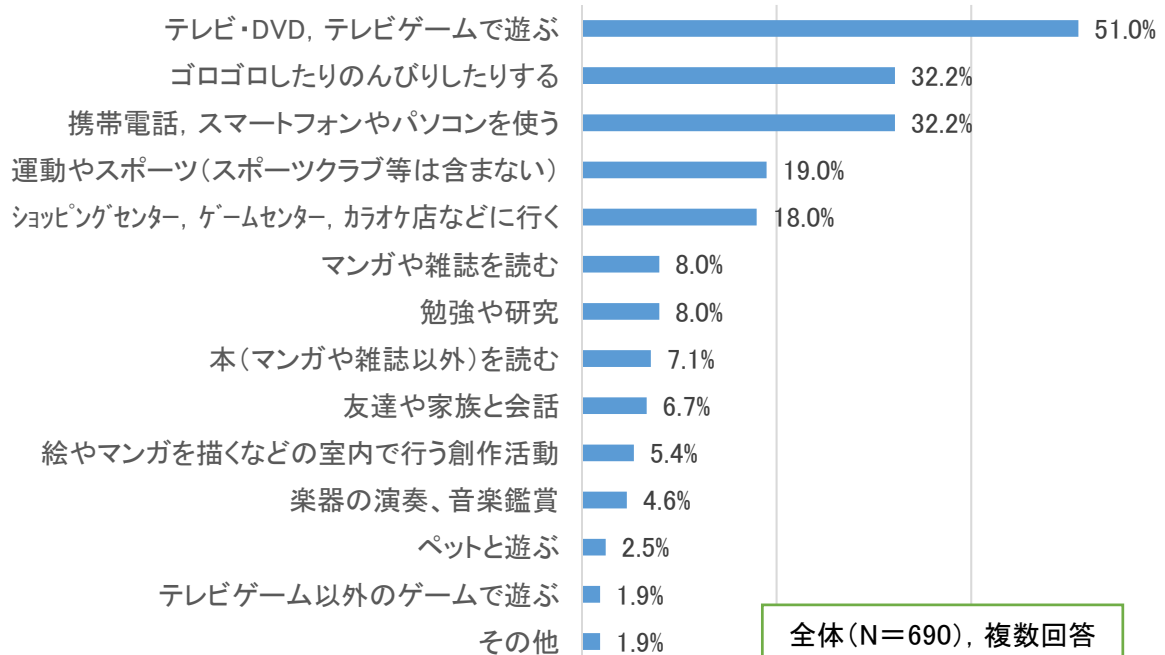
自由時間（休日）



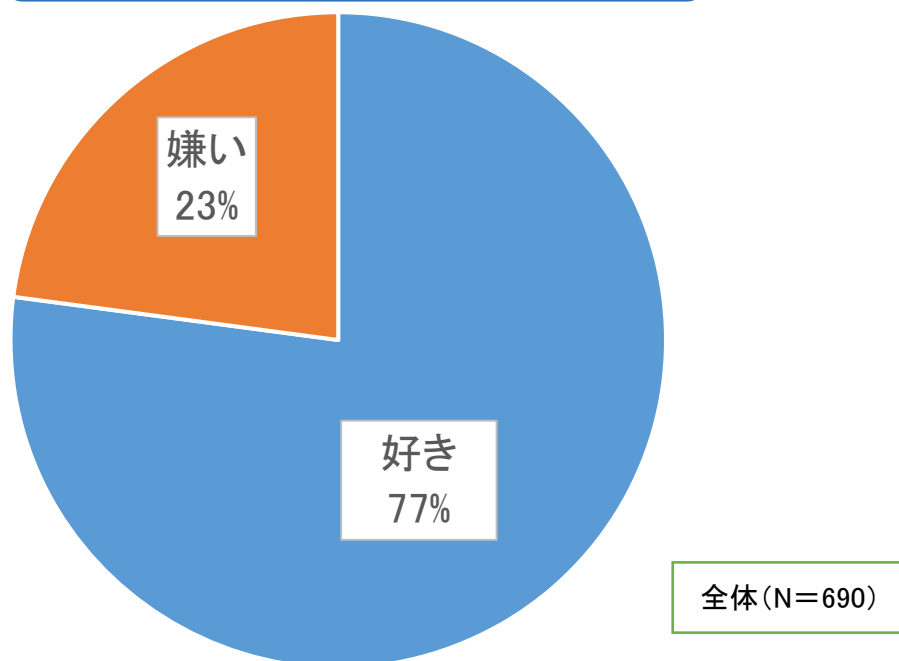
自由時間の過ごし方（平日）



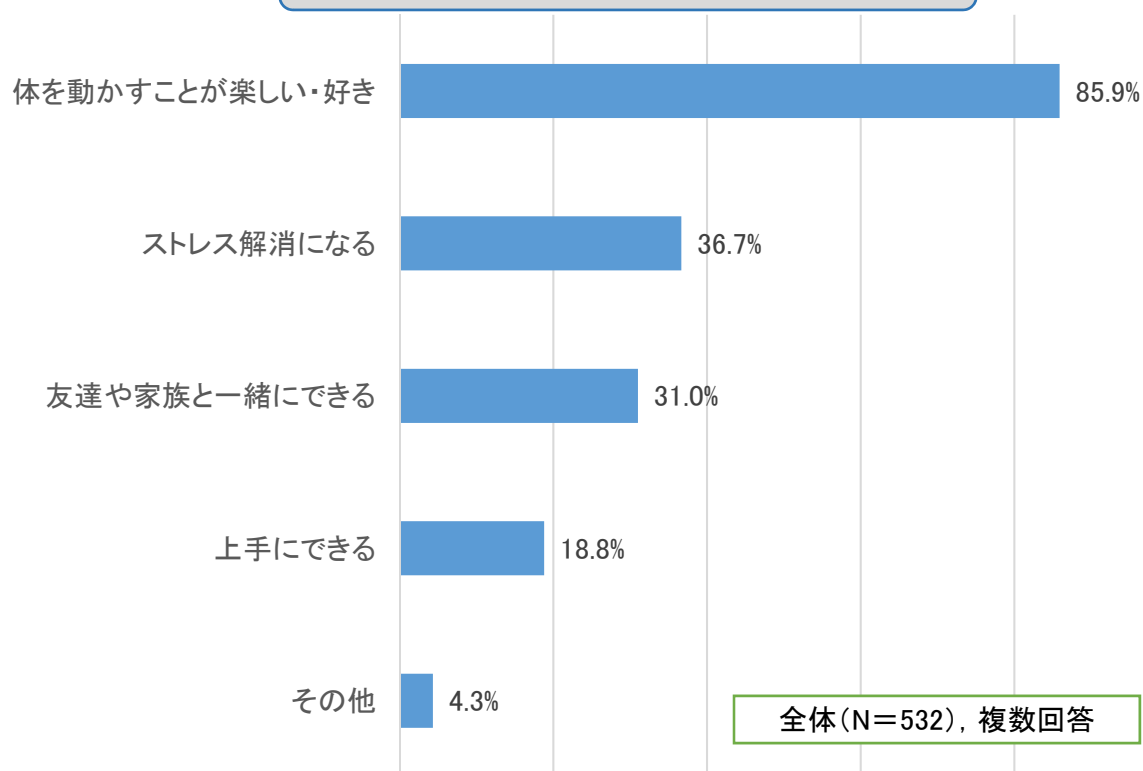
自由時間の過ごし方（休日）



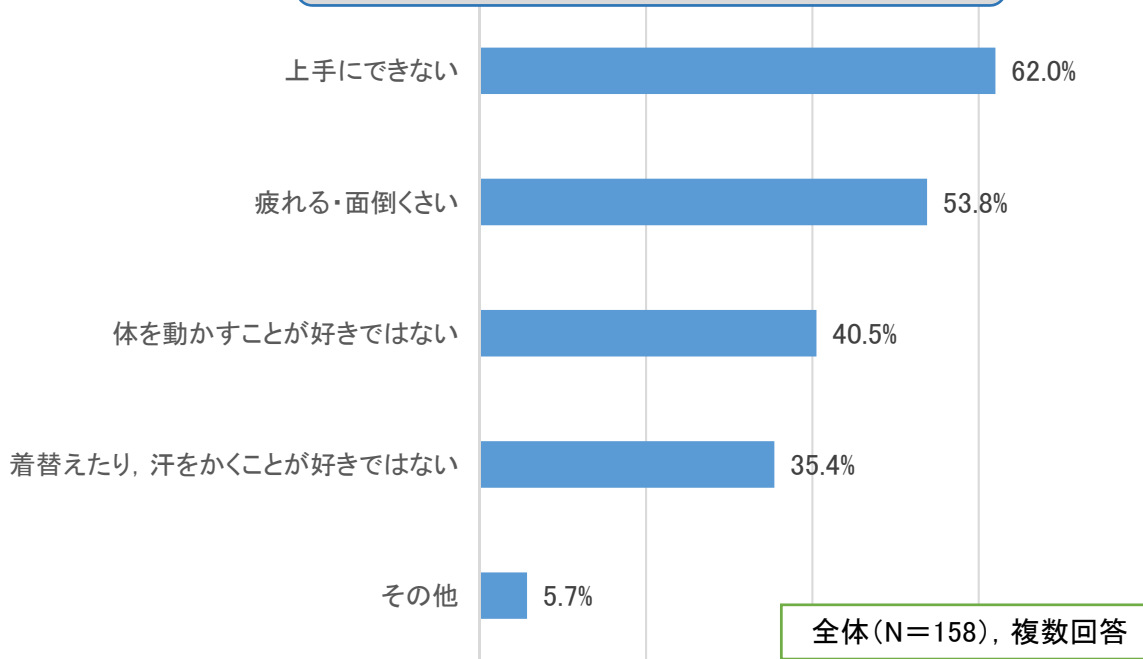
スポーツ・運動の好き，嫌い



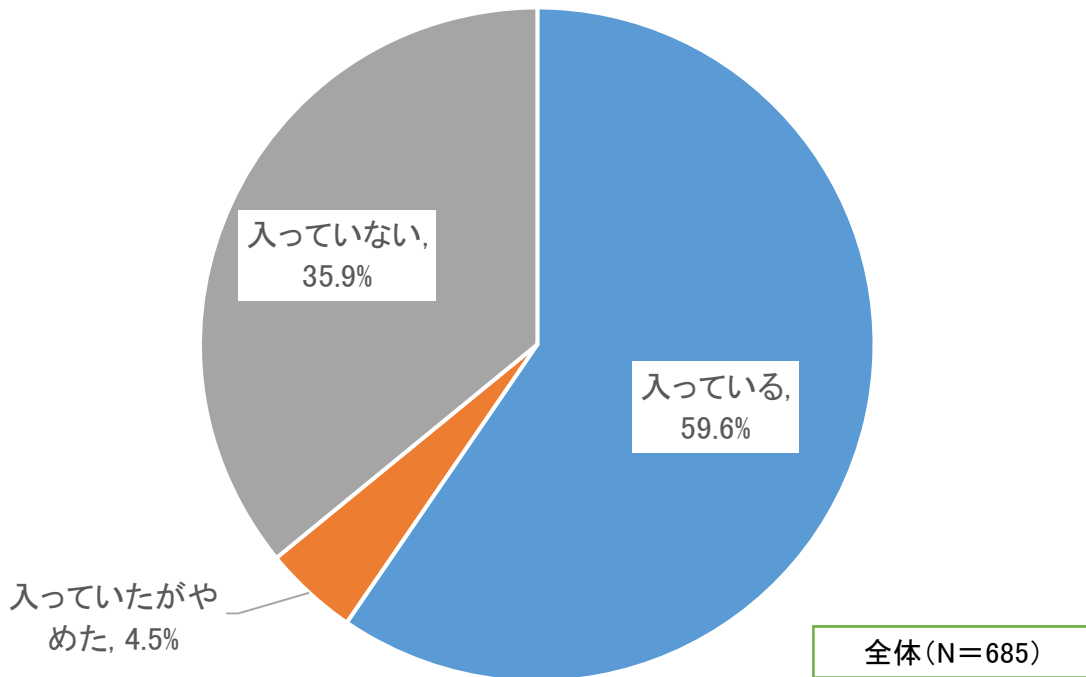
スポーツ・運動が好きな理由



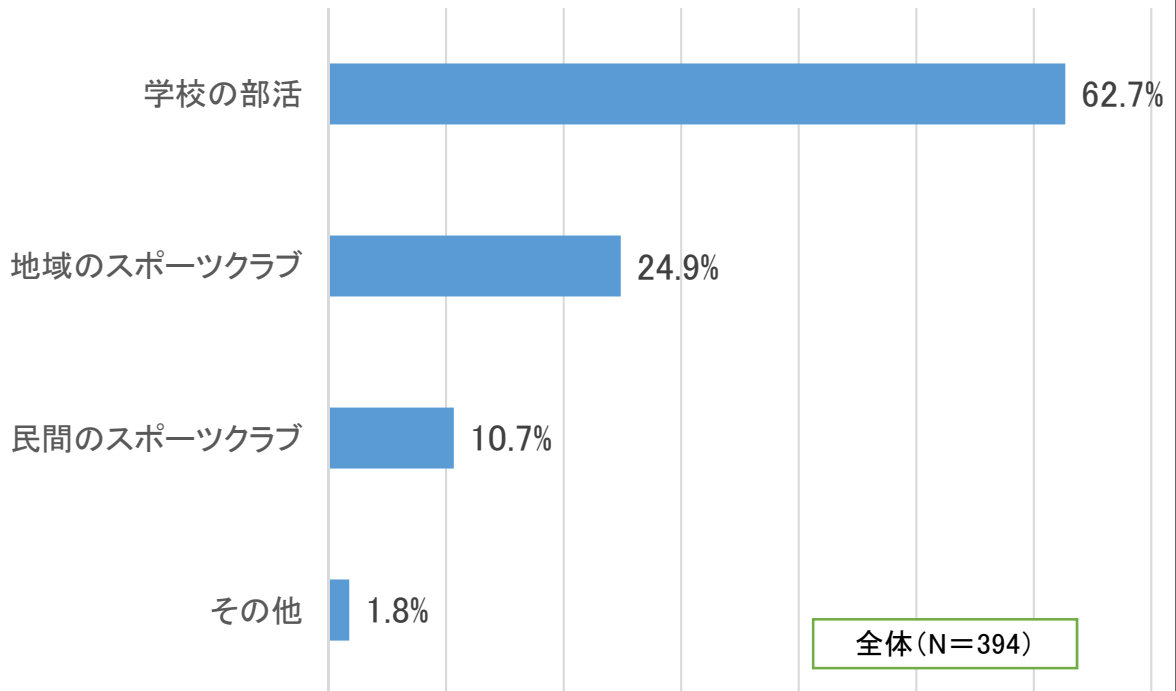
スポーツ・運動が嫌いな理由



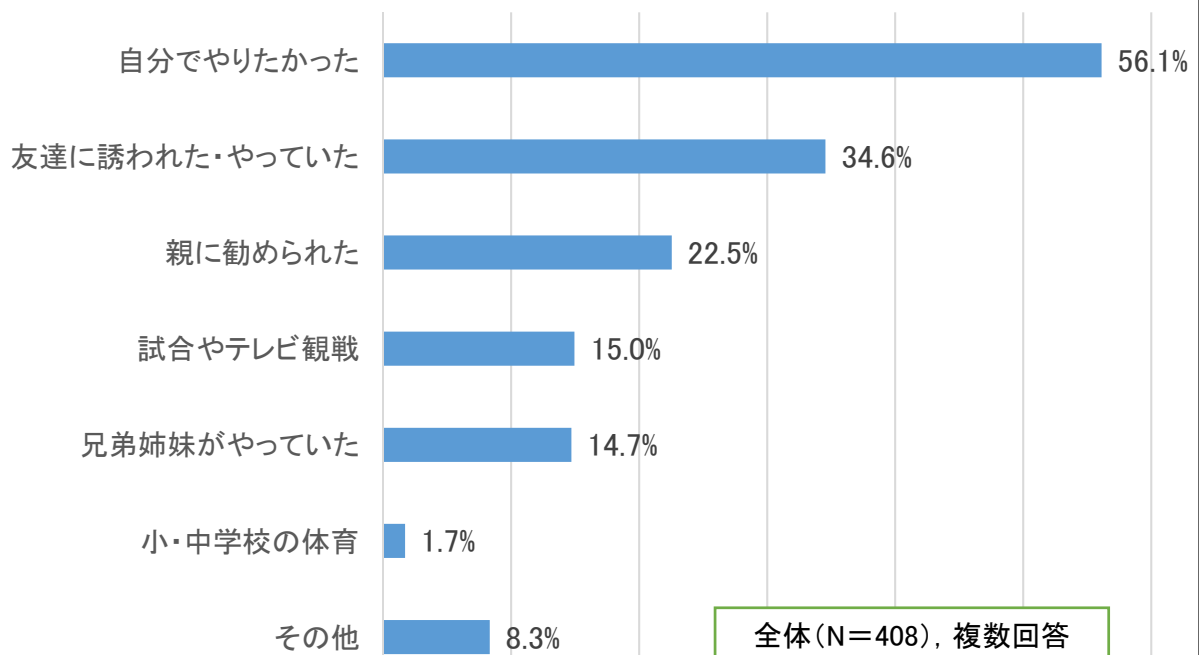
運動部加入状況



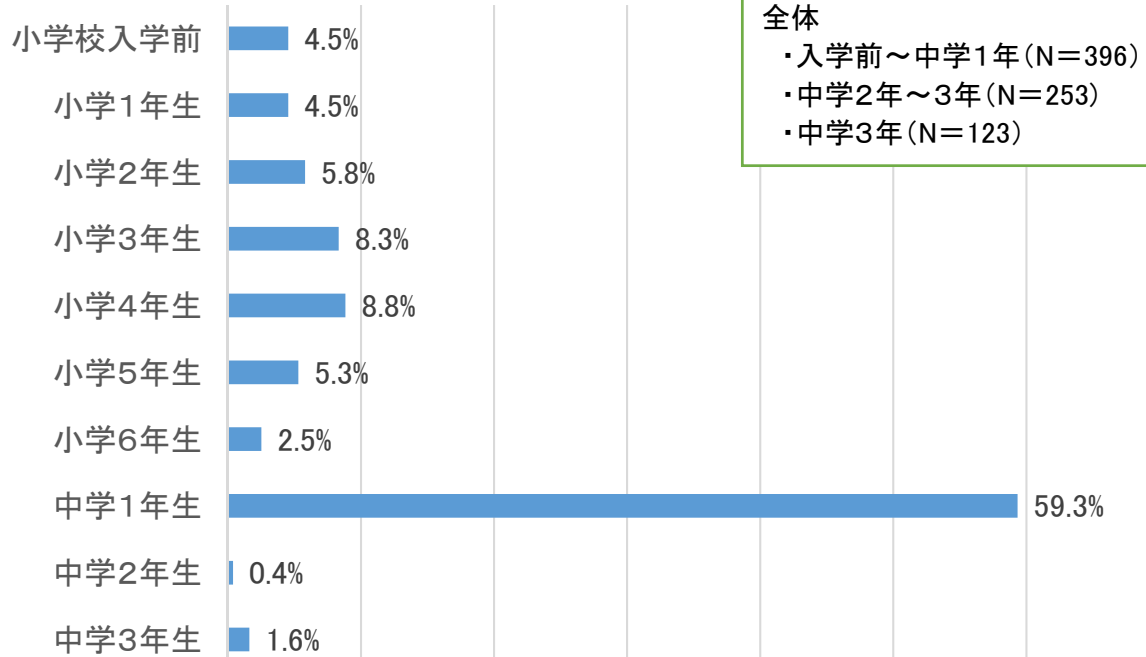
始めた場所



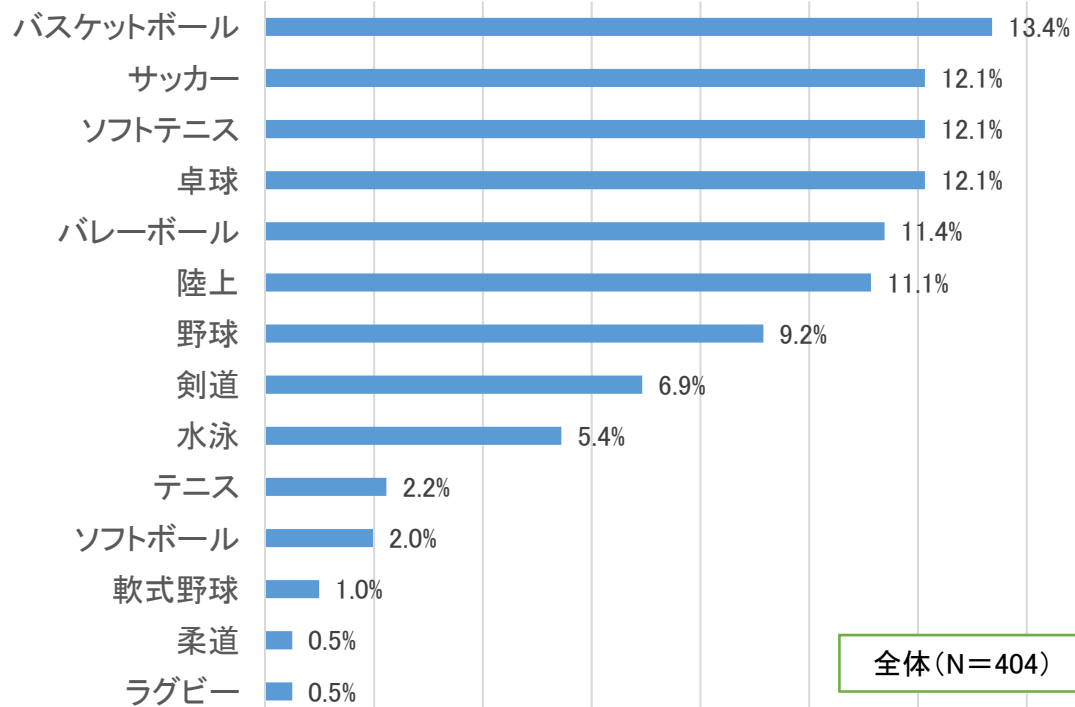
はじめたきっかけ



開始時期

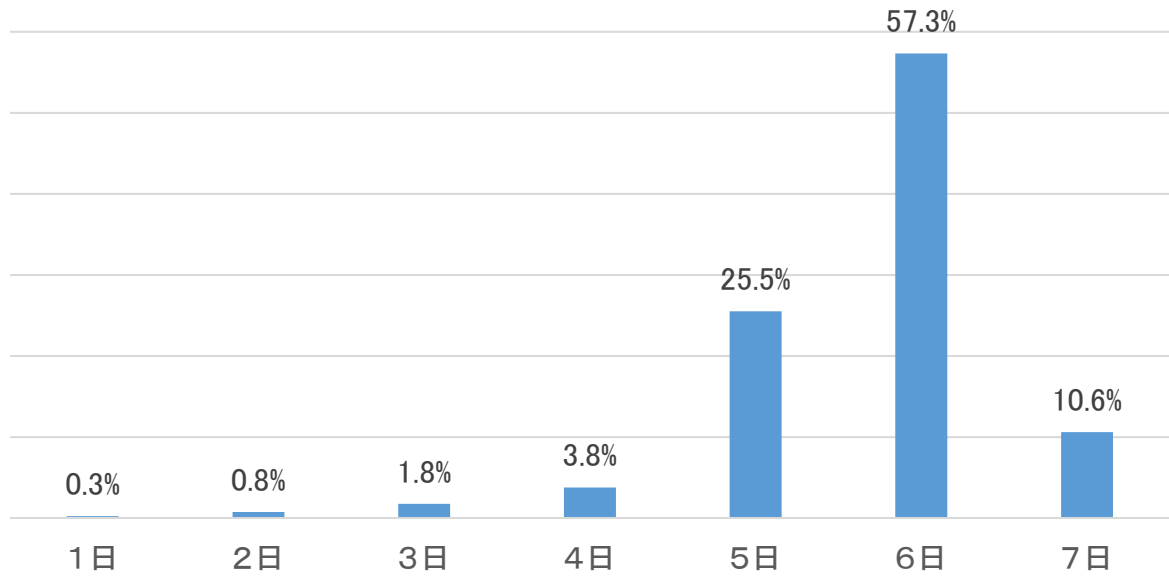


加入している部活の種目



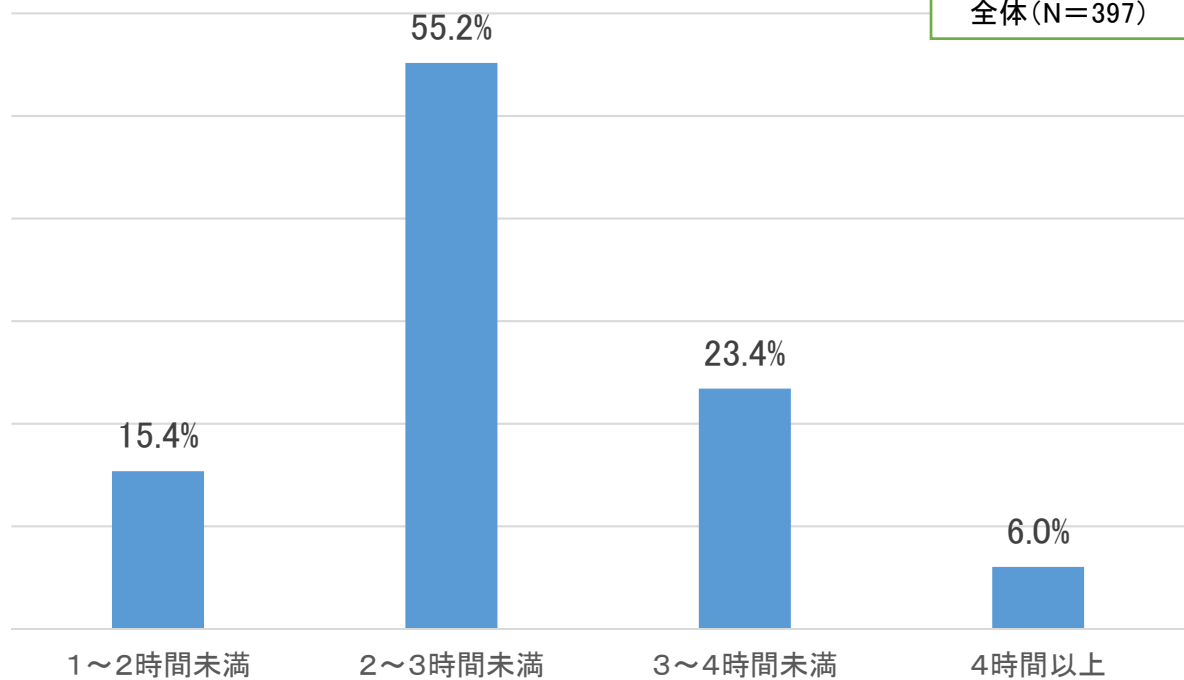
週あたりの練習日数

全体(N=396)



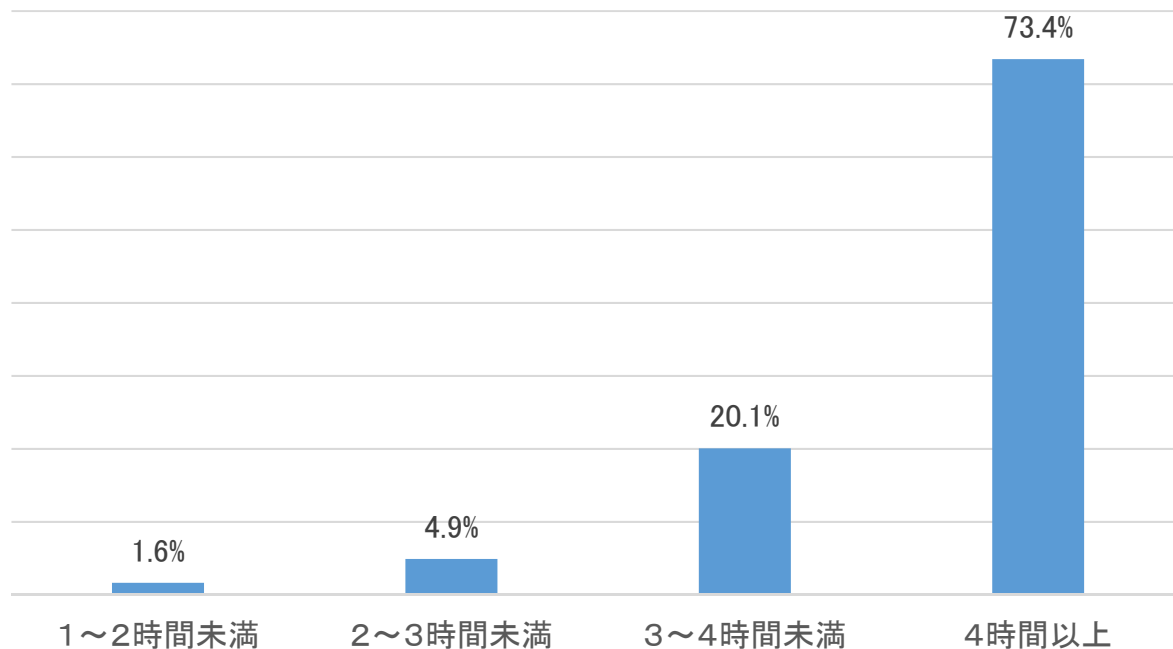
練習時間（平日）

全体(N=397)

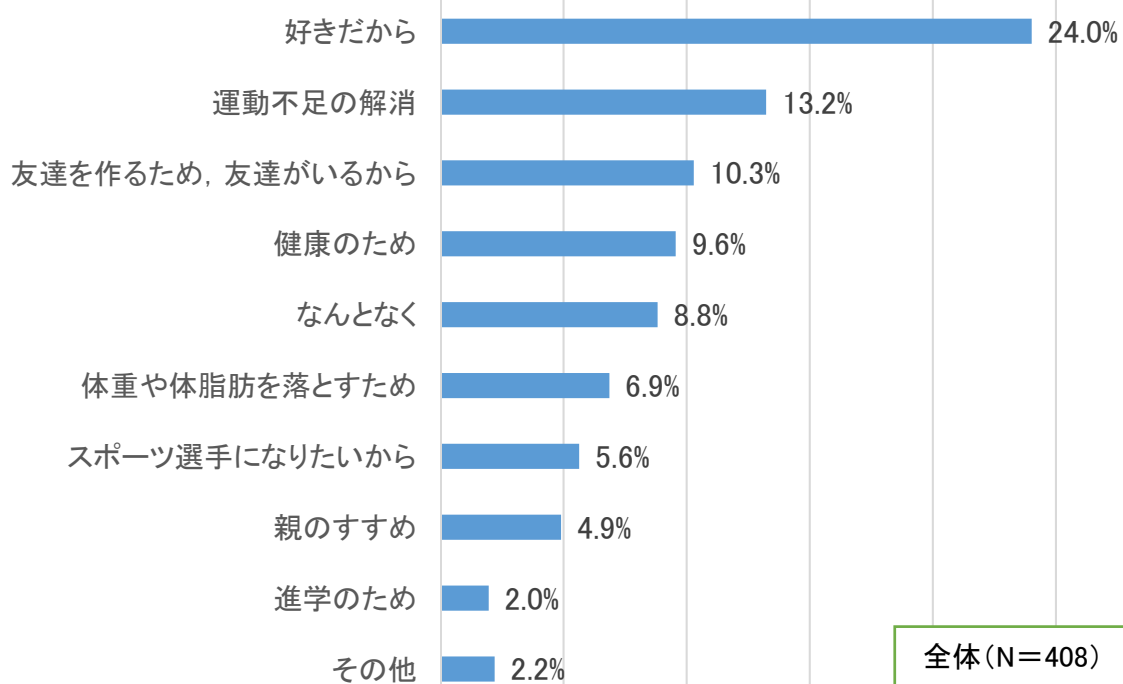


練習時間（土日）

全体(N=673)

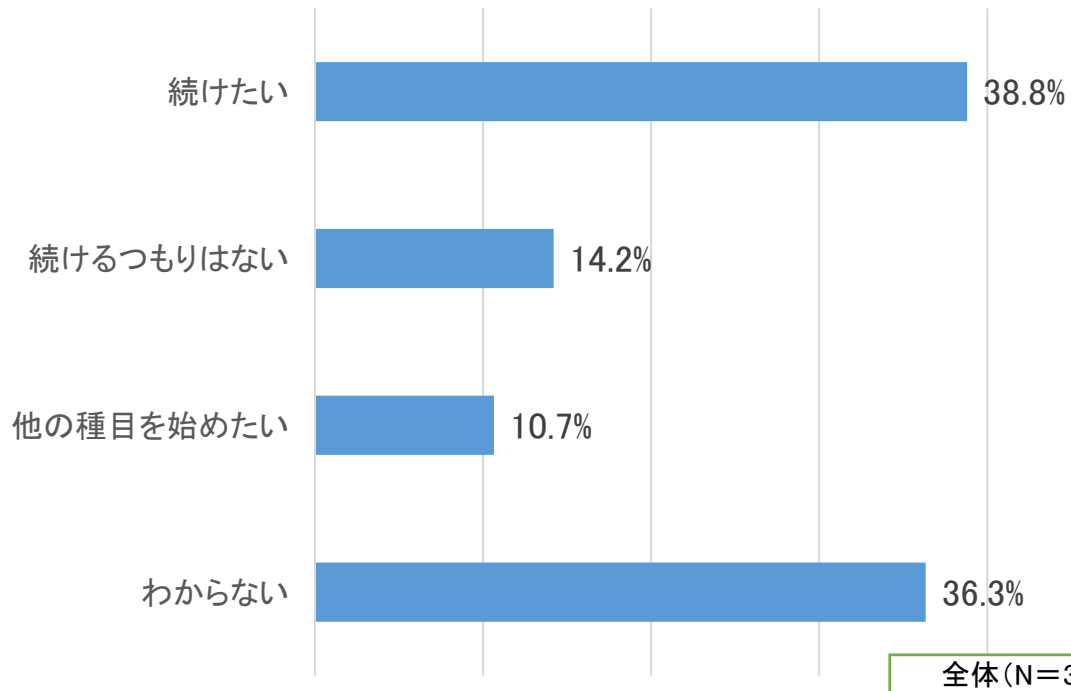


加入理由・継続理由

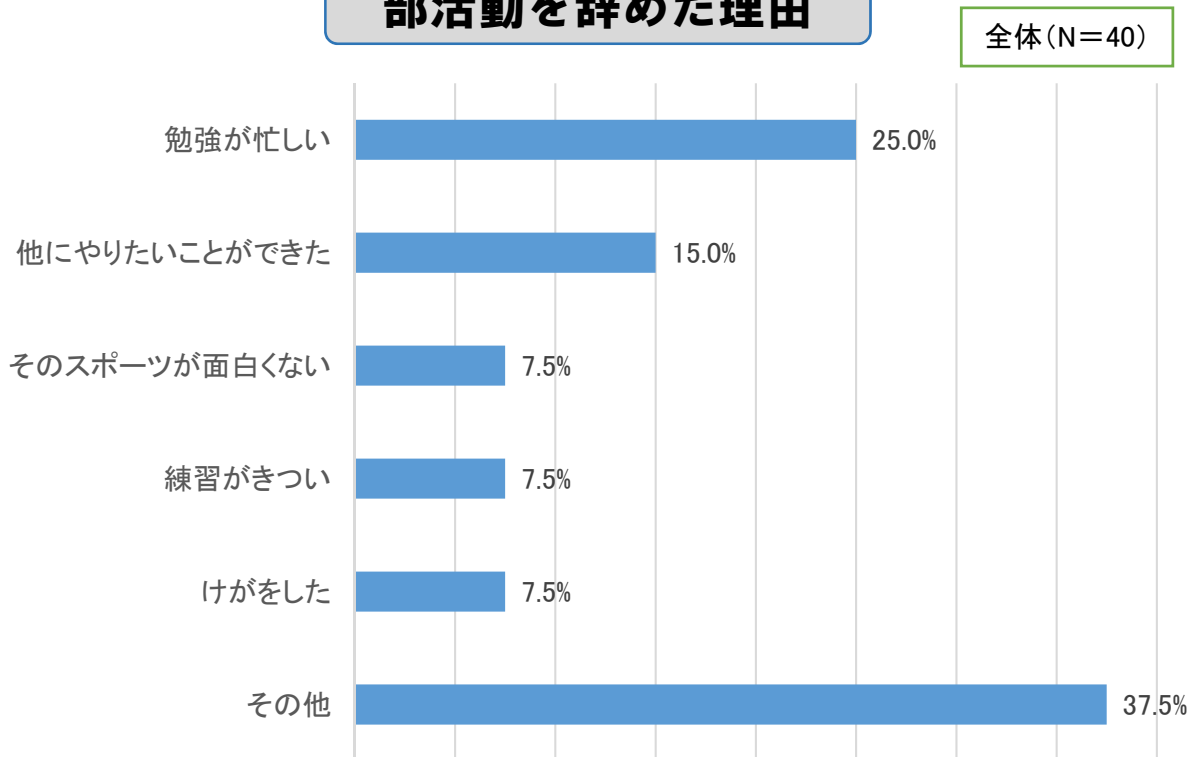


全体(N=408)

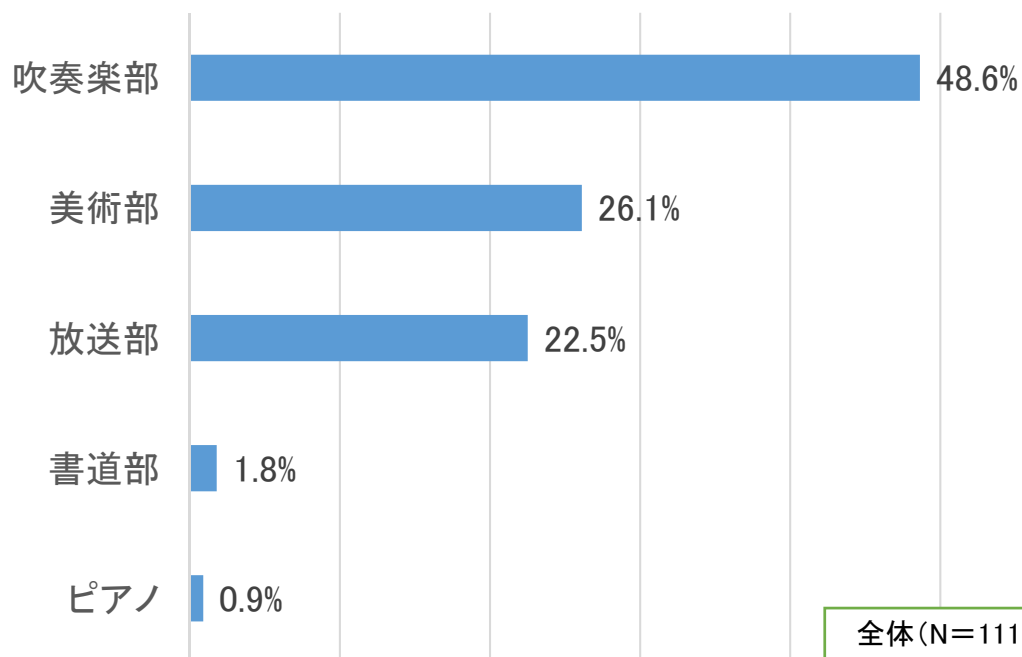
卒業後の継続意思



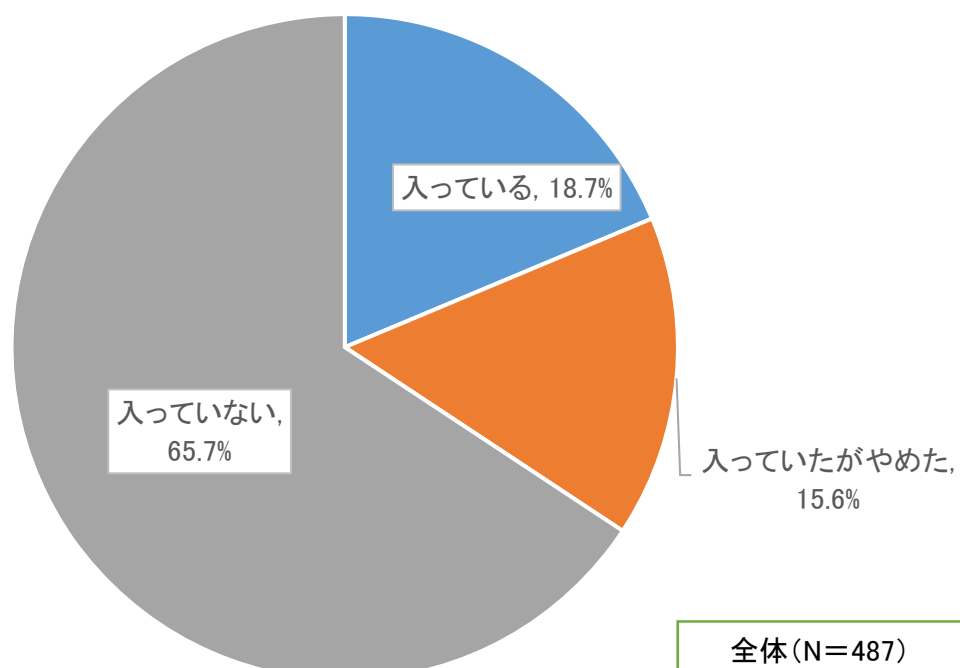
部活動を辞めた理由



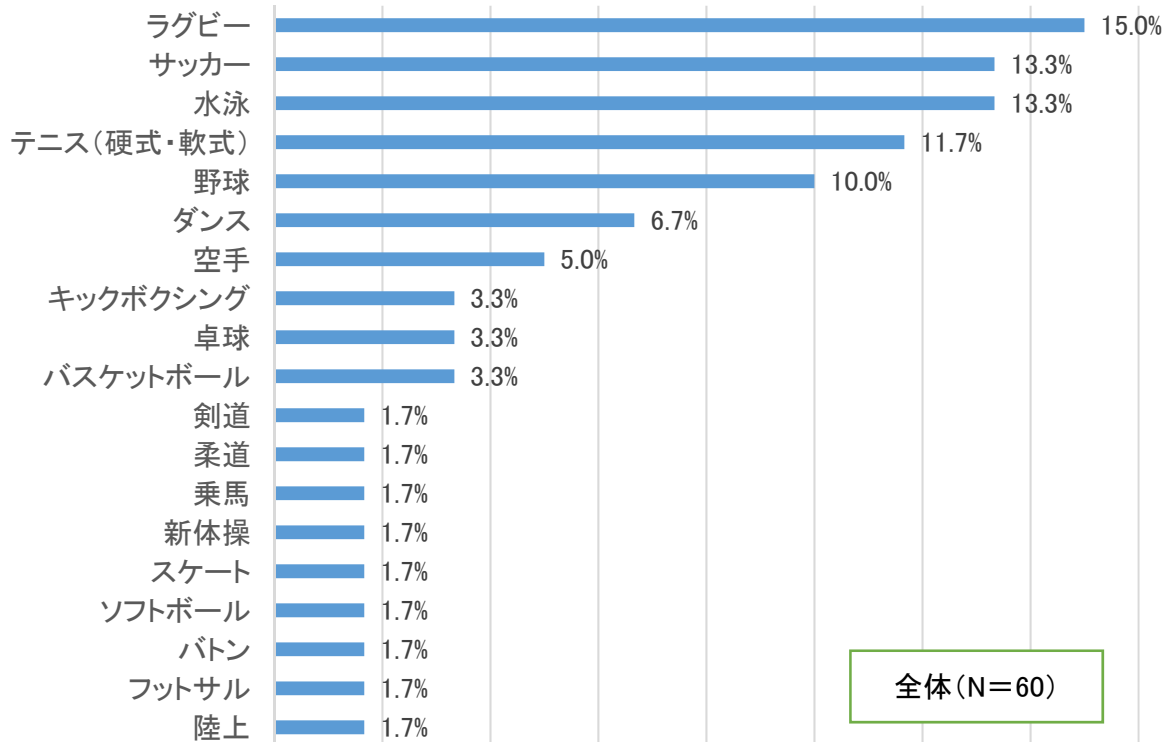
運動部以外の部活動



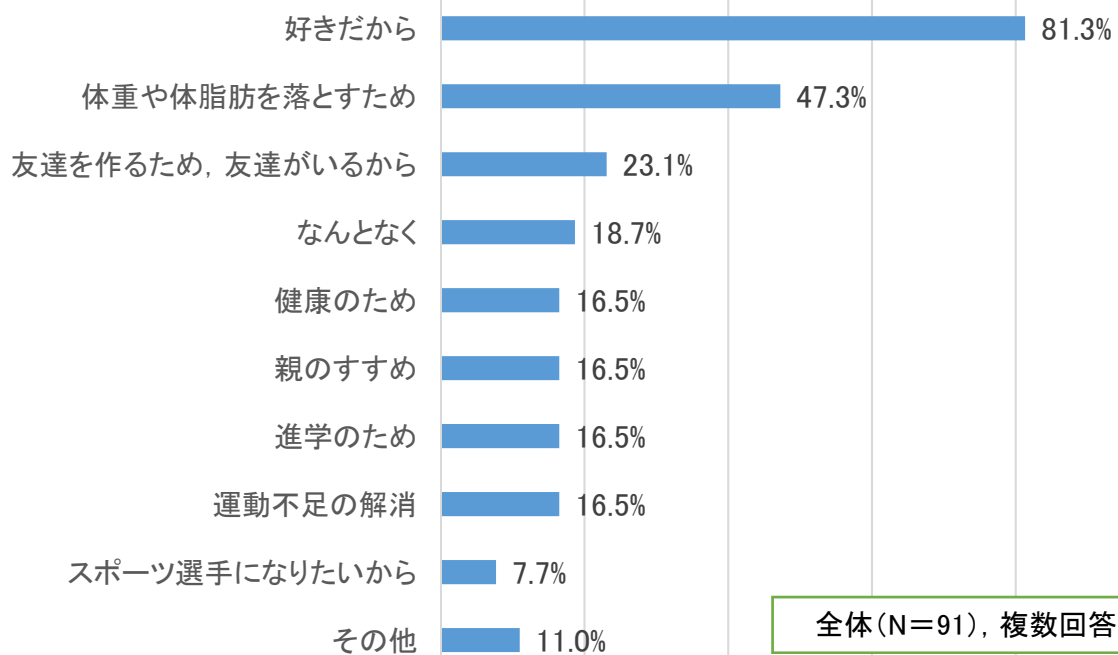
学校外のスポーツクラブの加入状況



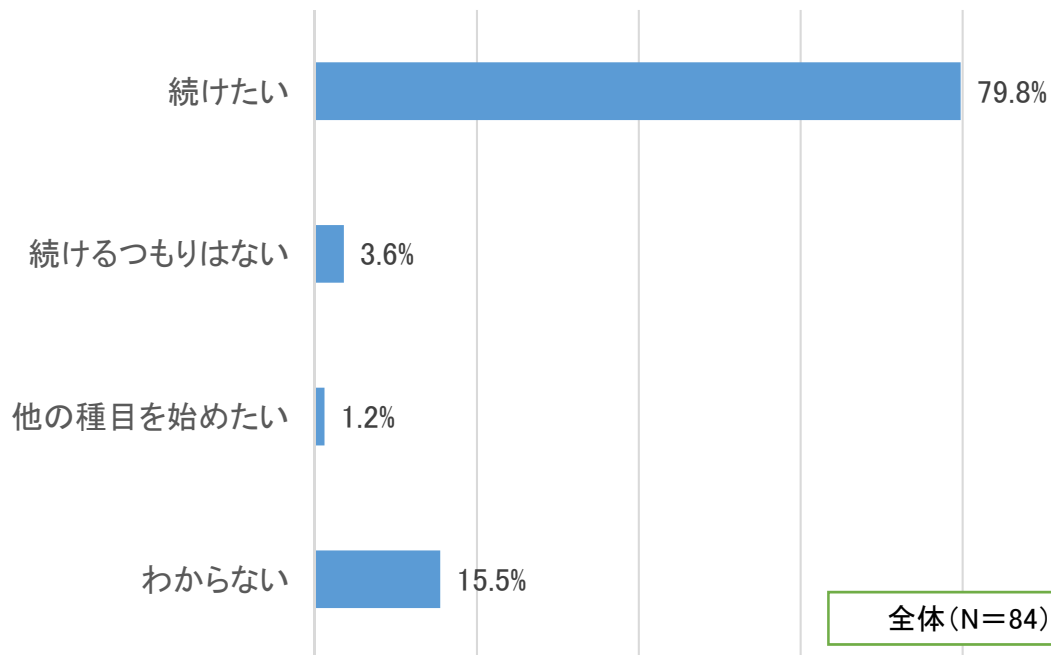
学校外のスポーツクラブの種目



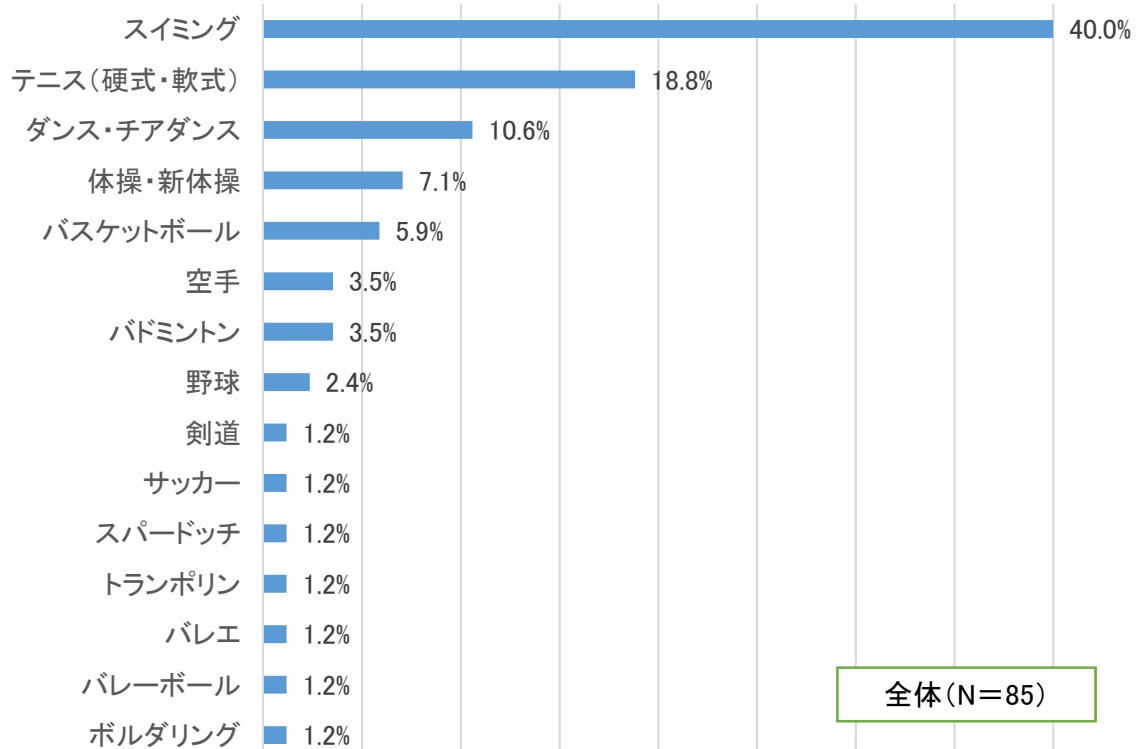
スポーツクラブ加入理由・継続理由



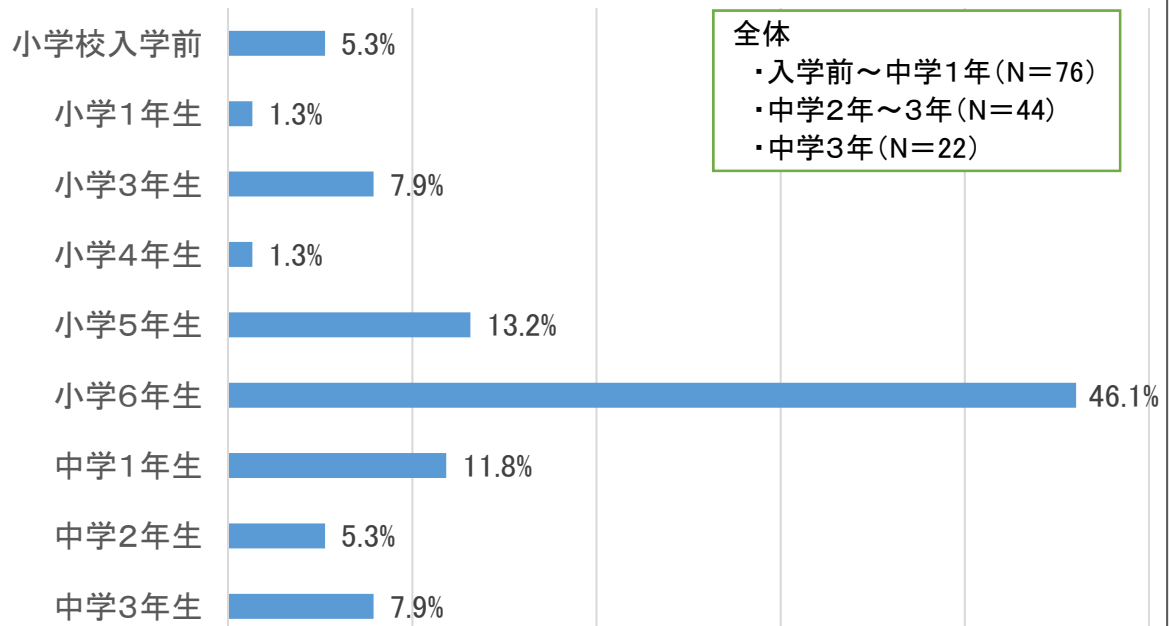
今後の継続意思



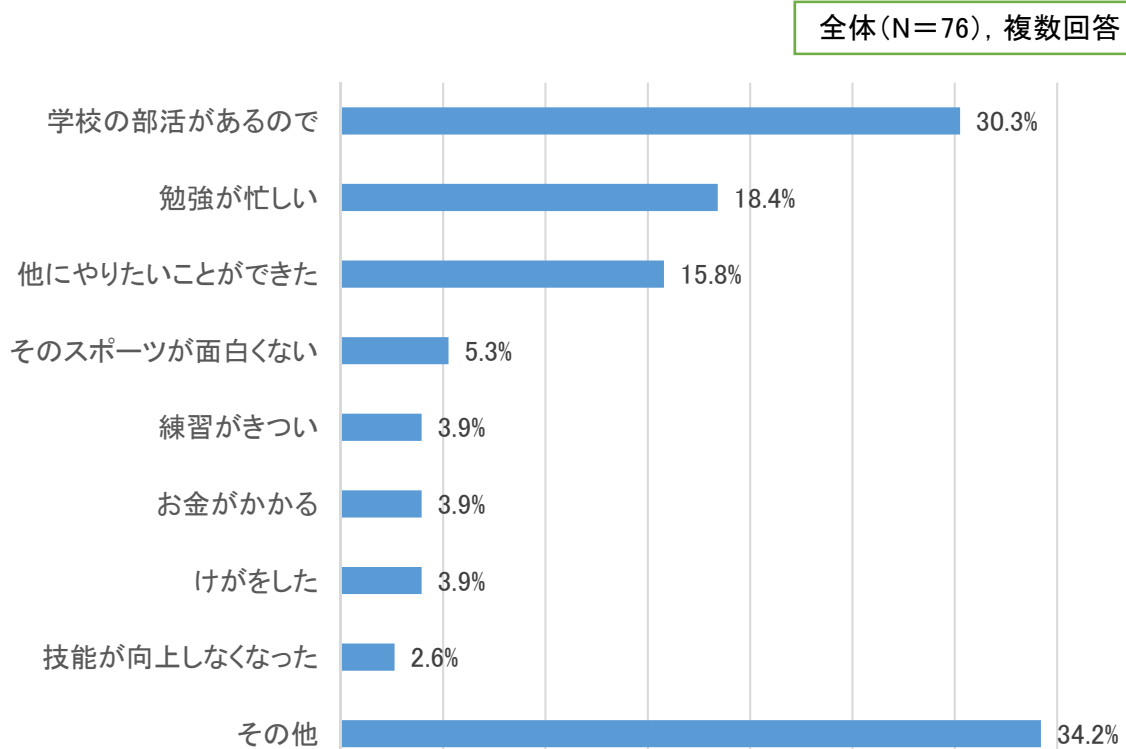
入っていたスポーツクラブの種目



スポーツクラブをやめた時期

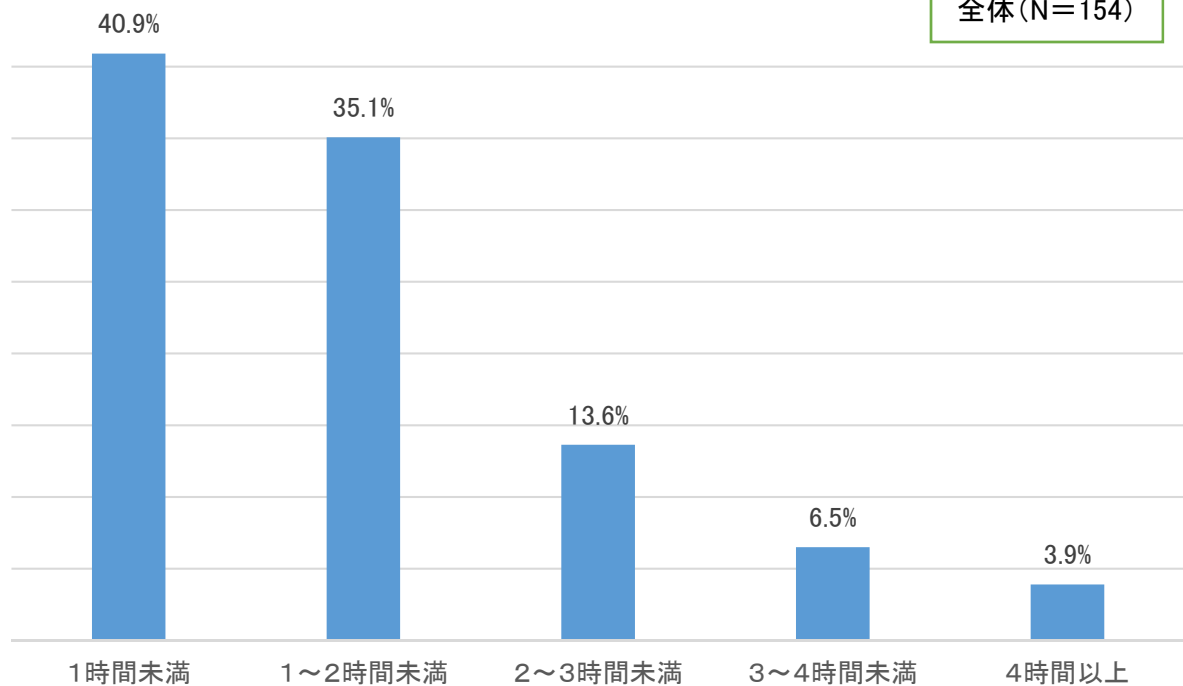


スポーツクラブをやめた理由



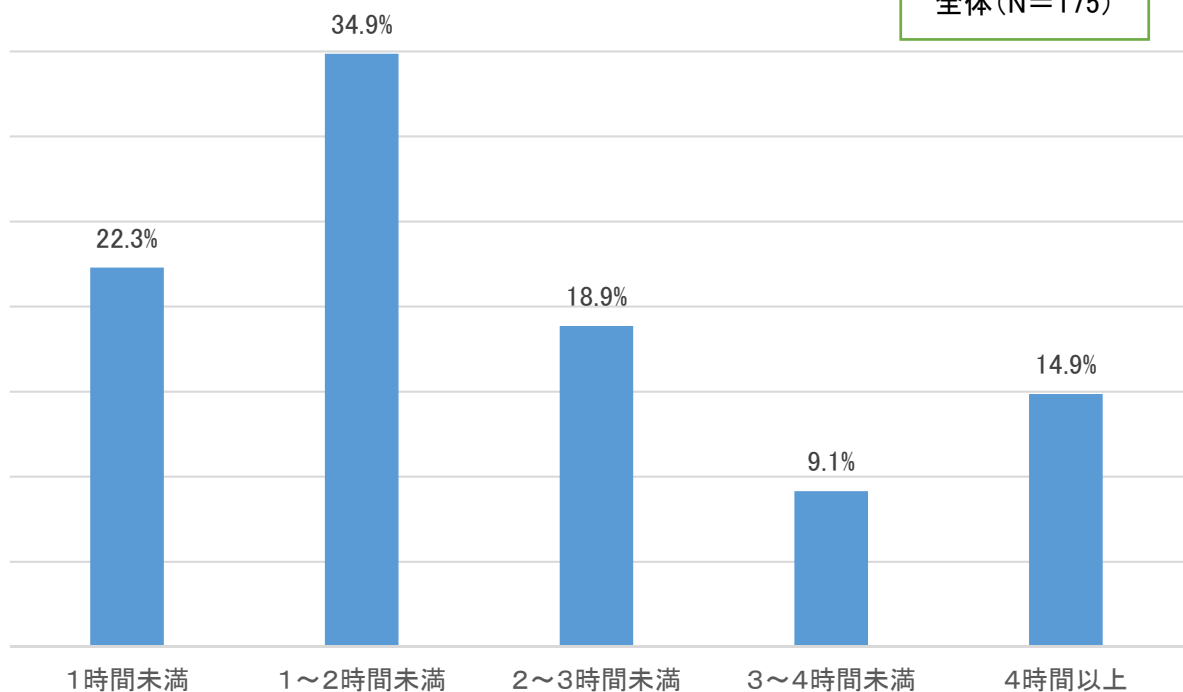
学校，部活動等以外の運動時間（平日）

全体(N=154)

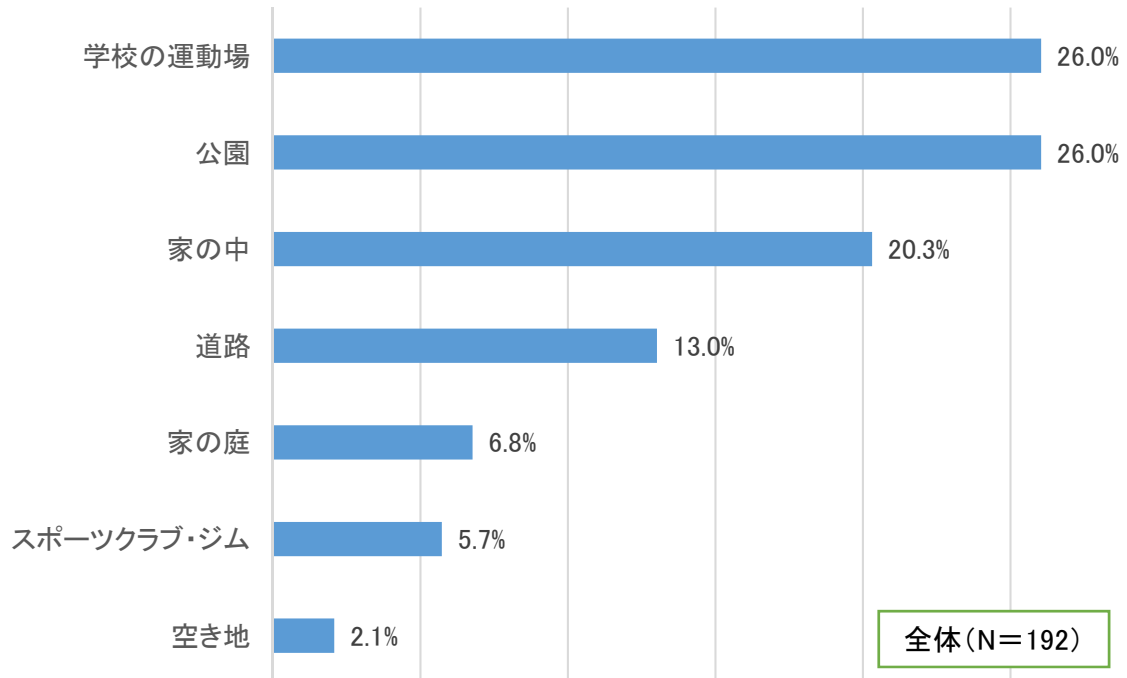


学校，部活動等以外の運動時間（休日）

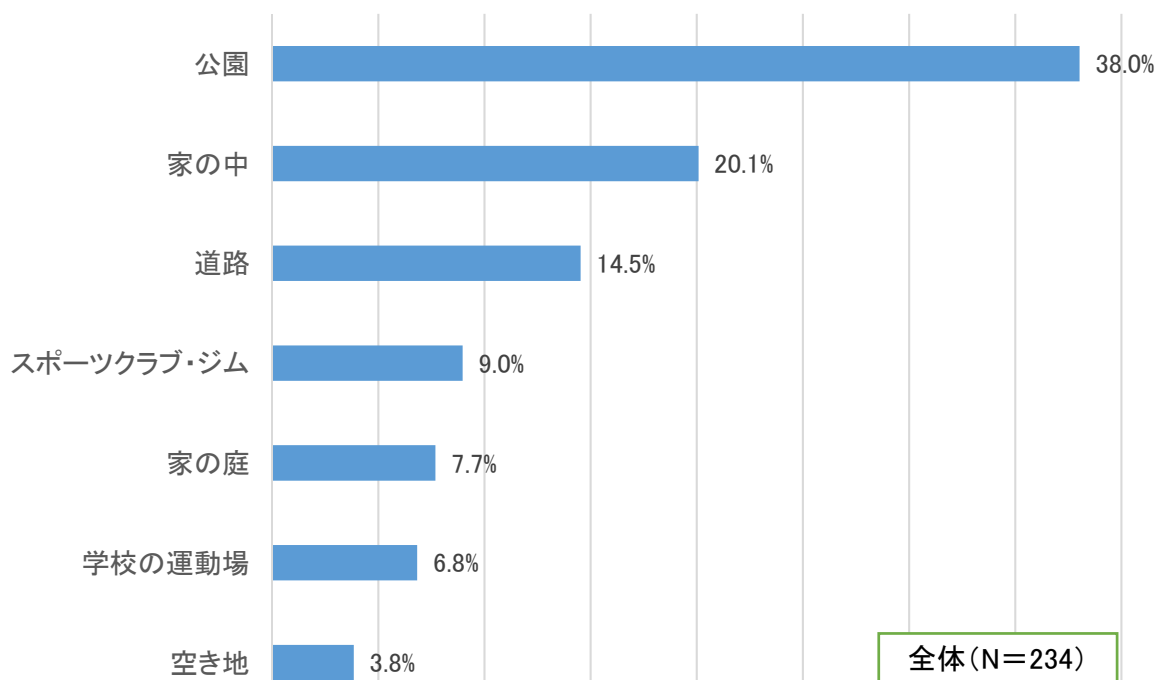
全体(N=175)



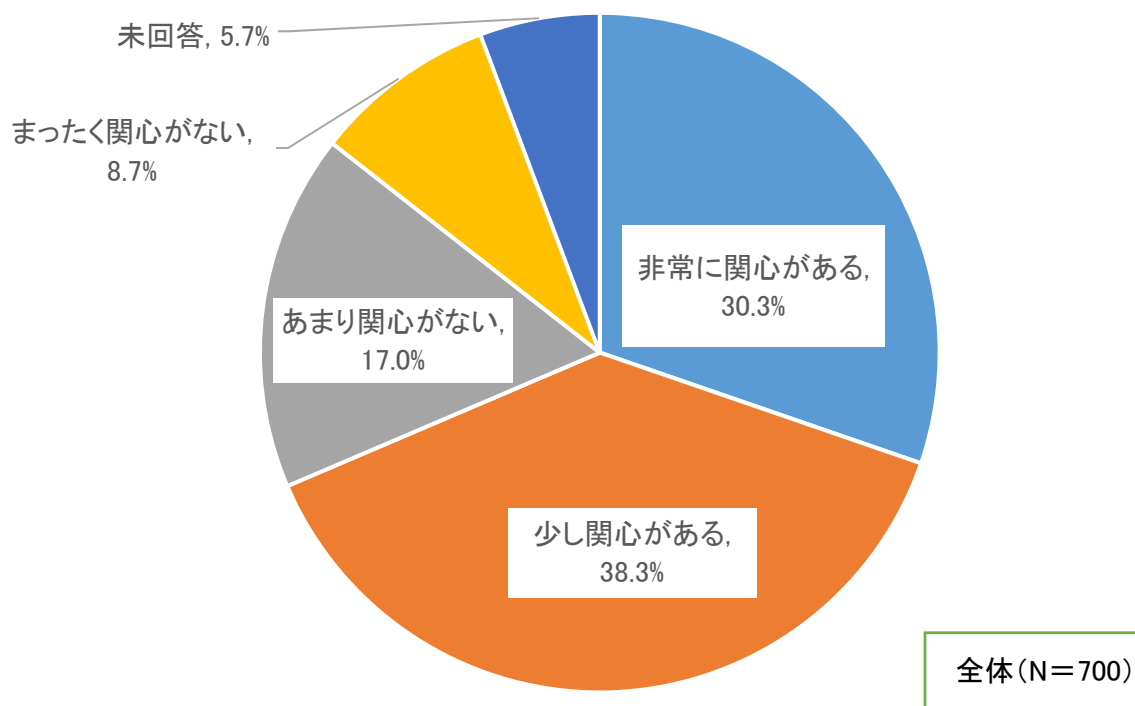
学校，部活動等以外の運動場所（平日）



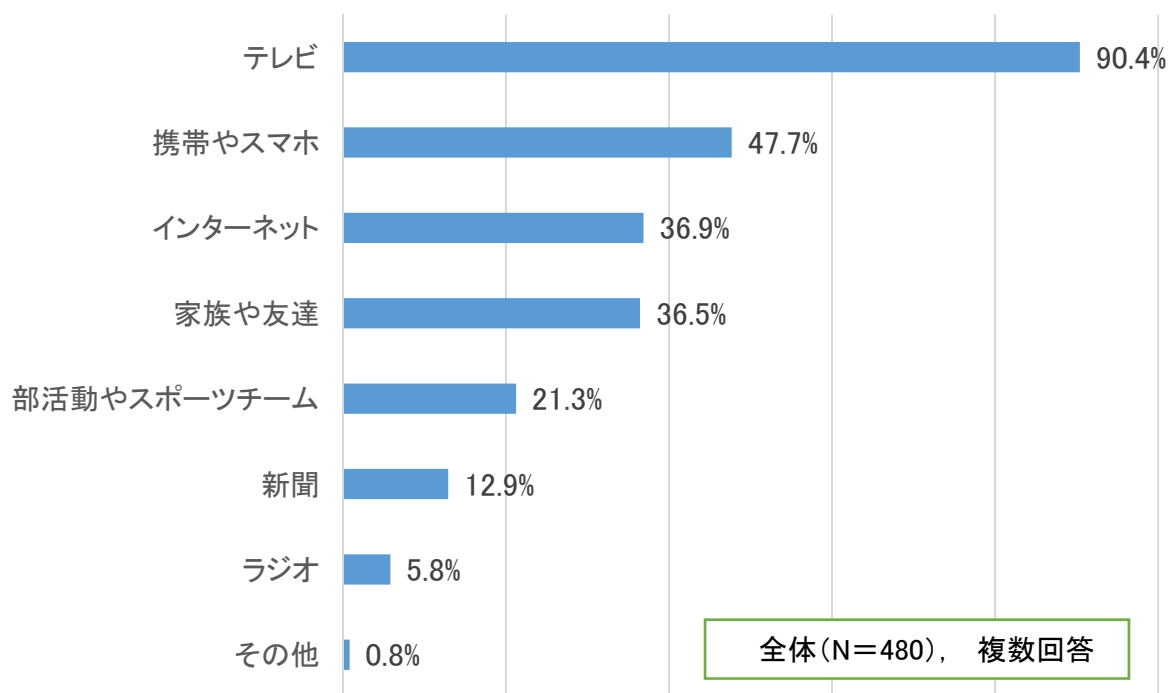
学校，部活動等以外の運動場所（休日）



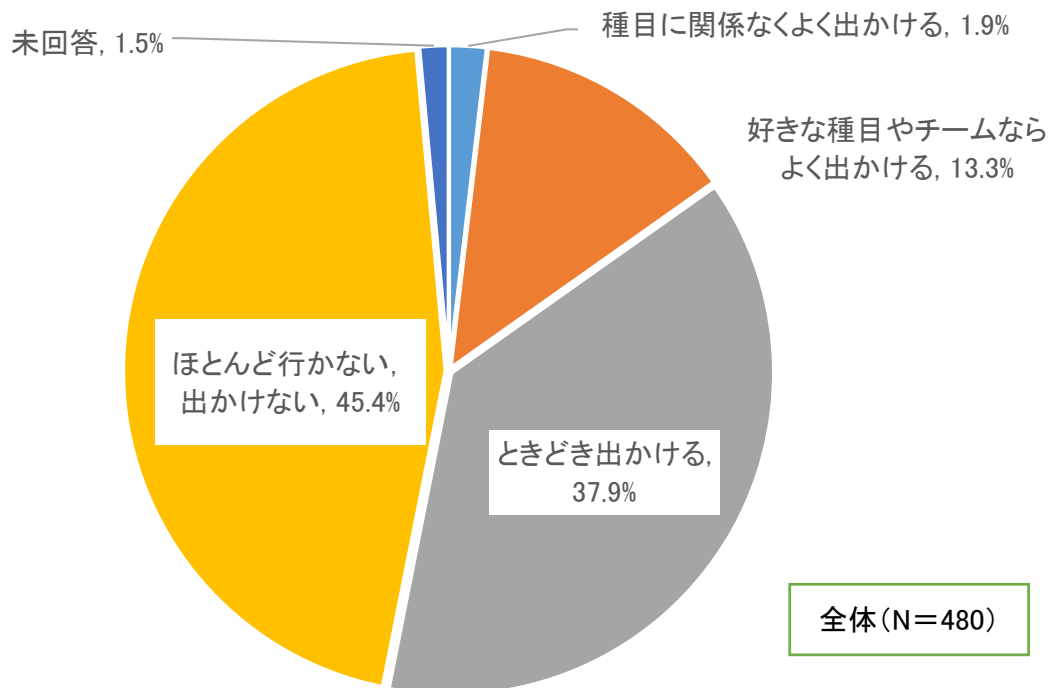
スポーツを見ることへの関心



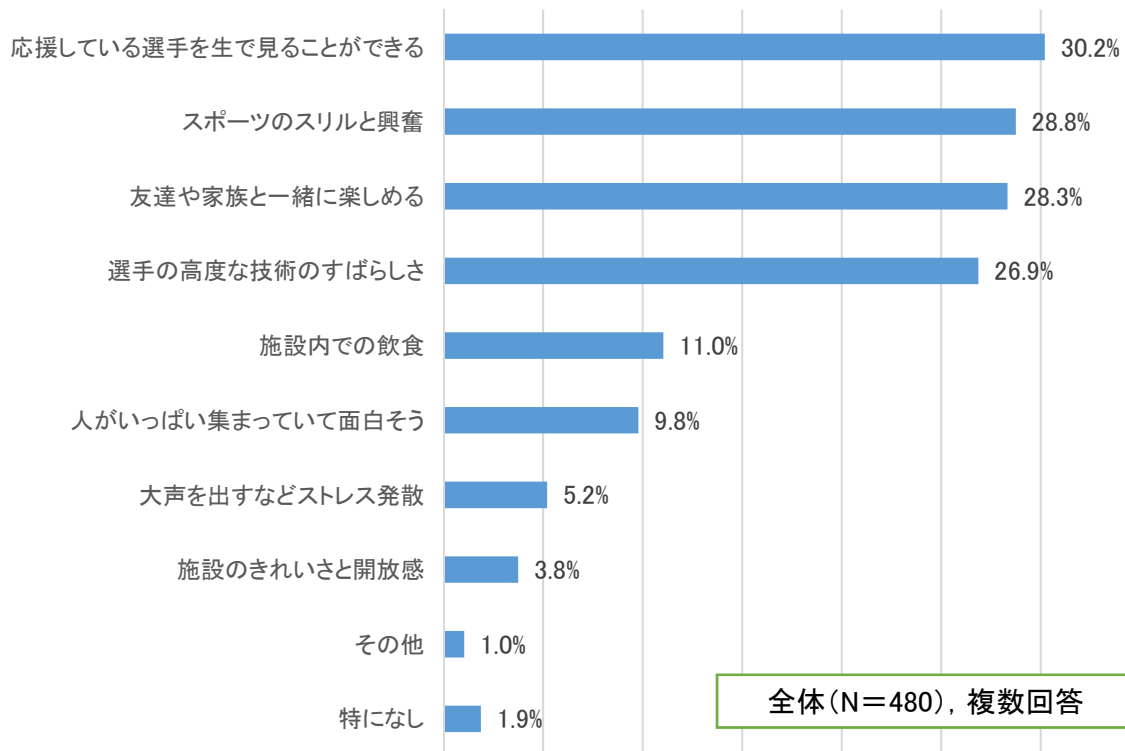
スポーツに関する情報収集方法



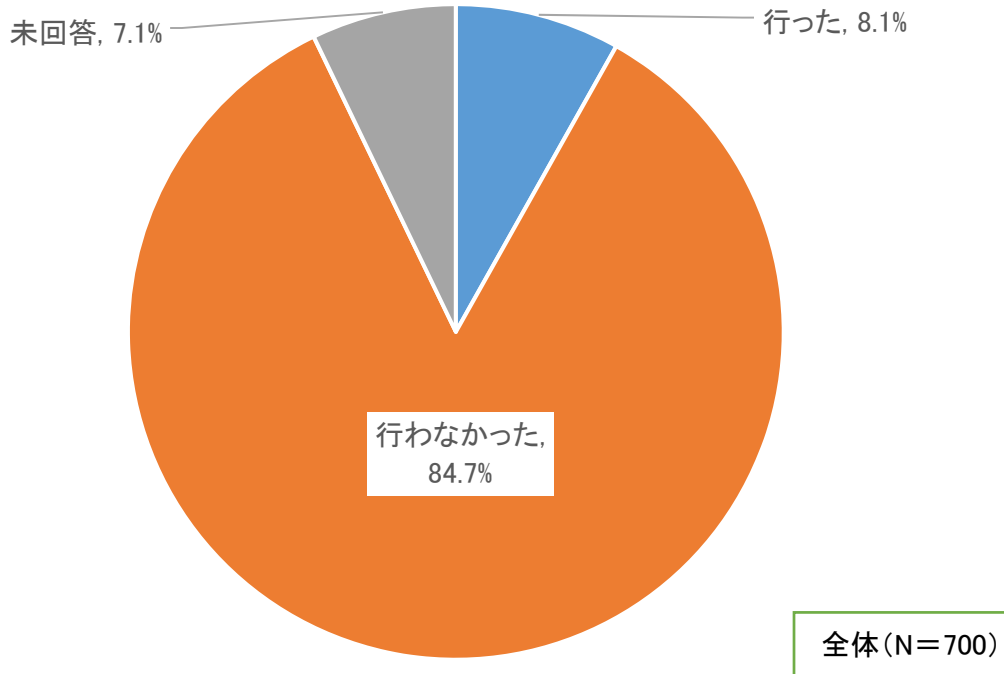
スタジアムや競技場での観戦頻度



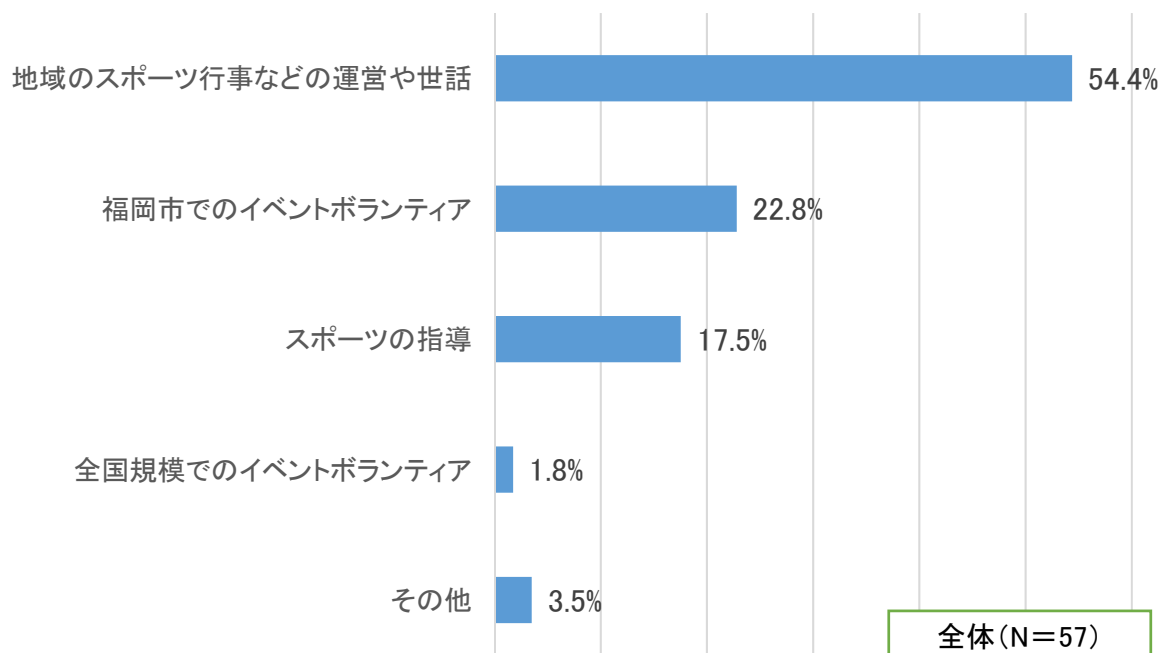
スタジアムや競技場の魅力



過去1年間のボランティア実施の有無

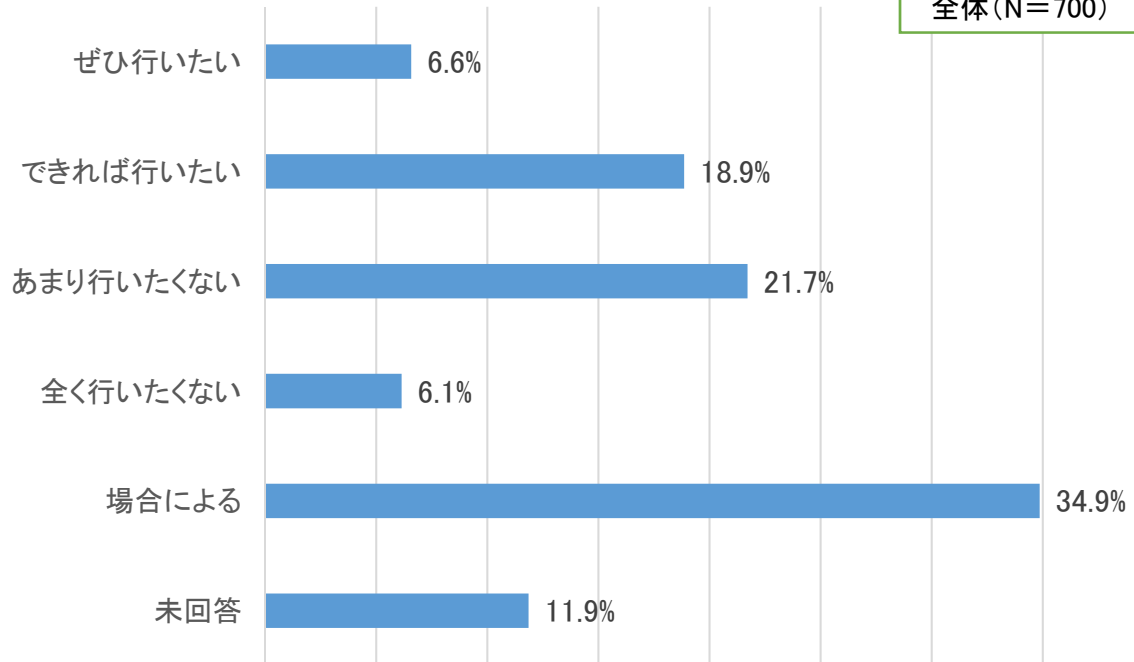


過去1年間のボランティアの内容



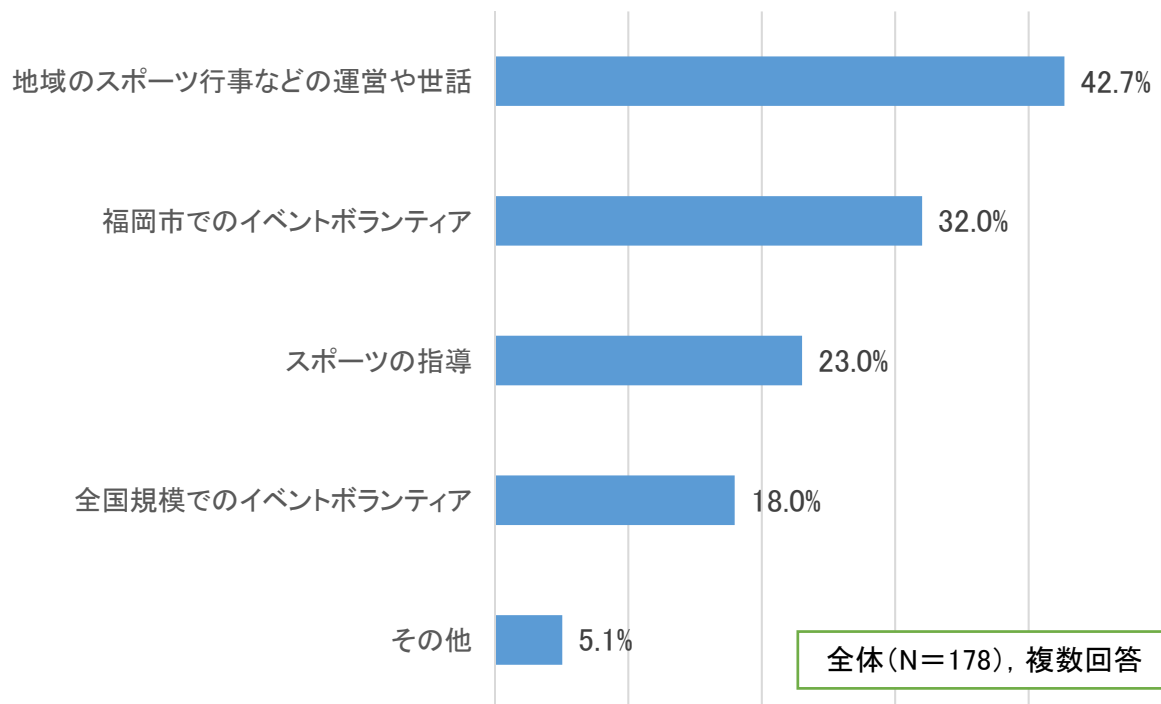
ボランティアの意思

全体(N=700)



行いたいボランティア

全体(N=178), 複数回答



スポーツチーム

		1年生		2年生		3年生	
		知っている	応援	知っている	応援	知っている	応援
福岡ソフトバンクホークス	(野球)	194	123	205	129	204	119
アビスパ福岡	(サッカー)	178	46	194	62	188	50
ライジングゼファーフクオカ	(バスケットボール)	60	22	71	27	70	20
福岡 J・アンクラス	(女子サッカー)	16	4	37	5	15	5
コカ・コーラウエストレッドスパークス	(ラグビー)	31	6	23	9	32	7
九州電力キューデンヴォルテクス	(ラグビー)	23	3	18	7	14	4
宗像サニックスブルース	(ラグビー)	14	4	16	7	12	4
フレッサ福岡	(ハンドボール)	12	4	8	3	11	3
ひとつもない		14	38	10	33	4	28

平成 30 年度

子ども・若者のスポーツライフ調査

【高校生】

（概要版）

【調査概要】

1. 調査の目的

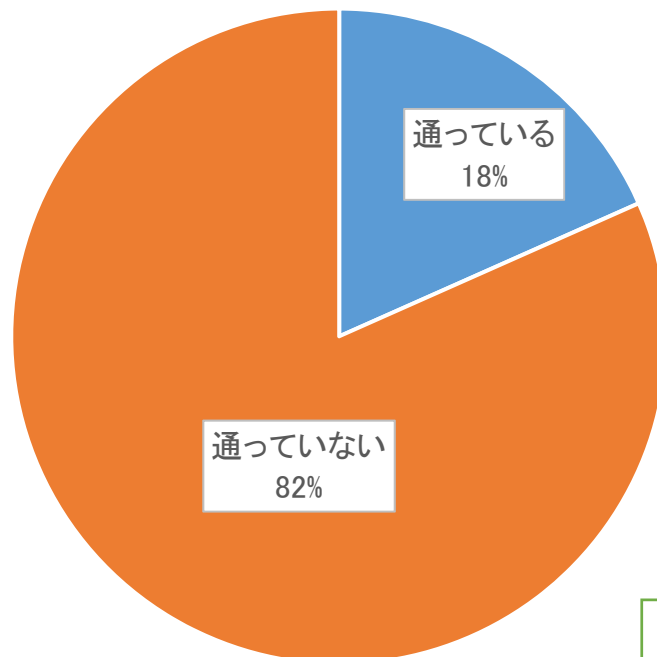
高校生の日常生活やスポーツとの関わり合いの実態を把握し、今後のスポーツ振興やスポーツ施策を検討する基礎資料とする。

2. 調査内容

- 対象者 市立高等学校4校の1～3年生の任意の1学級の生徒
- 調査方法 文書
- 調査期間 平成30年10月～11月
- 回答数

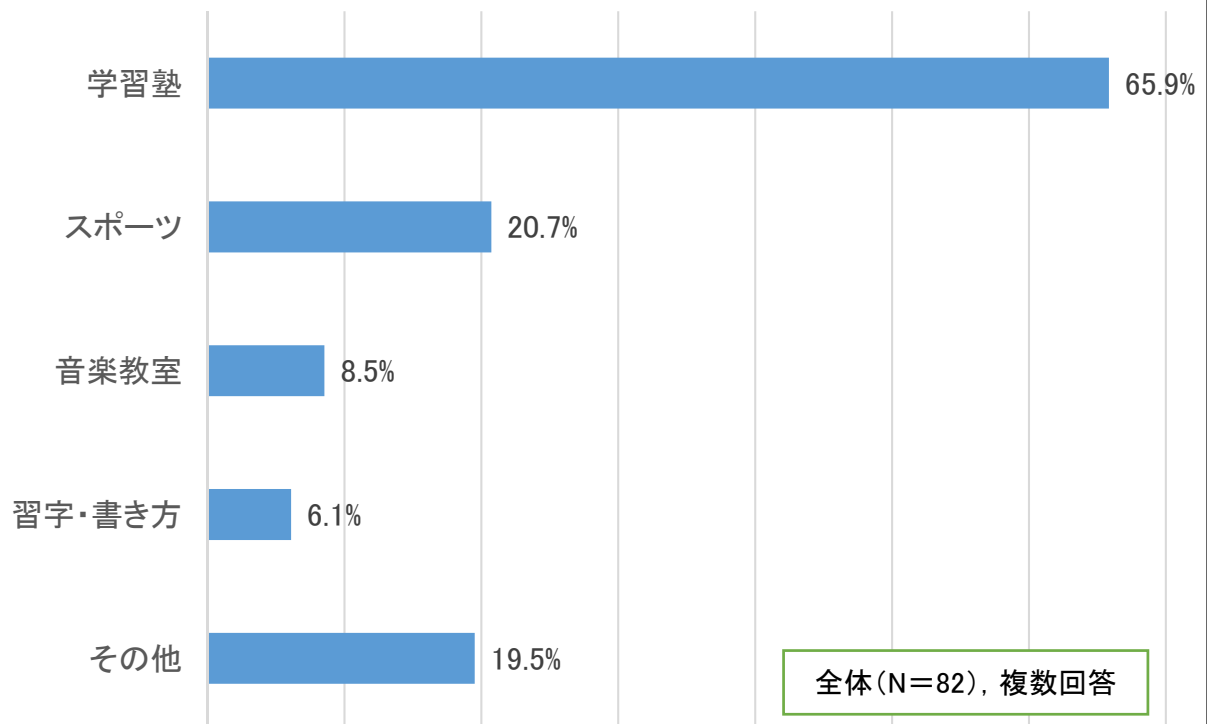
学年	性別			計
	男	女	未回答等	
1年生	44	103	1	148
2年生	88	61	2	151
3年生	82	57	9	148
	214	221	12	447

学習塾や習い事



全体(N=447)

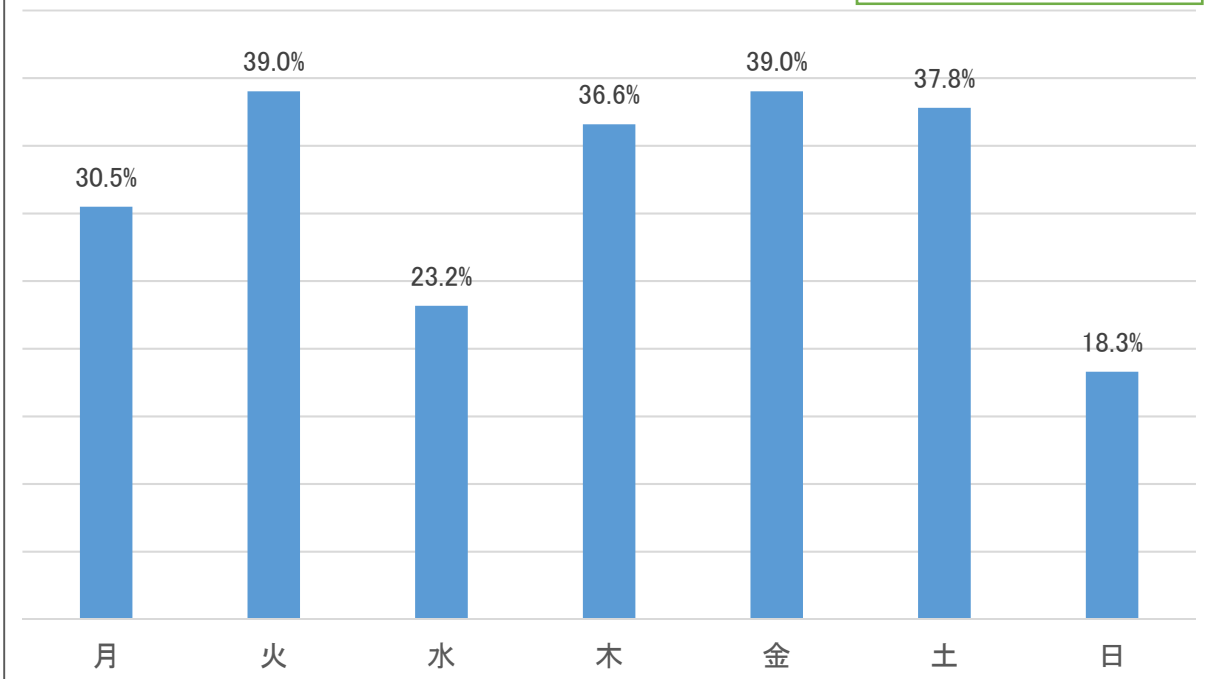
習い事／詳細



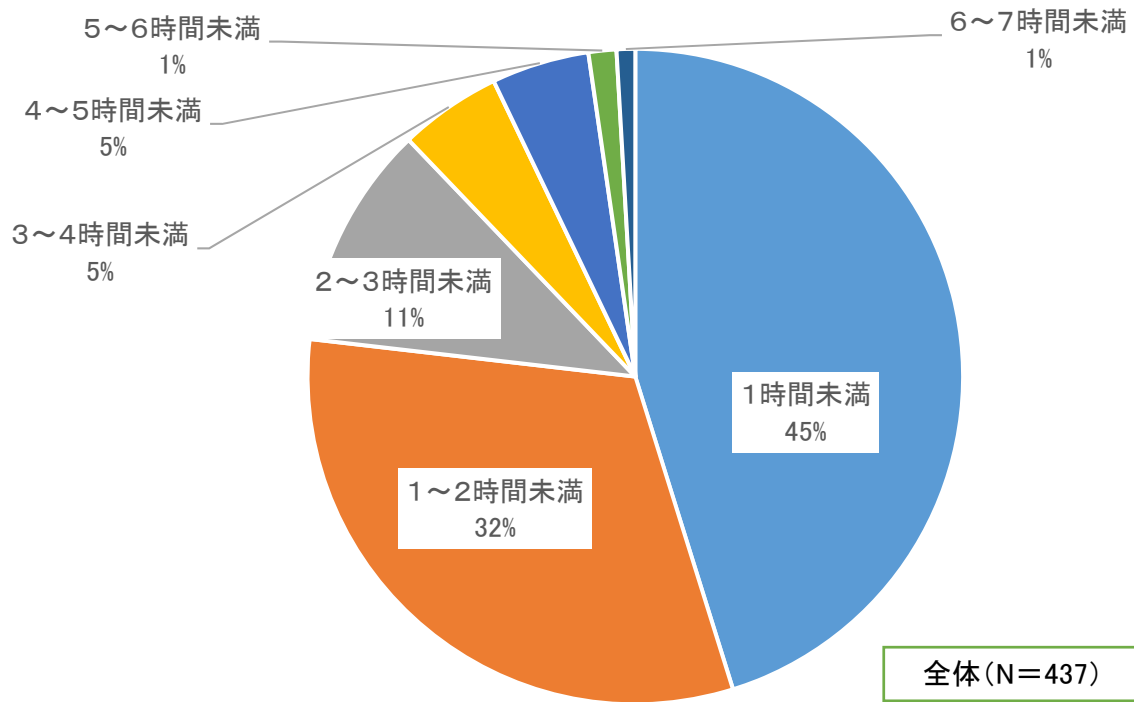
全体(N=82), 複数回答

習い事／曜日

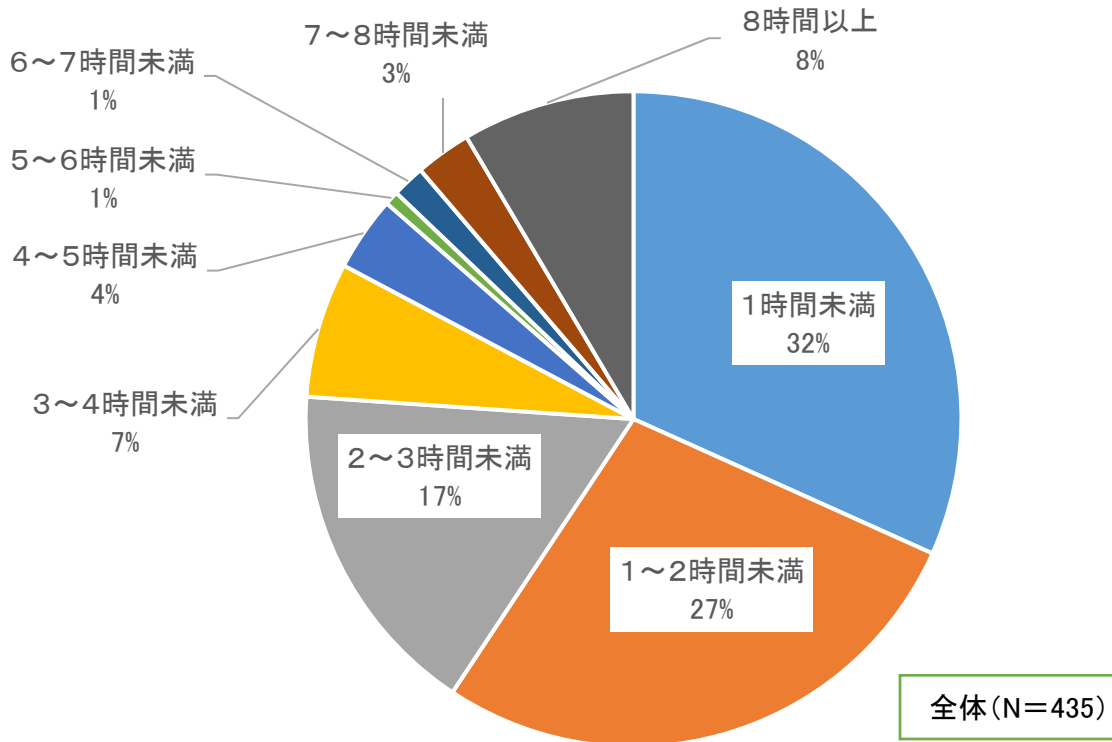
全体(N=82), 複数回答



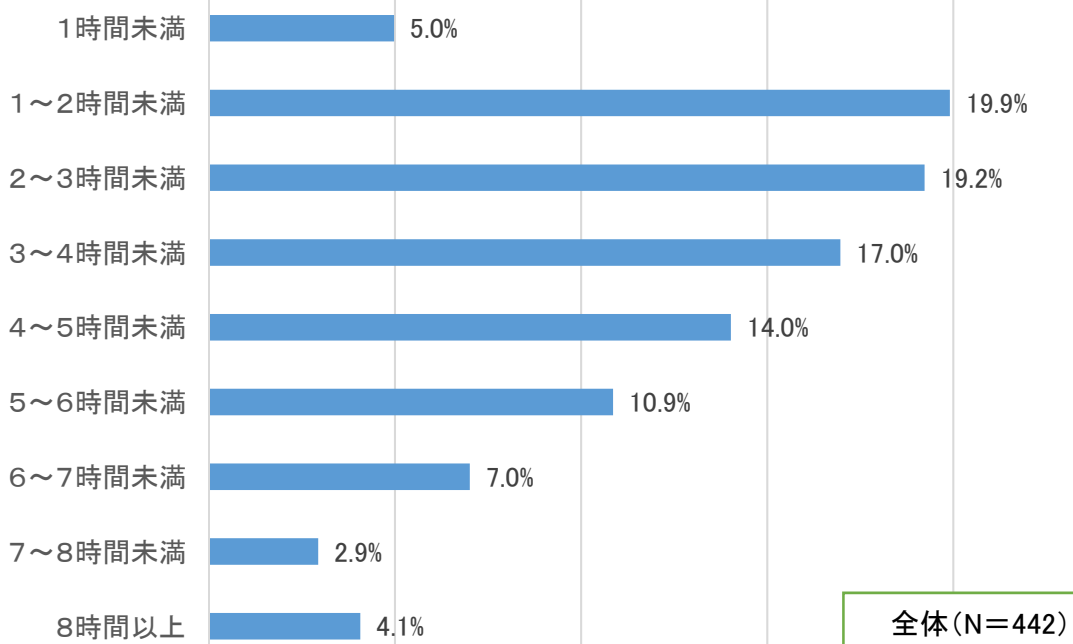
学校以外での学習時間（平日）



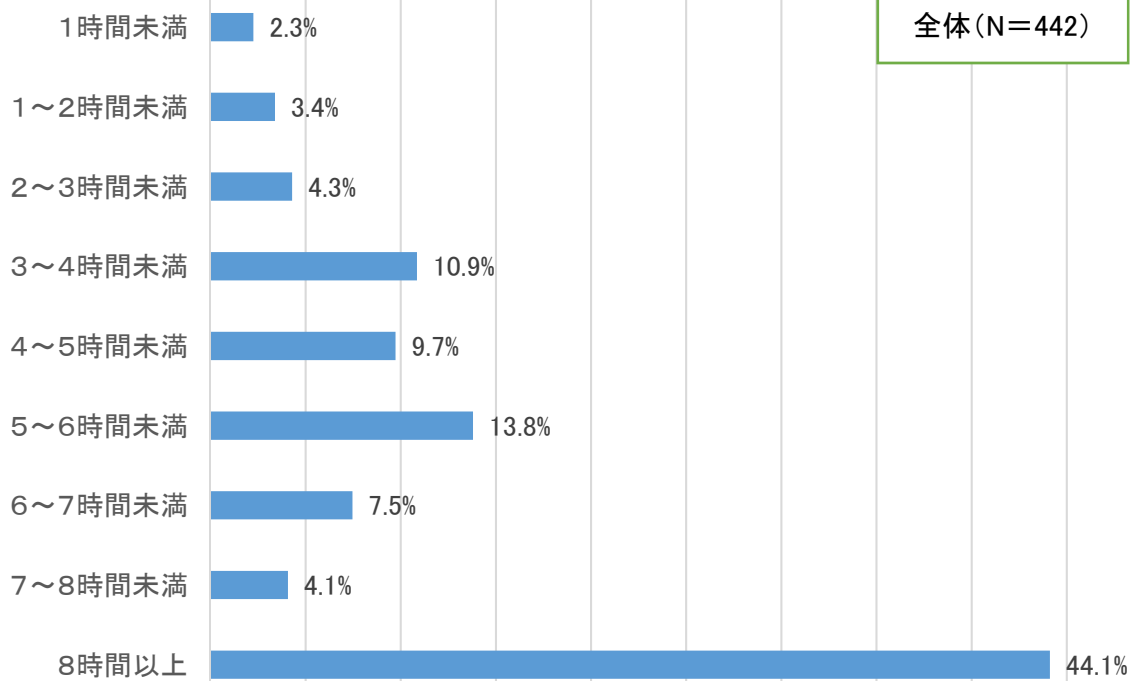
学校以外での学習時間（休日）



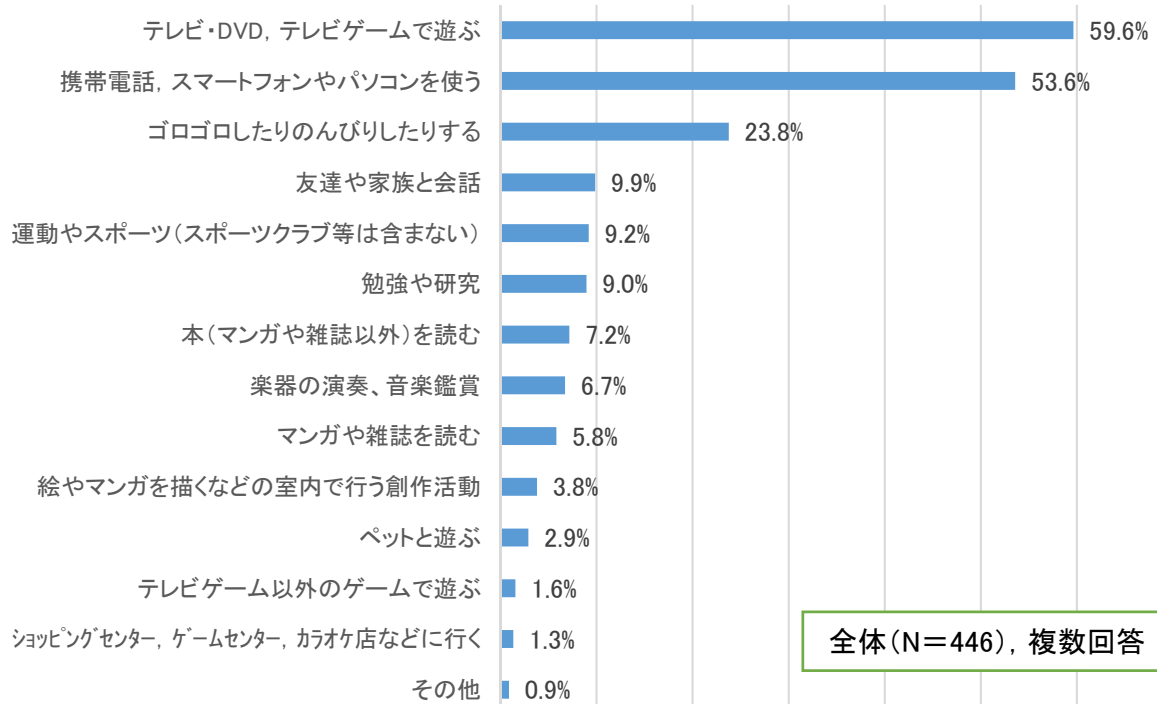
自由時間（平日）



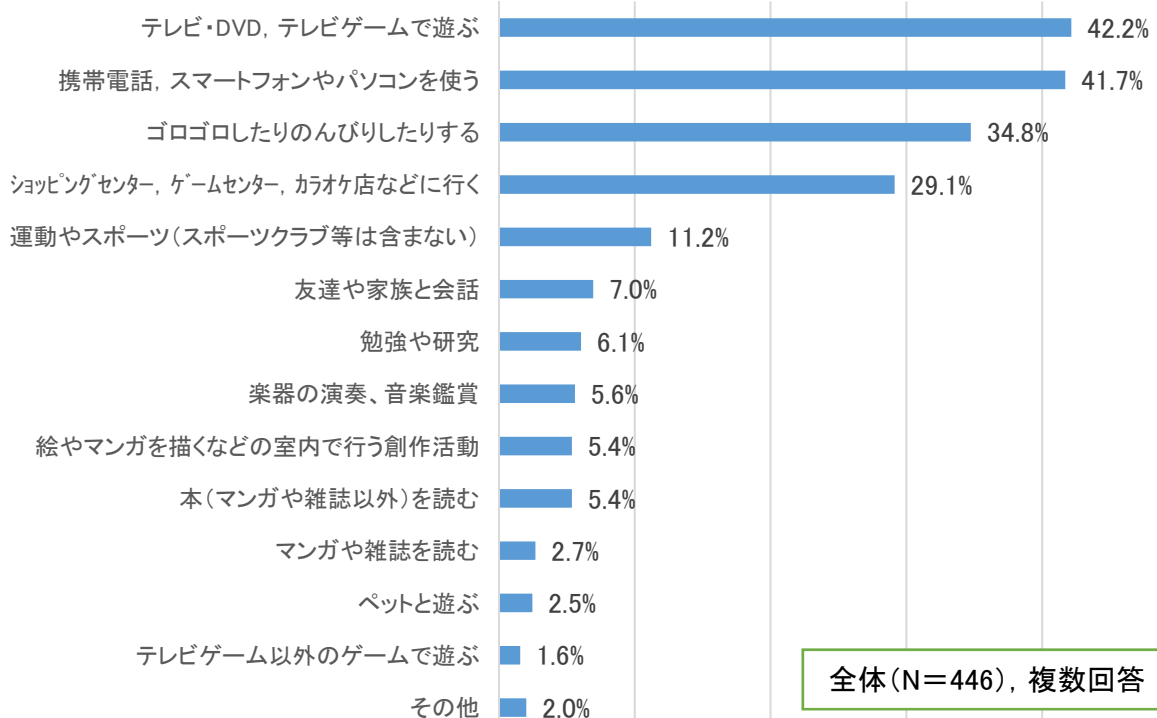
自由時間（休日）



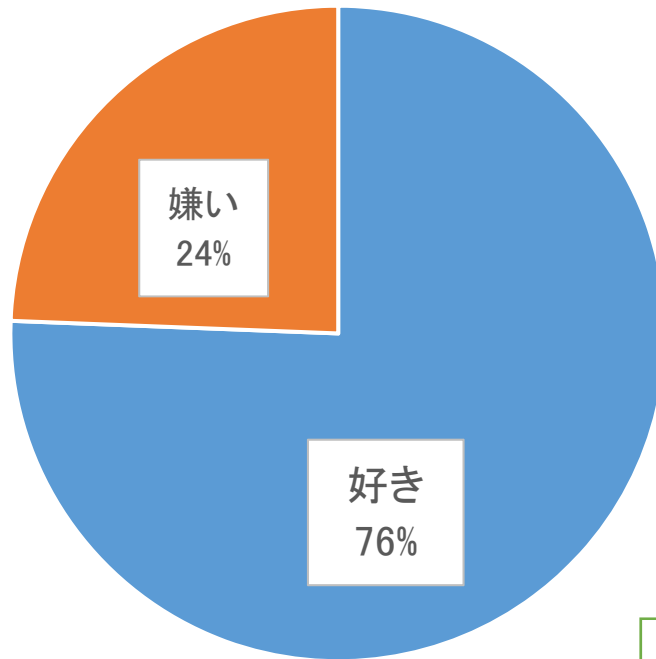
自由時間の過ごし方（平日）



自由時間の過ごし方（休日）

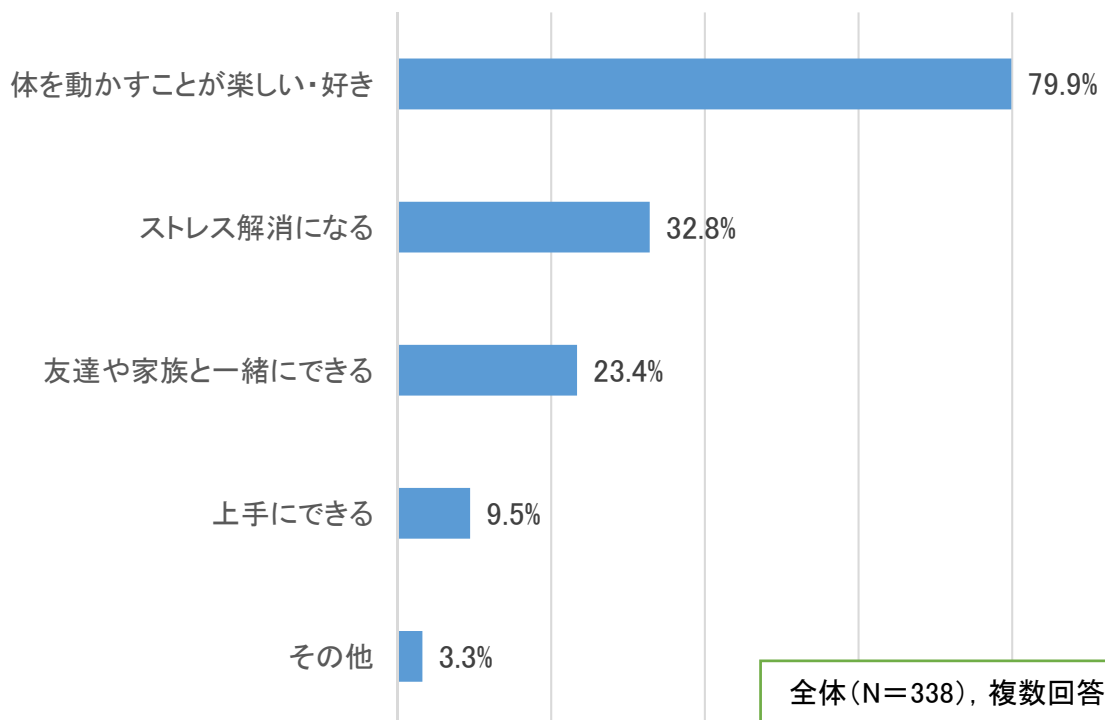


スポーツ・運動の好き、嫌い



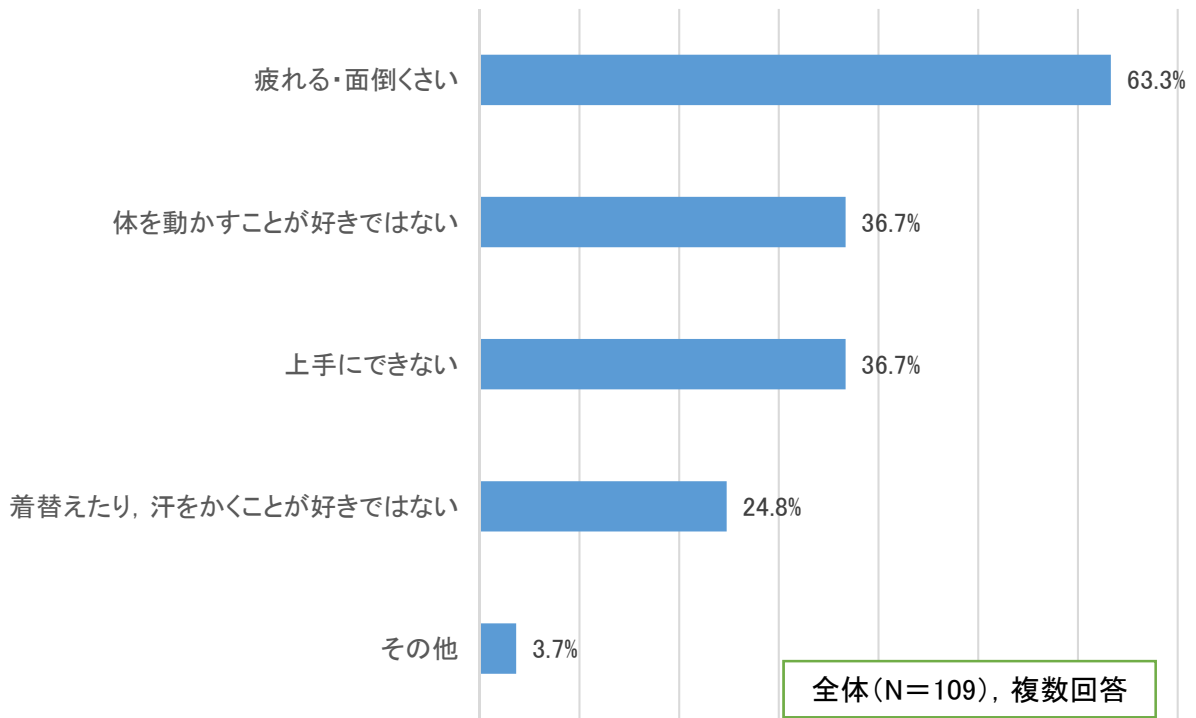
全体(N=447)

スポーツ・運動が好きな理由

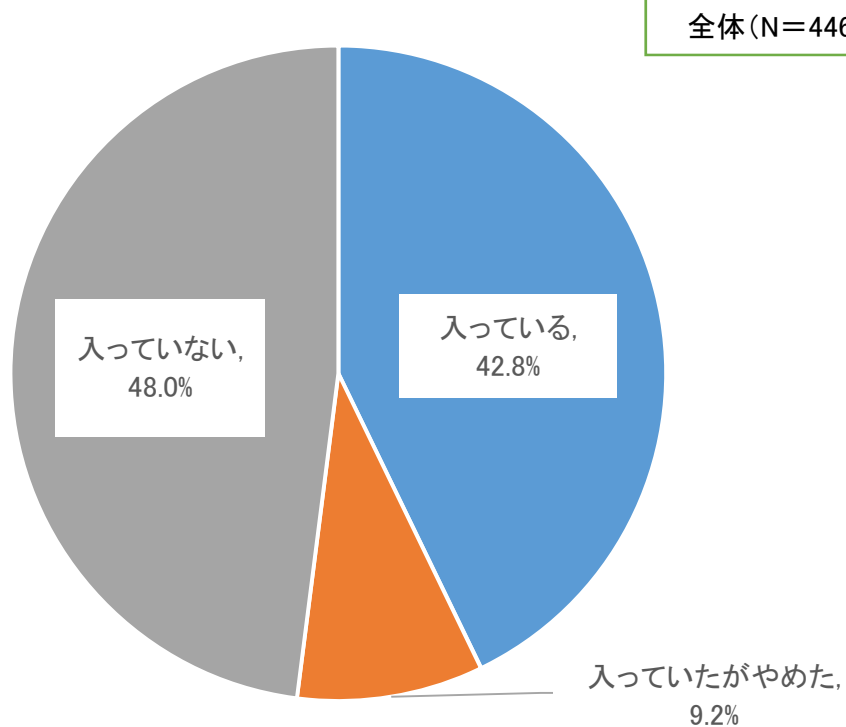


全体(N=338), 複数回答

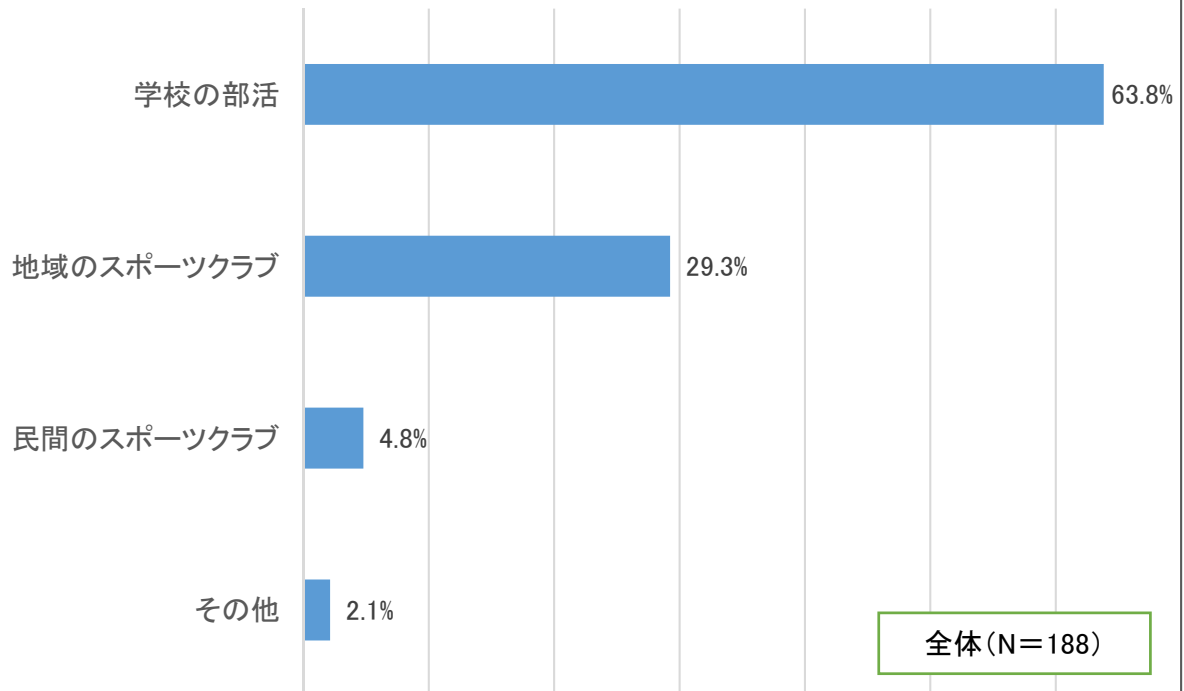
スポーツ・運動が嫌いな理由



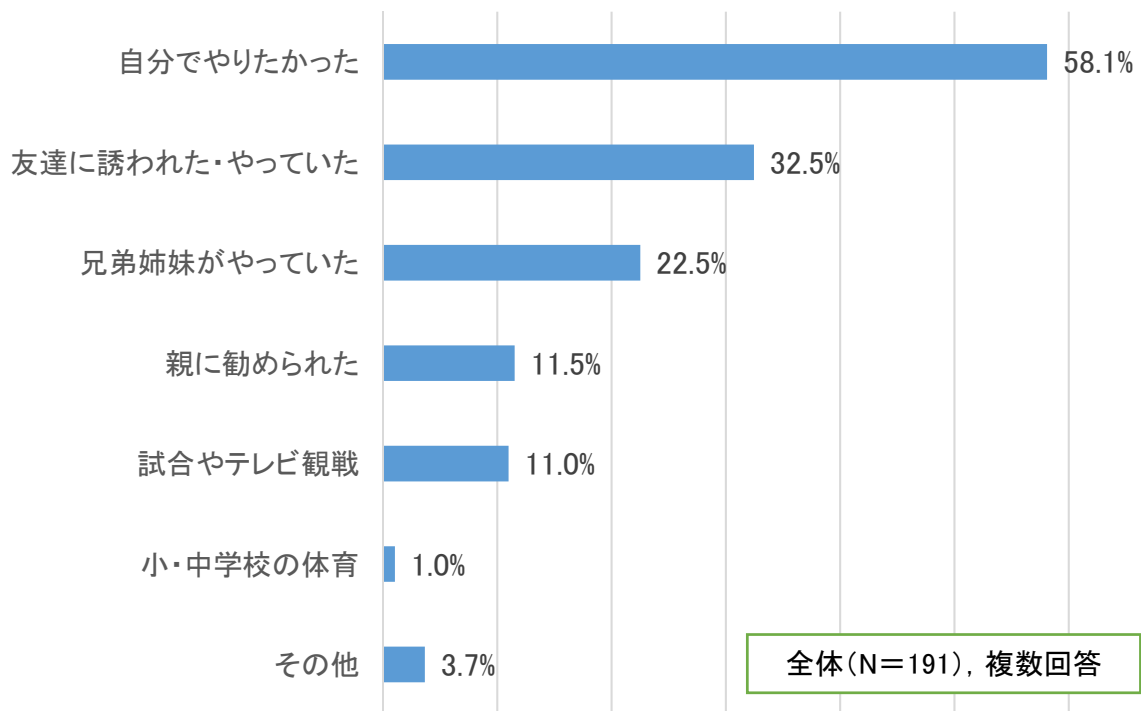
運動部加入状況



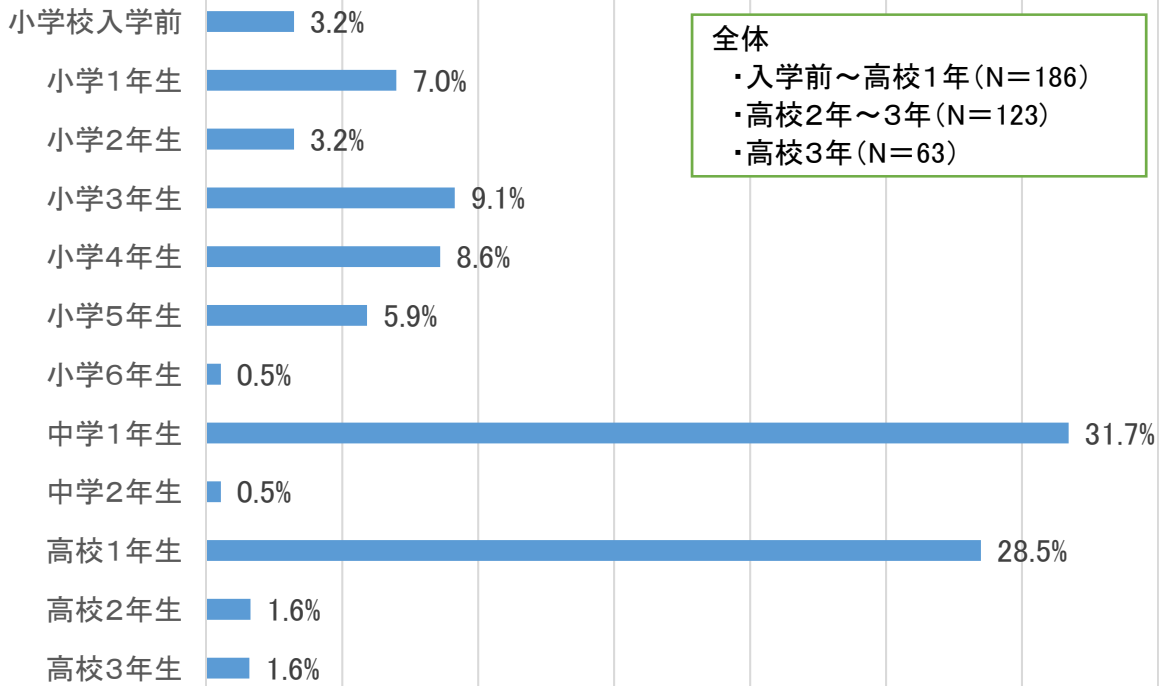
始めた場所



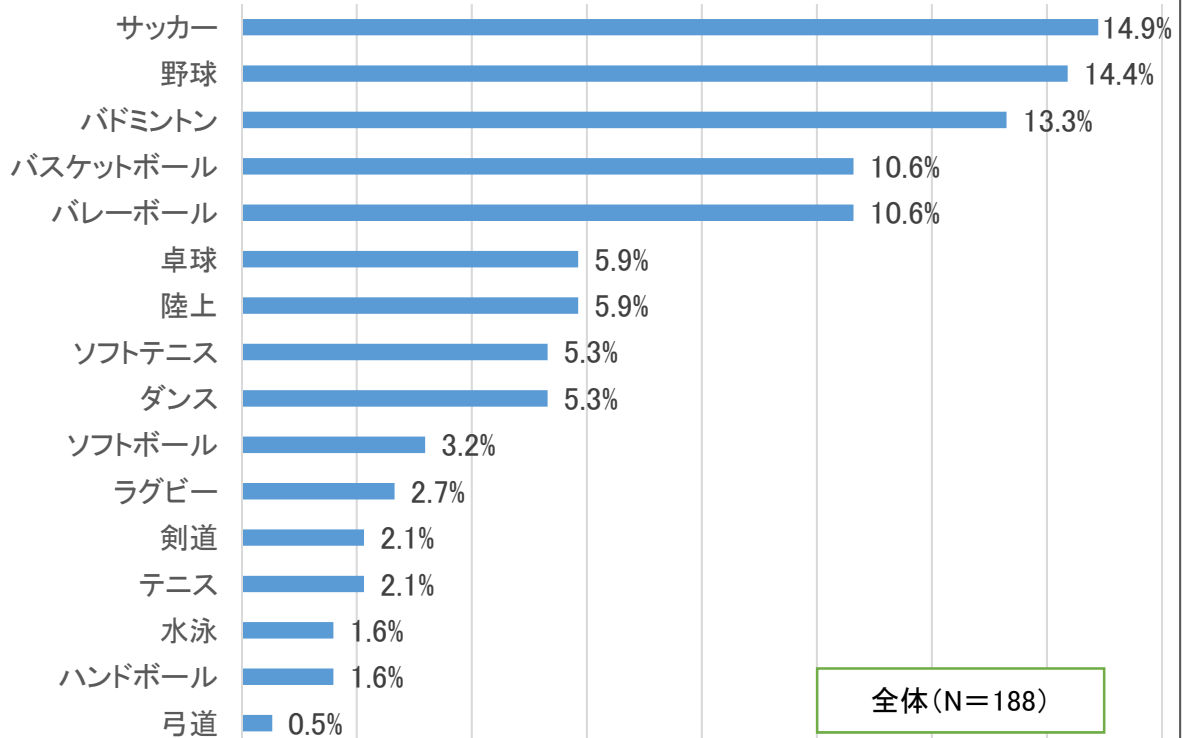
はじめたきっかけ



開始時期

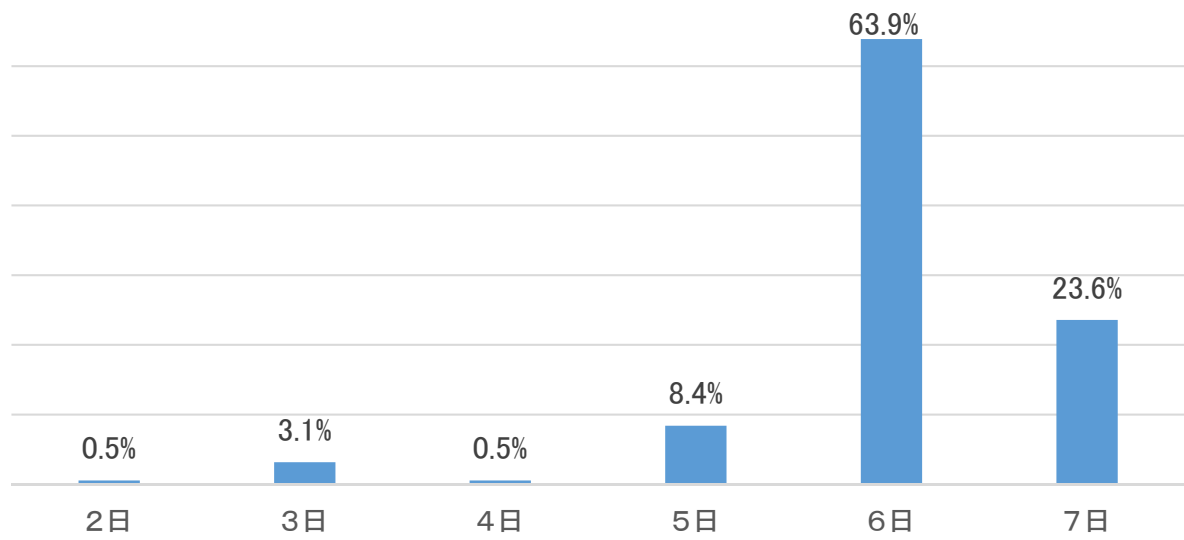


加入している部活の種目



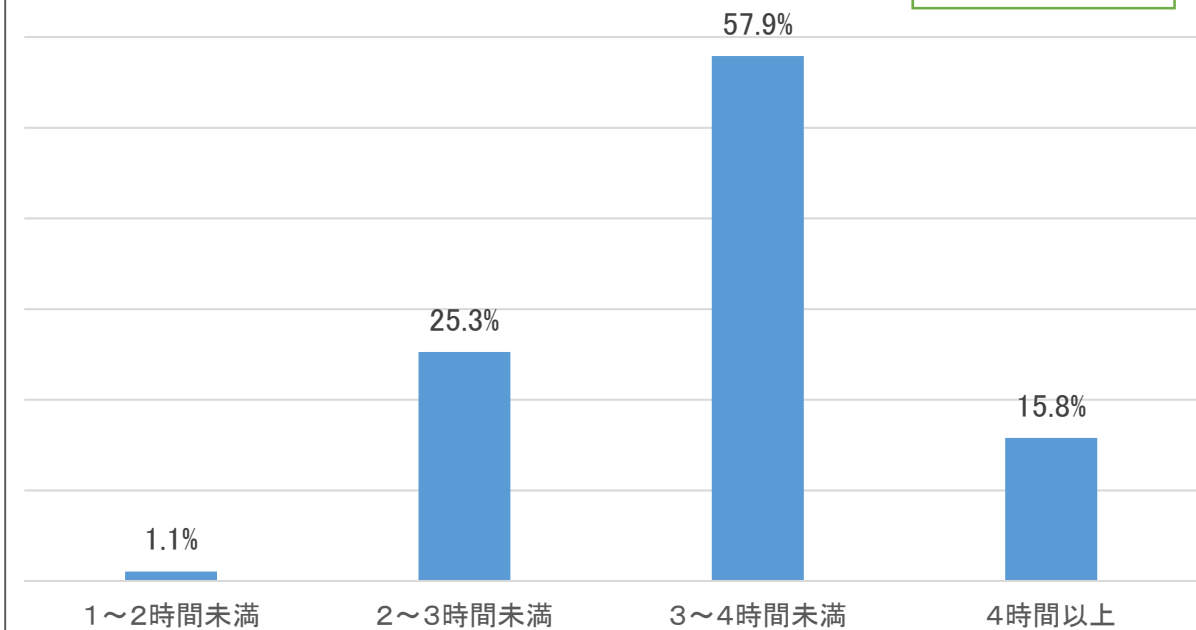
週あたりの練習日数

全体 (N=191)



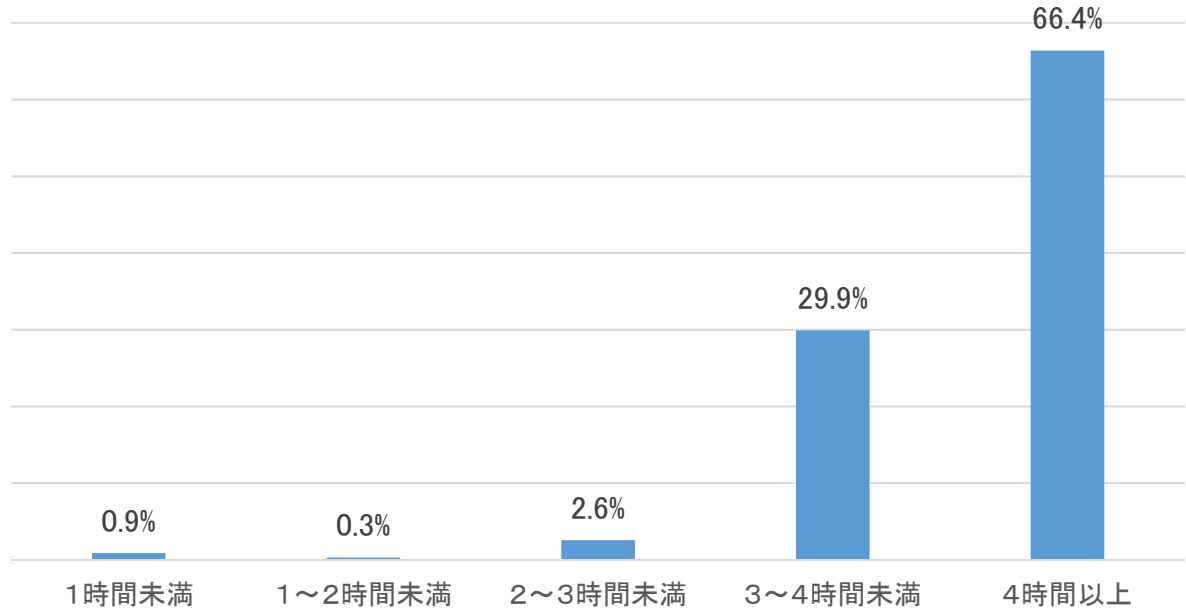
練習時間（平日）

全体 (N=190)

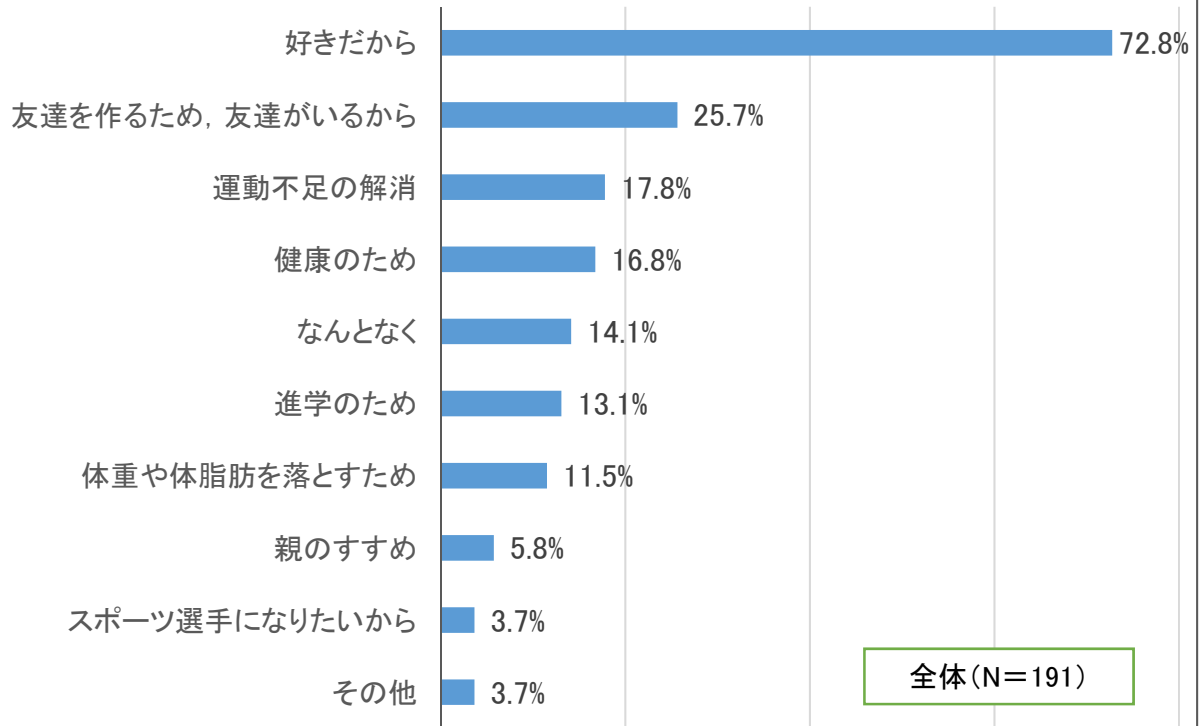


練習時間（土日）

全体(N=351)



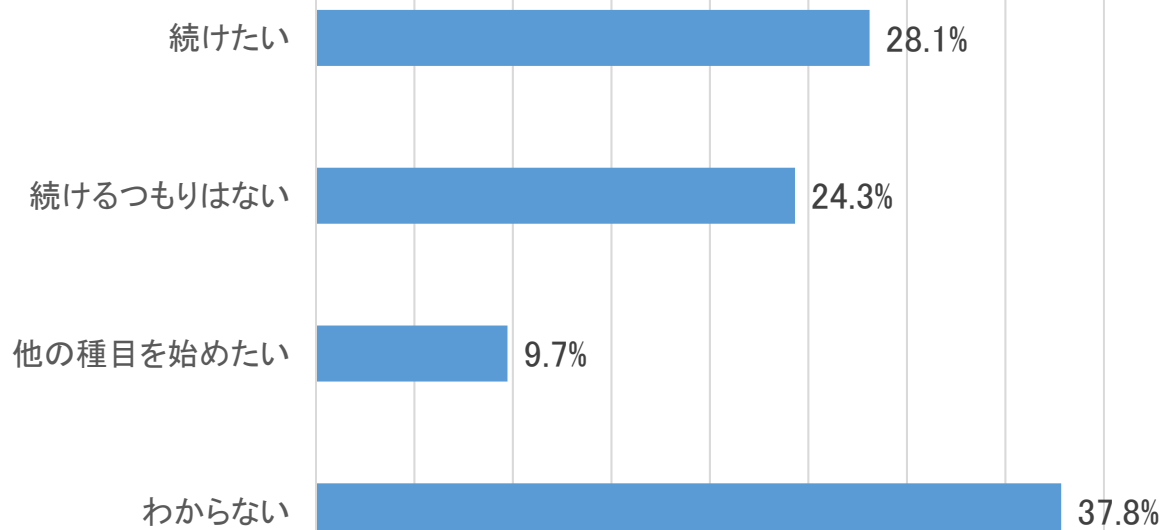
加入理由・継続理由



全体(N=191)

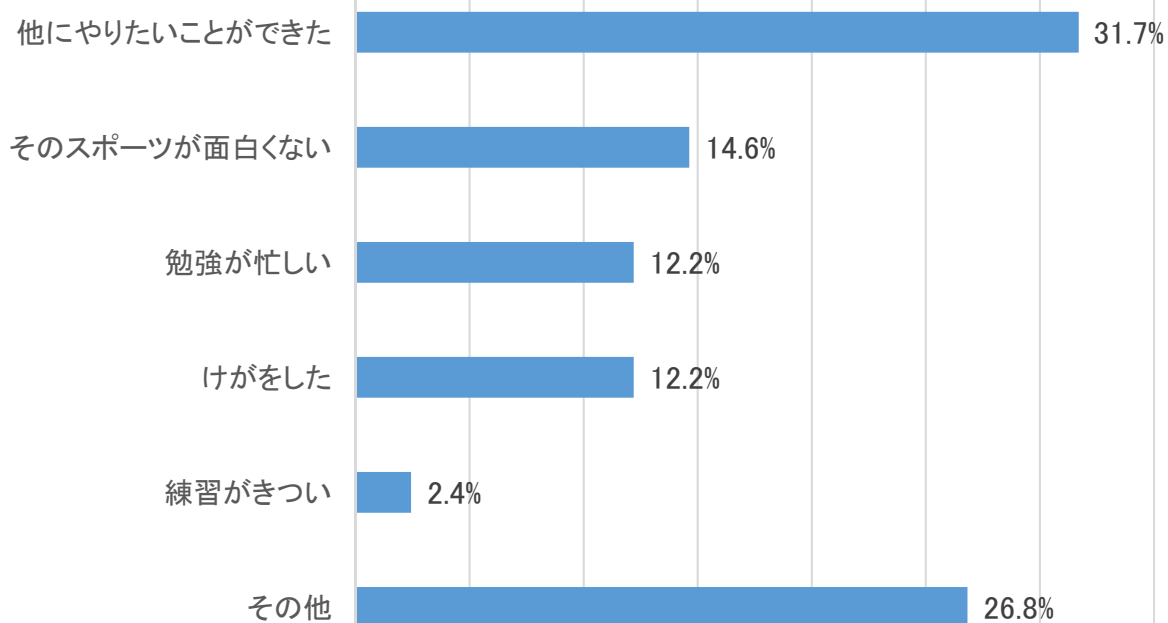
卒業後の継続意思

全体(N=185)

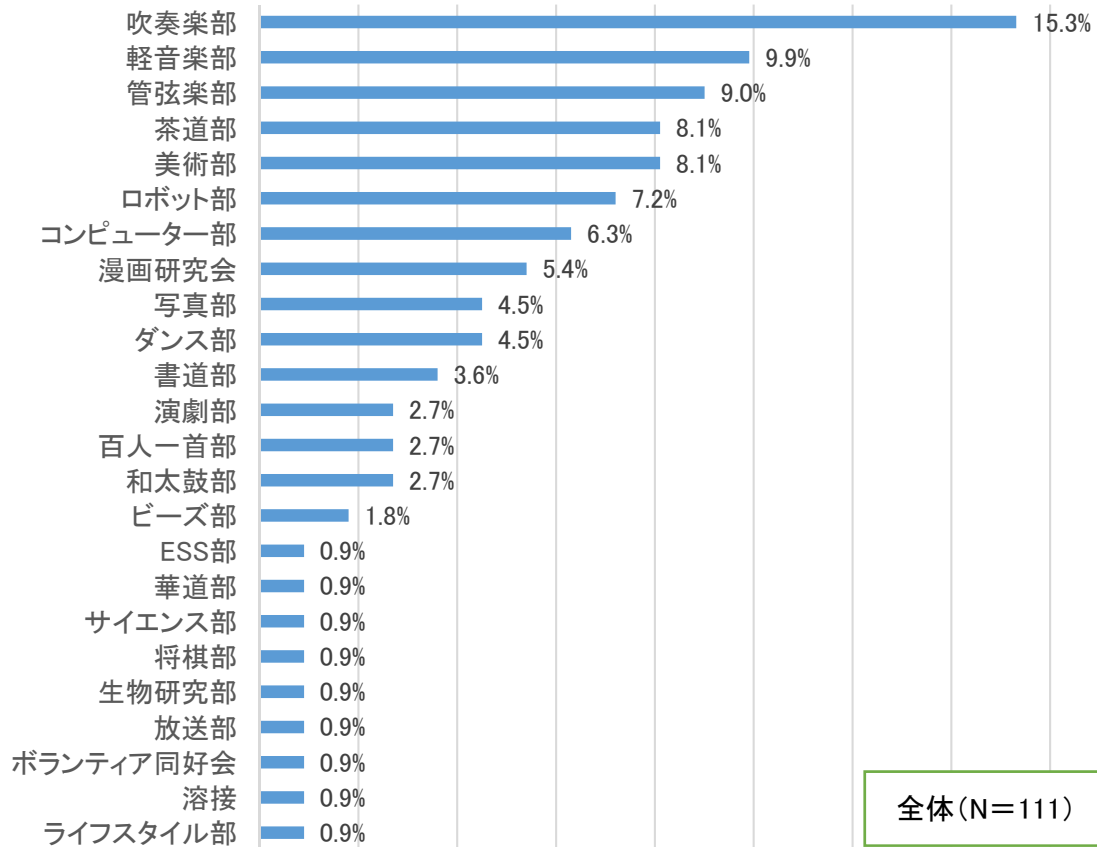


部活動を辞めた理由

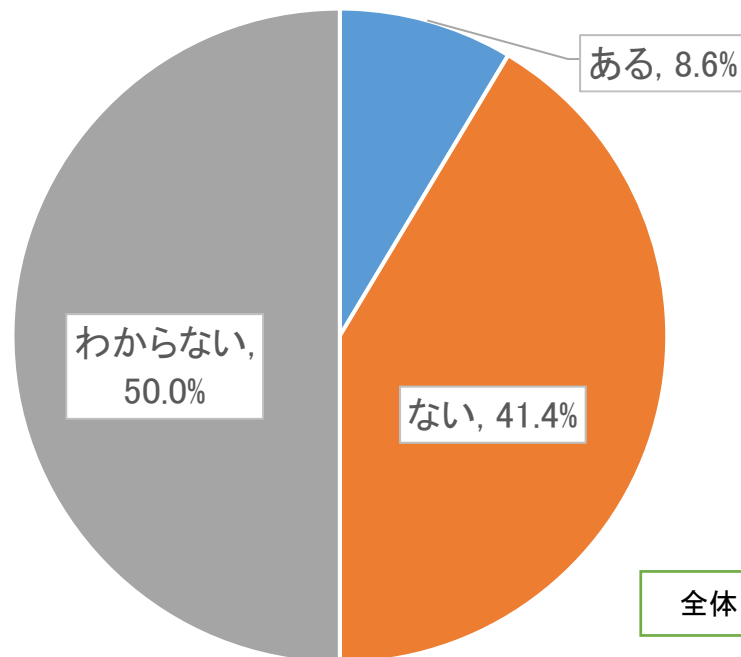
全体(N=41)



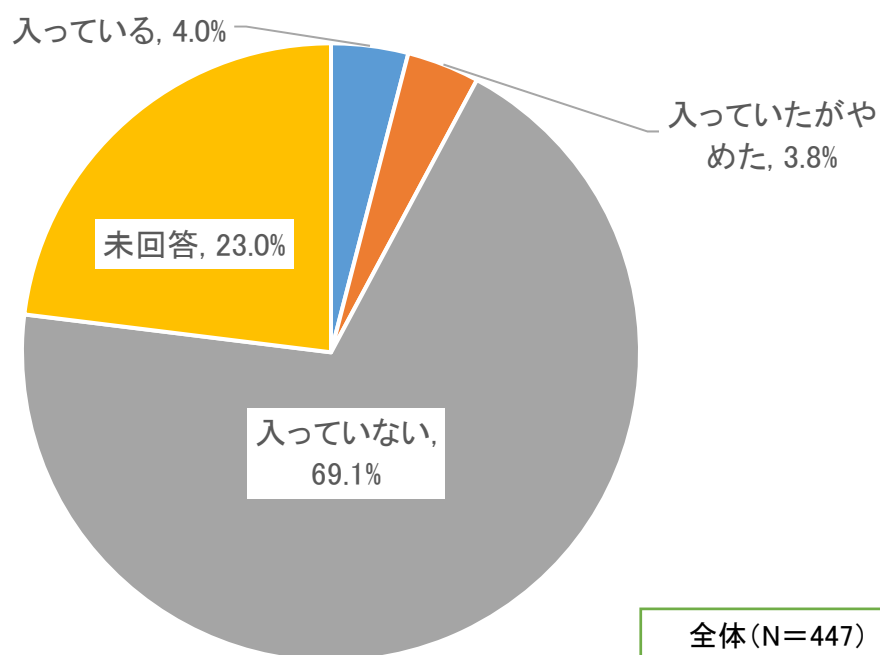
運動部以外の部活動



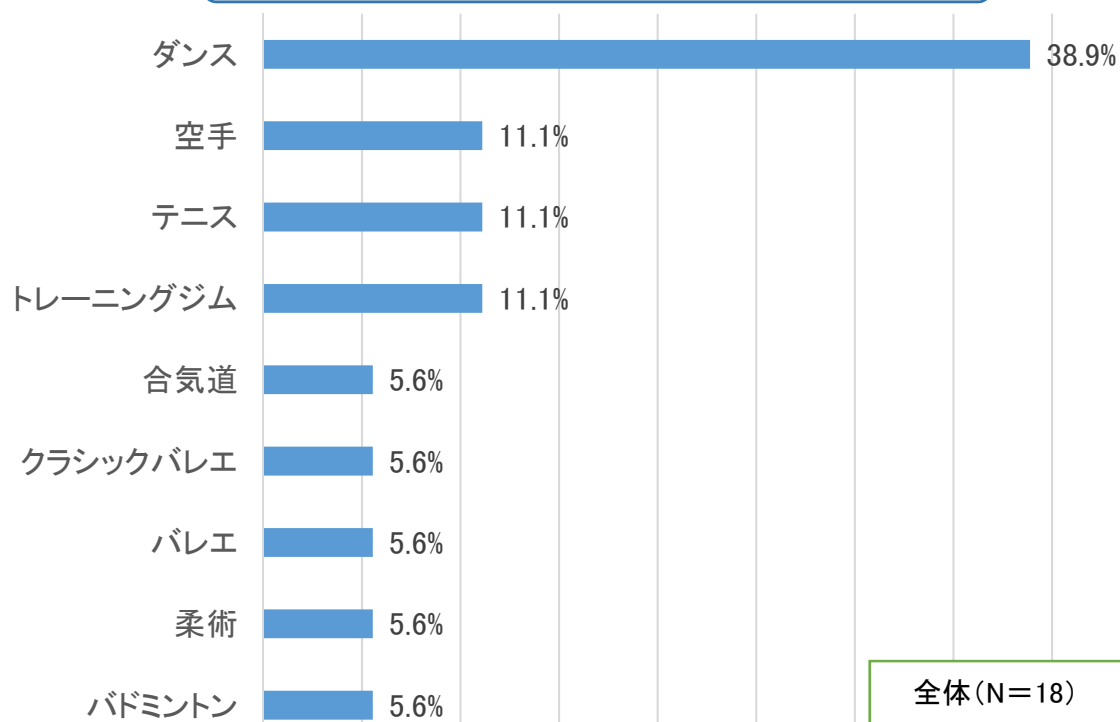
運動部未加入者の今後スポーツを開始する気持ち



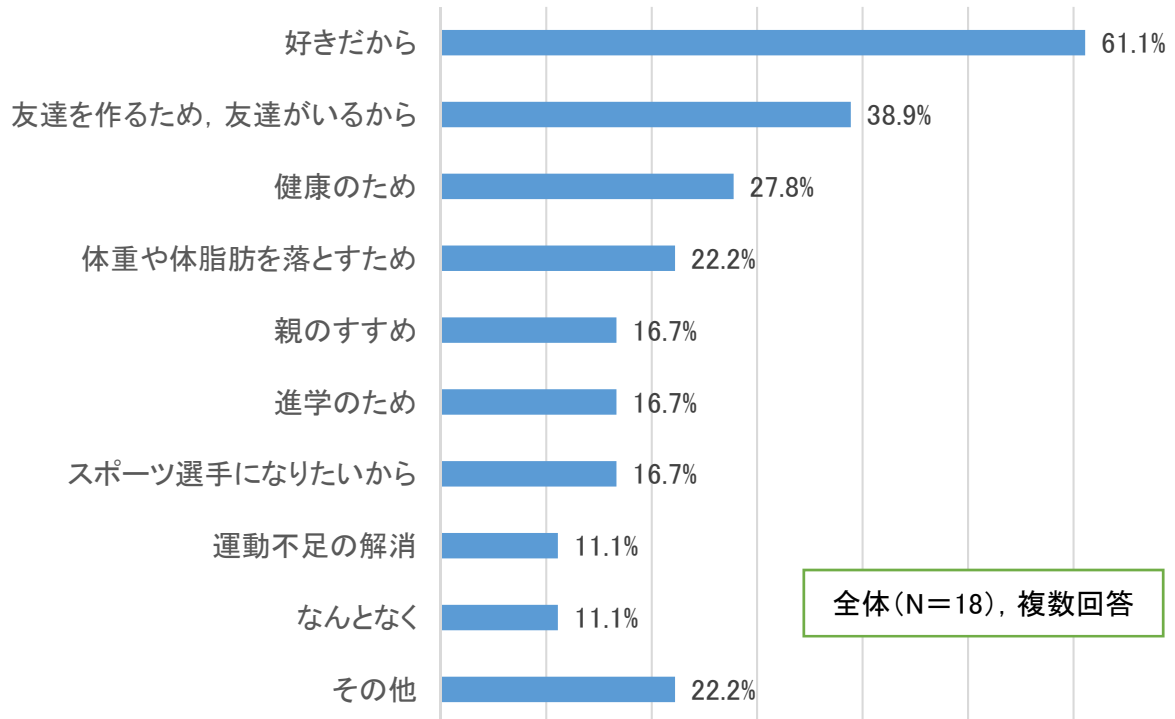
学校外のスポーツクラブの加入状況



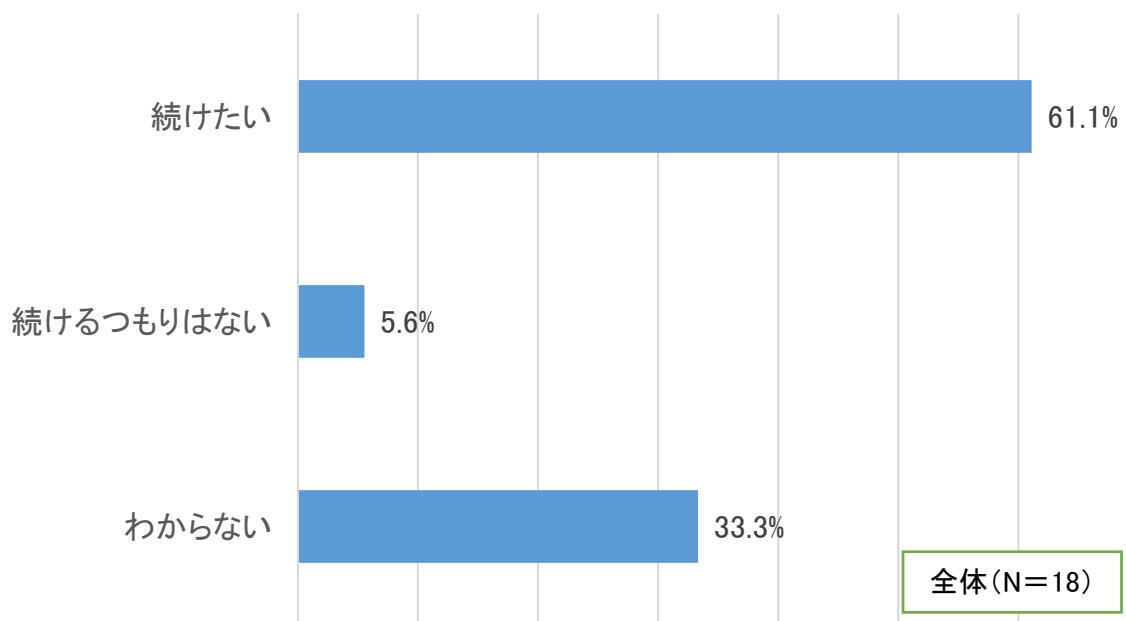
学校外のスポーツクラブの種目



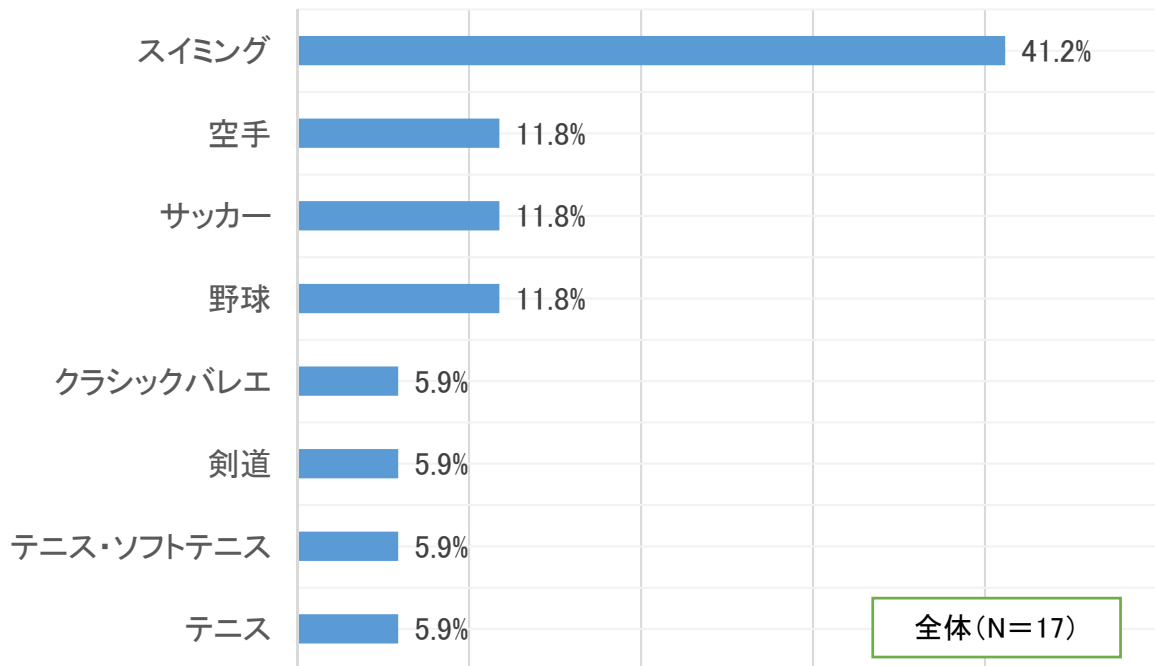
スポーツクラブ加入理由・継続理由



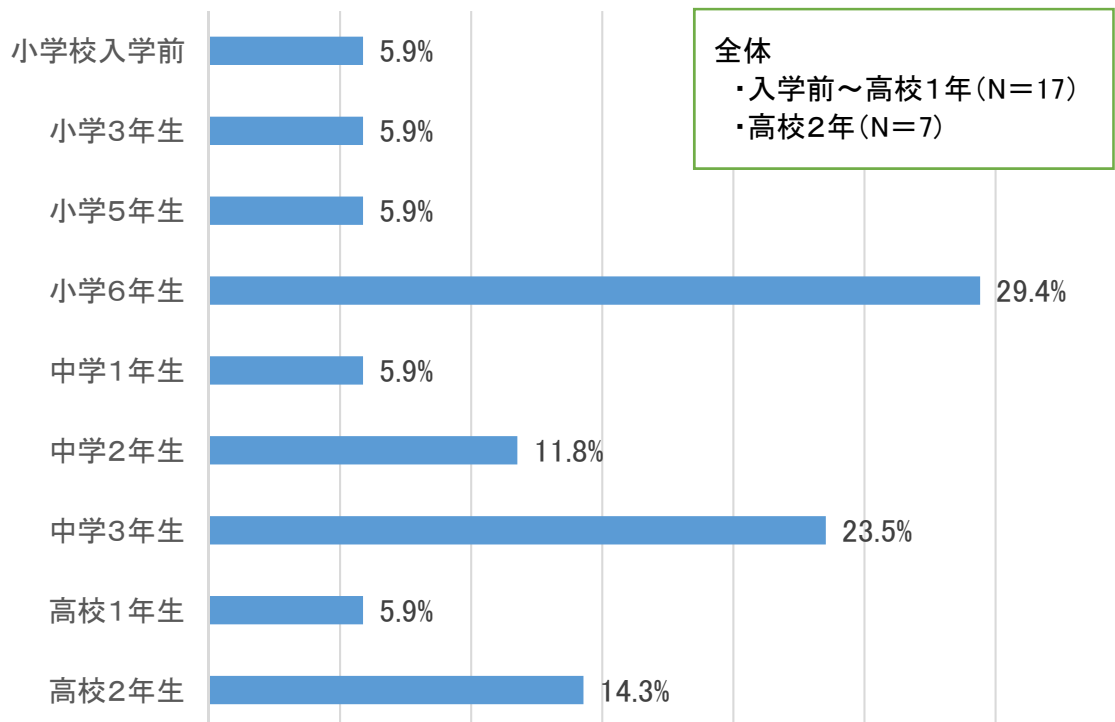
今後の継続意思



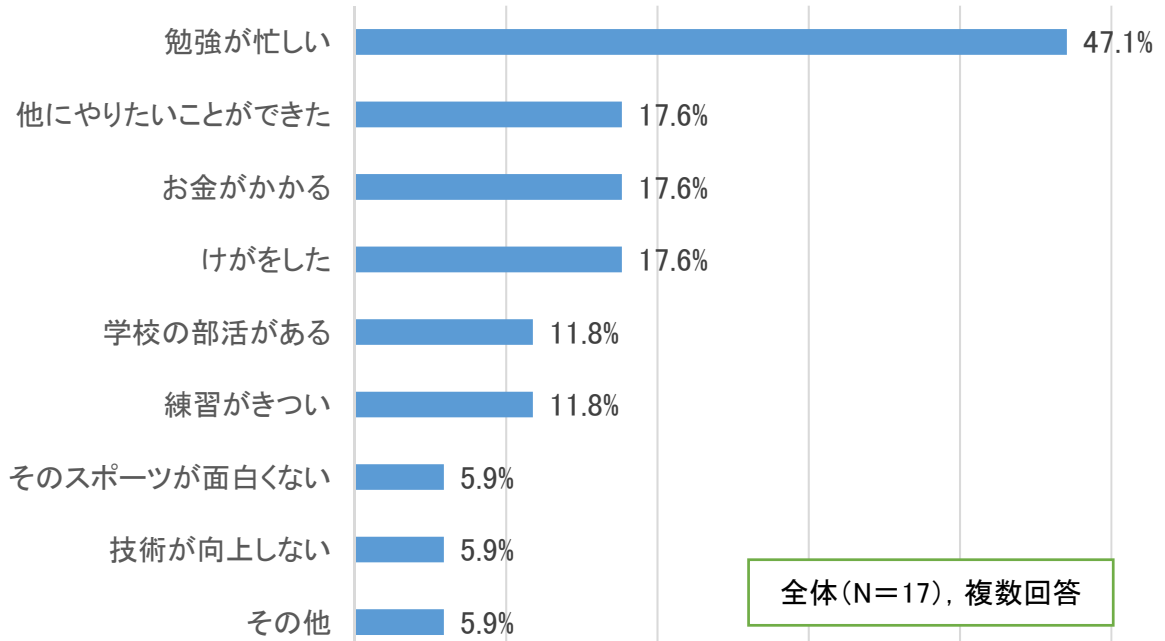
入っていたスポーツクラブの種目



スポーツクラブをやめた時期

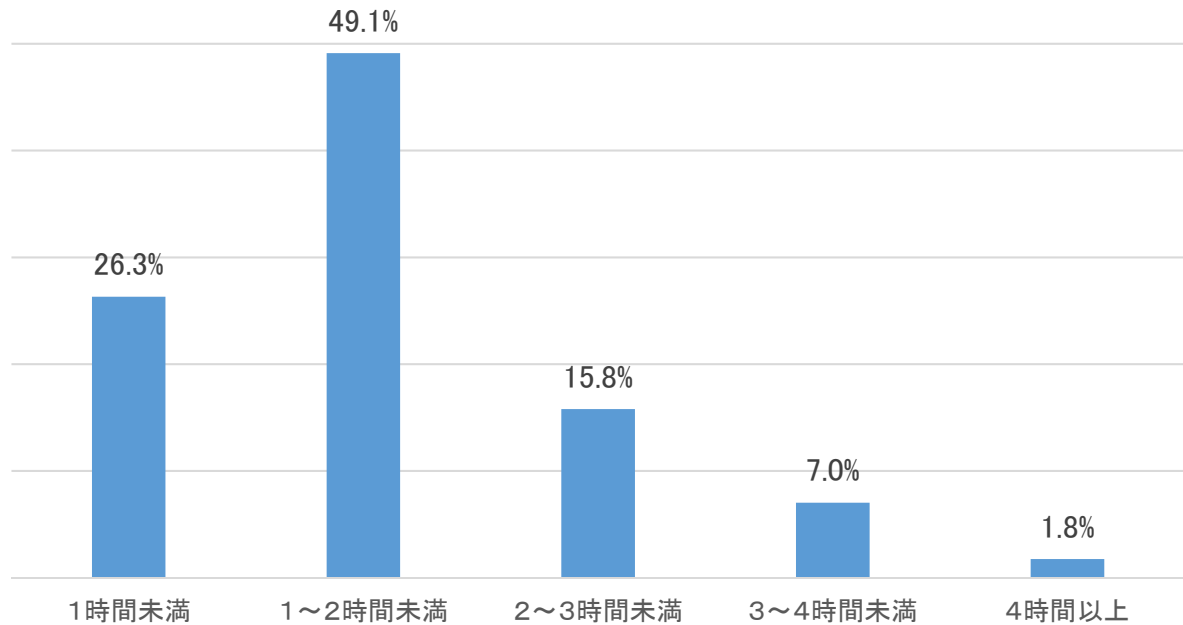


スポーツクラブをやめた理由



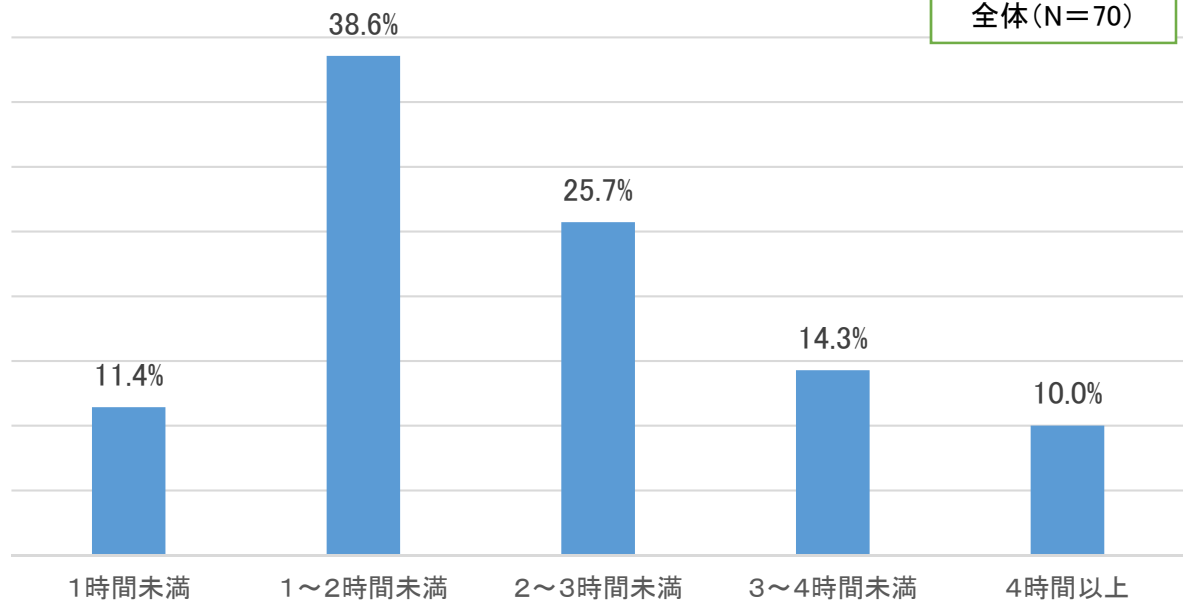
学校，部活動等以外の運動時間（平日）

全体(N=57)

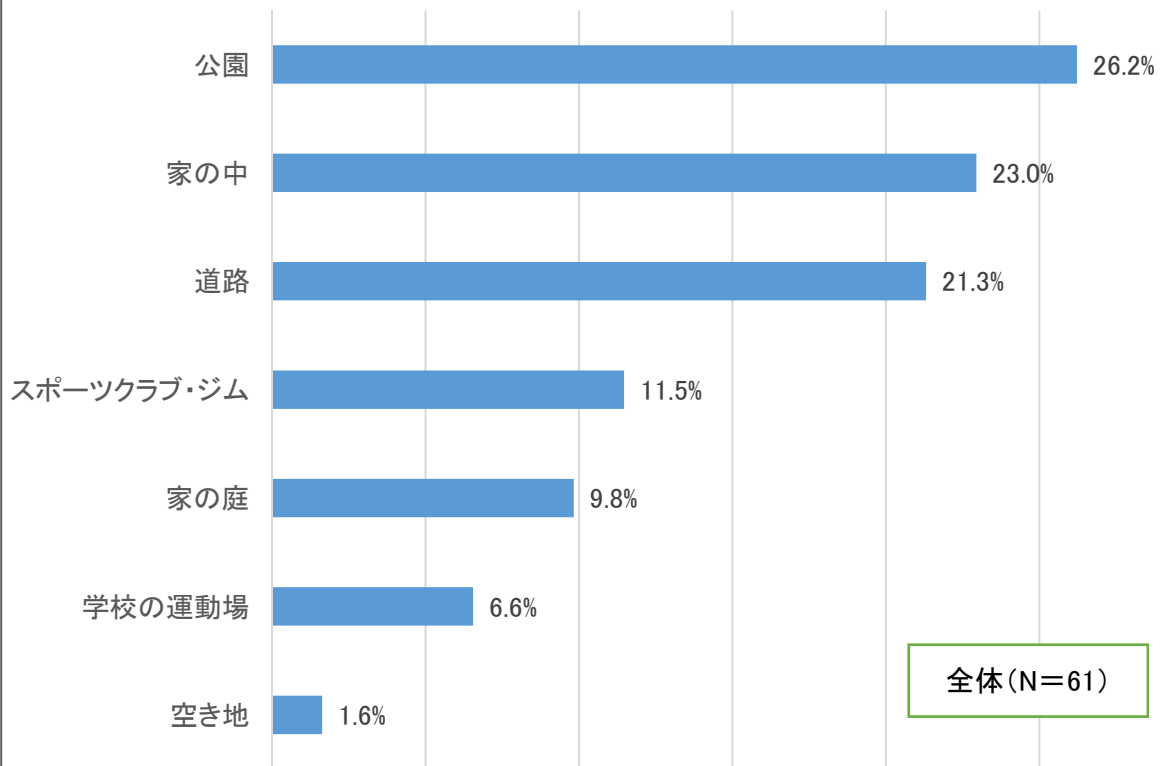


学校，部活動等以外の運動時間（休日）

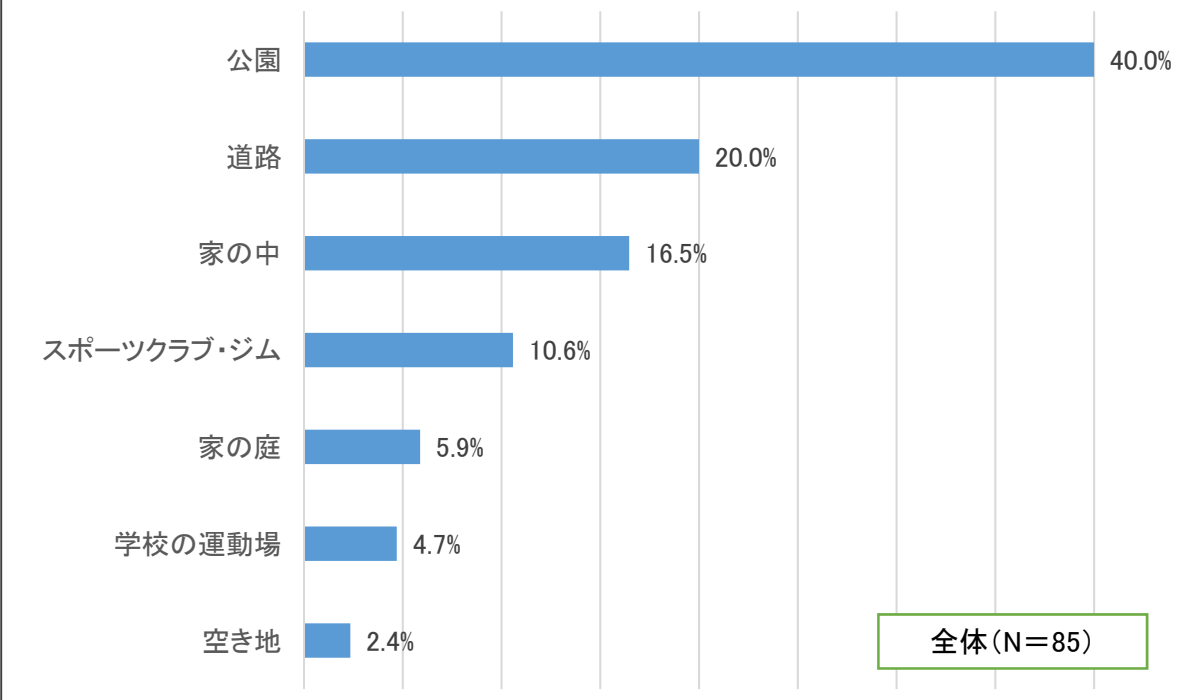
全体(N=70)



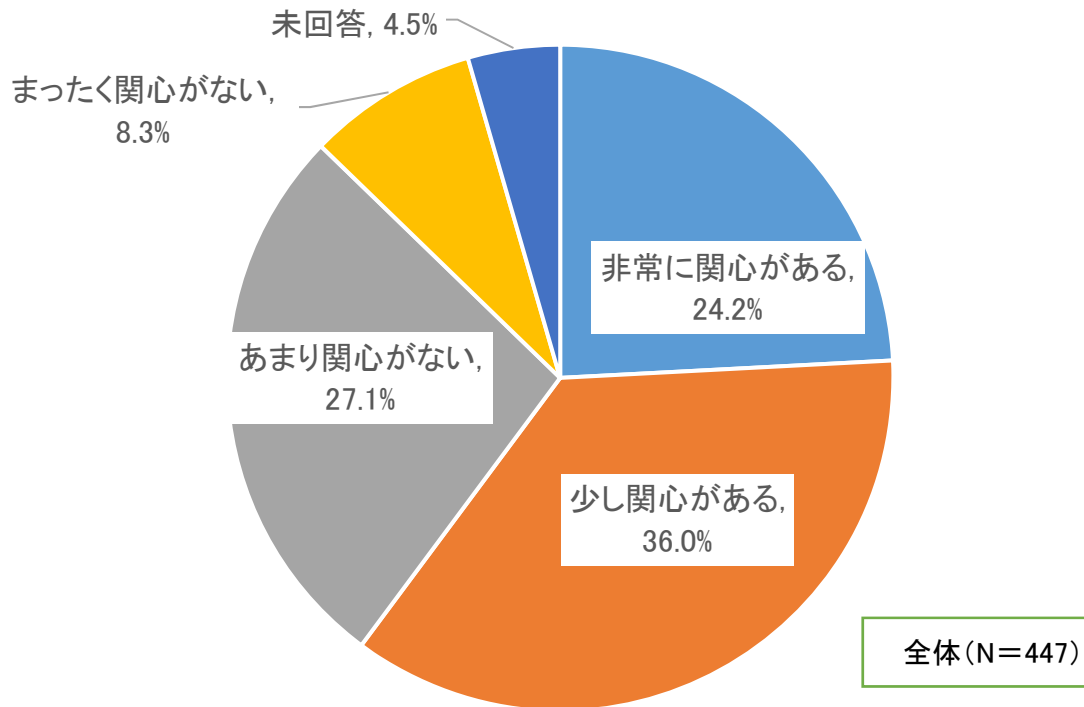
学校，部活動等以外の運動場所（平日）



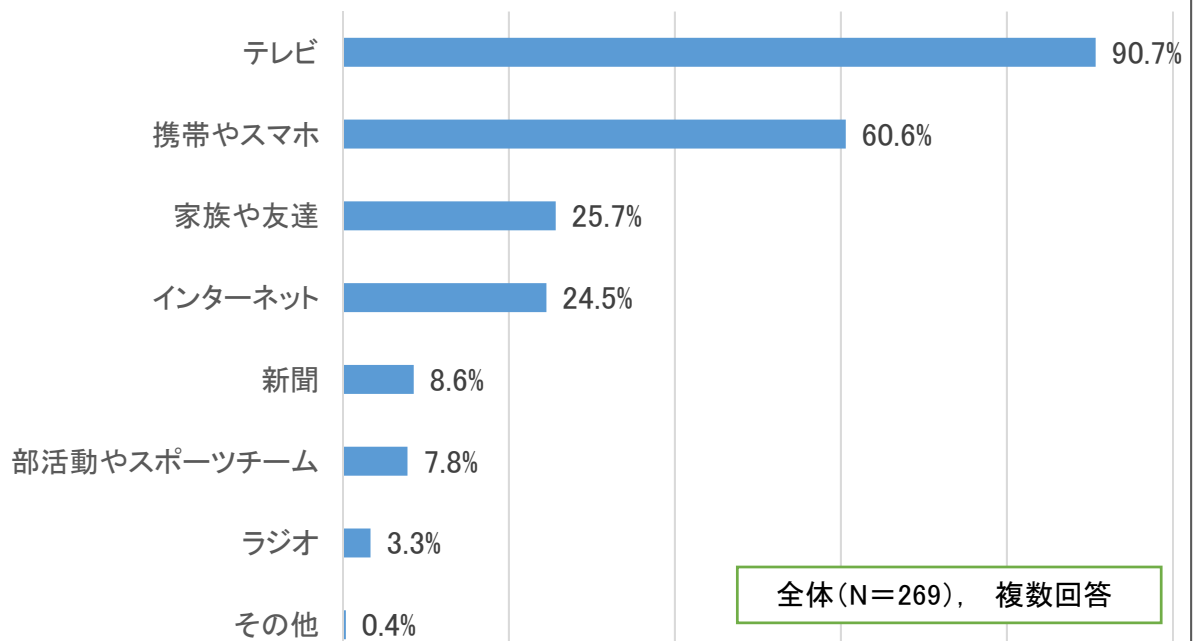
学校，部活動等以外の運動場所（休日）



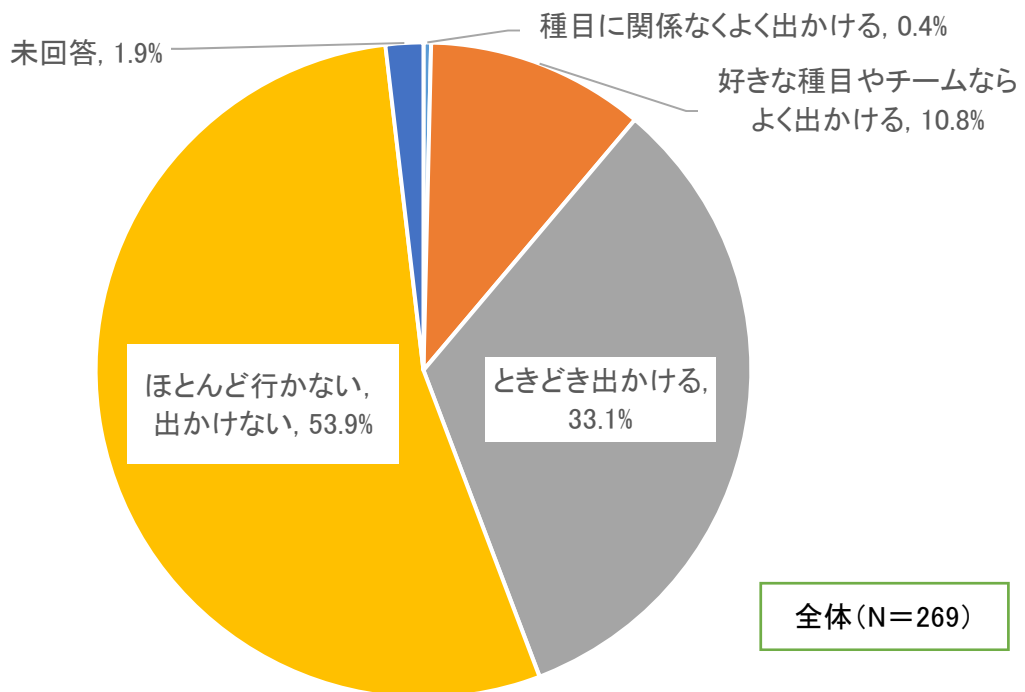
スポーツを見ることへの関心



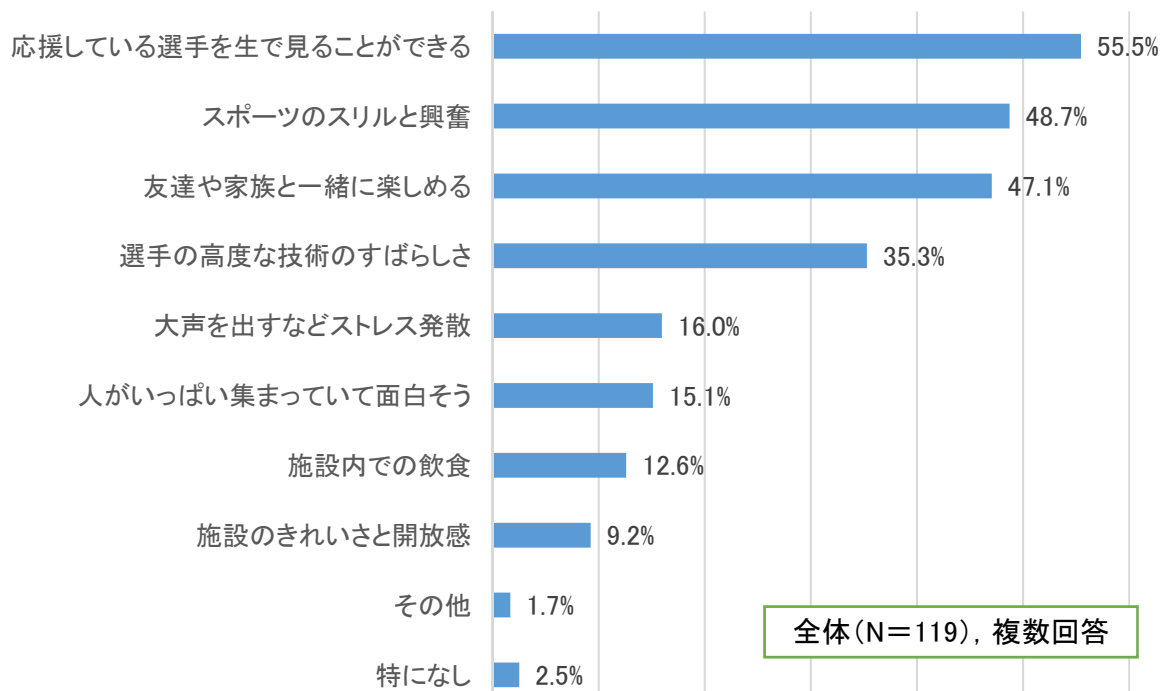
スポーツに関する情報収集方法



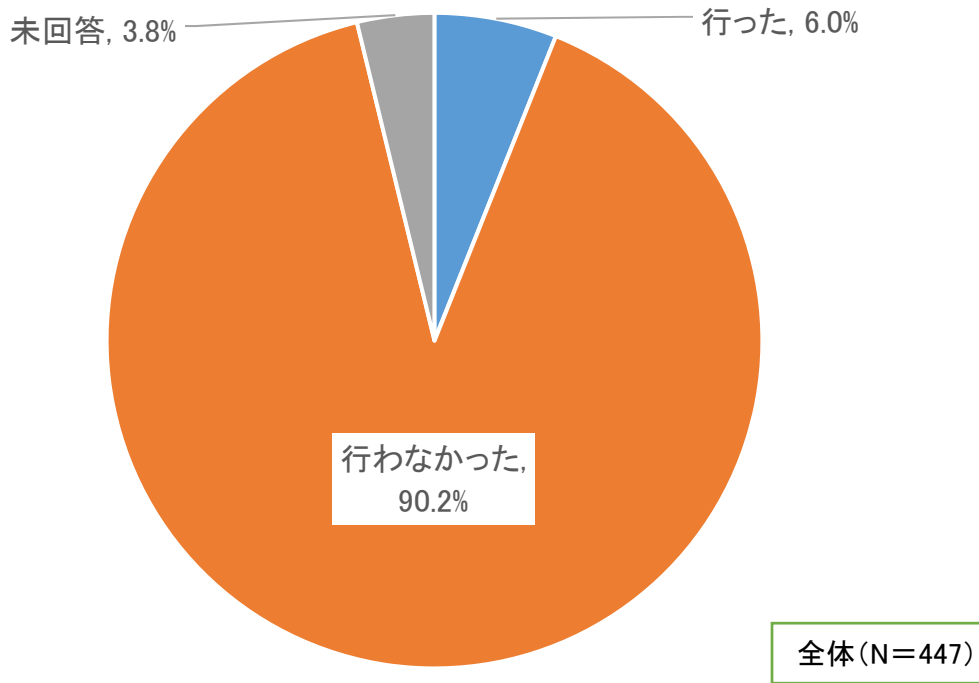
スタジアムや競技場での観戦頻度



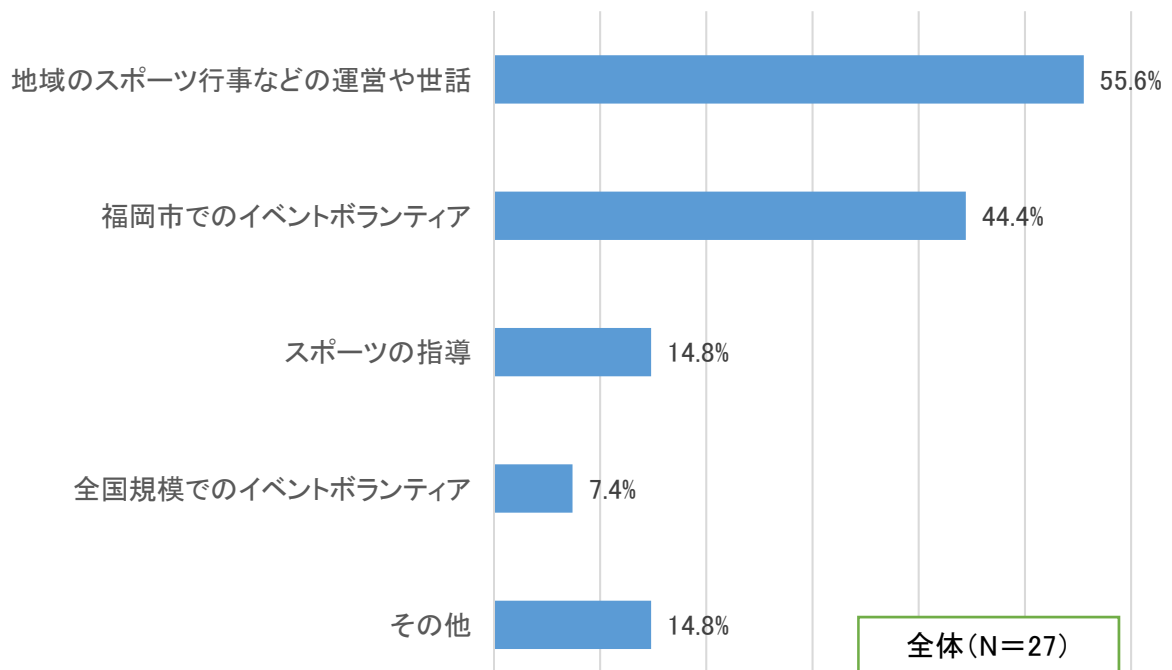
スタジアムや競技場の魅力



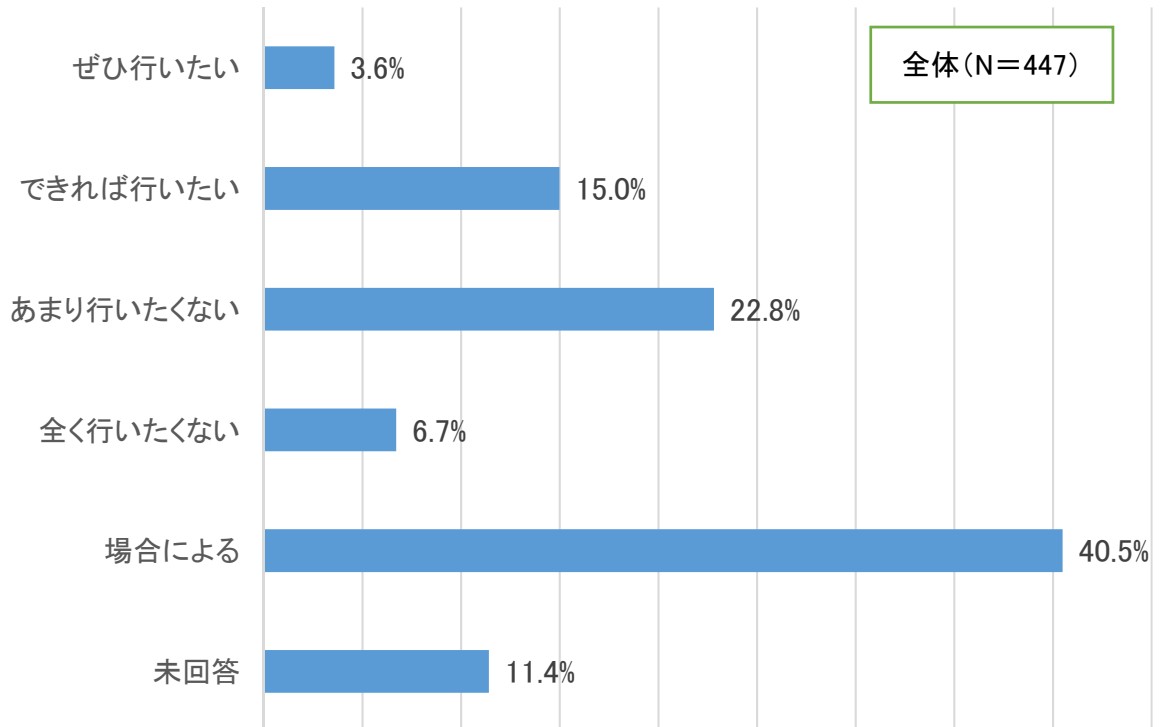
過去1年間のボランティア実施の有無



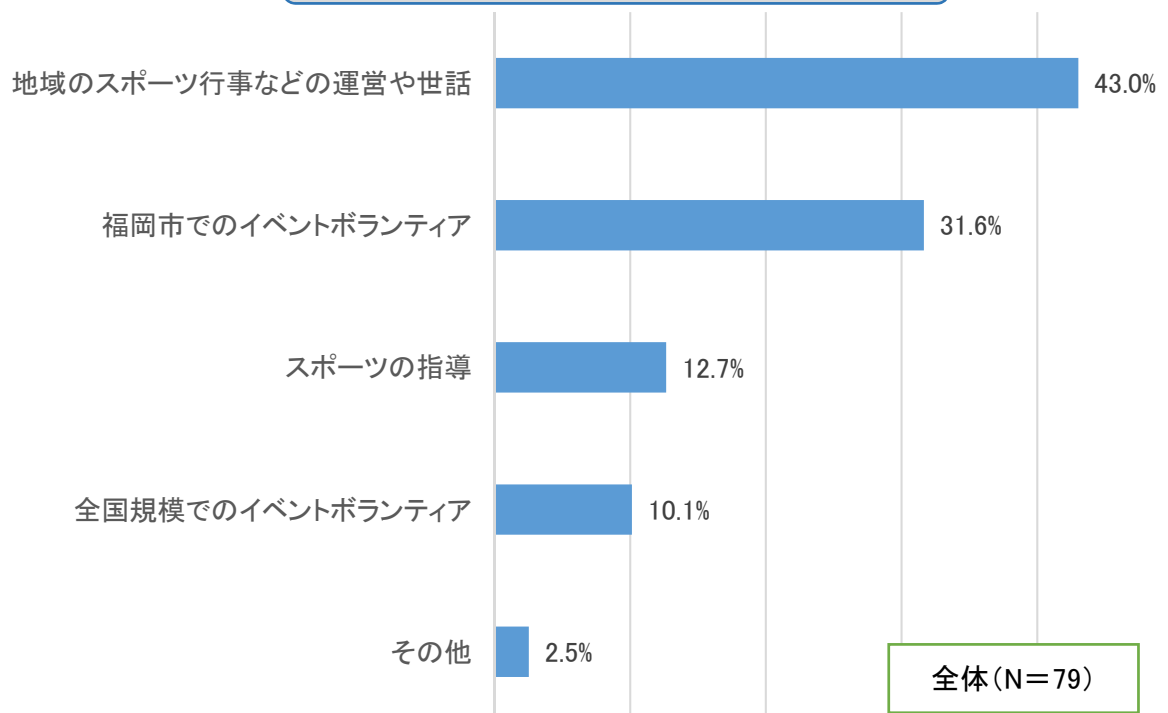
過去1年間のボランティアの内容



ボランティアの意思



行いたいボランティア



スポーツチーム

		1年生		2年生		3年生	
		知っている	応援	知っている	応援	知っている	応援
福岡ソフトバンクホークス	(野球)	125	64	135	74	120	54
アビスパ福岡	(サッカー)	115	35	122	23	117	19
ライジングゼファーフクオカ	(バスケットボール)	44	15	54	8	47	11
福岡 J・アンクラス	(女子サッカー)	10	3	11	1	8	3
コカ・コーラウエストレッドスパークス	(ラグビー)	13	2	9	2	11	4
九州電力キューデンヴォルテクス	(ラグビー)	7	2	3	1	11	5
宗像サニックスブルース	(ラグビー)	7	0	5	1	10	3
フレッサ福岡	(ハンドボール)	3	1	3	1	8	3
ひとつもない		6	26	2	27	10	31

平成 30 年度 スポーツ推進委員の活動と意識に関する調査 (概要版)

【調査概要】

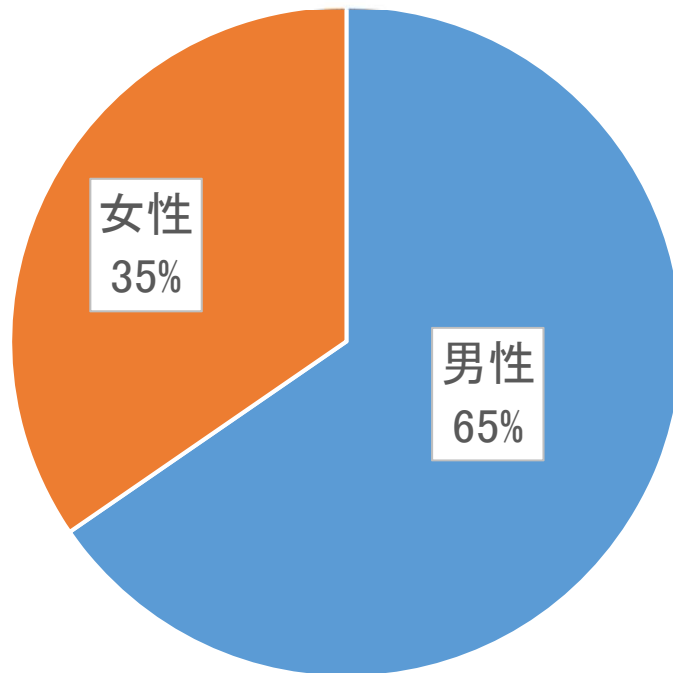
1. 調査の目的

スポーツ推進委員の活動と意識に関する実態調査を行うことにより、スポーツ推進委員の現状を把握するとともに、今後のスポーツ推進施策を検討する基礎資料とする。

2. 調査内容

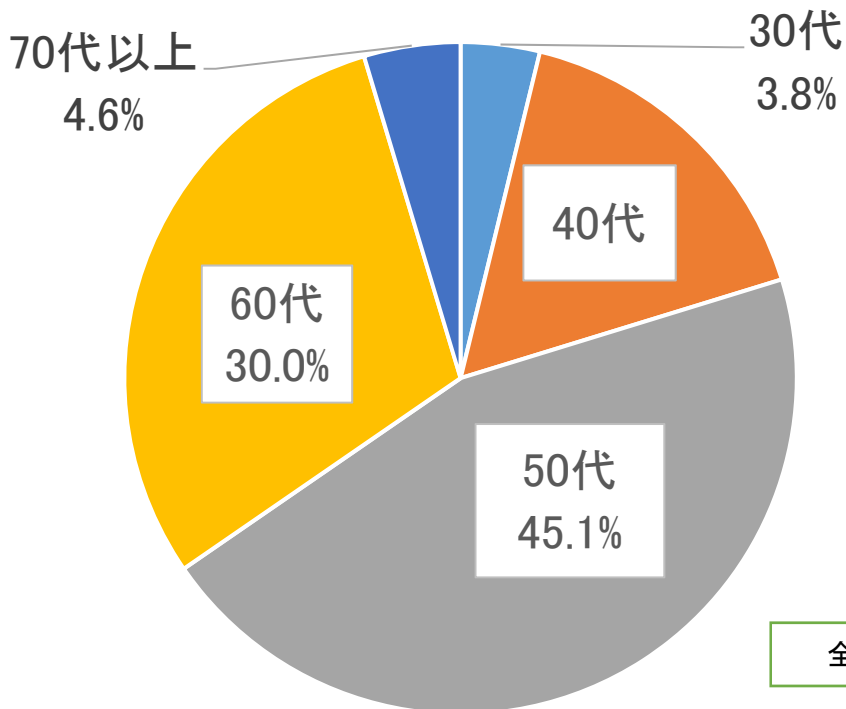
- 対象者 スポーツ推進委員：285 人（平成 30 年 10 月時点）
- 調査方法 郵送
- 調査期間 平成 30 年 10 月 9 日～11 月 9 日
- 回答数 237 人

スポーツ推進委員の構成



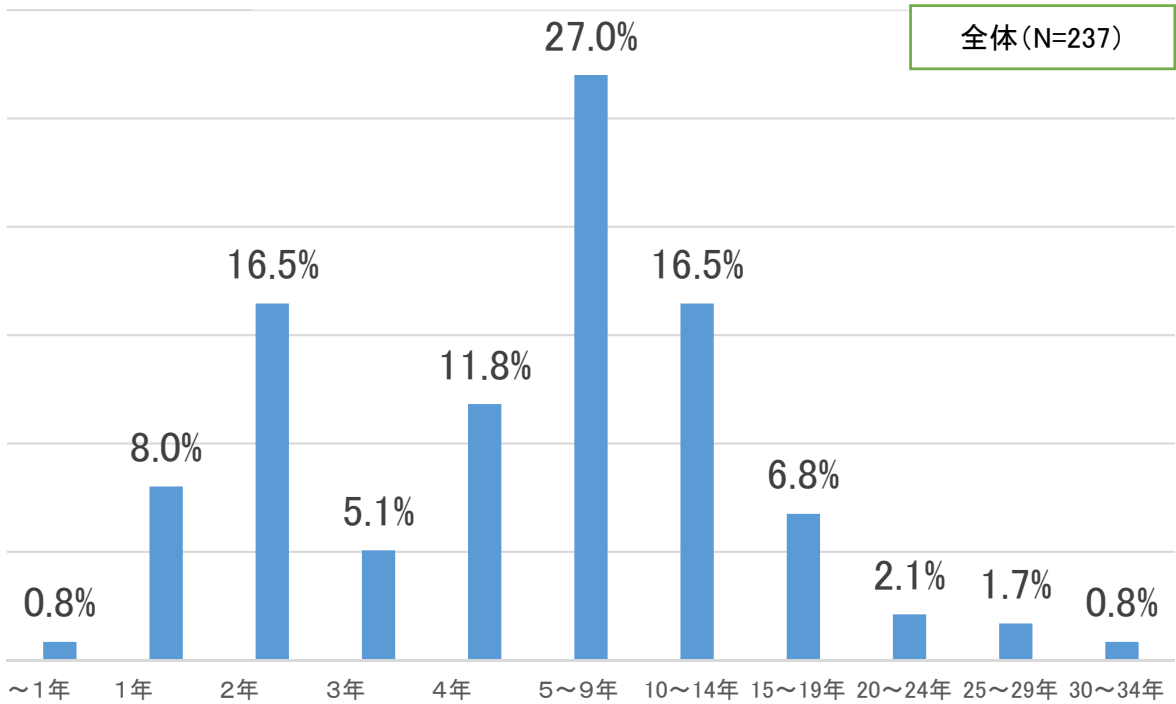
全体 (N=237)

スポーツ推進委員の年齢構成

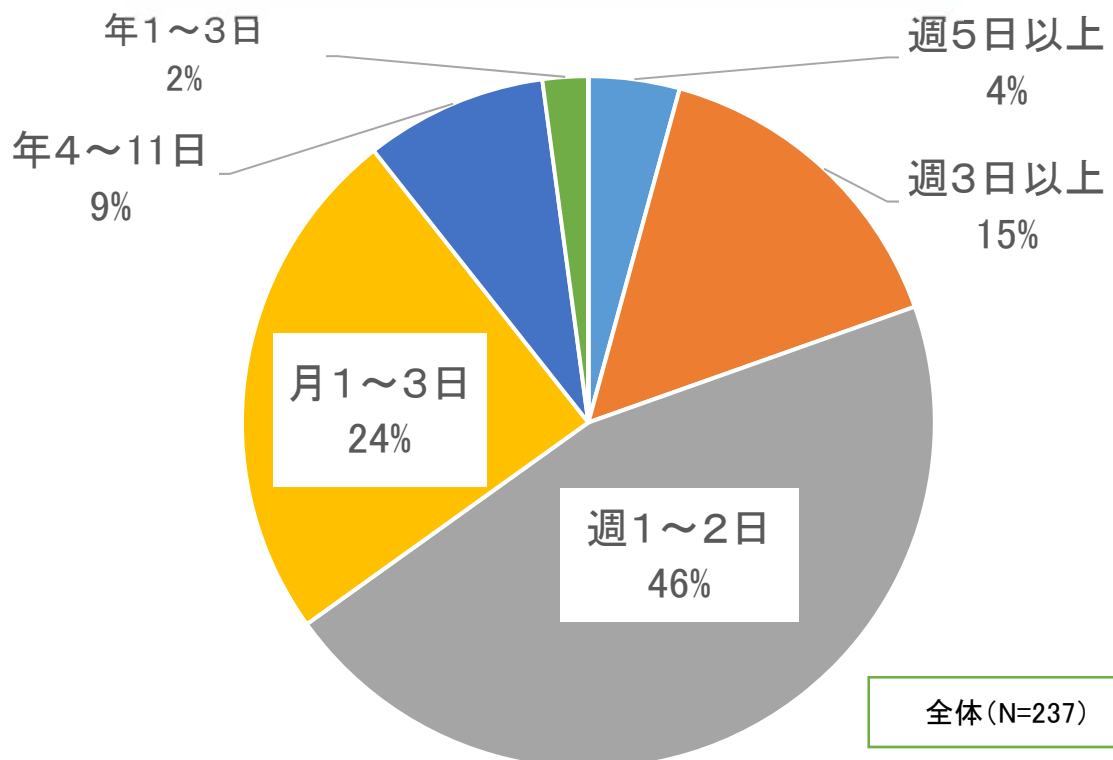


全体 (N=237)

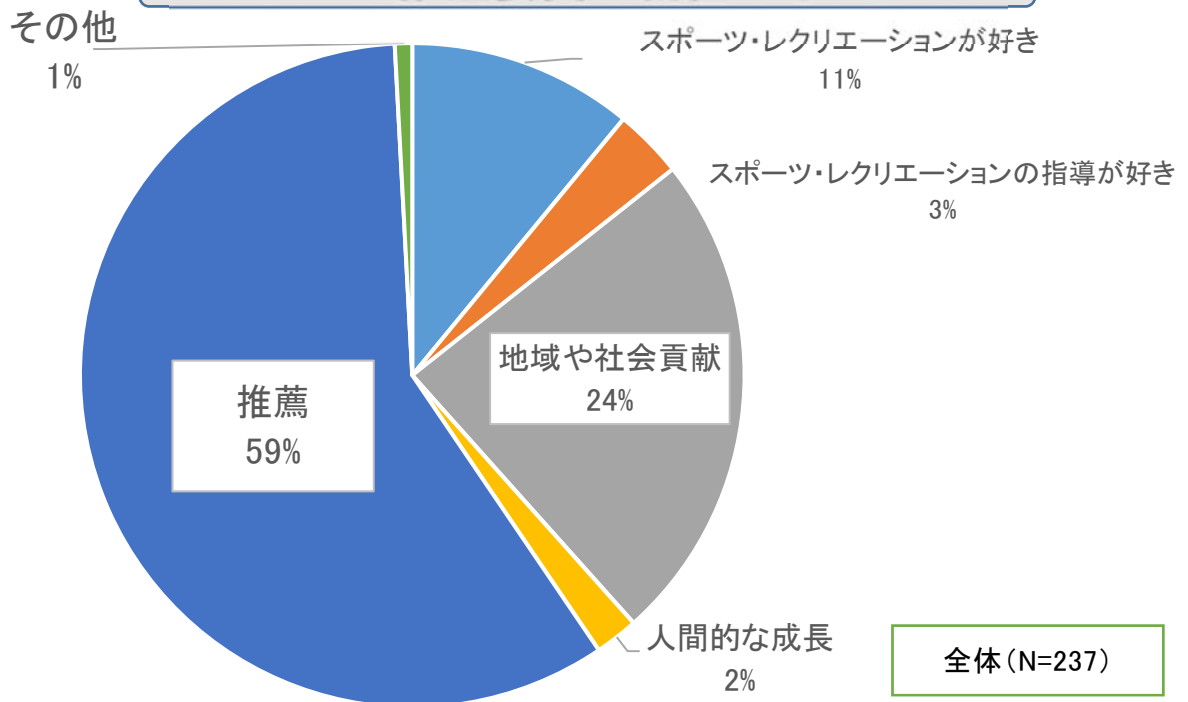
スポーツ推進委員の経験年数



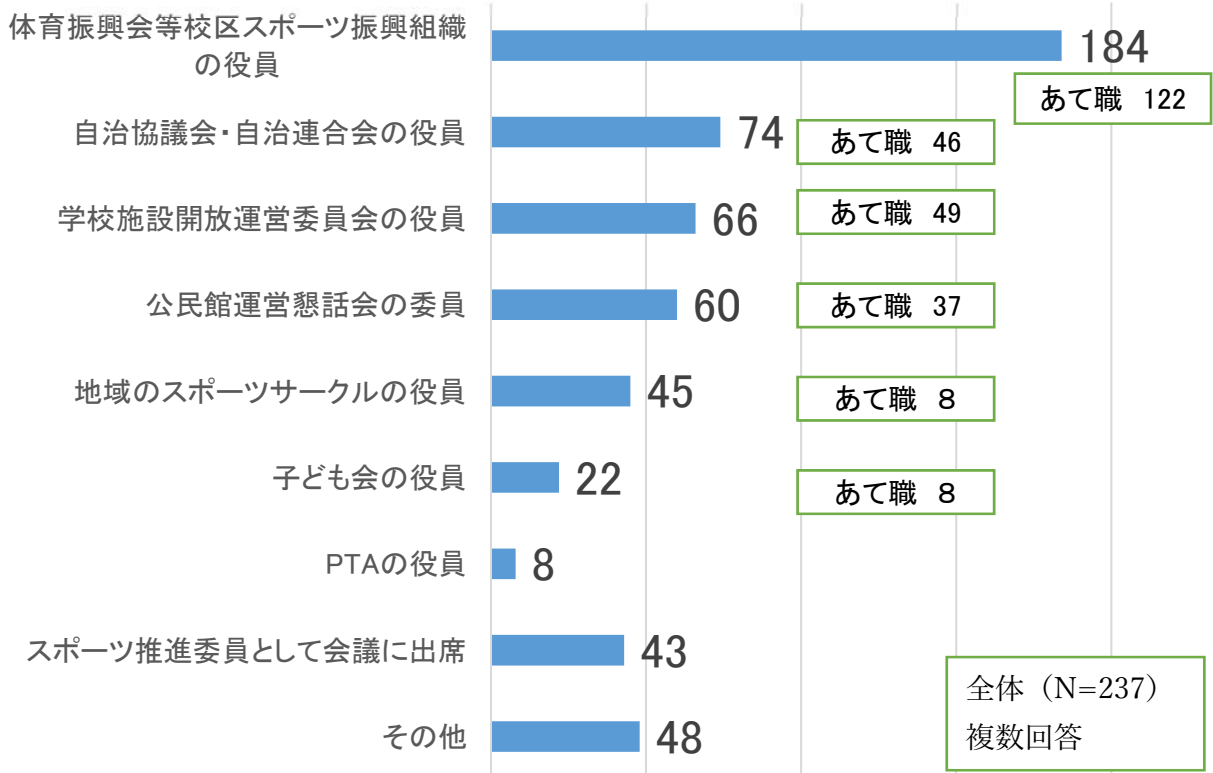
過去1年間のスポーツを行った日数



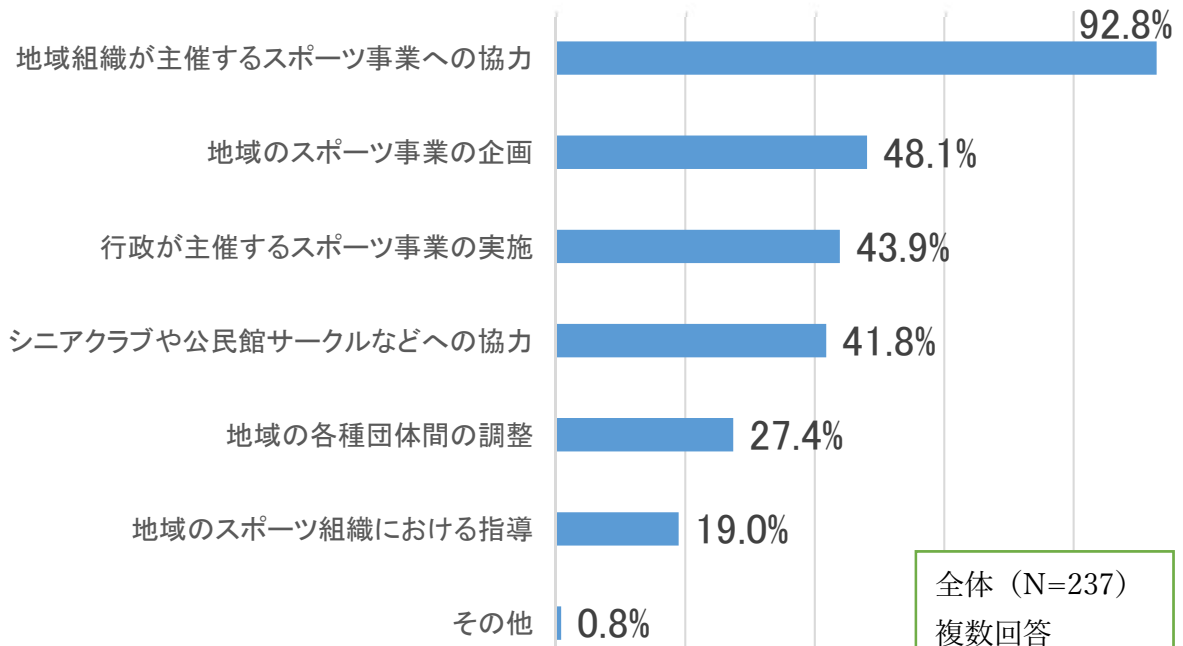
スポーツ推進委員の就任のきっかけ



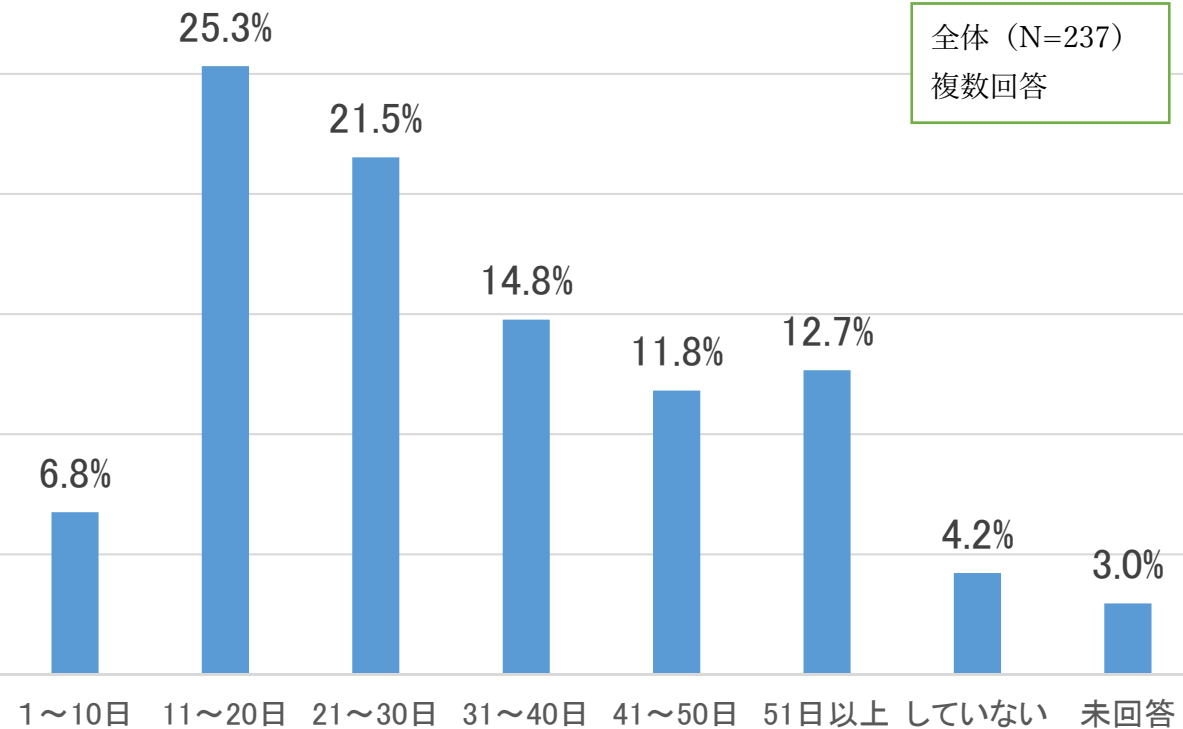
スポーツ推進委員以外の地域役員の就任状況



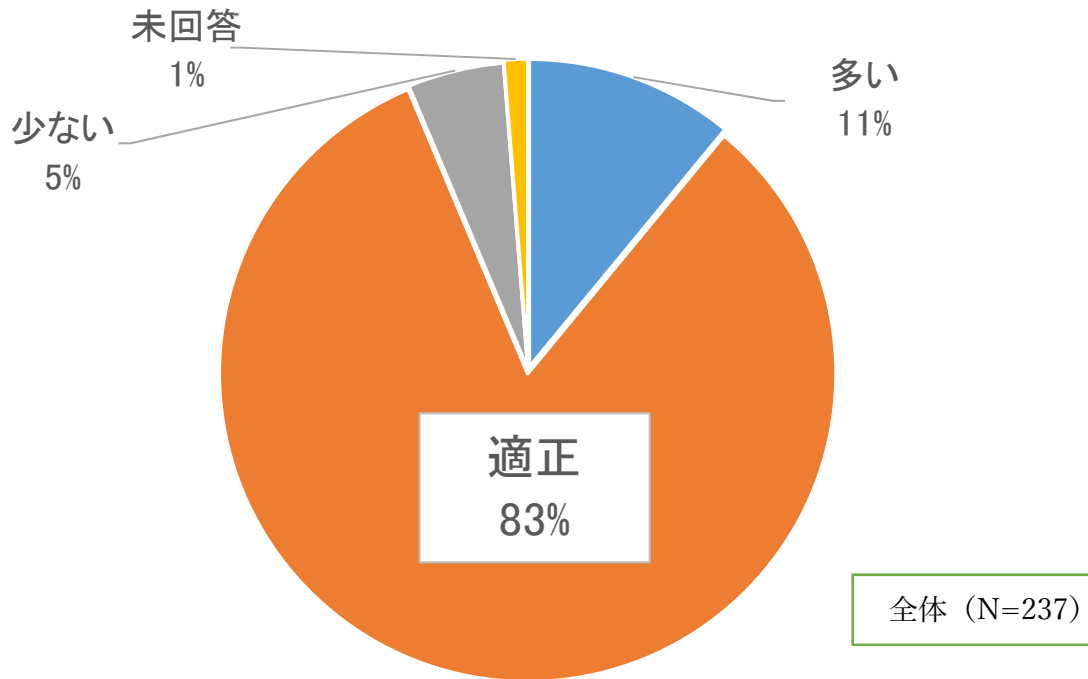
スポーツ推進委員としての活動状況



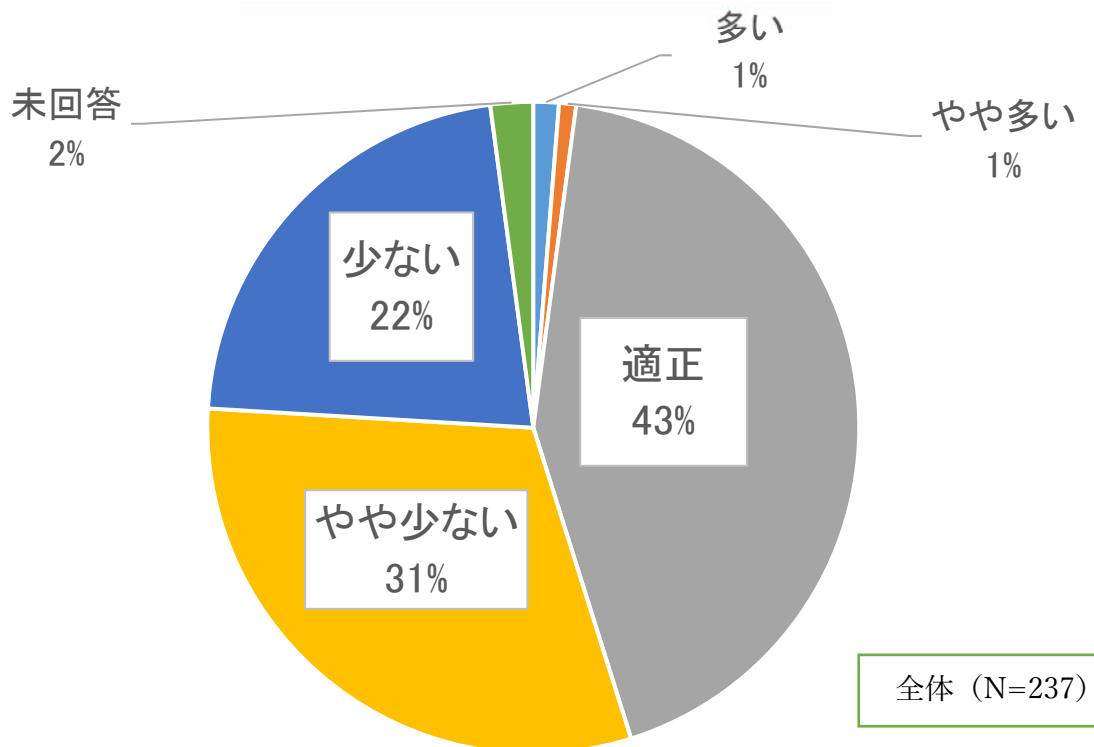
スポーツ推進委員としての活動日数



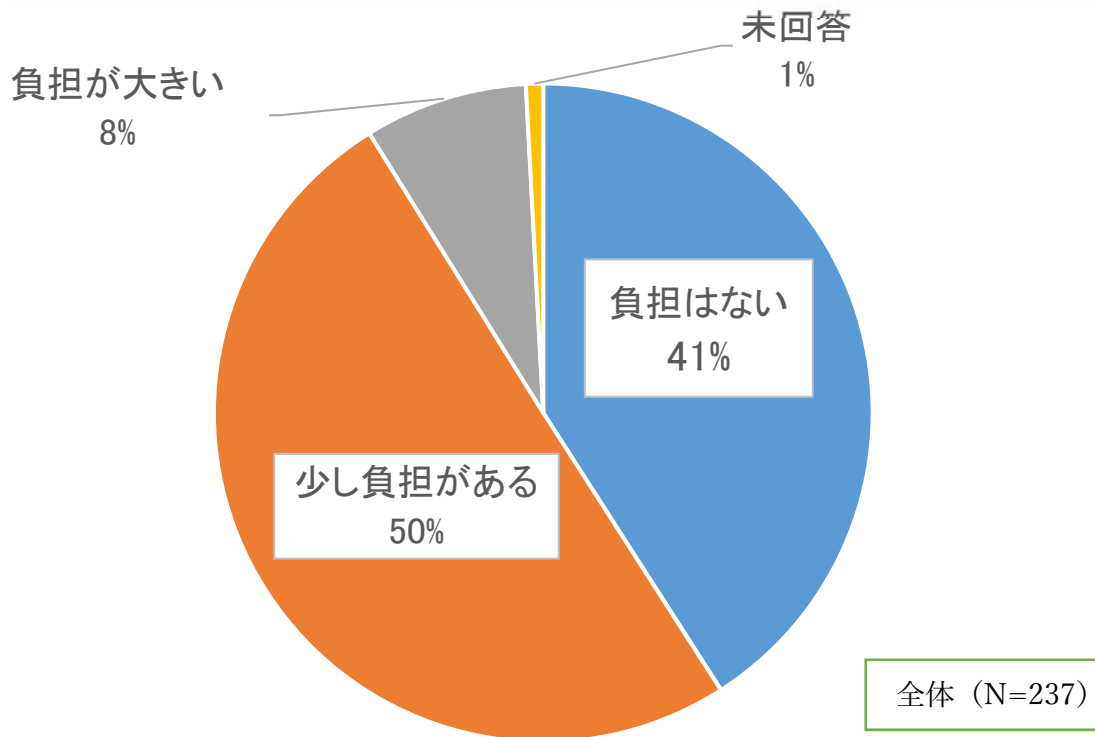
スポーツ推進委員の活動量



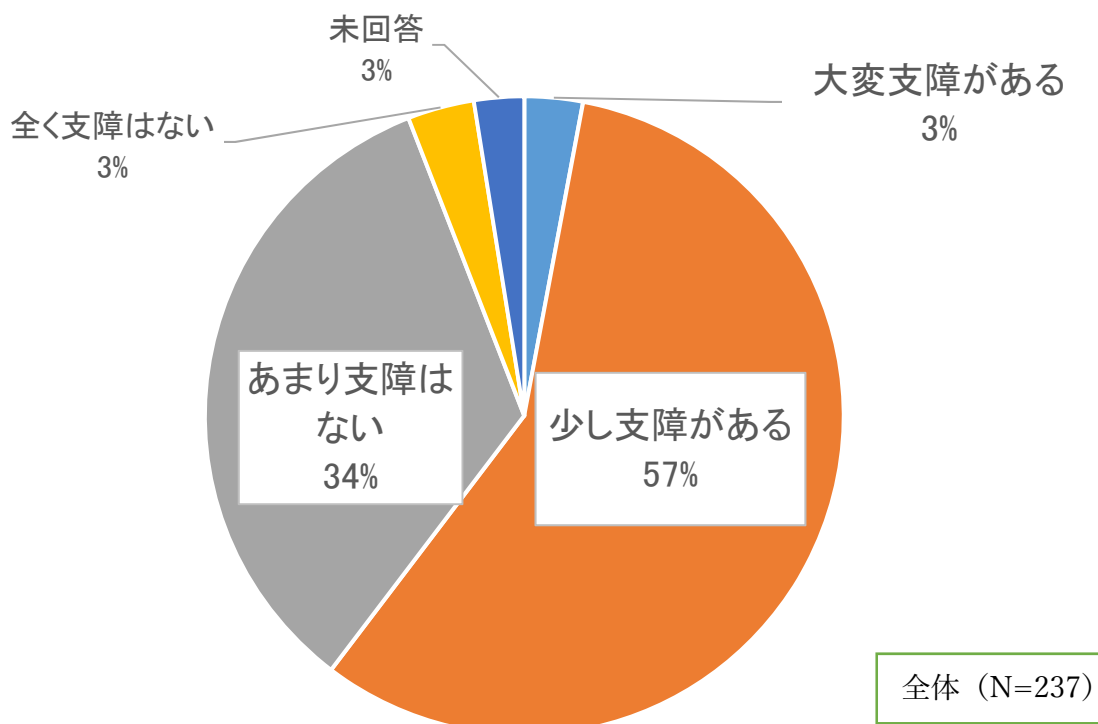
スポーツ推進委員の報酬



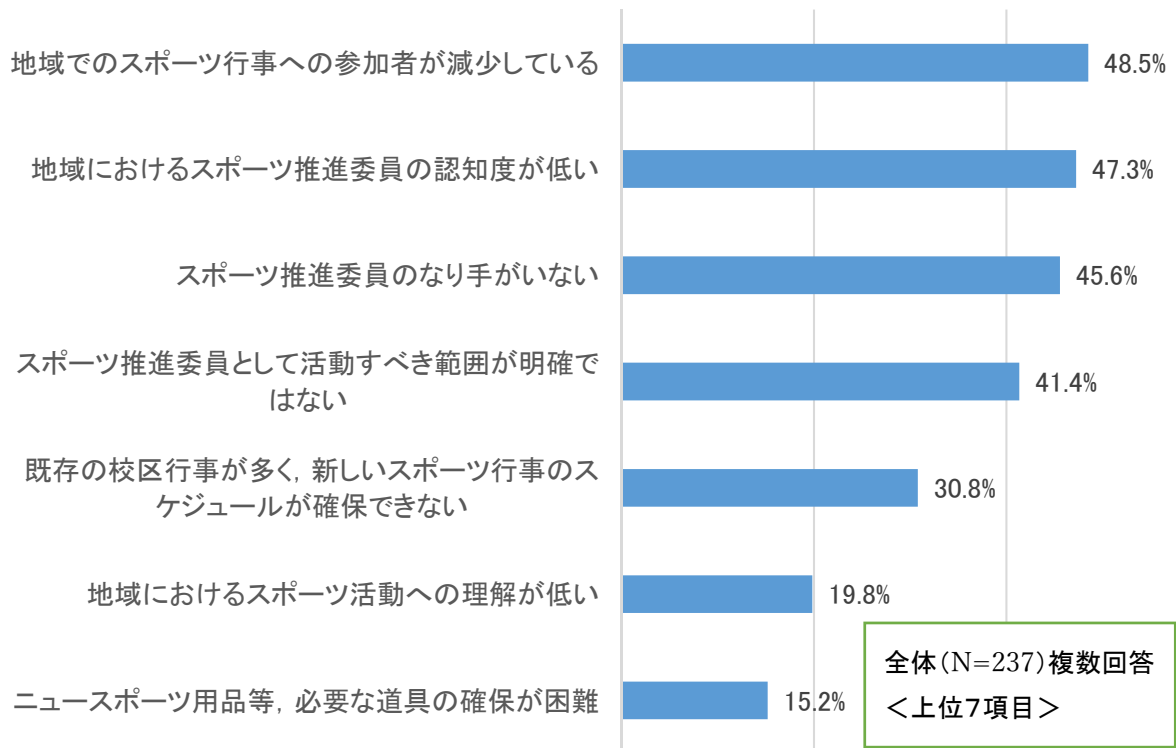
スポーツ推進委員の活動時における金銭的な負担



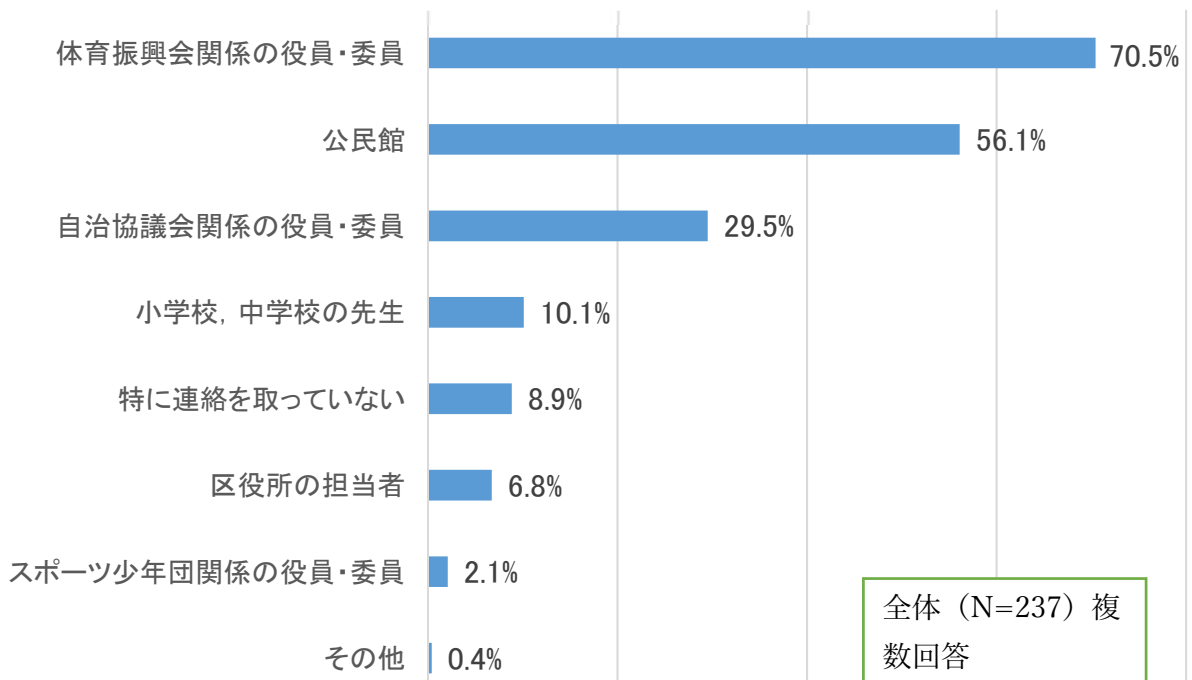
スポーツ推進委員として活動することでの日常生活への支障



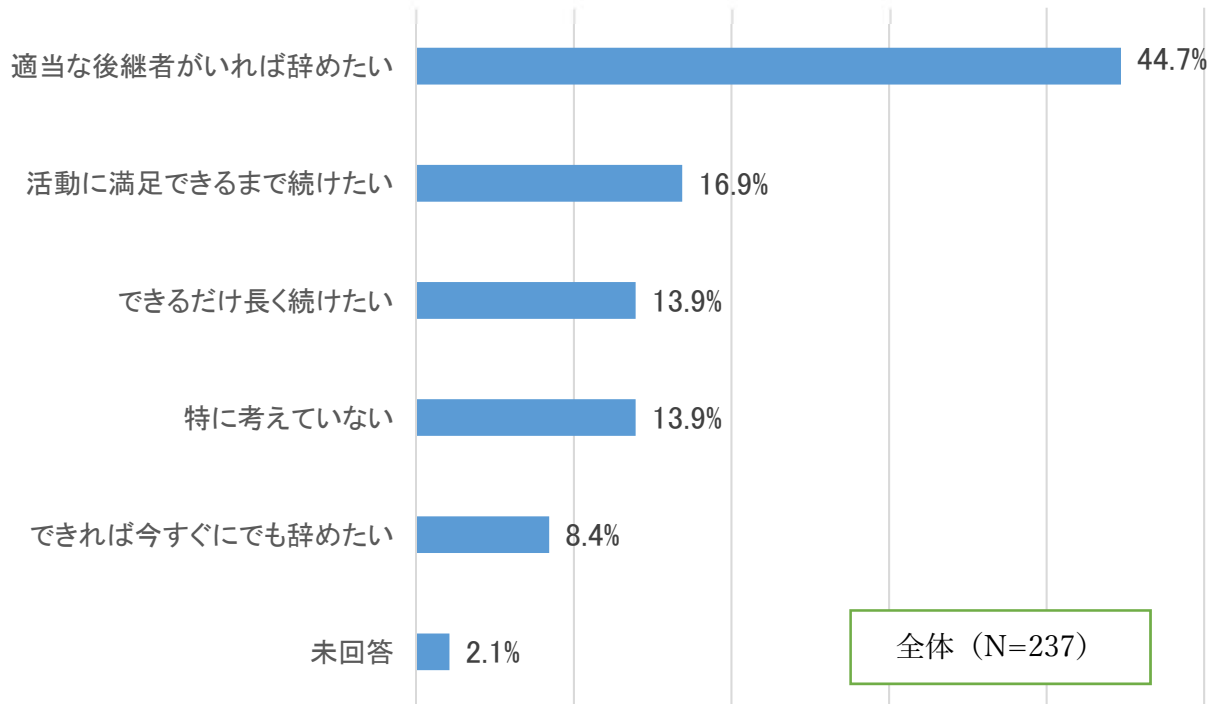
スポーツ推進委員として活動を継続していく上での課題



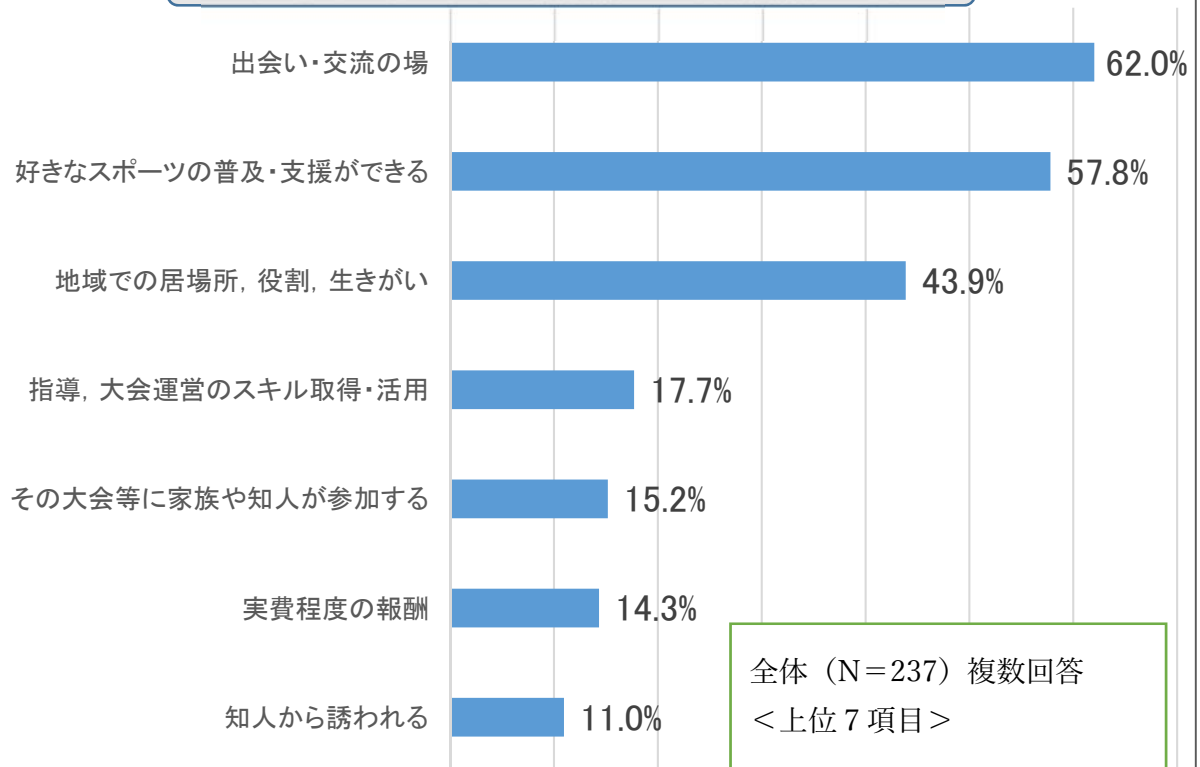
日常的に連絡を取る関係者



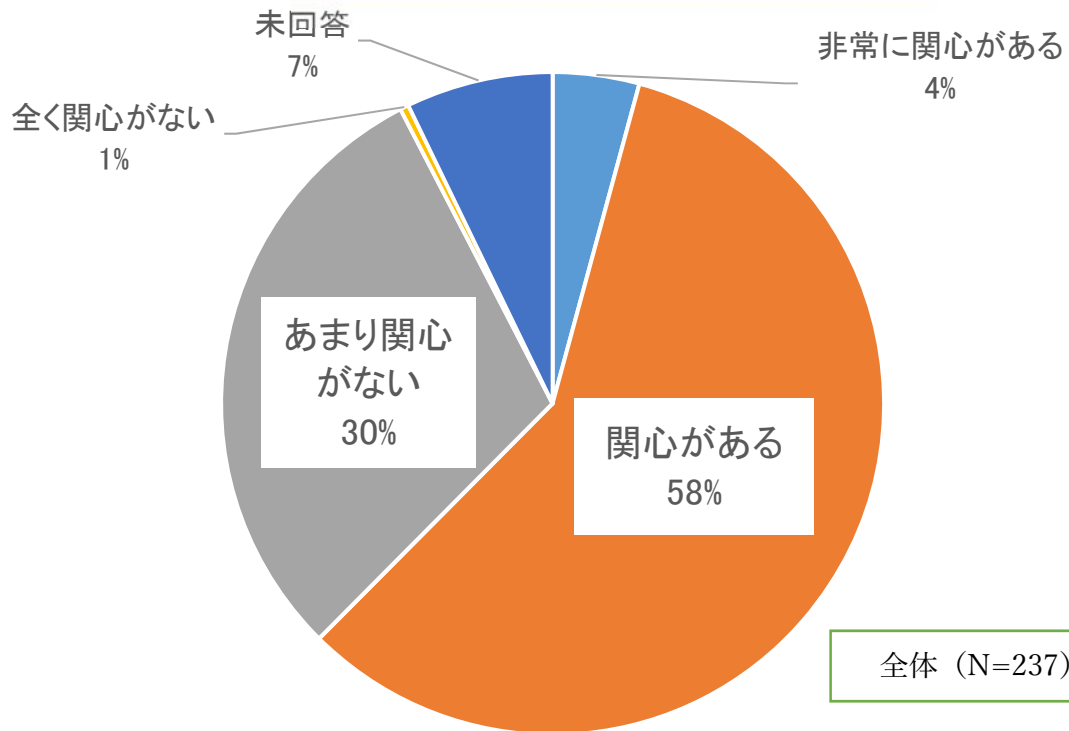
スポーツ推進委員の継続意思



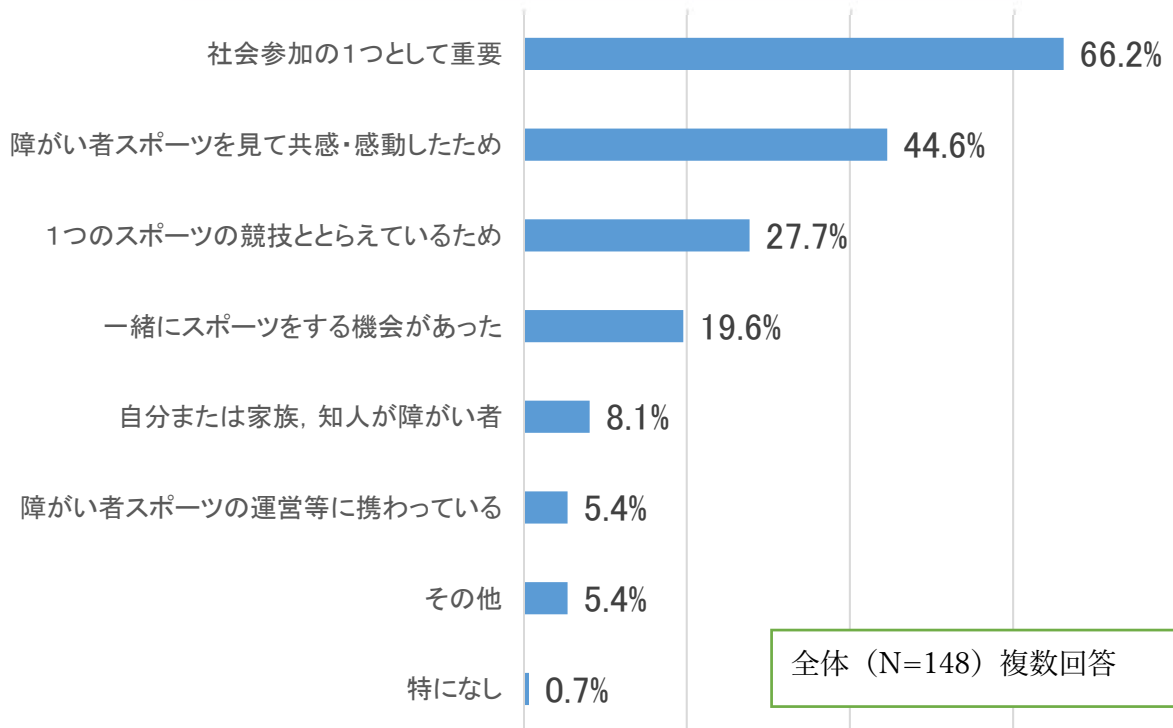
ボランティア活動への動機づけ



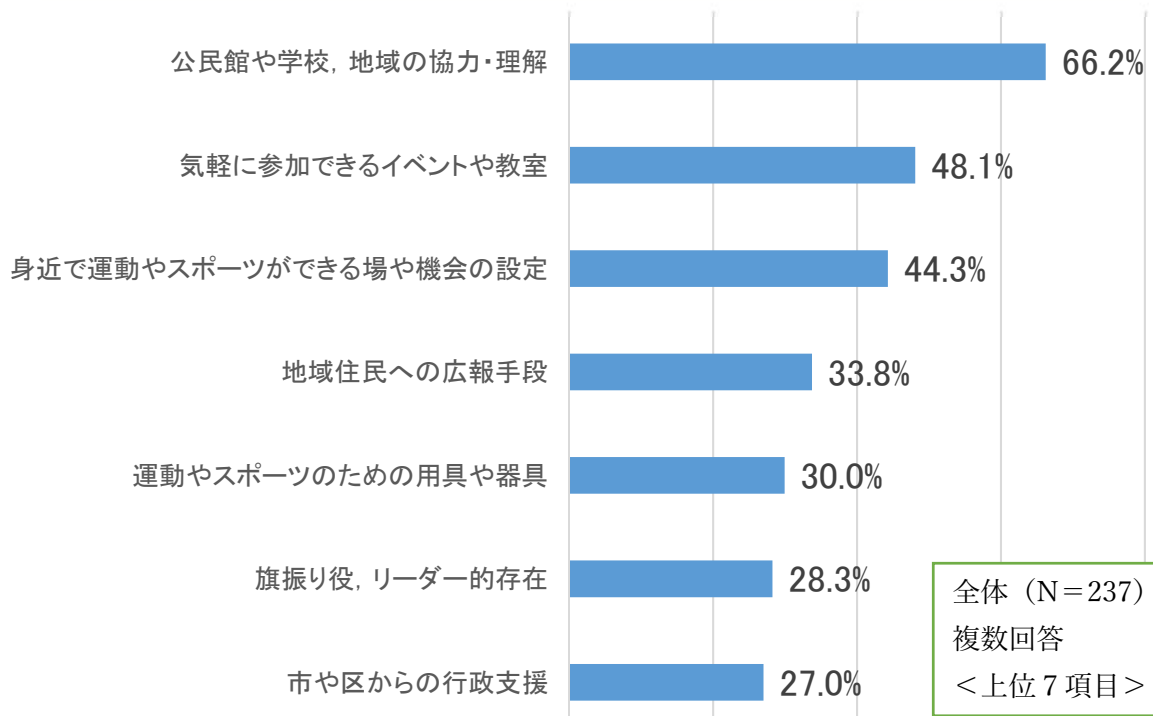
障がい者スポーツへの関心



障がい者スポーツに関心がある理由



地域スポーツ推進にあたって、重要だと思うもの



平成 30 年度 スポーツ団体・レクリエーション団体の 活動と意識に関する調査 (概要版)

【調査概要】

1. 調査の目的

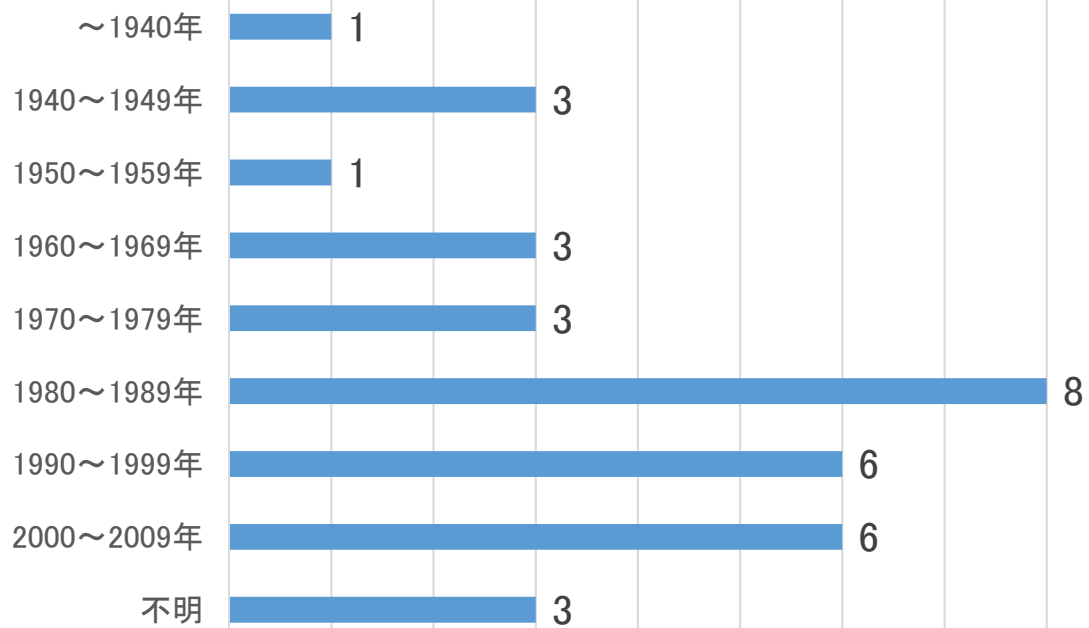
スポーツ団体及びレクリエーション団体の活動の実態を把握し、今後のスポーツ振興やスポーツ施策を検討する基礎資料とする。

2. 調査内容

- 対象者 ①福岡市スポーツ協会加盟団体（42 団体）
 ②福岡市レクリエーション協会加盟団体（18 団体）
- 調査方法 郵送（スポーツ協会，レクリエーション協会を通じて実施）
- 調査期間 平成 30 年 10 月 5 日～11 月 9 日
- 回答数 ①22 団体
 ②12 団体

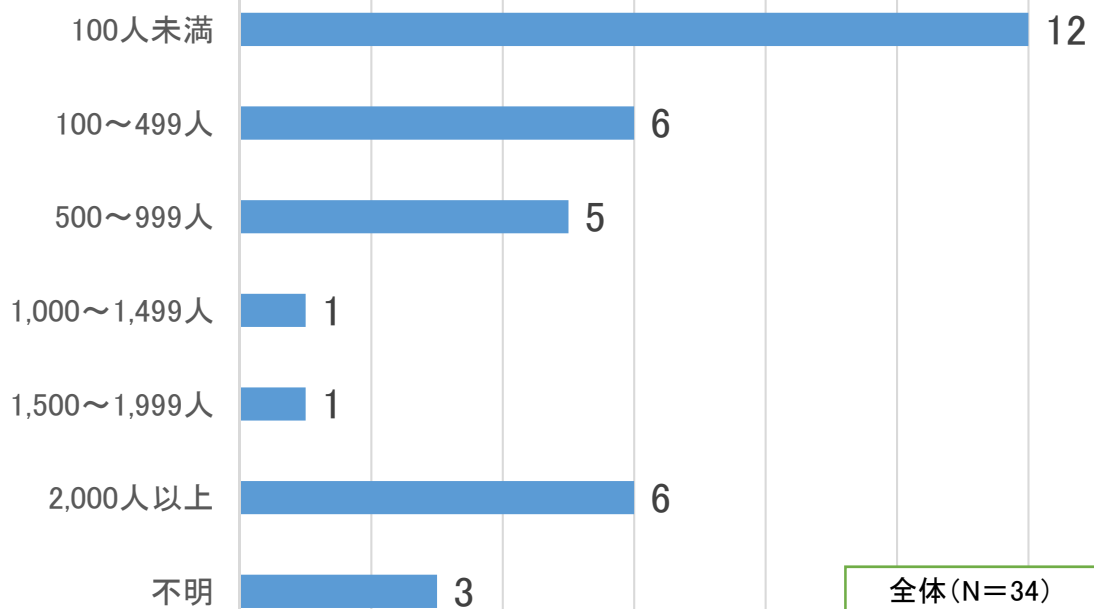
結成年度

全体(N=34)

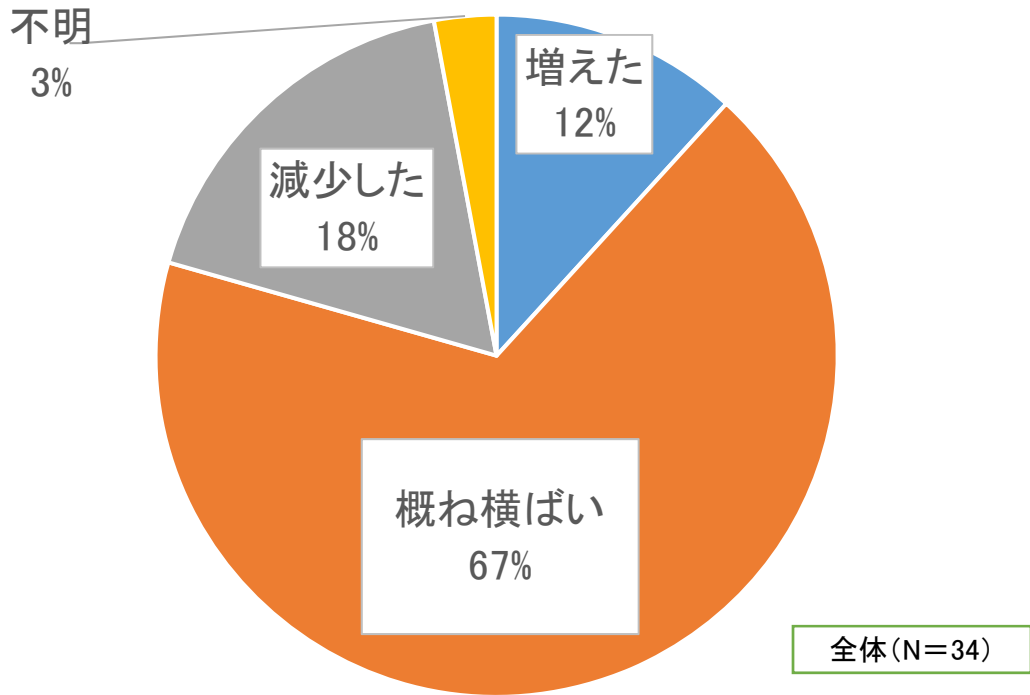


会員数

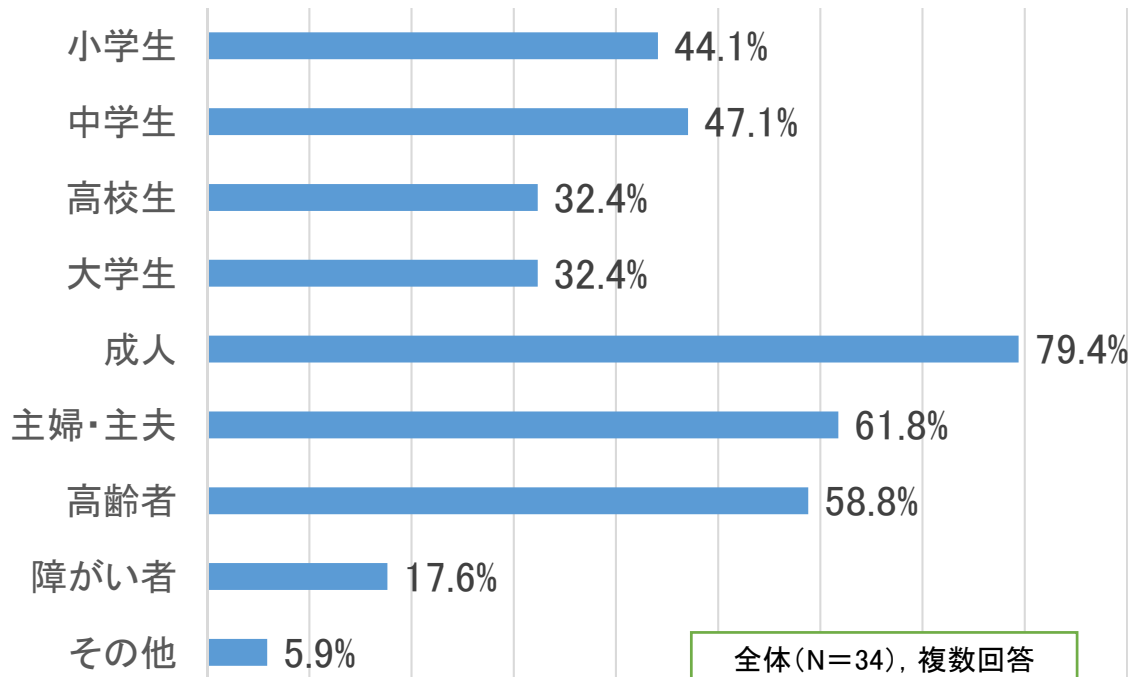
全体(N=34)



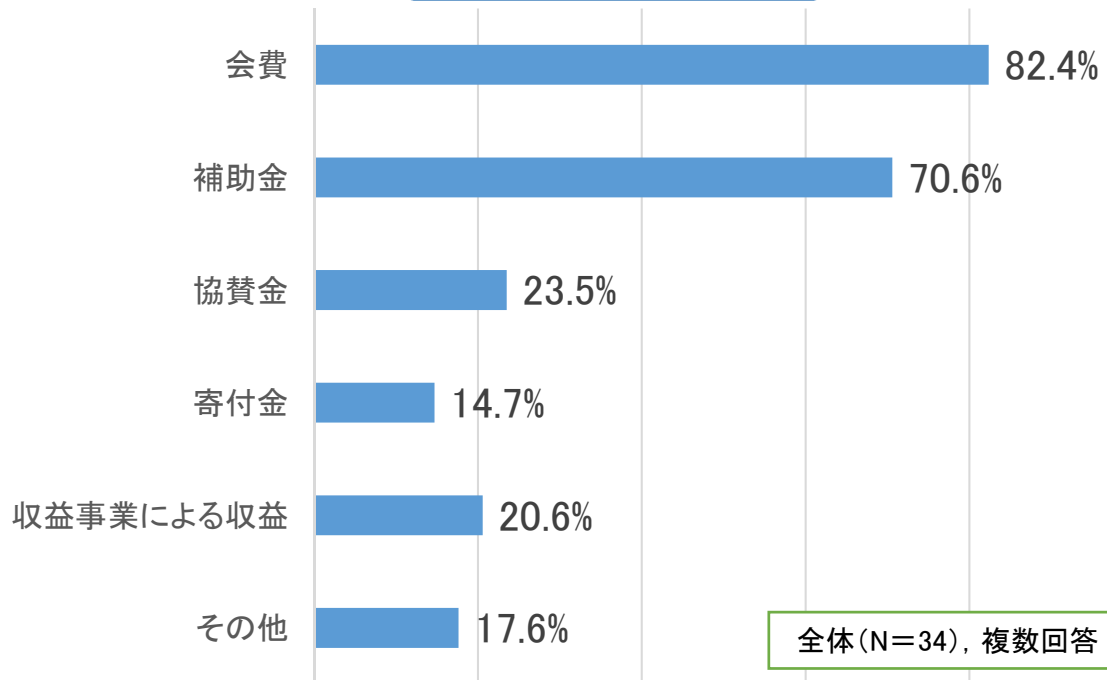
過去5年間の会員数の増減



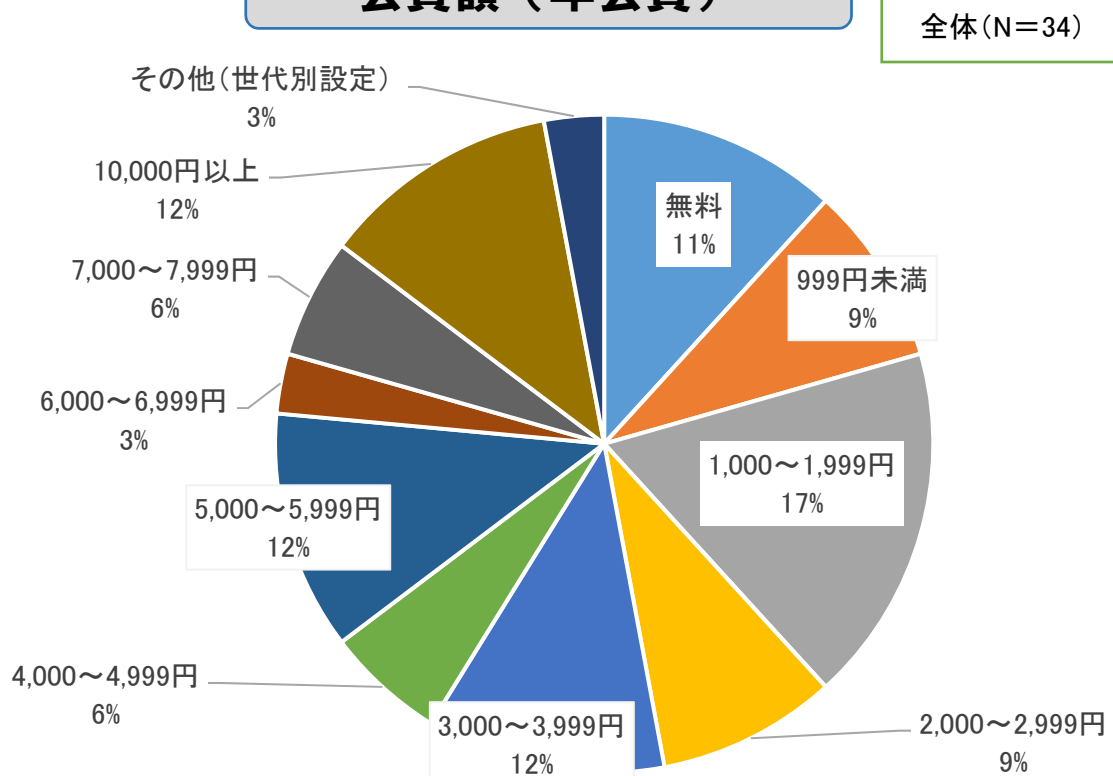
会員の構成



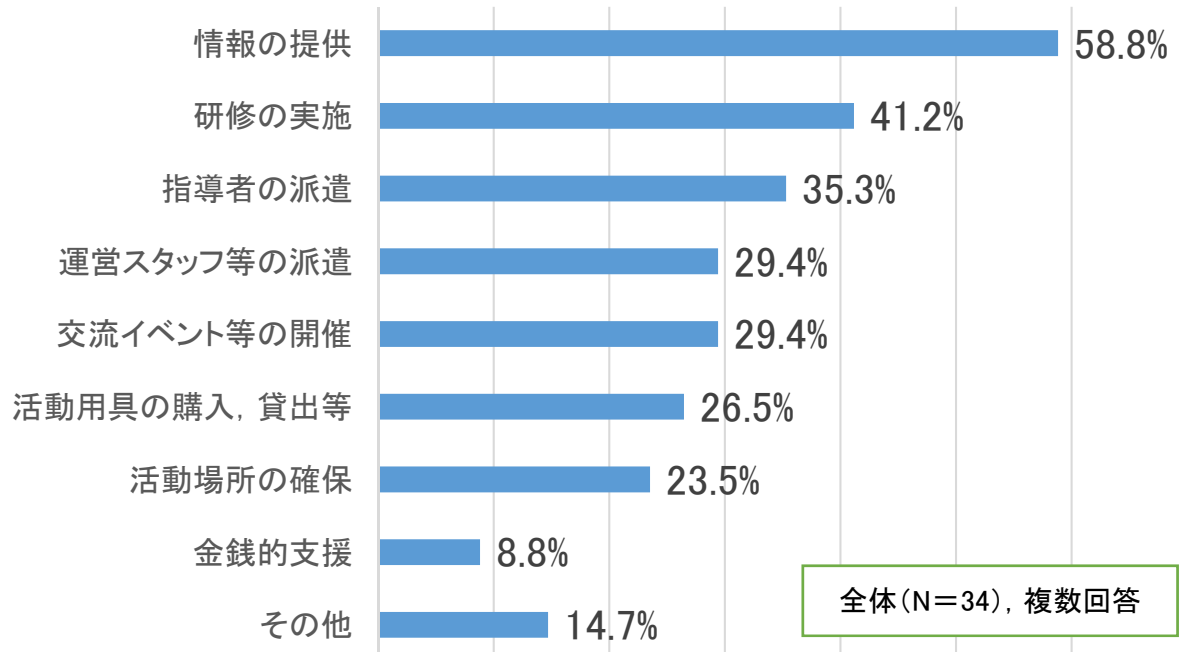
主な財源



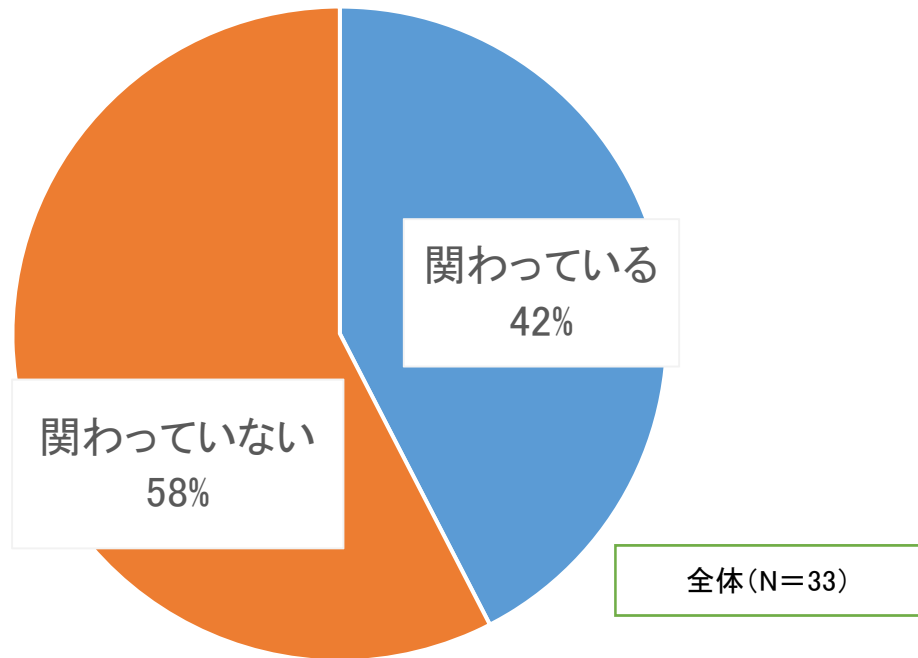
会費額（年会費）



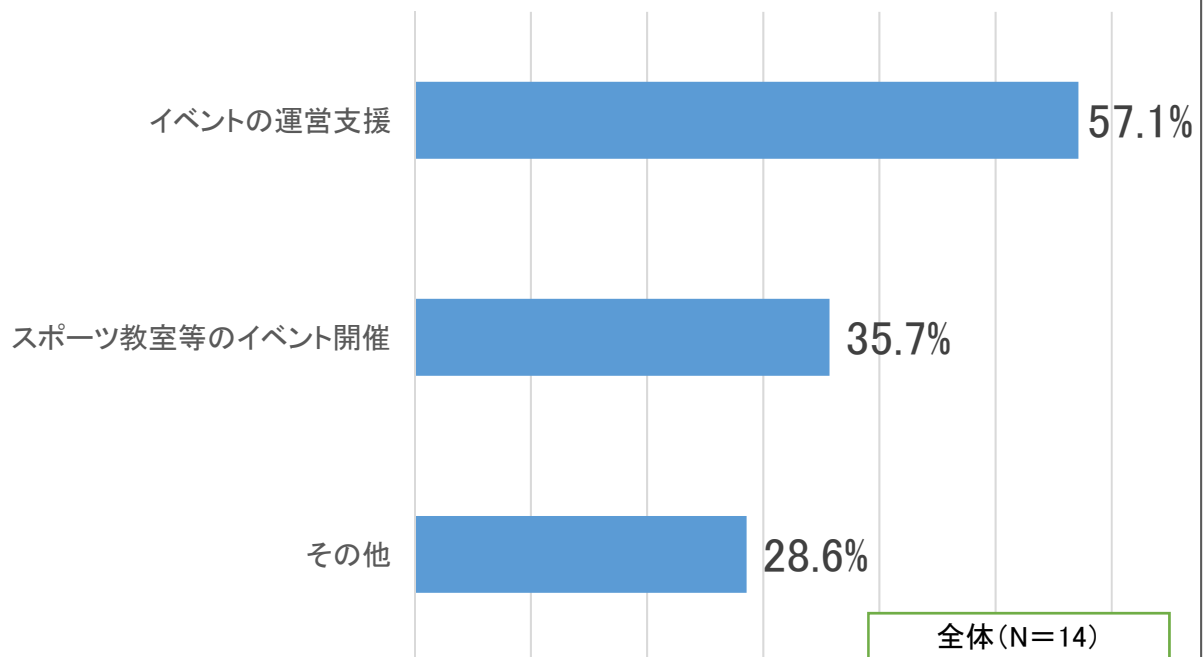
傘下のクラブへの支援



地域イベントへの関与



地域イベントへの関与の詳細

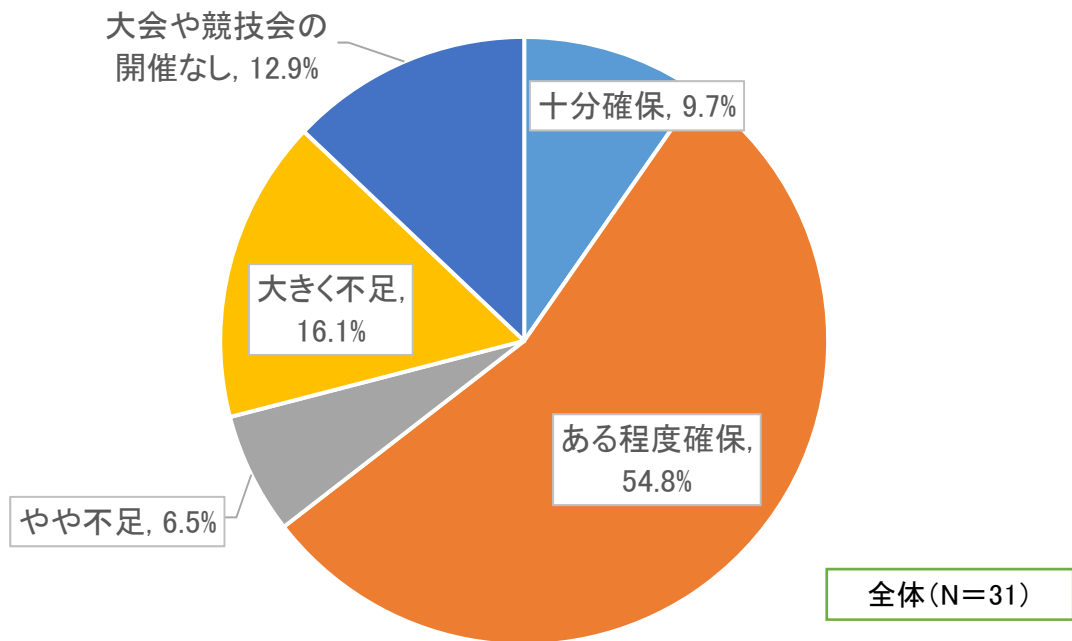


会員確保策

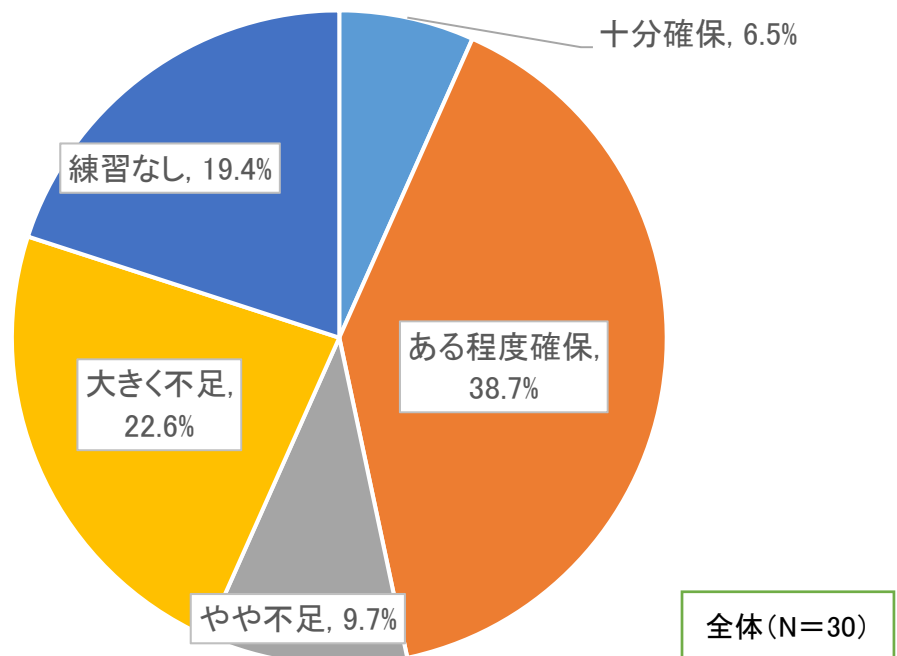
	1位	2位	3位	実数	総得点
会員からの紹介	14	6	3	23	57
インターネット	6	7	3	16	35
特に行っていない	6	0	1	7	19
その他	3	1	2	6	13
案内チラシやDM	0	3	4	7	10
市政だより	2	1	1	4	9
スポーツ団体広報誌等	1	2	1	4	8
町内会だよりや公民館だより	0	1	4	5	6
学校やPTA	0	1	0	1	2
テレビ	0	0	0	0	0
ラジオ	0	0	0	0	0
新聞	0	0	0	0	0
フリーペーパー	0	0	0	0	0

※1位：3点，2位：2点，3位：1点で計算。

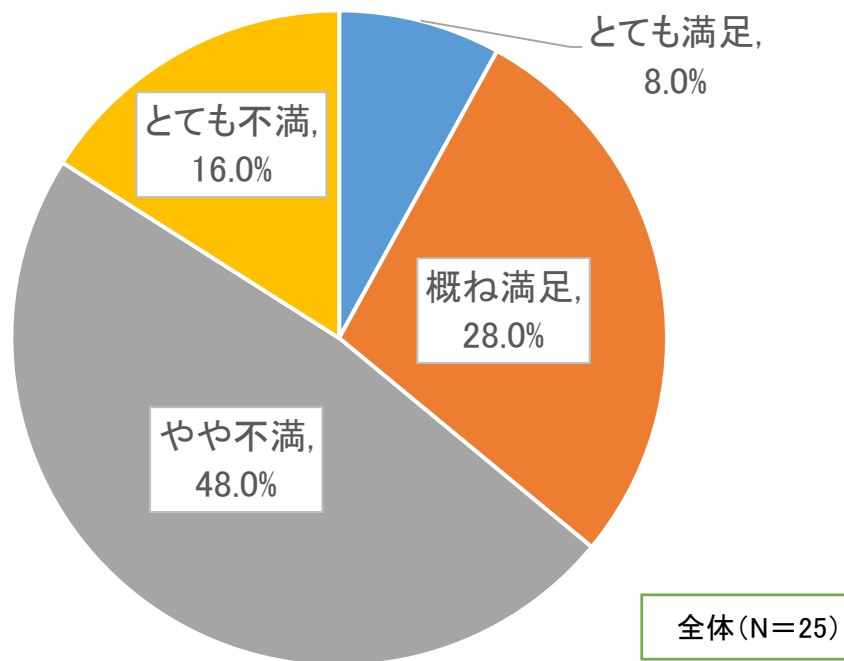
大会や競技会の会場確保



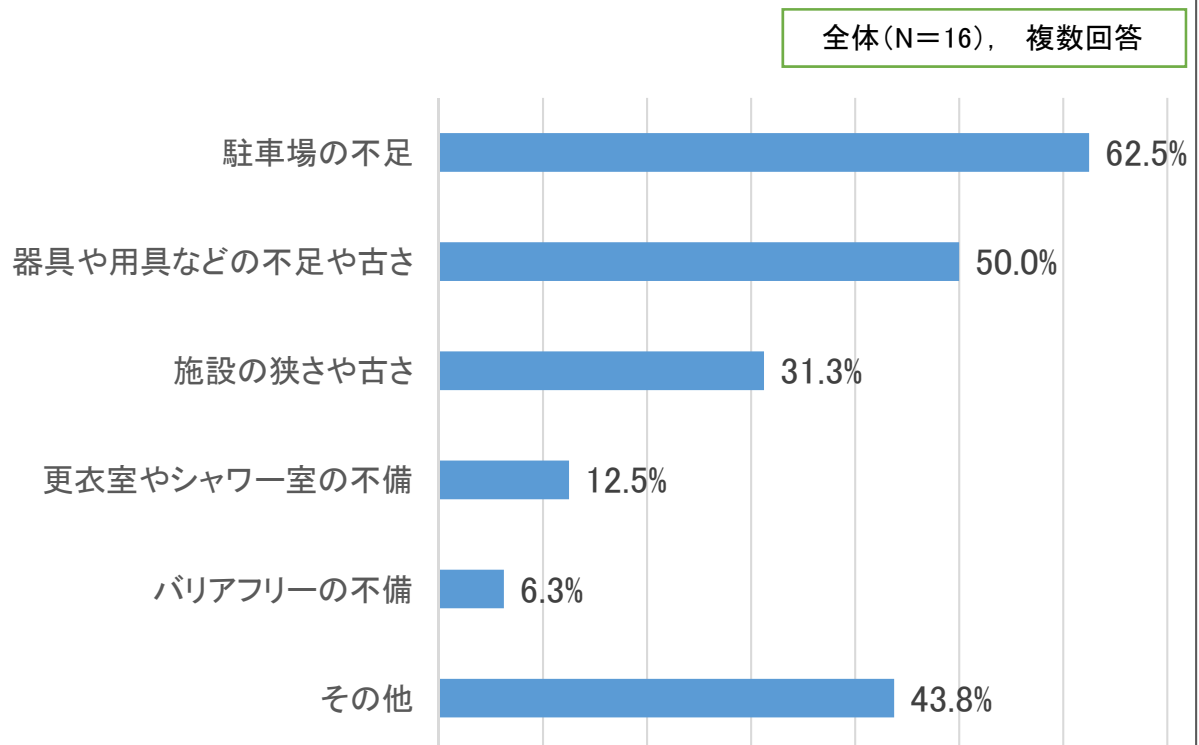
練習場所の確保



公共スポーツ施設の設備に関する満足度

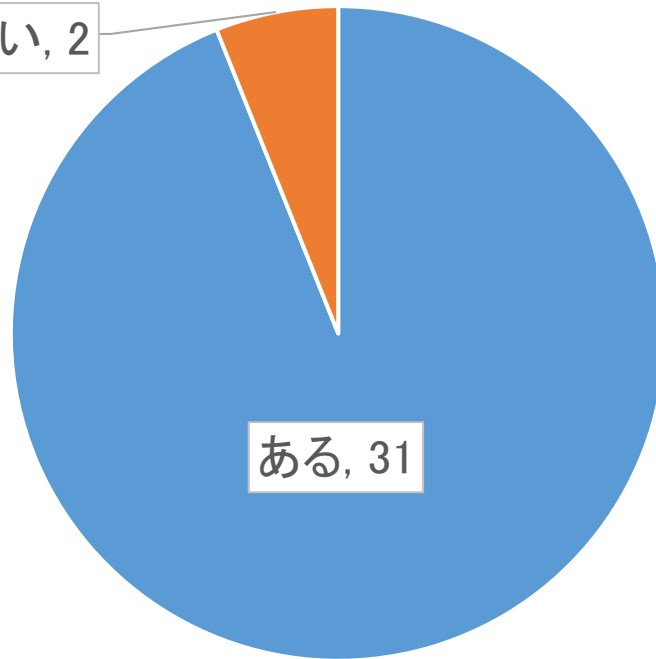


公共スポーツ施設の設備への不満理由



運営上の課題の有無

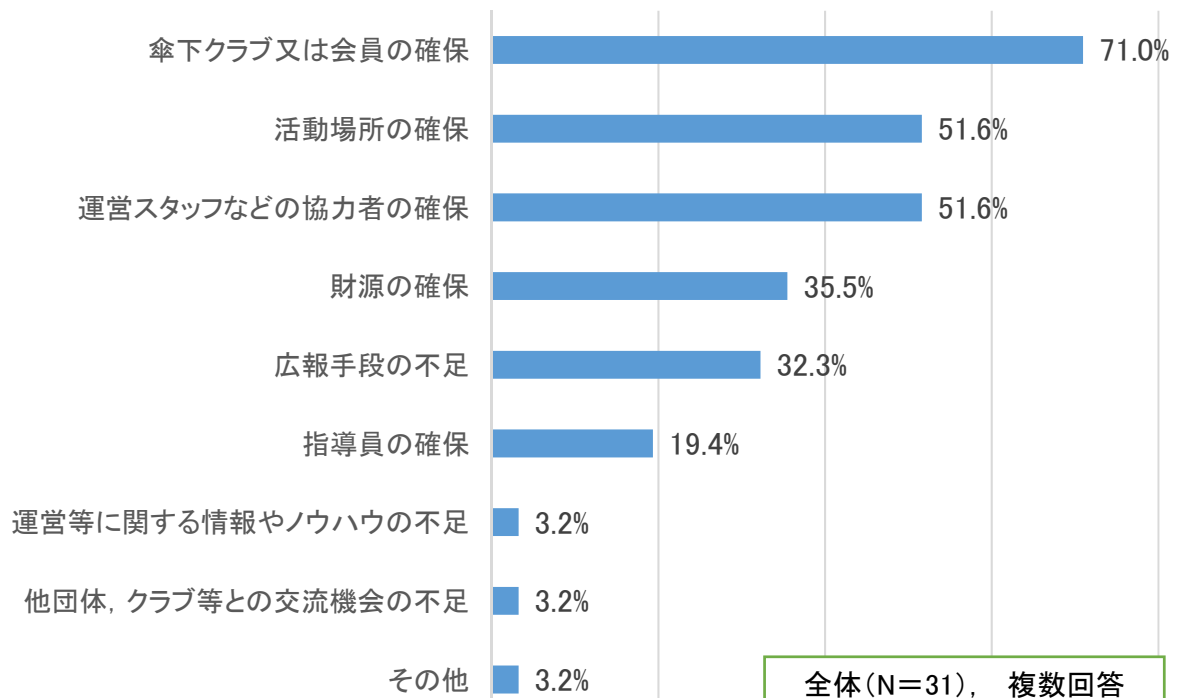
ない, 2



あ, 31

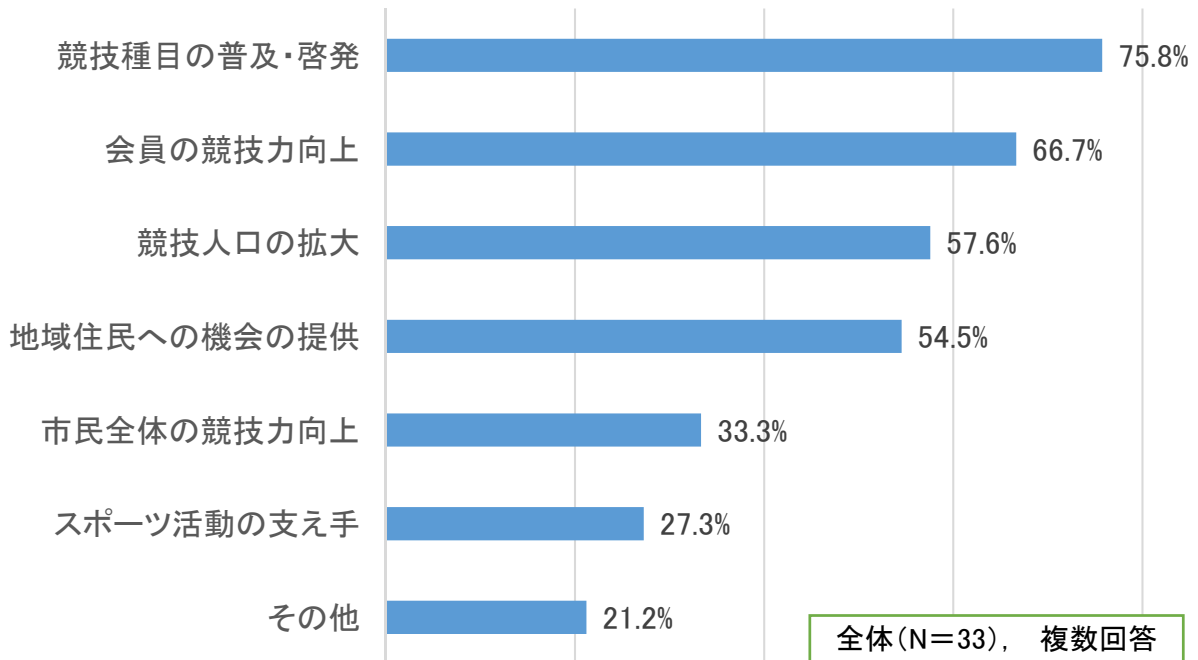
全体 (N=33)

運営上の課題

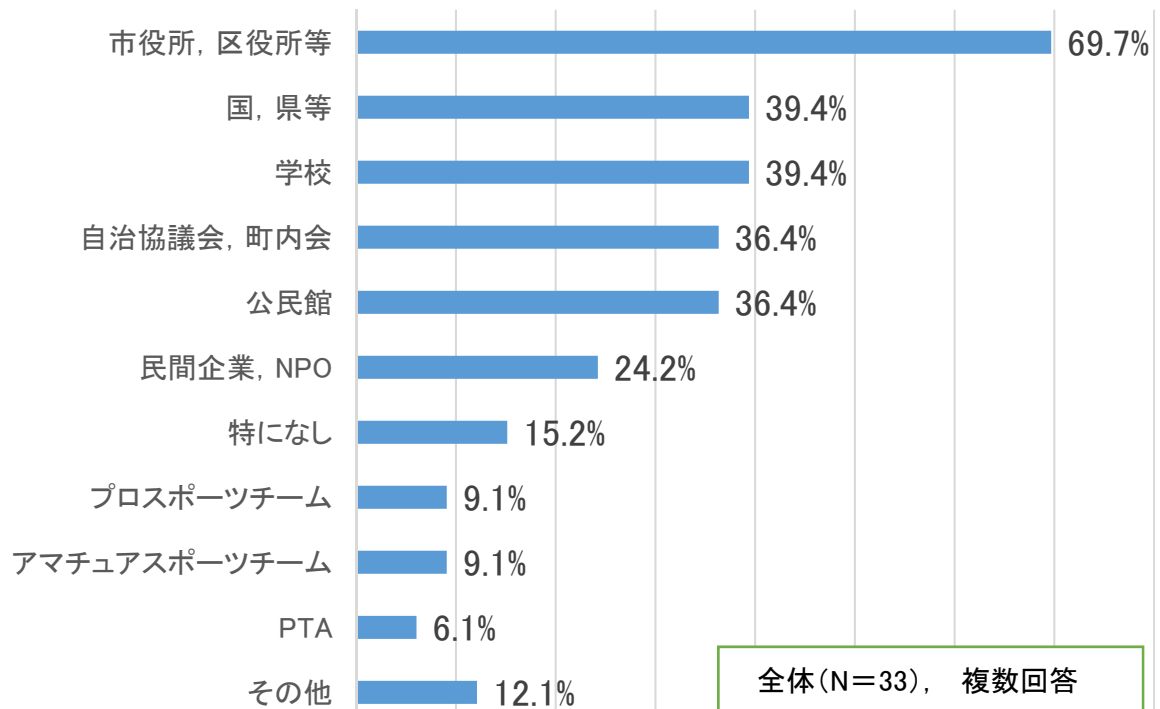


全体 (N=31), 複数回答

スポーツ団体の役割



連携, 共同したことがある団体



平成 30 年度 スポーツクラブの活動と意識に関する調査 (概要版)

【調査概要】

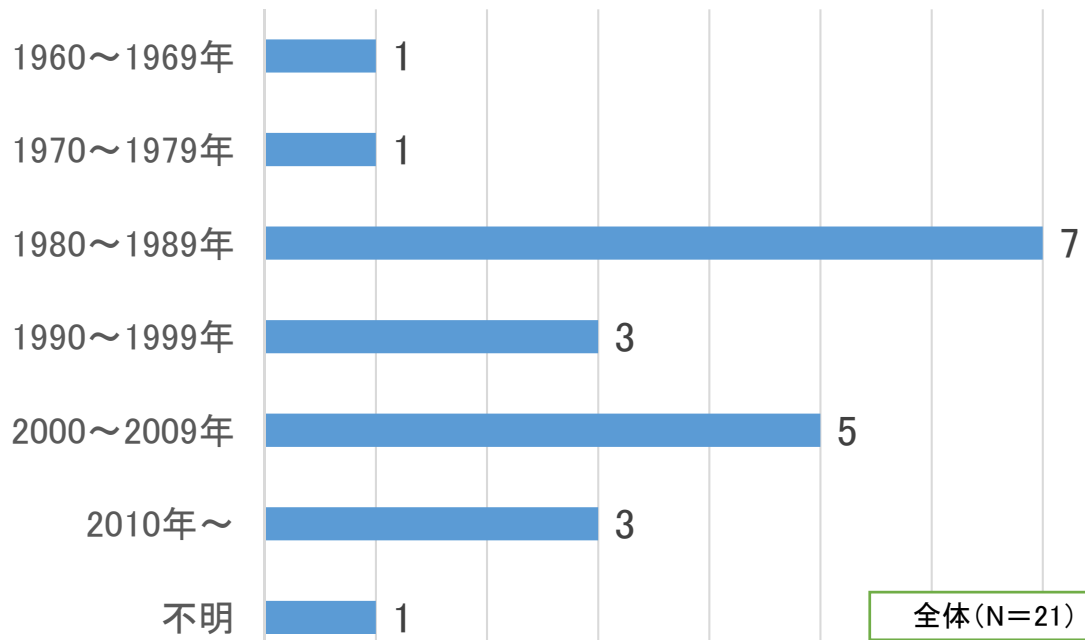
1. 調査の目的

スポーツクラブの活動の実態を把握し、今後のスポーツ振興やスポーツ施策を検討する基礎資料とする。

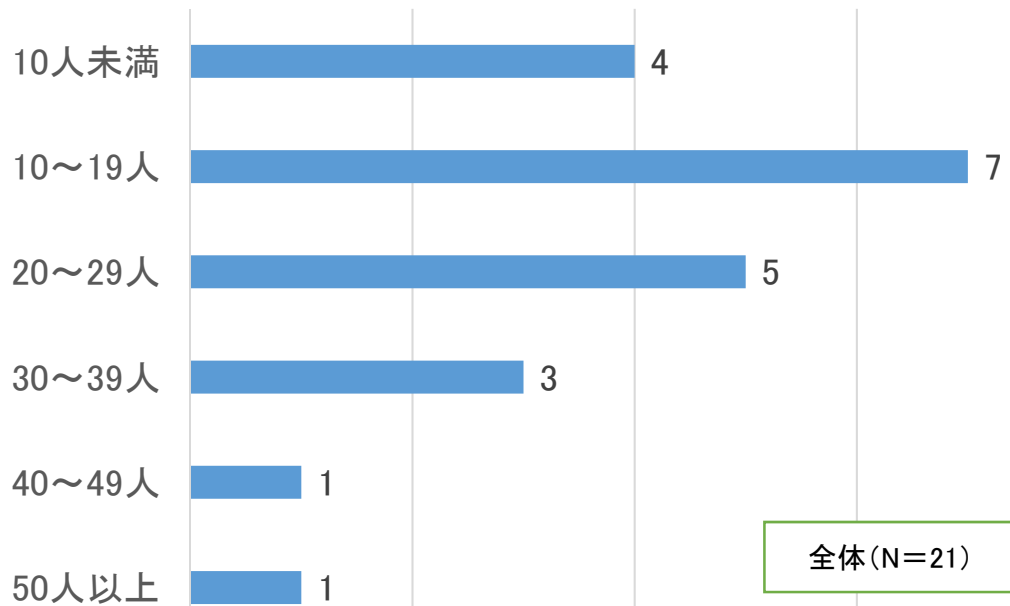
2. 調査内容

- 対象者 福岡市スポーツ協会登録のスポーツ少年団（55 団体）
- 調査方法 郵送（福岡市スポーツ協会を通じて実施）
- 調査期間 平成 30 年 10 月 5 日～11 月 9 日
- 回答数 21 団体

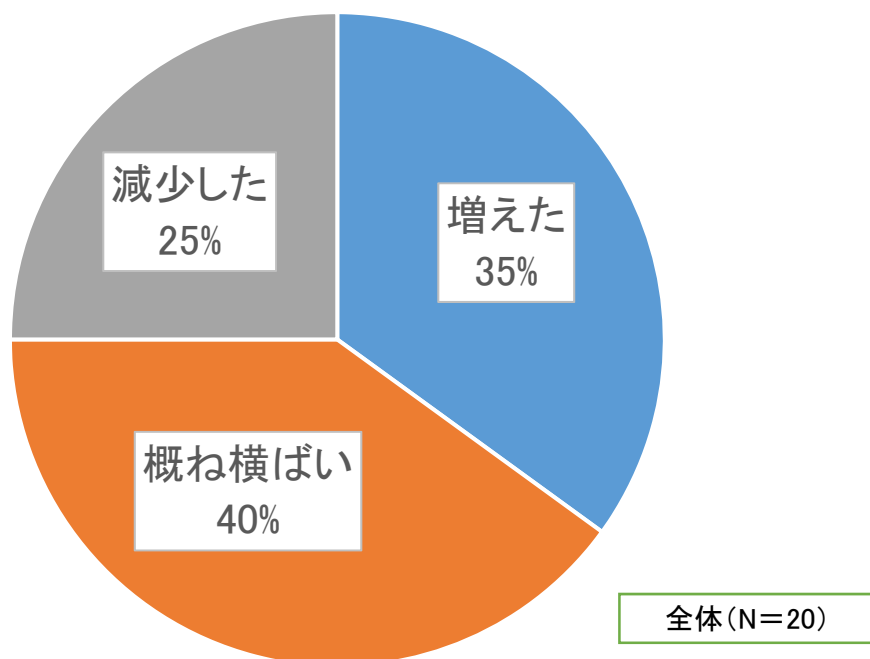
結成年度



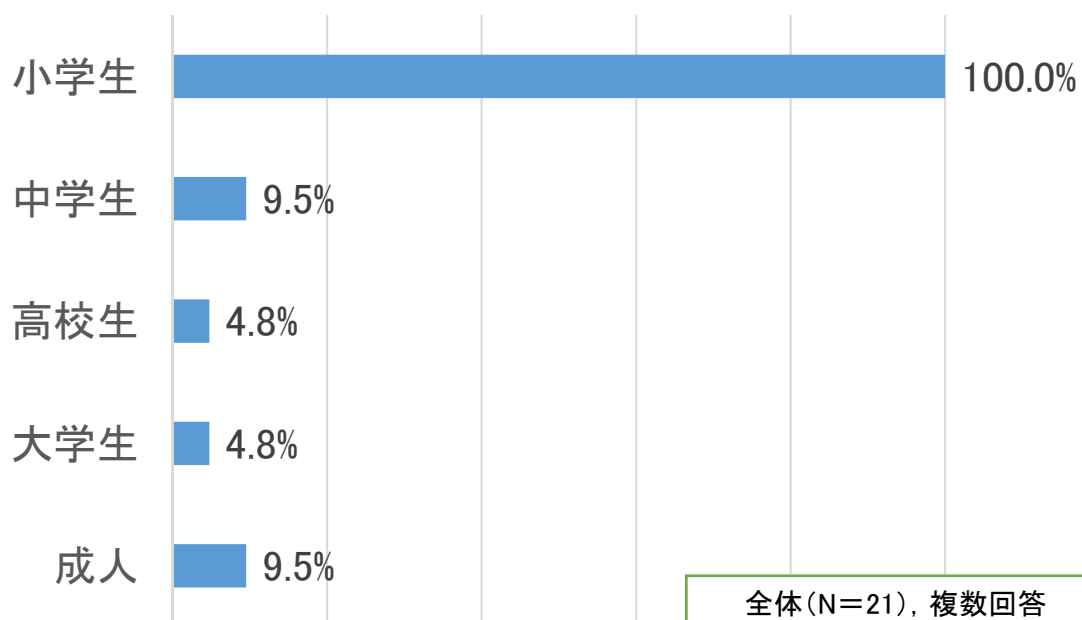
会員数



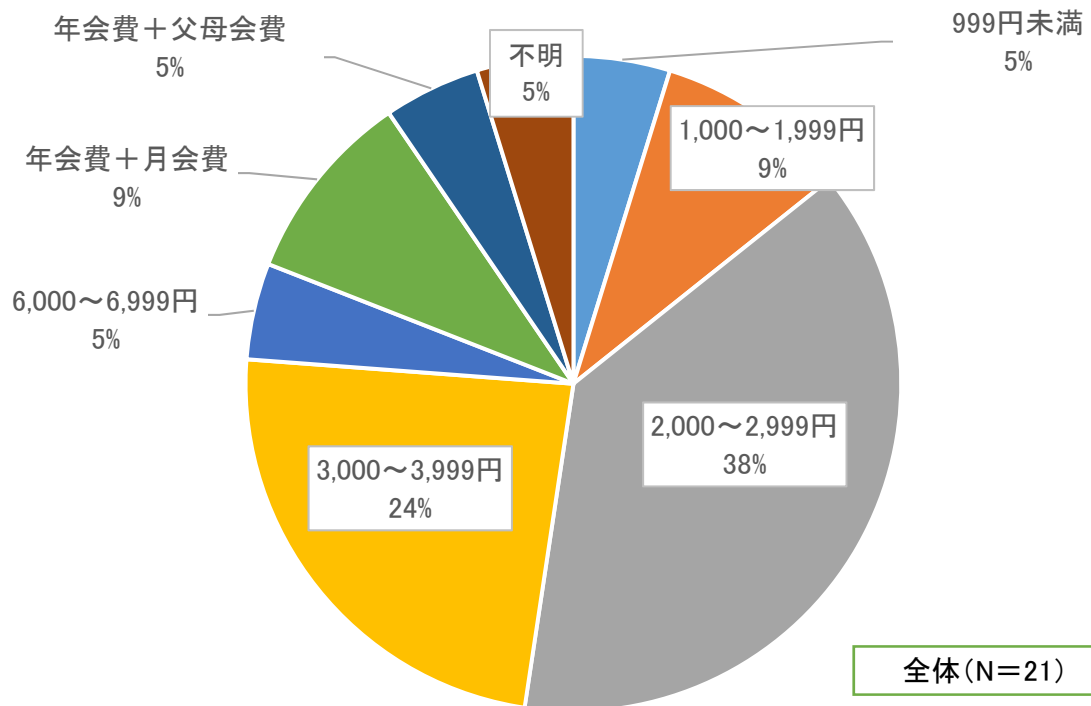
過去5年間の会員数の増減



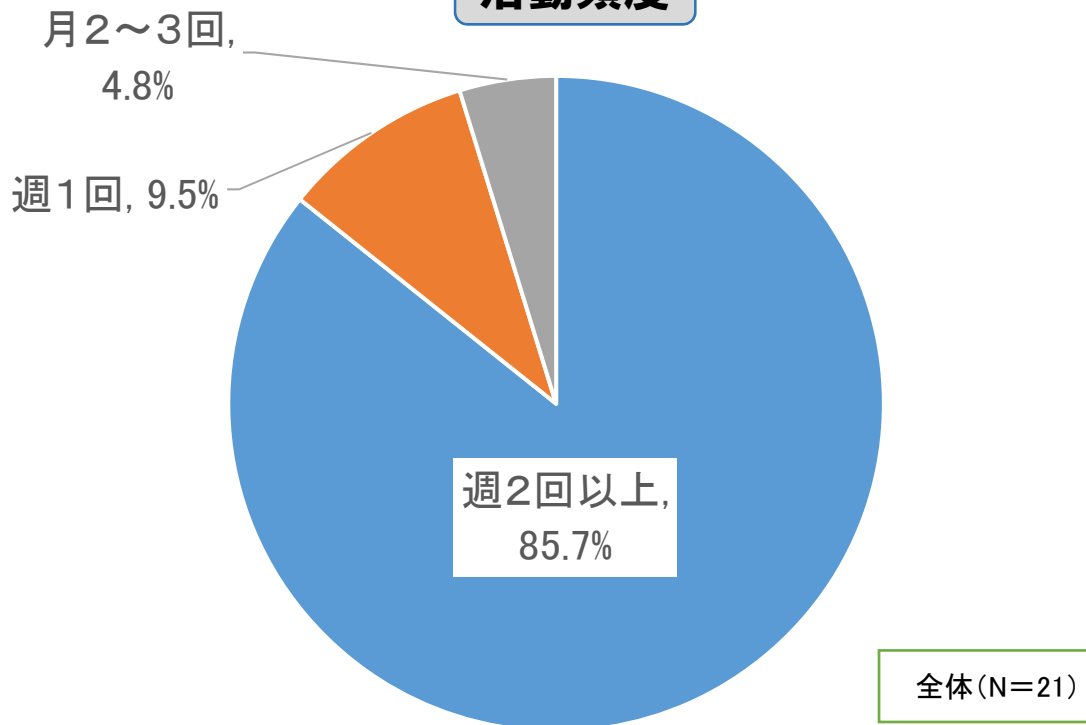
会員の構成



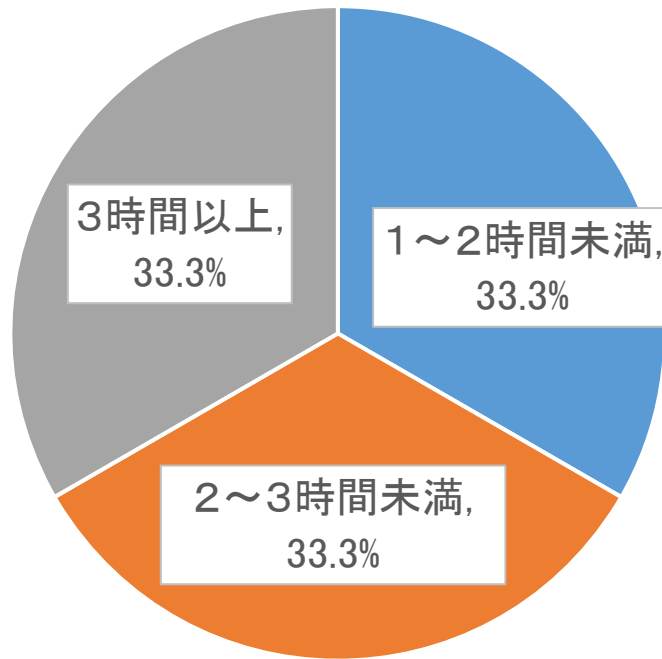
会費額（月会費）



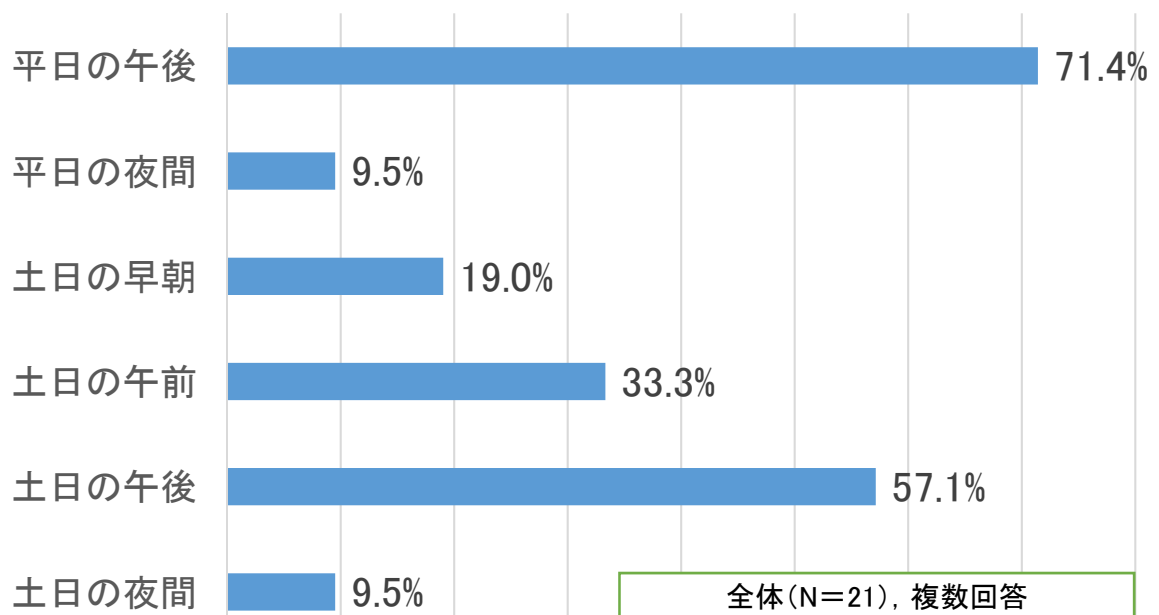
活動頻度



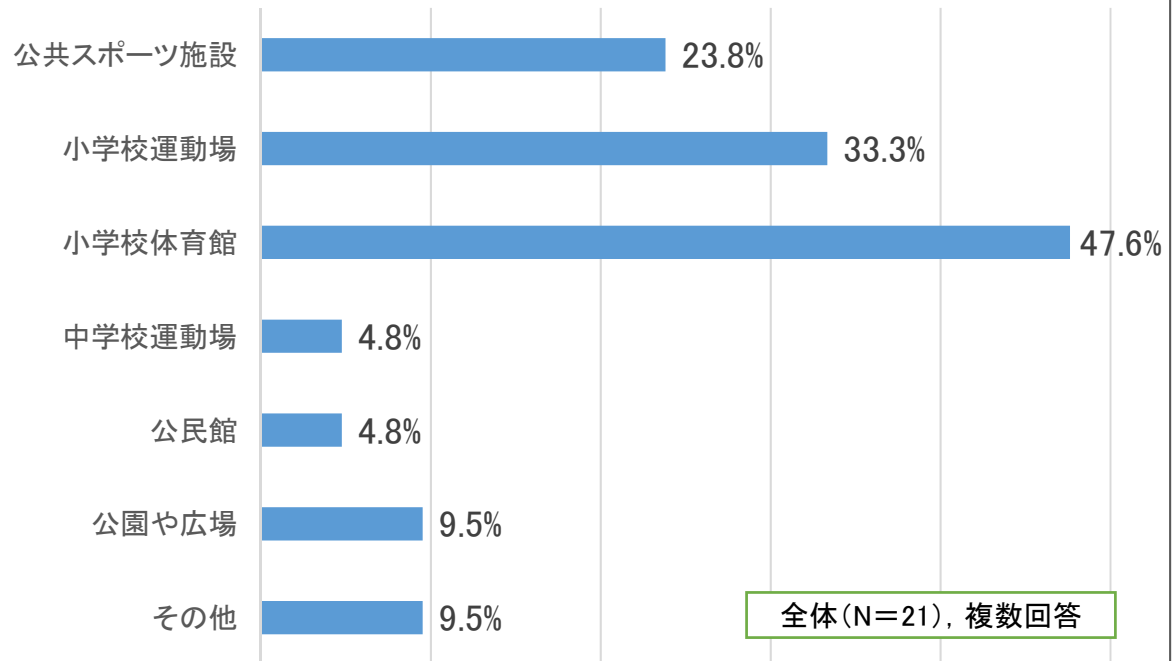
活動時間



活動時間帯

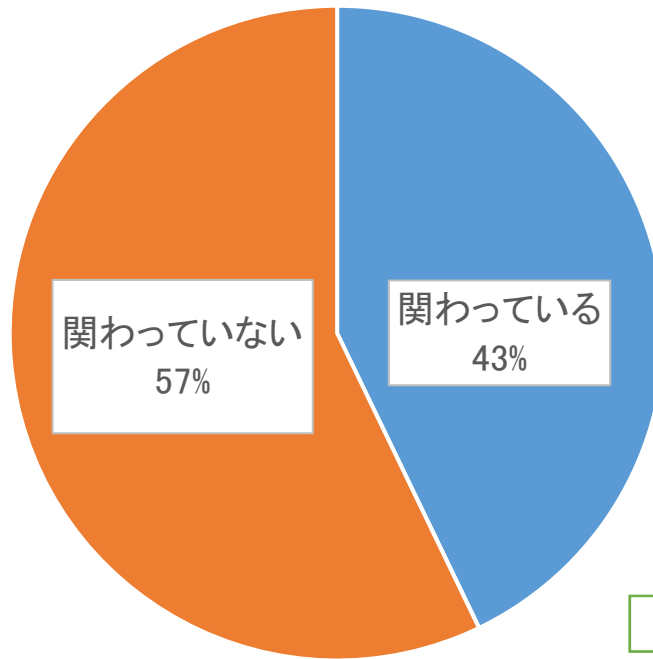


活動場所



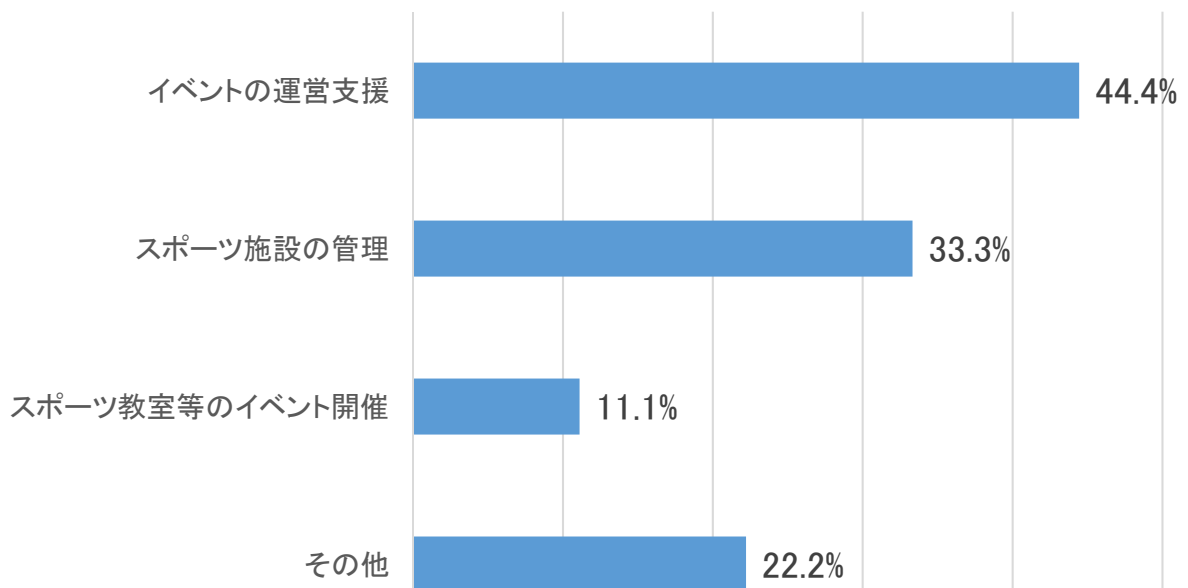
※公共スポーツ施設:市立体育館, 市立球場, 市立グラウンド, 市民体育館

地域イベントへの関与



全体(N=21)

地域イベントへの関与の詳細



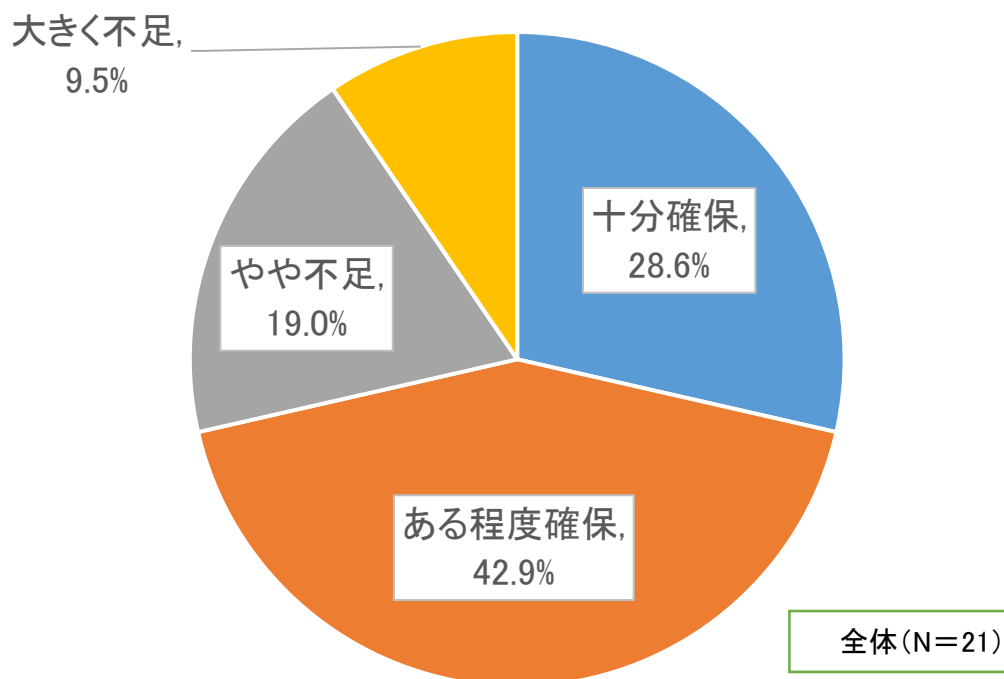
全体(N=9)

会員確保策

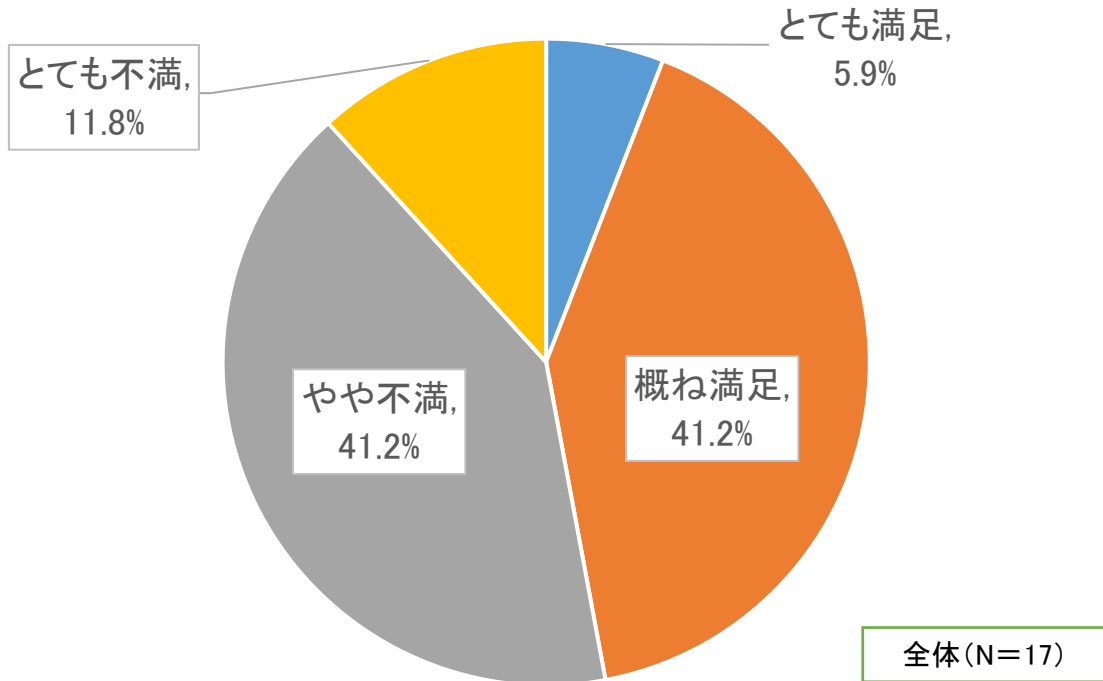
	1位	2位	3位	実数	総得点
会員からの紹介	11	2	1	14	38
インターネット	6	7	2	15	34
案内チラシやDM	2	6	6	14	24
その他	2	2	0	4	10
町内会だよりや公民館だより	0	1	3	4	5
学校やPTA	0	1	3	4	5
新聞	0	1	0	1	2
特に行っていない	0	0	1	1	1
スポーツ団体広報誌等	0	0	0	0	0
テレビ	0	0	0	0	0
ラジオ	0	0	0	0	0
市政だより	0	0	0	0	0
フリーペーパー	0	0	0	0	0

※1位：3点，2位：2点，3位：1点で計算。

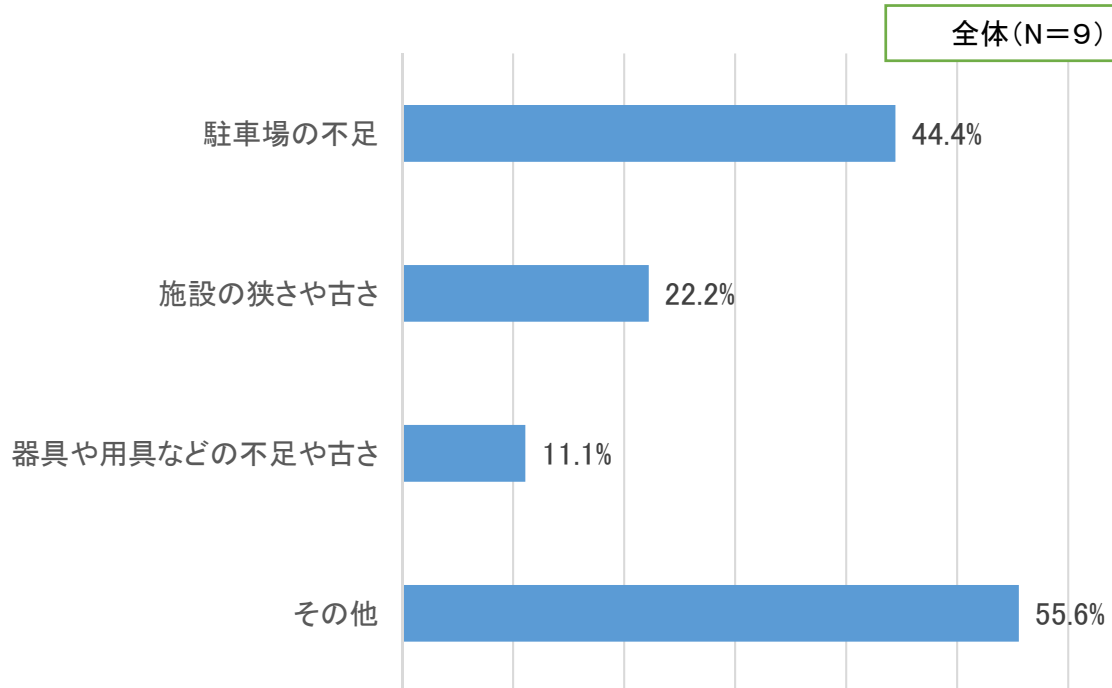
練習場所の確保



公共スポーツ施設の設備に関する満足度

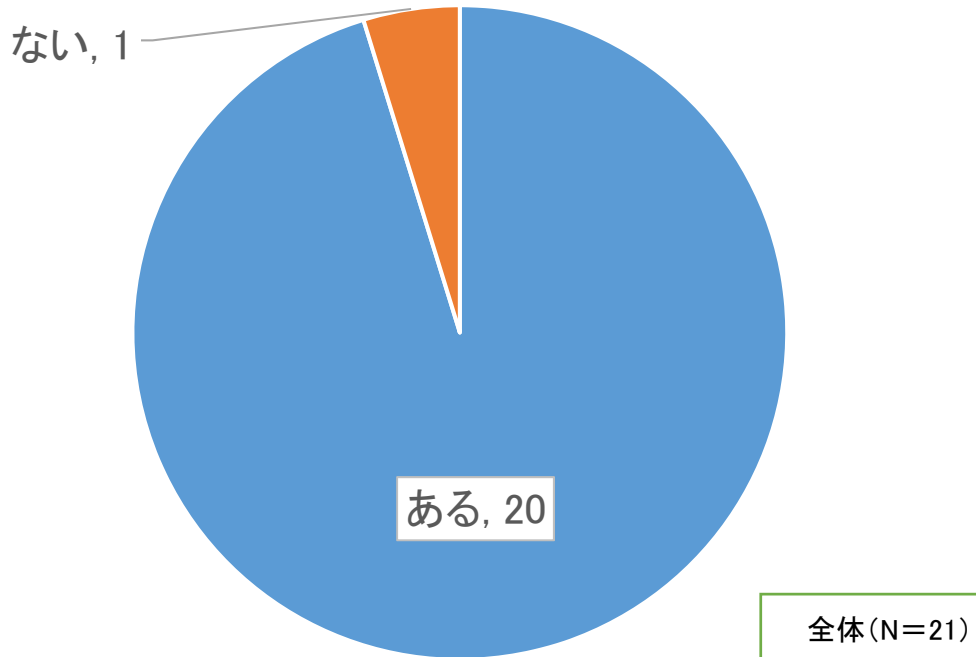


公共スポーツ施設の設備への不満理由

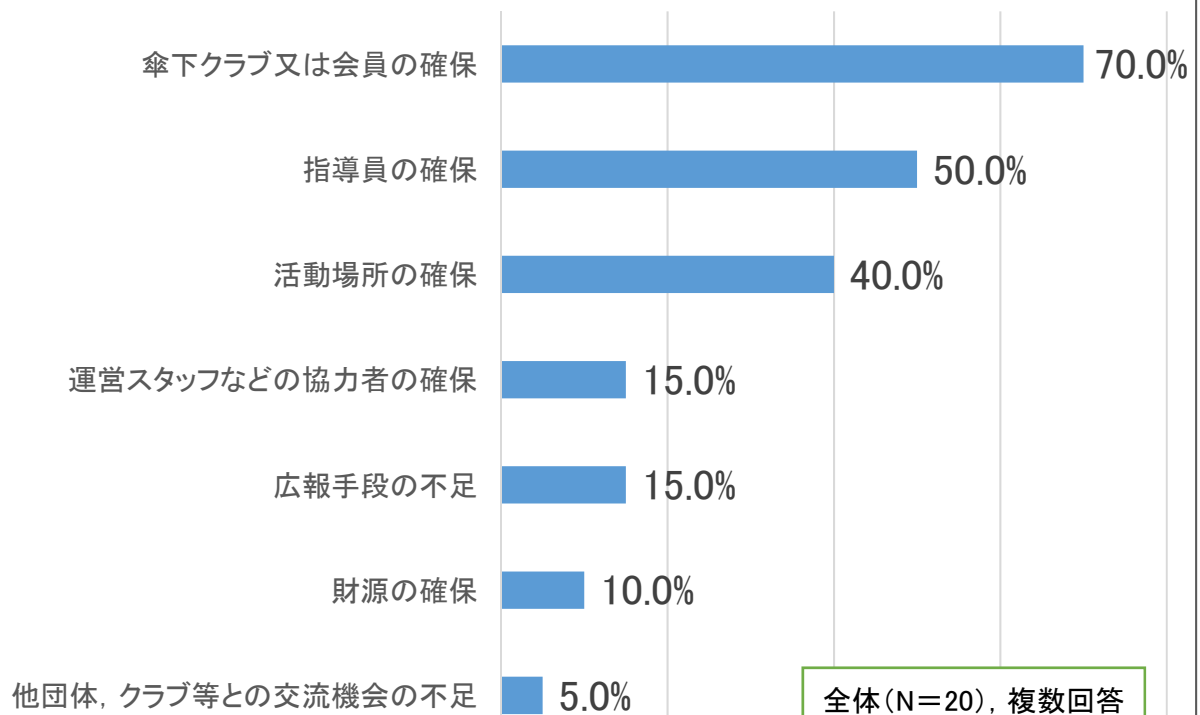


※その他:予約が取れない など

運営上の課題の有無

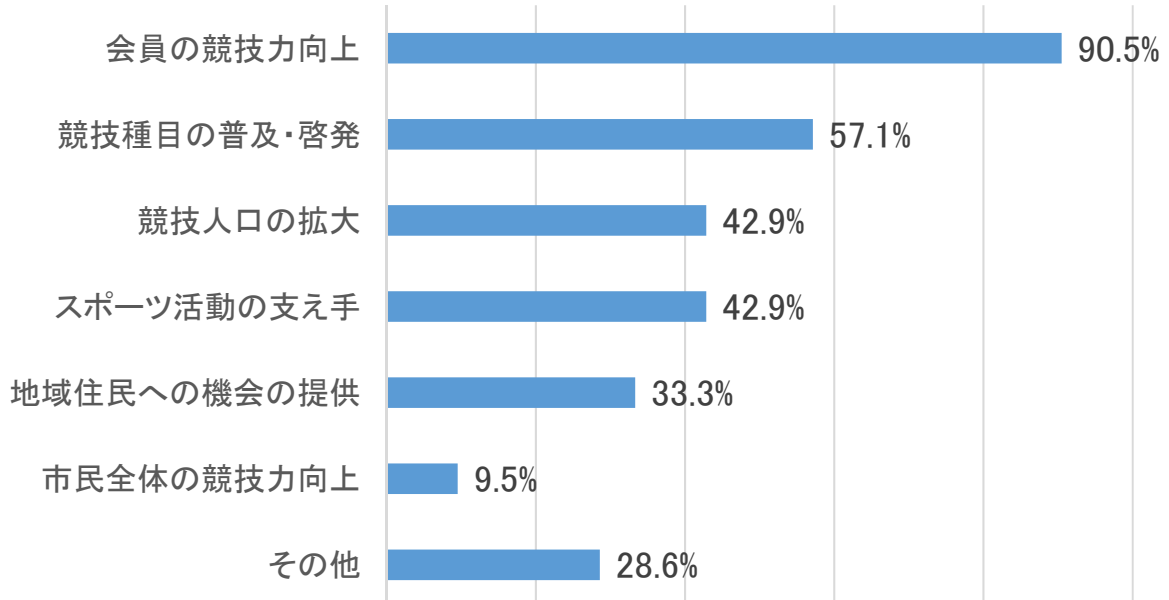


運営上の課題



スポーツクラブの役割

全体(N=21), 複数回答



連携, 共同したことがある団体

全体(N=21), 複数回答

